

brother



# 刺しゅうPRO<sup>プロ</sup>8

PC 刺しゅうデータ作成機

ES913シリーズ

## 使いかたマニュアル



- ご使用になる前に必ずマニュアルをお読みにになり正しくお使いください。
- マニュアルはなくさないように大切に保管してください。

## オリジナル刺しゅうを美しく作成していただくために

この「刺しゅう PRO8」では、多様な刺しゅうデータの作成が可能となるように、縫い方の様々な設定（糸密度、縫いピッチ等）がサポートされています。

ただし、最終的な仕上がりは、ご使用のミシンの性能や、縫う条件（布、糸など）によって変わるところもございますので、必ず実際にご使用になるミシン、縫う条件で、試し縫いを行ってください。

### 刺しゅう文字について

- ミニサイズ文字以外の刺しゅう文字は書体によってあまり小さいサイズを設定すると、きれいに縫製できない場合があります。1文字のサイズは、日本語書体は 15mm 以上、欧文書体（アルファベット等）は 10mm 以上での設定をおすすめします。
- TrueType フォントを使用する場合は、フォントのデザインによってきれいに刺しゅうデータに変換されない場合があります。均一な太めのラインでデザインされた TrueType フォントをお選びください。
- ミニサイズ文字が含まれた刺しゅうデータを縫製するときは、次の推奨事項に従ってください。
  1. 糸調子を、通常の刺しゅうデータの場合より弱く設定します。
  2. 通常の刺しゅうデータの場合より、遅い速度で縫製します。
  3. 文字の間の渡り糸を切らないようにしてください。

（ミシンの糸調子と縫い速度の調整、および糸切りの設定については、ミシンの取扱説明書を参照してください。）

# 作りたかったあのデザインが 刺しゅう PRO で 思い通りの刺しゅうに

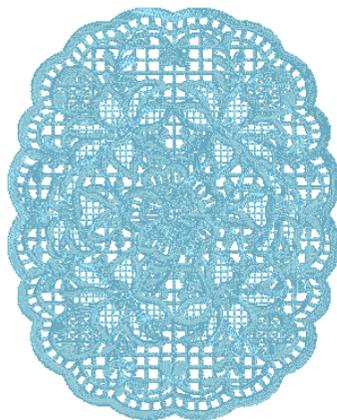
刺しゅう PRO で、  
お気に入りの写真やイラストを変換したり、  
お好みのフォントで文字を加えたり、  
工夫してあなただけの  
オリジナル刺しゅうデータを作ってみましょう。



■ 付属のデータを  
かんたんレイアウト (P.16)



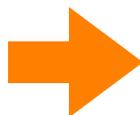
■ 分割模様 (P.177)



## ■ フォトステッチ (P.25、 P.129)

デジタルカメラで撮影した写真を、刺しゅうデータにできます。

フォトステッチ 1 (カラー)



フォトステッチ 1  
(セピア)



フォトステッチ 1  
(モノクロ)



フォトステッチ 2  
(カラー)



フォトステッチ 2  
(モノクロ)



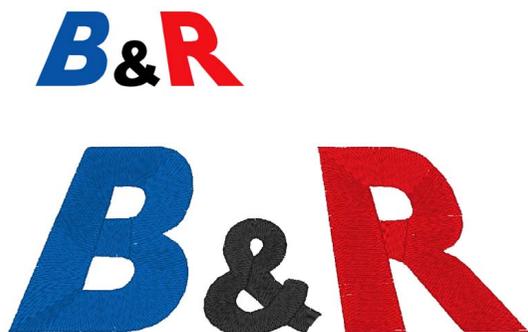
## ■ 背景画像と刺しゅうを 組み合わせる

(P.43)



## ■ オリジナルロゴを作る

(P.80)



# 刺しゅう PRO で こんなことができます

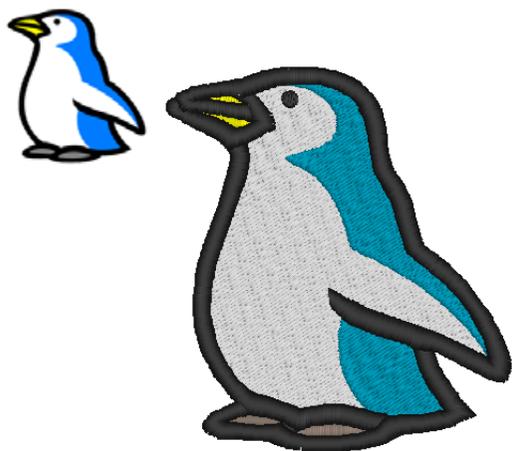
## お気に入りのイラストや写真が鮮やかな刺しゅうに

画像や写真をレイアウトセンターで刺しゅうデータに自動変換し、お好みのステッチで刺しゅうできます。また、ドローイングソフトの要領で絵を描いて刺しゅうデータを作ったり、いろいろな刺しゅうデータを組み合わせたりすることもできます。

### ■ オートパンチ

(☞P.21、P.128)

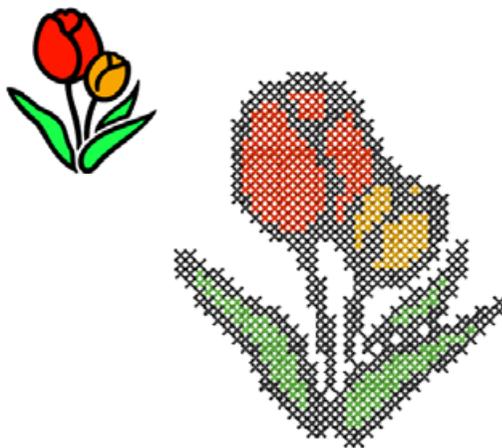
イラストを、サテン縫いやタタミ縫いの刺しゅうデータにします。色や縫い方は、お好みで変更することもできます。



### ■ クロスステッチ

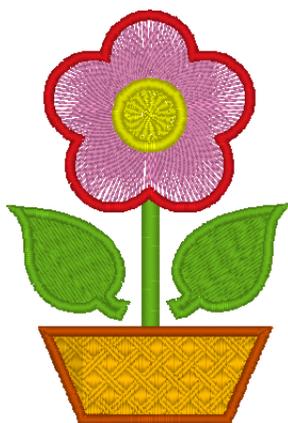
(☞P.28、P.136)

イラストを、クロスステッチの刺しゅうデータにします。クロスステッチのサイズは、お好みの大きさに調整できます。



### ■ いろんな図形でデザイン作り

(☞P.30、P.70)



### ■ 組み合わせ

(☞P.39、P.49、P.53)



## 豊富なステッチと色で広がる表現力

面縫い用ステッチ 10 種類と、線縫い用ステッチ 5 種類が用意されています。同じデザインでも、ステッチや色を変えると雰囲気が変わります。いろいろ試してみてください。

 P.97 の「糸色と縫い方を設定する」



## フォントも充実

内蔵フォントはもちろん、お使いのパソコンの TrueType フォントも刺しゅうにできます。

### ■ モノグラム

( P.93、P.171)

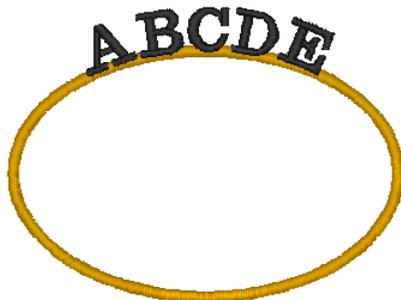
フォントを選んで文字を入力、あとは飾り模様を選ぶだけ。飾り模様も豊富に用意されています。



### ■ 文字配列 / 変形

( P.36、P.81)

文字をいろいろな線に沿って配置し、自由自在に編集できます。



# 縫い方の種類

縫い方の設定を変更して、お好みのステッチを作ることができます。

 P.101の「線の縫い方」、P.104の「面の縫い方」

## 線の縫い方の種類

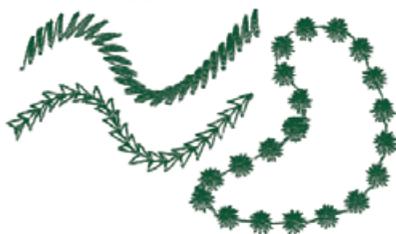
サテン縫い



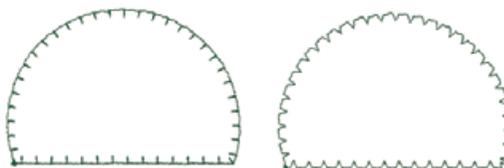
走り縫い/3重縫い



モチーフ縫い



EV ステッチ

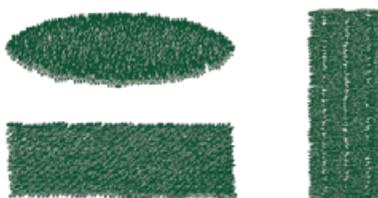


## 面の縫い方の種類

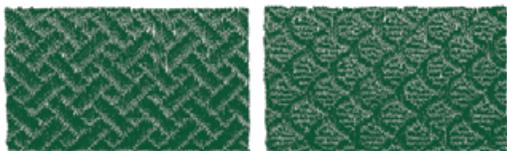
サテン縫い



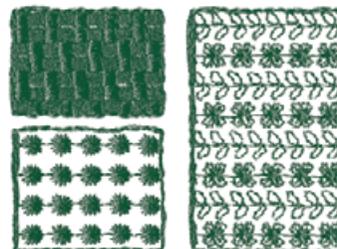
タタミ縫い



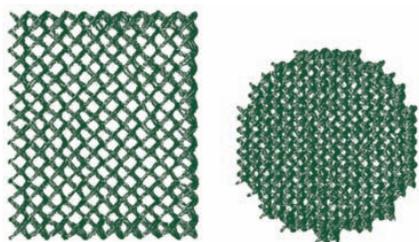
プログラムタタミ縫い



モチーフ縫い



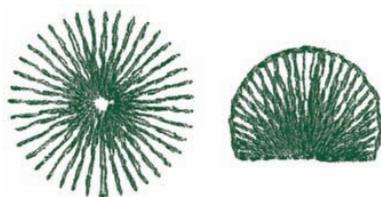
クロスステッチ



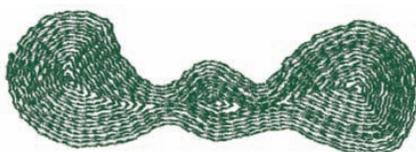
同心円縫い



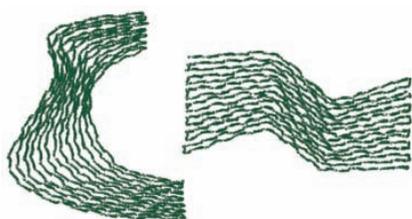
放射縫い



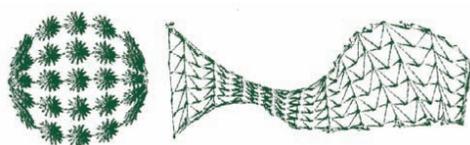
渦巻き縫い



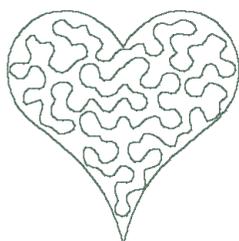
パイピング縫い



パイピング縫い (モチーフ設定あり)



スティップリング



スティップリング (モチーフ設定あり)



 **メモ:**

プログラムタタミ縫いとモチーフ縫いは、選択する縫いパターンによって模様が変わります。

 P.106の「プログラムタタミ縫い」、P.108の「パイピング縫い」、P.109の「モチーフ縫い」、P.111の「スティップリング」

# 基本的な使い方

刺しゅう PRO には、5つのアプリケーションソフトがあります。

## 4つのアプリケーションソフトで刺しゅうデータを作ります

レイアウトセンターを中心に、デザインセンター、フォントクリエイター、ステッチクリエイターで刺しゅうデータを作ります。また、デザインデータベースで作った刺しゅうデータを管理します。

データ管理



**レイアウトセンター** (P.48)

刺しゅうデータを作る

- 画像からの自動変換
- 文字入力
- 図形入力

もっと  
こだわりたいときに

**フォント  
クリエイター**



(P.216)

**オリジナルフォントを作る**  
テキストに使うフォントを、自分で作ることができます。記号や韓国語などの特殊文字も登録すれば、いつでも呼び出せます。

**デザイン  
センター**



(P.146)

**画像から手動で刺しゅうデータを作る**  
デザインセンターでは、画像から輪郭線を抽出して、線や面の形を編集したり、細かい部分の縫い方や色を設定したりできます。

**ステッチ  
クリエイター**



(P.199)

**オリジナルパターンを作る**  
模様を構成する縫いパターンやスタンプのデザインを作成/編集できます。

**デザイン  
データベース**



(P.188)

**刺しゅうファイルの管理**

- 検索
- 開く
- 整理
- フォーマット変換、HTML/CSV 出力
- カード書き込み

刺しゅうデータを  
編集する / 組み合わせる

- 組み合わせデザイン
- 位置・サイズ・形の調整
- 縫い方設定
- スタンプ設定

オリジナルカードに書き込む /  
USB メディアに保存する

ミシンで縫製する

# バージョン 8 の新機能

## ■ 縫い方の設定

- ステッチプリングステッチの縫い方にモチーフパターンを設定できるようになりました。(☞ P.111)
- 下打ち機能が向上しました。(☞ P.104)
  - マニュアルパンチングデータと文字データの面の縫い方の設定に新しい下打ちの種類が追加されました。
  - 面の下打ちの糸密度を**濃い** / **標準** / **薄い**から選択できます。

## ■ 編集機能とソフトウェアの設定

### レイアウトセンター

- 図形データの編集に、**重なり削除** / **結合**機能が追加されました。(☞ P.75)
  - 重なり削除：複数の刺しゅうデータが重なっているとき、下になる刺しゅうデータの重なった部分を削除します。
  - 結合：重なっている複数の刺しゅうデータを、一つの刺しゅうデータに結合します。
- 背景に画像を使い、刺しゅうデータを組み合わせてデザインできます。アイロンプリント紙や印刷可能な布を使い画像を布に印刷し、その布に刺しゅうをします。位置合わせシートで、印刷と刺しゅうの位置合わせも簡単にできます。(☞ P.43)
- デザインページにルーラーがつかえました。サイズや位置の確認、mm/ インチの表示切り替えがしやすくなりました。(☞ P.69)
- 同時に複数のファイルを開けるようになりました。ファイル間でデータをコピー・ペーストできます。
- **糸色**、**縫い方の設定**、**書式設定**の各ダイアログボックスが一つのダイアログボックスに統合され、使いやすくなりました。(☞ P.48、P.86、P.98、P.100)
- 刺しゅうデータ取り込み機能が使いやすくなりました。(☞ P.17、P.50)
- **縫い順**ダイアログボックスの機能が改善されました。(☞ P.120)
  - 刺しゅうデータをロックできるようになりました。ロックされたデータは、選択／編集ができなくなります。調整が終わった刺しゅうデータをロックすることで、誤って編集することを防止できます。
  - 縫い方の設定を変更できるようになりました。
- ステッチウィザードに次の機能が追加されました。(☞ P.20、P.127)
  - オートパンチによる刺しゅうデータへの自動変換時に、面部を線に変換する機能が追加されました。(☞ P.128)
  - フォトステッチ、クロスステッチにセピアモードが追加されました。(☞ P.131、P.138)
  - クロスステッチによる刺しゅうデータへの自動変換時に、クロスステッチとバックステッチをマス目単位で編集できるようになりました。(☞ P.137)
- 画像を 90 度ずつ回転できるようになりました。(☞ P.125)
- フリーハンドで自由に図形を入力できる線描画ツールが追加されました。(☞ P.73、P.74)
- 文字変形のパターンに、文字の円弧配列が追加されました。(☞ P.87)
- ステッチデータを糸色ごとに分解する機能が追加されました。(☞ P.64)

## デザインセンター

- 輪郭線画ステージのツールボックスに、消しゴムツールが追加されました。(☞P.148)
- 輪郭線から輪郭データへの変換時の**細線化処理回数**の上限値が大きくなりました。より太い輪郭線を細線化できるようになりました。(☞P.159)

## フォントクリエイター

- 下絵として TrueType フォントを使えるようになりました。また、TrueType フォントから自動的にオリジナルフォントを作れるようになりました。(☞P.227、P.228)
- フォントクリエイターのデータ保存時に下絵を開いていた場合、下絵画像もいっしょに保存できるようになりました。(☞P.226)

## ■ 全般

- デザインライブラリーとして、刺しゅうデータのサンプルファイルが新たに追加されました。
- **デザインのプロパティ**ダイアログボックスに予想縫製時間が追加されました。(☞P.140)
- 下絵や原画として開くことができる画像のファイル形式が増えました。(☞P.20)  
次のファイル形式の画像も使えます。
  - GIF (.gif) 形式
  - LZW 圧縮された .tif ファイル

# 目次

バージョン8の新機能.....	9
マニュアルの使い方.....	13
サポート・サービス.....	14
ユーザーサポート.....	14
オンライン登録.....	14
最新のプログラムにアップデートする.....	15

## 基本編

使ってみましょう.....	16
1. 刺しゅうデータを取り込む.....	16
2. 画像を刺しゅうデータに自動変換する.....	20
3. 図形を描いてデザインする.....	30
4. 文字を入力する.....	36
5. 刺しゅうデータを組み合わせる.....	39
6. プリントデザインと刺しゅうを 組み合わせる.....	43
刺しゅうデータを編集する (レイアウトセンター).....	48
レイアウトセンターの画面.....	48
刺しゅうデータを開く / 取り込む.....	49
刺しゅうデータを確認する.....	52
刺しゅうデータを編集する.....	53
刺しゅうデータを変形させる.....	57
ステッチデータを編集する.....	62
デザインページのサイズと色を設定する.....	68
ソフトウェアの設定を変更する.....	69
図形を描く.....	70
マニュアルパンチングデータを作る.....	77
文字を入力する.....	81
モノグラムを作る.....	93
線と面に糸色と縫い方を設定する.....	96
面部を編集する.....	117
縫い順や糸色を確認・変更する / ロックする.....	120
画像データを取り込む.....	122
画像の各設定の変更.....	125
画像データを刺しゅうデータへ自動変換する (ステッチウィザード).....	127
保存 / 印刷する.....	141
デザインセンターの基本的な使い方.....	146
画像から刺しゅうデータを作る.....	146
刺しゅうデータを原画から作る (デザインセンター).....	154
デザインセンターの画面.....	154

原画ステージ.....	155
輪郭線画ステージ.....	157
輪郭データステージ.....	159
縫い方設定ステージ.....	164

## 応用編

使ってみましょう (上級編).....	171
モノグラムを作る.....	171
アプリケを作る.....	175
分割模様の刺しゅうデータを作る.....	177
大型枠用の刺しゅうを作る.....	183
刺しゅうファイルを管理する (デザインデータベース).....	188
デザインデータベースの画面.....	188
デザインデータベースを起動する.....	188
刺しゅうファイルを確認する.....	189
刺しゅうファイルを開く.....	190
刺しゅうファイルを整理する.....	191
刺しゅうファイルを検索する.....	193
刺しゅうファイルを別の形式に変換する.....	194
刺しゅうファイルをオリジナルカードへ 書き込む.....	195
一覧 (刺しゅう見本) を出力する.....	197
ステッチクリエイターの基本的な 使い方.....	199
ステッチクリエイターの画面.....	199
プログラムタタミ / スタンプパターンを 作る.....	199
モチーフパターンを作る.....	203
オリジナルパターンを作る (ステッチクリエイター).....	205
ファイルを開く.....	206
新規パターンを作る.....	207
パターンの模様イメージを確認する.....	208
プログラムタタミ / スタンプモードで パターンを作る.....	208
プログラムタタミ / スタンプモードで パターンを編集する.....	209
プログラムタタミ / スタンプパターンに 縫い沈め / 浮き上がり効果を設定する.....	211
モチーフモードでモチーフパターンを作る.....	212
モチーフモードでパターンを編集する.....	213
パターンを保存する.....	214
各設定を変更する.....	215

<b>フォントクリエイターの基本的な 使い方</b> .....	<b>216</b>
フォントクリエイターの画面 .....	216
オリジナルフォントを手動で作る .....	218
<b>オリジナルフォントを作る (フォントクリエイター)</b> .....	<b>224</b>
ファイルを開く .....	224
文字を選択して下絵を準備する .....	225
フォントデータを作る .....	228
フォントデータを編集する .....	229
フォントデータのポイントを編集する .....	230
作ったフォントデータを確認する .....	231
フォントファイルを保存する .....	233
各設定を変更する .....	234
<b>ヒントとテクニック</b> .....	<b>236</b>
ステッチデータの拡大 / 縮小について .....	236
縫い方向 .....	236
縫い順 .....	236
広い範囲を縫うときは .....	237
ミシンの糸切りの設定について .....	237
刺しゅうに適した書体 .....	238
抜き文字を作る (図形データに変換した文字を使う) .....	239
日本語以外の文字 (中国語、韓国語など) を刺しゅうデータに変換する .....	240
<b>メニュー / ツール</b> .....	<b>241</b>
レイアウトセンター .....	241
デザインセンター .....	247
デザインデータベース .....	251
ステッチクリエイター .....	253
フォントクリエイター .....	256
<b>困ったときは</b> .....	<b>259</b>
<b>索引</b> .....	<b>260</b>

# マニュアルの使い方

本製品には次のマニュアルが同梱されています。

## はじめにお読みください～インストールガイド

インストールガイドは、このソフトウェアを使うための準備について説明しています。ソフトウェアのインストールのしかたや、使用上の注意などが書かれています。はじめにお読みください。

## 使いかたマニュアル（本書）

使いかたマニュアルは、このソフトウェアの使い方について説明しています。

はじめに「使ってみましょう」をお読みください。この章では、アプリケーションソフトの起動や代表的な刺しゅうデータの作り方、刺しゅうデータの保存のしかたなど、レイアウトセンターの基本的な使い方を説明しています。まずはこの手順にそって、実際に刺しゅうデータを作ってみてください。

各アプリケーションソフトの章では、色々な設定や便利な機能について詳しく説明しています。

また、次の各章では以下の内容を説明しています。必要に応じてお読みになり、ご活用ください。

「サポート・サービス」：本製品についてのお問い合わせ先、プログラムのアップデートのしかた

「使ってみましょう（上級編）」：アップリケ、モノグラム、分割模様、大型枠模様について

「ヒントとテクニック」：刺しゅう PRO をより使いこなしていただくためのコツや注意点、機能紹介

「メニュー/ツール」：各アプリケーションソフトのメニュー/ツール一覧

「困ったときは」：トラブル発生時の対処法

なお、本マニュアルの手順は、Windows Vista® を基準に記載されています。Windows Vista® 以外のシステムをご使用の場合は、手順や表示画面が多少異なります。

## ■ マニュアル（PDF 形式）の開き方

すべてのプログラム→刺しゅう PRO 8 →使いかたマニュアルの順でクリックします。

または、各アプリケーションソフトのメニューのヘルプ→マニュアルをクリックします。

### メモ：

- マニュアル（PDF 形式）をご覧になるには、Adobe® Reader® が必要です。
- パソコンに Adobe® Reader® がインストールされていない場合は、インストールする必要があります。アドビシステムズ社のホームページ（<http://www.adobe.com/>）からダウンロードしてください。

## ■ マニュアル（PDF 形式）の印刷について

Adobe® Reader® での印刷については、Adobe® Reader® のヘルプを参照してください。

## ユーザーサポート

本製品の使い方やアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの「販売店」または「お客様相談室（ミシン 119 番）」までお問い合わせください。

### お客様相談室（ミシン 119 番）フリーダイヤル 0120 - 340 - 233

〒467-8577 愛知県名古屋市長区瑞穂区苗代町 15-1

お客様相談室（ミシン 119 番）

TEL：0120 - 340 - 233 FAX：052 - 824 - 3031

営業時間：月曜日～金曜日 9：00～17：30

（祝祭日、ブラザー販売株式会社の休日を除く）

●お客様相談室は、ブラザー販売株式会社が運営しています。

本製品のサポート情報については、レイアウトセンターのヘルプメニューの**刺しゅう PRO WEB ページ**をクリックして、刺しゅう PRO8 のホームページをご覧ください。メニューから刺しゅう PRO WEB ページを開けない場合は、下記アドレスの弊社 Web サイトをご覧ください。

**ブラザーソリューションセンター** (<http://solutions.brother.co.jp/>)



### 注意：

- お問い合わせいただく前に以下の点をご確認ください。より早く回答を見つけることができます。
  1. パソコンの OS を最新のプログラムにアップデートしてください。
  2. ご使用のパソコンの製造番号、モデル番号と、お使いの OS のバージョンをご確認ください。  
（動作環境については、インストールガイドを参照してください。）
  3. 表示されたエラーメッセージなどの内容をご確認ください。

## オンライン登録

アップグレード等のご連絡や、今後の製品開発・改良の貴重な資料とさせていただくため、ユーザー登録をお願いしております。本製品は登録手続きを短時間で行えるようにオンラインでユーザー登録できるようになっております。

レイアウトセンターのヘルプメニューの**オンライン登録**をクリックすると、インストールされているブラウザが起動し弊社の「オンラインユーザー登録」のページが開きます。

# 最新のプログラムにアップデートする

レイアウトセンターのメニューのヘルプ→ソフトウェアの更新を確認をクリックします。

最新のプログラムになっているか自動的にチェックし、アップデートします。



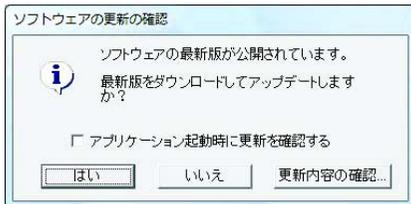
## 注意：

- 最新のプログラムにアップデートする場合は、Administrator の権限のついたユーザーアカウントでログインしてください。Administrator の権限のついたユーザーアカウントでのログインについて詳しくは、Windows の取扱説明書を参照してください。
- インターネットに接続していないパソコンではこの機能は使えません。
- ファイアウォール機能を使用しているときは、プログラムのバージョン確認ができない場合があります。その場合は、一時的にファイアウォール機能を停止してください。

以下のメッセージが表示された場合は、プログラムは最新になっています。



以下のメッセージが表示された場合は、プログラムは最新になっていません。**はい**をクリックすると、Web から最新のプログラムがダウンロードされます。



## メモ：

**アプリケーション起動時に更新を確認する**をチェックすると、プログラムの起動時に毎回最新のプログラムになっているかチェックします。

**更新内容の確認**をクリックすると、変更内容が表示されます。

ダウンロードが終了したら、レイアウトセンターおよび他の刺しゅう PRO のアプリケーションを全て終了してから、レイアウトセンターを再起動してください。

# 使ってみましょう

この章では、レイアウトセンターの基本的な使い方を説明しています。まずは、この手順にそって、実際に刺しゅうデータを作ってみましょう。

## 1. 刺しゅうデータを取り込む (P.16)

レイアウトセンターを起動して、刺しゅうデータを取り込みます。そして、作った刺しゅうデータをオリジナルカードへ転送します。

## 2. 画像を刺しゅうデータに自動変換する (P.20)

ステッチウィザードを使って、画像から刺しゅうデータを作ります。

## 3. 図形を描いてデザインする (P.30)

図形描画ツールでデザインを作り、縫い方の設定をします。

## 4. 文字を入力する (P.36)

文字データを作り、図形に配列します。

## 5. 刺しゅうデータを組み合わせる (P.39)

いろいろな刺しゅうデータを組み合わせてデザインします。

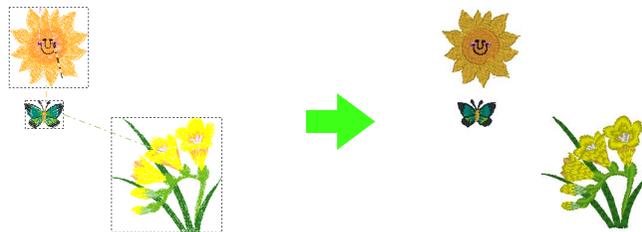
## 6. プリントデザインと刺しゅうを組み合わせる (P.43)

刺しゅうデータと背景画像を組み合わせるデザインします。

# 1. 刺しゅうデータを取り込む

ここでは、付属の刺しゅうデータをレイアウトセンターに取り込んで、オリジナルカードへ書き込み、ミシンで使えるようにします。

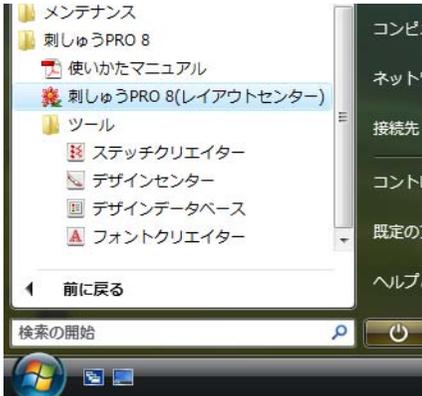
レイアウトセンターの起動、刺しゅうデータの取り込み、カードへの書き込みをマスターしましょう。



ステップ1	レイアウトセンターを起動する
ステップ2	刺しゅうデータを取り込む
ステップ3	オリジナルカードへ書き込む

## ステップ1 レイアウトセンターを起動する

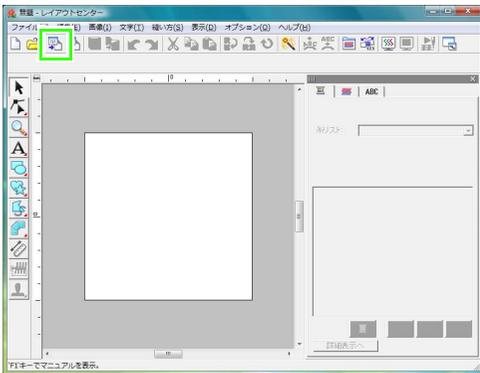
- 1  をクリックし、すべてのプログラム → 刺しゅう PRO 8 → 刺しゅう PRO 8 (レイアウトセンター) を選択します。



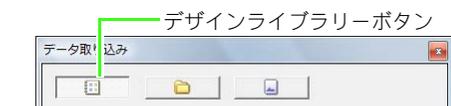
## ステップ2 刺しゅうデータを取り込む

花、蝶、太陽の順で取り込んでいきます。

- 1 ツールバーの  をクリックします。



- 2  をクリックします。



 または  が押されている場合は、 をクリックしてデザインライブラリーモードにします。

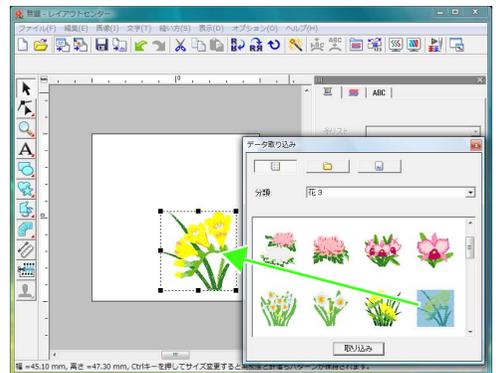
→ デザインライブラリーの内容が表示されます。

 P.50の「刺しゅうデータを取り込む」

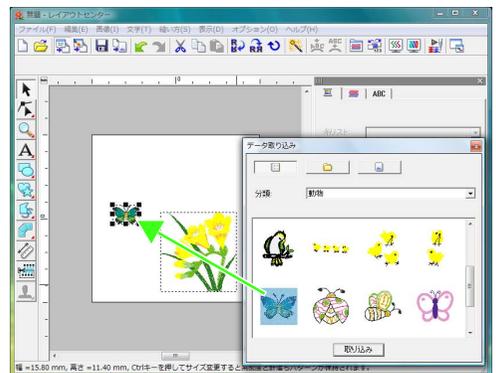
- 3 **分類**セクタをクリックします。スクロールバーを移動して、**花 3** が表示されたらクリックします。



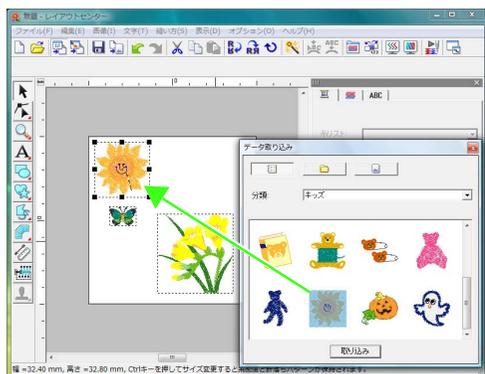
- 4 図のように、花をドラッグしてデザインページに取り込みます。



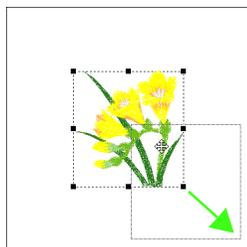
- 5 **分類**セクタで**動物**を選択し、蝶をドラッグします。



- ⑥ 分類セレクトでキッズを選択し、太陽をドラッグします。



- ⑦ 刺しゅうデータの位置を調整したいときは、移動したい刺しゅうデータをクリックしてカーソルをその上に置きます。カーソルの形が  に変わったら、ドラッグして移動します。



### 注意：

取り込んだ刺しゅうデータ（ステッチデータ）は、拡大 / 縮小すると品質が落ちる場合があります。拡大 / 縮小しないことをお勧めします。



P.236 の「ステッチデータの拡大 / 縮小について」

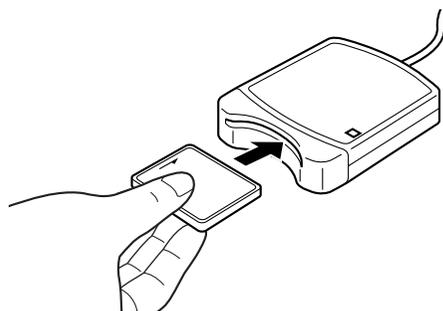
## ステップ3 オリジナルカードへ書き込む

刺しゅうデータはミシンへ転送して、はじめて実際に縫うことができます。お使いのミシンで使えるメディアに書き込んで転送します。ここでは、オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込んでみましょう。

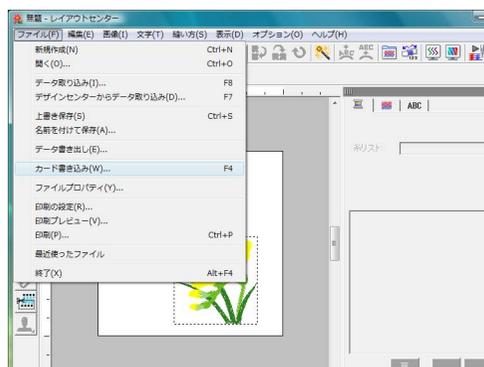
### メモ：

この他、ミシンで使えるメディアとして、フロッピーディスク、コンパクトフラッシュカード、USB メモリなどがあります。ミシンで使えるメディアについては、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。

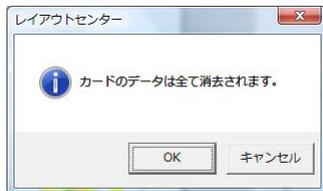
- ① オリジナルカードをカードライターに挿入します。



- ② メニューのファイル→カード書き込みをクリックします。



### 3 OK をクリックします。



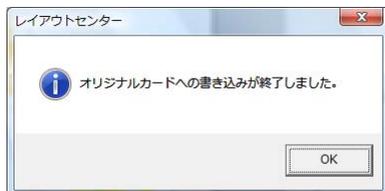
#### 注意：

データが保存されているオリジナルカードに書き込みを行うと、カードのデータはすべて消去されます。

書き込みを行う前に、必要なデータはハードディスクや他のメディアなどに保存し、カードに必要なデータが残っていないことを確認してください。

P.51 の「刺しゅうカードから」

### 4 書き込みが終了すると次のメッセージが表示されます。OK をクリックします。



#### 注意：

- カードライターが正しく接続されていないと、「カードライターが接続されていません。カードライターを正しく接続して下さい。」というエラーメッセージが表示されます。
- オリジナルカードが挿入されていなかったり、破損している場合は「オリジナルカードが入っていません。カードライターにオリジナルカードを入れてください。」というエラーメッセージが表示されます。

#### メモ：

刺しゅうデータはオリジナルカードの容量に合わせて圧縮されて書き込まれます。圧縮方法によって、データサイズが変わることがあります。一般的に、1枚のオリジナルカードに書き込める刺しゅうデータのステッチ数は最大200,000ステッチです。ただし、お使いのミシンの機種によってはステッチ数が異なることがあります。

#### 注意：

#### カードライター / オリジナルカードの使用上の注意

- カチッと音がするまで、オリジナルカードを正しく挿入してください。
- LED 表示が点滅中は、カードや USB コネクタの抜き差しをしないでください。
- ミシンからオリジナルカードを抜き差しするときは、ミシンの取扱説明書に従って正しく操作してください。

刺しゅうデータの保存については、P.24 の「刺しゅうデータを保存する」を参照してください。

## 2. 画像を刺しゅうデータに自動変換する

デジタルカメラの写真データやイラストをスキャンした画像データ、クリップアートの画像から、刺しゅうデータを作ることができます。

レイアウトセンターのステッチウィザード機能を使って、画像データを刺しゅうデータに変換します。まず、どのような縫い上がりの刺しゅうにしたいか、次の3つから選択します。

### ■ オートパンチ

イラストの色や形から自動的に刺しゅうデータを作ります。  
色数が少なく、色のはっきりしたイラストが適しています。

### ■ フォトステッチ

写真から刺しゅうデータを作ります。細かなステッチを縫い重ねたデータになります。  
刺しゅうにしたい対象が大きく写っていて、明るくはっきりした写真が適しています。  
人物の写真の場合、次のサイズを目安に画像を調整してください。

- 顔のアップ画像の場合：10 × 10cm
- バストアップ画像の場合：13 × 18cm

### ■ クロスステッチ

イラストからクロスステッチ刺しゅうデータを作ります。

色数が少なく、色のはっきりしたイラスト、刺しゅうにしたい対象が大きく描かれているイラストなどが適しています。

#### 📖 メモ：

- ステッチウィザード機能については、P.127の「画像データを刺しゅうデータへ自動変換する（ステッチウィザード）」を参照してください。
- 刺しゅうデータや画像のサイズは、ステータスバーに表示されます。また、サイズ表示の単位はmm / インチから選択できます。  
 P.52の「2点間の長さを測る」、P.69の「長さの単位（mm / インチ）を変更する」
- このマニュアルでは、mm表記で説明します。

### ■ 画像ファイルの形式について

次の形式のファイルを取り込むことができます。

Windows bitmap (.bmp)、Exif (.tif、.jpg)、ZSoftPCX (.pcx)、Windows Metafile (.wmf)、  
Portable Network Graphics (.png)、Encapsulated PostScript (.eps)、Kodak PhotoCD (.pcd)、  
FlashPix (.fpx)、JPEG2000 (.j2k)、GIF (.gif)

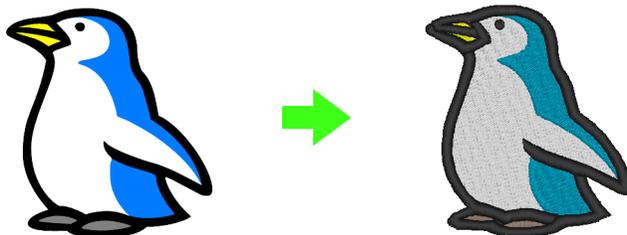
#### 📖 メモ：

EPS 画像ファイルがプレビュー画像を含んでいない場合は、EPS ファイルの画像は正しく表示されません。EPS 形式のファイルを作る際には、必ず、プレビュー画像を含んで保存してください。

この形式のファイルは、デザインセンターの原画やフォントクリエイターとステッチクリエイターの下絵としても取り込むことができます。

## オートパンチ

オートパンチとは、画像の色や形から自動的に刺しゅうデータを作る機能です。ここでは、プレビュー表示の見方、作った刺しゅうデータの保存のしかたも説明します。



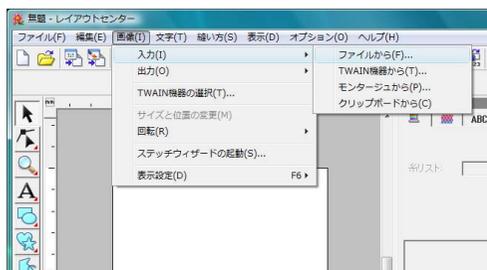
ステップ1	レイアウトセンターに画像データを取り込む
ステップ2	画像を刺しゅうデータに自動変換する
ステップ3	刺しゅうデータをプレビューする
ステップ4	刺しゅうデータを保存する

### ステップ1 レイアウトセンターに画像データを取り込む

刺しゅうデータに変換する画像（原画）を取り込みます。

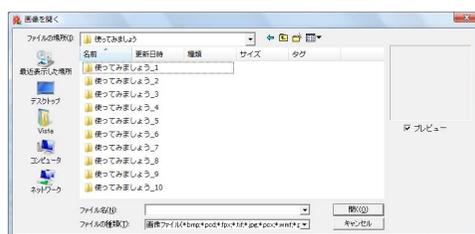
ここでは、このソフトウェアに付属のペンギンの画像（penguin.bmp）を使います。

- 1 メニューの**画像**→**入力**→**ファイルから**をクリックします。

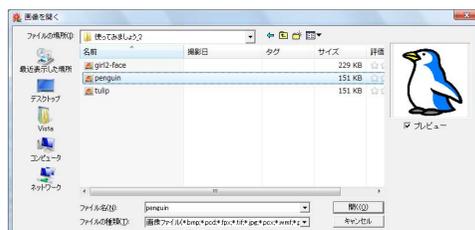


- 2 **ドキュメント（マイドキュメント）**→**刺しゅう PRO 8**→**使ってみましょう**を選択し、**使ってみましょう\_2**フォルダをダブルクリックして開きます。

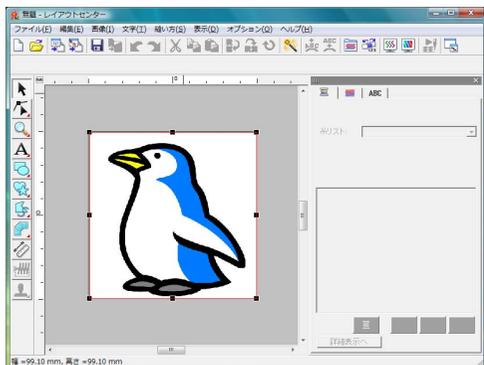
ソフトウェアをインストールすると、**ドキュメント（マイドキュメント）**フォルダに**刺しゅう PRO 8**フォルダがインストールされます。初めて画像を取り込むときは、このフォルダ内が表示されます。



- 3 サンプルファイル **penguin.bmp** を選択し **開く** をクリックするか、**ファイルアイコン** をダブルクリックします。



→ 画像がデザインページに表示されます。

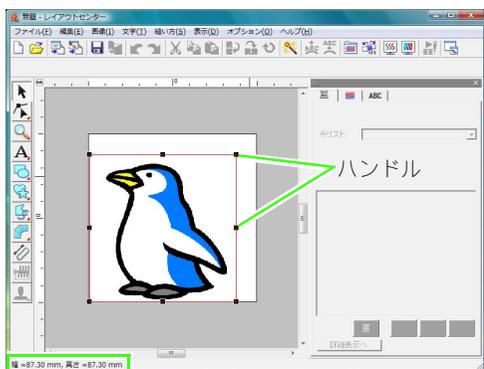


## メモ:

画像を選び直したいときは、①から③を繰り返します。①で取り込み元を変更すると、スキャナやデジタルカメラ、クリップボードの画像を取り込んだり、モニター機能で画像を作って取り込んだりできます。

P.122の「画像データを取り込む」

- ④ ハンドルをドラッグして、画像のサイズを調整します。

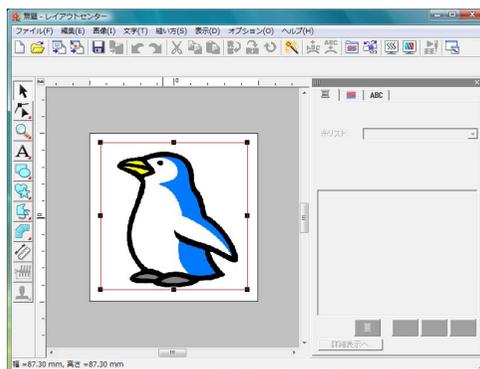


ステータスバーに画像のサイズが表示されます。

## メモ:

ハンドルが見えなくなった場合は、画像を右クリックして表示されたメニューの**画像のサイズと位置**をクリックします。

- ⑤ 画像の上にカーソルを置き、ドラッグして移動します。



## ステップ2 画像を刺しゅうデータに自動変換する

画像を自動的に刺しゅうデータに変換します。

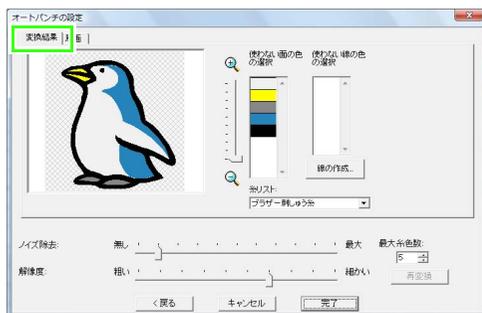
- ① メニューの**画像→ステッチウィザードの起動**をクリックします。



- ② **オートパンチ**を選択し、**次へ**をクリックします。



- 3 変換結果を確認し、完了をクリックします。



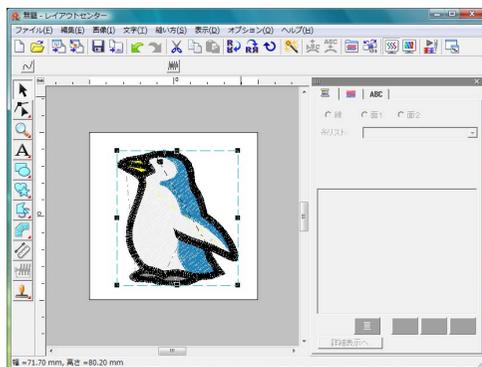
## メモ:

指定した面部分をサテン縫いなどの線縫いに変換できます。

P.128の「オートパンチを選択した場合」



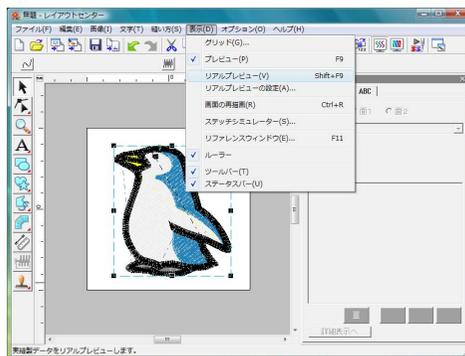
→ 変換された刺しゅうデータが、デザインページに表示されます。



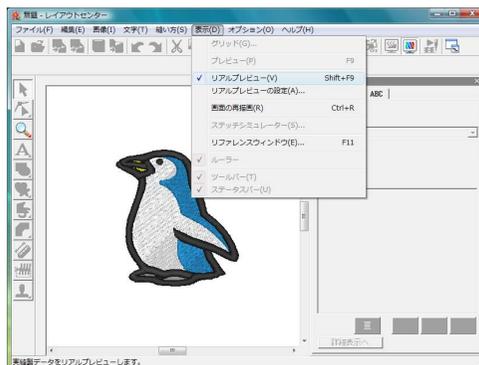
## ステップ3 刺しゅうデータをプレビューする

完成した刺しゅうデータをプレビューします。

- 1 メニューの表示→リアルプレビューをクリックします。



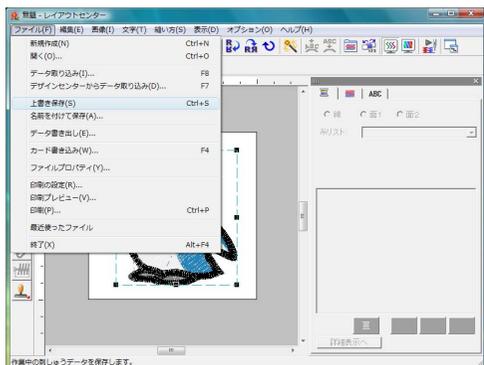
- 2 通常表示に戻すには、メニューの表示→リアルプレビューをクリックするか、**Esc**キーを押します。



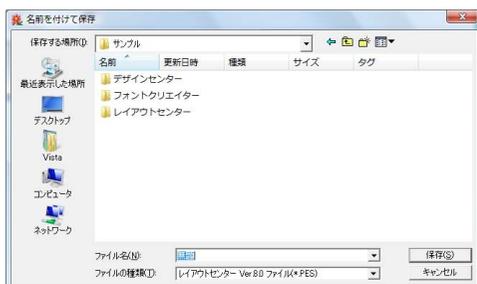
## ステップ4 刺しゅうデータを保存する

刺しゅうデータが完成したら、後で呼び出せるように保存します。

- 1 メニューの**ファイル**→**上書き保存**をクリックします。



- 2 ドライブとフォルダを選択し、**ファイル名**を入力します。



- 3 **保存**をクリックします。



### メモ:

このソフトウェアには、いろいろな素材のサンプル画像が付属されています。次の刺しゅう PRO 8 フォルダの **ClipArt** フォルダにあります。  
刺しゅう PRO がインストールされたドライブ ¥ Program Files ¥ Brother ¥ **刺しゅう PRO 8 ¥ ClipArt**  
この画像を使っていろいろ試してみましょう。

オリジナルカードへの書き込みについては、P.18 の「オリジナルカードへ書き込む」を参照してください。

## フォトステッチ

写真から刺しゅうデータを作りましょう。フォトステッチには次の2種類の変換のしかたがあり、それぞれ色を選択できます。

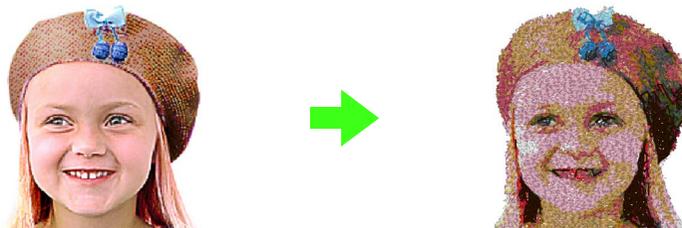
### フォトステッチ 1:

画像により忠実に多色または1色でデータを作ります。細かなステッチを縫い重ねたデータになります。色を、多色 (**カラー**)、セピア調またはグレー調 (**セピア**)、1色 (**モノクロ**) から選択できます。

### フォトステッチ 2:

糸色を4色または1色に制限してデータを作ります。ジグザグの縫い目を繰り返したデータになります。色を、4色 (**カラー**)、または1色 (**モノクロ**) から選択できます。

ここでは、**フォトステッチ 1**の**カラー**の刺しゅうデータを作ります。自動補正された6種類の候補から気に入ったものを選んで刺しゅうデータを作る方法を紹介します。



ステップ1	レイアウトセンターに写真データを取り込む
ステップ2	画像を刺しゅうデータに自動変換する

### ステップ1 レイアウトセンターに写真データを取り込む

ドキュメント (マイ ドキュメント) → 刺しゅう PRO8 → 使ってみましょう → 使ってみましょう\_2 フォルダを選択し、girl2-face.bmp を取り込みます。

 P.21の「レイアウトセンターに画像データを取り込む」

### ステップ2 画像を刺しゅうデータに自動変換する

画像を自動的に刺しゅうデータに変換します。

- 1 メニューの**画像**→**ステッチウィザードの起動**をクリックします。



## 2 フォトステッチ 1、カラーの順に選択し、次へをクリックします。



### メモ:

ここで、**セピア**を選択するとセピア調またはグレー調の刺しゅうデータを、**モノクロ**を選択すると白黒の刺しゅうデータを作ることができます。

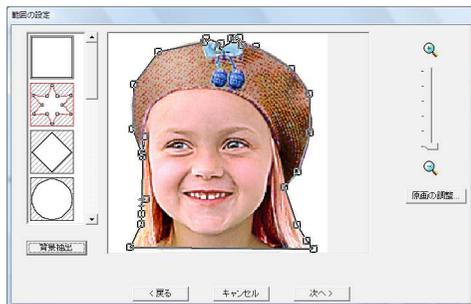
☞ P.131の「フォトステッチ1(セピア)を選択した場合」、P.132の「フォトステッチ1(モノクロ)を選択した場合」

## 3 背景抽出をクリックします。



→ この例のように、背景が1色の場合は**背景抽出**をクリックすると、自動的に画像の輪郭が検出されます。

## 4 次へをクリックします。



### メモ:

- マスクの輪郭線のポイントを移動/追加/削除して、マスクの形状を編集できます。
- マスクの形は、あらかじめ用意された様々な形状から選択することもできます。

☞ P.129の「フォトステッチ1(カラー)を選択した場合」

## 5 ページのサイズに合わせるをクリックして、仕上がりサイズを変更します



刺しゅうのサイズ

→ デザインページいっぱいに入るサイズになります。

### メモ:

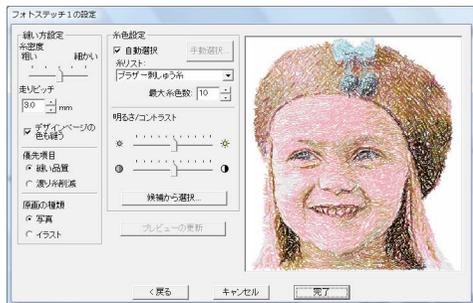
- 刺しゅうのサイズを、画面左下で確認できます。この画面でサイズを自由に変更できます。
- 人物の写真の場合、次のサイズを目安に画像を調整すると、きれいな刺しゅうに仕上がります
  - 顔のアップ画像の場合：10 × 10cm
  - パストアップ画像の場合：13 × 18cm

☞ P.129の「フォトステッチ1(カラー)を選択した場合」

## 6 変換する領域のプレビューを確認し、次へをクリックします。



## 7 候補から選択をクリックします。



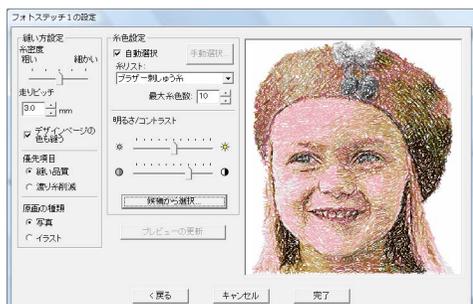
→ オリジナルの画像を基準として、明るさとコントラストが自動補正された6種類のプレビューが表示されます。

## 8 設定したい候補を選択し、OKをクリックします。

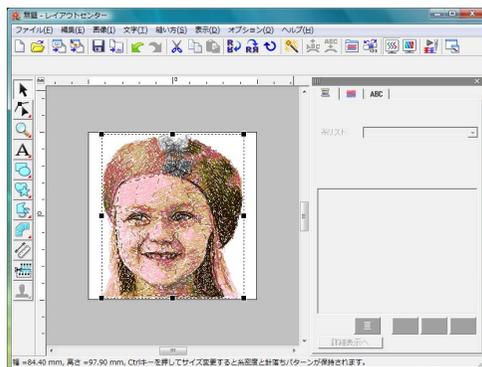


→ 選択したプレビューが、**フォトステッチ1の設定**ダイアログボックスに表示されます。

## 9 完了をクリックします。



→ 変換された刺しゅうデータが、デザインページに表示されます。



刺しゅうデータの保存については、P.24の「刺しゅうデータを保存する」を参照してください。  
オリジナルカードへの書き込みについては、P.18の「オリジナルカードへ書き込む」を参照してください。

## ■ 美しい写真刺しゅうを作るには

- 被写体が大きく写されている写真を選択します。(1枚の写真に多くの物が写っている写真など、複雑な写真は適していません。)
- コントラストを強くします。
- 幅と高さが300～500ドットの画像が適しています。
- 次の写真は、刺しゅうデータ変換用には適していません。
  - 集合写真など、被写体が小さい写真
  - 逆光や屋内で撮影した被写体が暗い写真
- 思ったように刺しゅうデータができないときは、**フォトステッチ1の設定**ダイアログの設定を変更してみてください。
  - **明るさ**：画像を明るくする
  - **最大糸色数**：使う色数を増やす

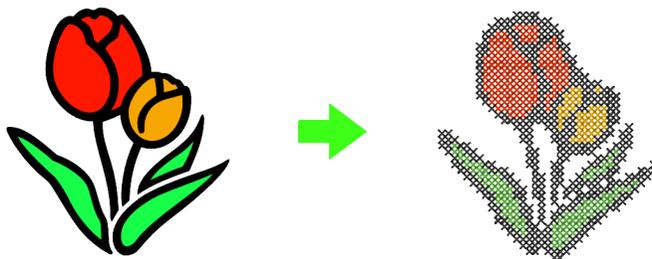
☞ P.133の「糸色設定」

- でき上がった刺しゅうデータに強調したくない色が含まれている場合(たとえば、顔に灰色が入っているなど) **縫い順/ロック**ダイアログボックスでその色が他の色より先に縫われるように順序を変更すると、良い結果を得られる場合があります。

☞ P.120の「縫い順や糸色を確認・変更する/ロックする」

## クロスステッチ

画像から、クロスステッチを使った刺しゅうデータを作ることができます。クリップアート画像からの変換を例にして説明します。



ステップ1	レイアウトセンターに画像データを取り込む
ステップ2	画像を刺しゅう (クロスステッチ) データに自動変換する

### ステップ1 レイアウトセンターに画像データを取り込む

ドキュメント (マイドキュメント) → 刺しゅう PRO 8 → 使ってみましょう → 使ってみましょう\_2 フォルダを選択し、tulip.bmpを取り込みます。

P.21の「レイアウトセンターに画像データを取り込む」

### ステップ2 画像を刺しゅう(クロスステッチ)データに自動変換する

画像を自動的に刺しゅうデータに変換します。

- 1 メニューの**画像**→**ステッチウィザード**の**起動**をクリックします。



- 2 **クロスステッチ**、**カラー**の順に選択し、**次へ**をクリックします。



### **メモ:**

ここで**セピア**を選択すると、セピア調またはグレー調の刺しゅうデータを作ることができます。

P.138の「クロスステッチ (セピア) を選択した場合」

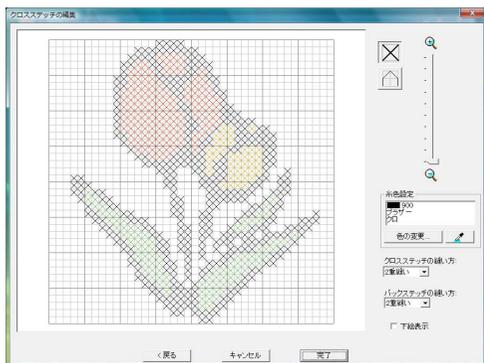
### 3 次へをクリックします。

**クロスステッチの設定**ダイアログボックスで、クロスステッチのサイズや色数を指定できます。ここでは初期設定のままにしておきます。



### 4 完了をクリックします。

**クロスステッチの編集**ダイアログボックスで、ステッチの追加/削除や、糸色、縫い回数を指定できます。ここでは初期設定のままにしておきます。

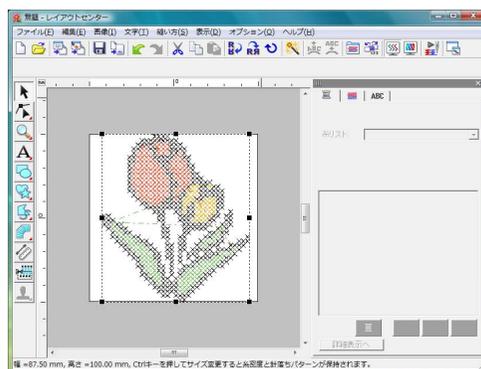


#### 📖 メモ:

マス目単位で編集できます。

👉 P.136の「クロスステッチ (カラー) を選択した場合」

→ 変換された刺しゅうデータが、デザインページに表示されます。

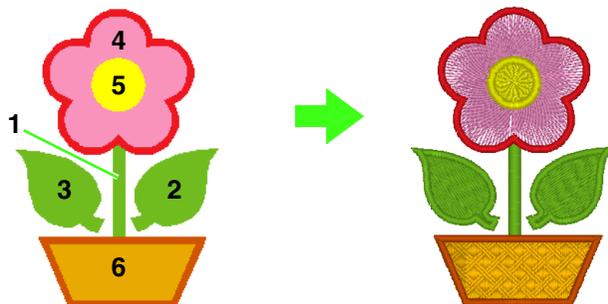


👉 刺しゅうデータの保存については、P.24の「刺しゅうデータを保存する」を参照してください。  
オリジナルカードへの書き込みについては、P.18の「オリジナルカードへ書き込む」を参照してください。

### 3. 図形を描いてデザインする

いろいろな図形を描き、組み合わせて刺しゅうにしてみましょう。

レイアウトセンターの図形描画ツールには、様々な形が用意されています。それらを使って、茎→葉っぱ→花→植木鉢の順で描いていきます。

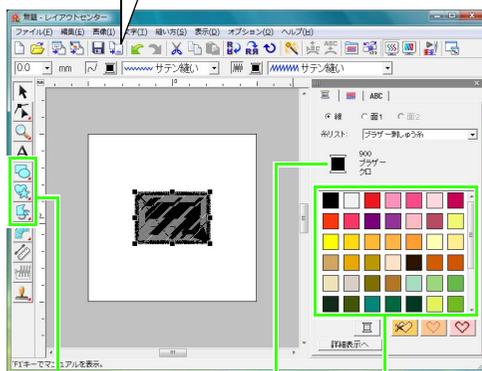
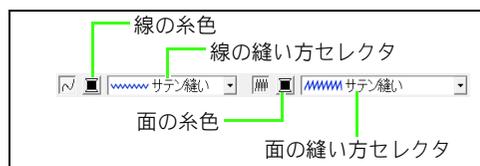


ステップ1	図形データを描く、移動する
ステップ2	図形データを複製、反転、移動する
ステップ3	ドーナツ縫いの設定をする
ステップ4	縫い目に模様を付ける
ステップ5	ポイントを編集して、図形の形を変える

#### ステップ1 図形データを描く、移動する

図形データは、次の手順で描きます。

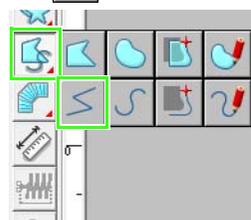
1. 描画ツールを選択する
2. 線の糸色と縫い方を設定する
3. 面の糸色と縫い方を設定する
4. デザインページをドラッグして図形を描く



図形描画ツール  
選択した糸色、色名

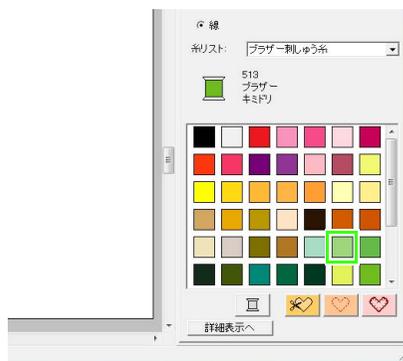
#### ① 茎を描きます。

- ① ツールボックスの をクリックし、 をクリックします。

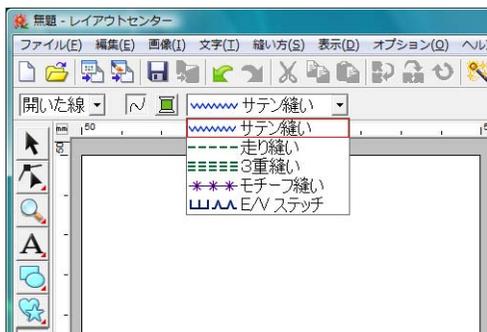


- ② をクリックして、色パレットを表示します。

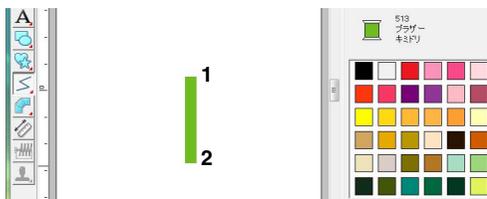
- ③ **キミドリ** をクリックします。  
目的の色が表示されていないときは、スクロールバーを移動して表示させます。



- ④ 線の縫い方セクタをクリックし、サテン縫いをクリックします。



- ⑤ 始点1をクリックし、終点2でダブルクリックします。

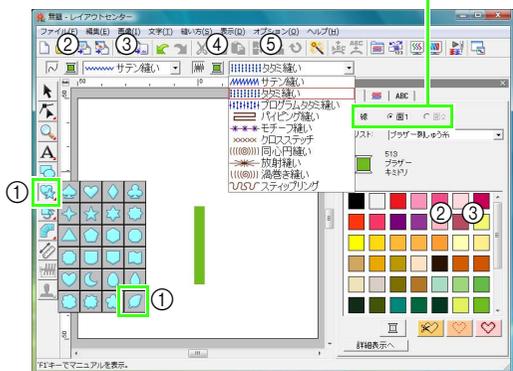


## 2 右の葉っぱを描きます。

茎と同様に、色、縫い方を設定してから図形を描きます。今度は面がありますので、面の色と縫い方も設定します。

- ① ツールボックスの をクリックし、 をクリックします。
- ② 線の をクリックし、色パレットのキムドリをクリックします。
- ③ 線の縫い方セクタをクリックし、サテン縫いをクリックします。
- ④ 面の をクリックし、色パレットのキムドリをクリックします。
- ⑤ 面の縫い方セクタをクリックし、タタミ縫いをクリックします。

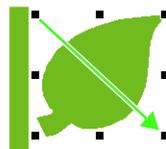
線と面のどちらの色を設定するか、このボタンでも切り替えることができます。



### メモ:

線や面の色、縫製属性、大きさは、図形を描いた後でも変更できます。

- ⑥ **Shift** キーを押しながら、図のようにデザインページ上でドラッグします。



### メモ:

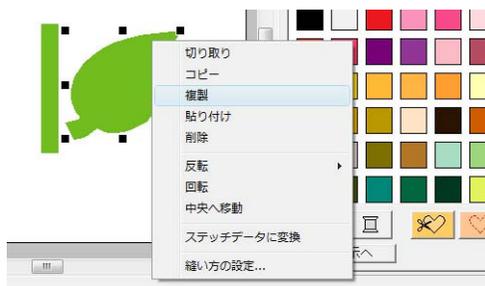
図形を描くとき、**Shift** キーを押しながらドラッグすると、縦横が同じ比率の図形が描けます。

- ⑦ カーソルを葉っぱの上に置き、カーソルの形が になったら、ドラッグして移動できます。位置を調整します。

## ステップ2 図形データを複製、反転、移動する

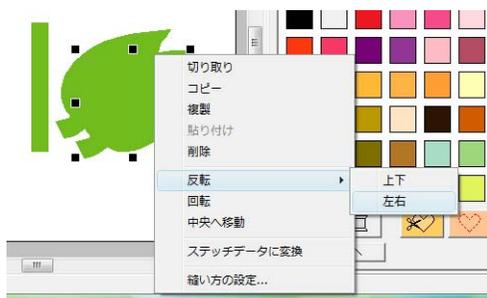
右の葉っぱを複製し、左右反転させ、茎の左側に移動します。

- ① 右の葉っぱを複製します。
  - ① 葉っぱを右クリックします。
  - ② 複製をクリックします。

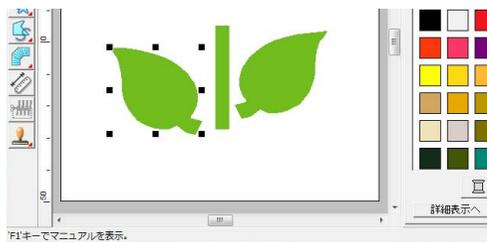


## 2 複製した葉っぱを左右反転します。

- 複製した葉っぱを右クリックします。
- 反転**をクリックし、**左右**をクリックします。

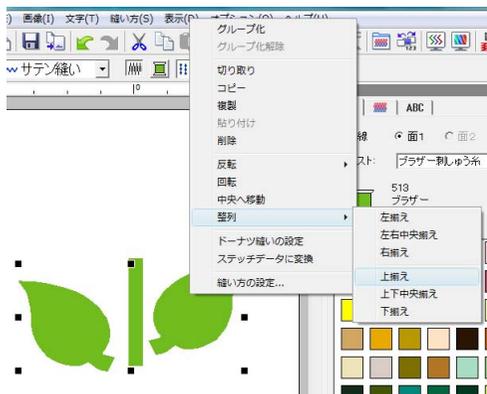


## 3 複製した葉っぱをドラッグして、茎の左側に移動します。



## 4 左右の葉っぱの位置を揃えます。

- 右の葉っぱをクリックし、**Ctrl** キーを押しながら左の葉っぱを右クリックします。
- 整列**をクリックし、**上揃え**をクリックします。



### メモ:

次の方法で、複数の刺しゅうデータを選択できます。

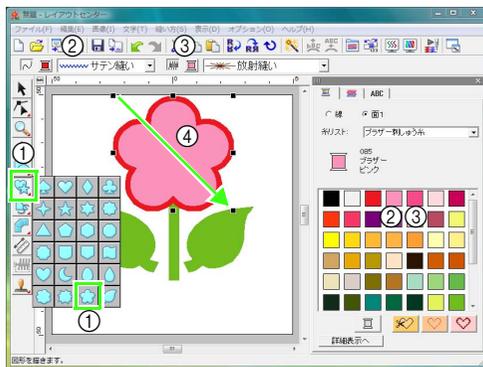
- 1つ目のデータをクリックして、**Ctrl** キーを押しながら、次のデータをクリックします。
- ドラッグして表示される四角形で、選択したいデータ全体を囲むようにドラッグします。

## ステップ3 ドーナツ縫いの設定をする

花を描いて、真ん中に円を描きます。そして、重なっている部分が2回縫われないように設定します。

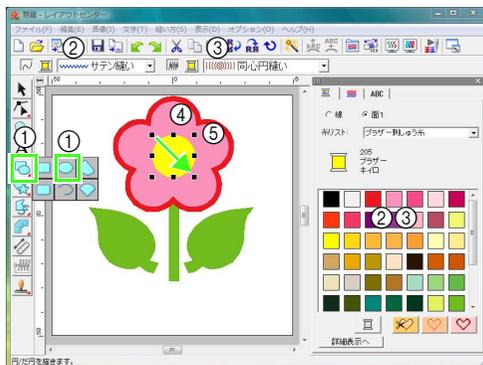
### 1 花びらを描きます。

- ① ツールボックスの をクリックし、 をクリックします。
- ② 線の色を**アカ**、縫い方を**サテン縫い**に設定します。
- ③ 面の色を**ピンク**、縫い方を**放射縫い**に設定します。
- ④ **Shift** キーを押しながら、図のようにデザインページ上でドラッグします。



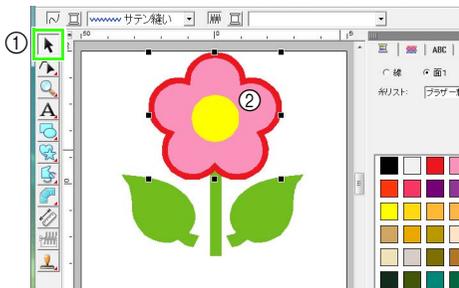
### 2 中心の円を描きます。

- ① ツールボックスの をクリックし、 をクリックします。
- ② 線の色を**キイロ**、縫い方を**サテン縫い**に設定します。
- ③ 面の色を**キイロ**、縫い方を**同心円縫い**に設定します。
- ④ **Shift** キーを押しながら、図のようにデザインページ上でドラッグします。
- ⑤ 花びらの中心になるように、円をドラッグして位置を調整します。



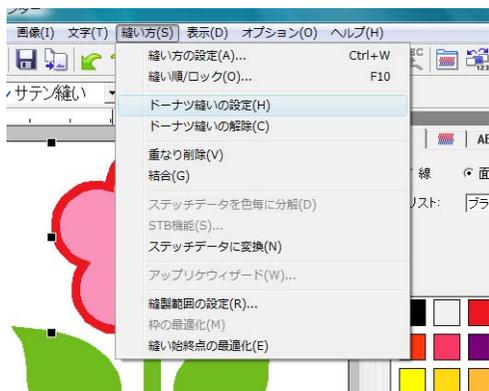
- ③ ドーナツ縫いを設定するデータを選択します。

- ① ツールボックスの  をクリックします。
- ② 黄色い円をクリックし、**Ctrl** キーを押しながら花びらをクリックします。

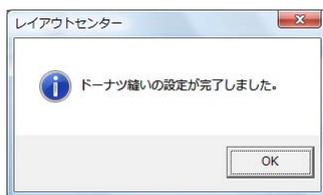


- ④ ドーナツ縫いを設定します。

- ① メニューの縫い方→ドーナツ縫いの設定をクリックします。



- ② OK をクリックします。



### 注意：

ドーナツ縫いの設定は、一対の刺しゅうデータの一方が他方の内側に完全に囲まれていると設定できません。



P.74の「面縫いの二重縫いを防止する（ドーナツ縫い）」



### メモ：

重なっている複数の図形データを選択して、重なり部分を切り取ったり、結合させたりすることもできます。



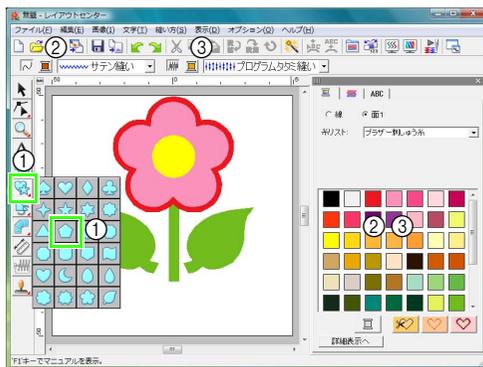
P.75の「重なっている図形データの形を変える」

## ステップ4 縫い目に模様を付ける

線や面の縫い方は、縫い方の設定ダイアログボックスで細かく設定できます。植木鉢の面を設定してみましょう。

- ① 植木鉢の線と面の色と縫い方を設定します。

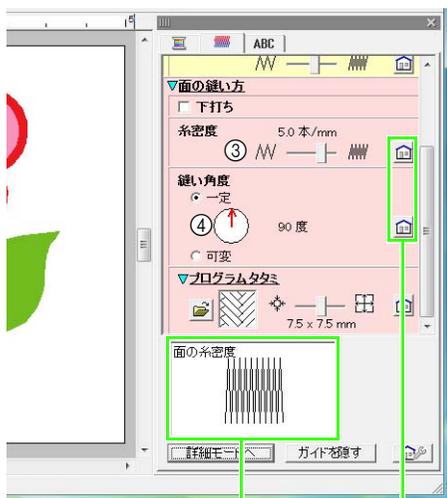
- ① ツールボックスの  をクリックし、 をクリックします。
- ② 線の色を**チャイロ**、縫い方を**サテン縫い**に設定します。
- ③ 面の色を**オウドイロ**、縫い方を**プログラムタタミ縫い**に設定します。



- ② 縫い方の設定をします。

- ① ツールバーの  をクリックします。
- ② 縫い方の設定には 2 つのモードがあります。ここでは、簡易モードの設定を変更してみます。詳細モードが表示されたら、**簡易モード**へをクリックして切り替えてください。

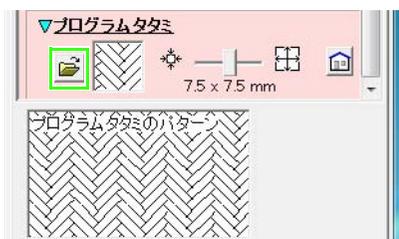
- ③ **糸密度**のスリダをドラッグして、5.0本/mmに設定します。
- ④ **縫い角度**の赤い矢印をドラッグして、90度に設定します。



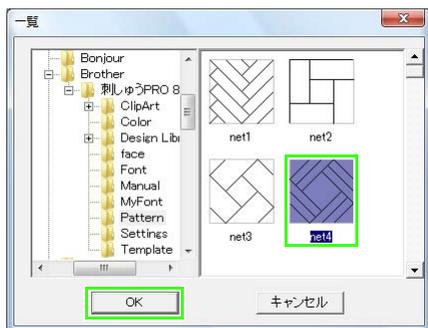
設定結果を確認できます。**ガイドを表示 / ガイドを隠す**ボタンで表示 / 非表示の切り替えができます。

ここをクリックすると、標準設定値に戻ります。

- ⑤ **プログラムタタミ**の下の  をクリックします。



- ⑥ **net4**をクリックし、**OK**をクリックします。



- ⑦ スリダを移動して、7.6 × 7.6mmに設定します。



選択されたパターンが表示されます。

## メモ:

詳細モードでは、さらに詳細な設定ができます。

 P.100の「縫い方の詳細設定をする」

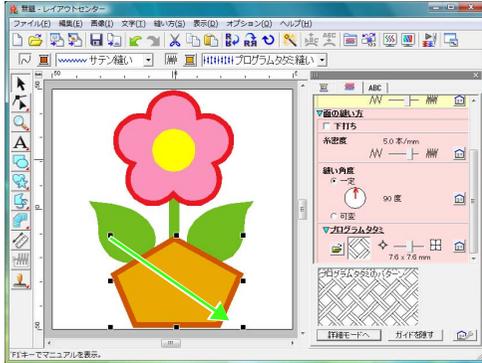


## ステップ5 ポイントを編集して、図形の形を変える

五角形の図形から1点を削除して、植木鉢を作ります。

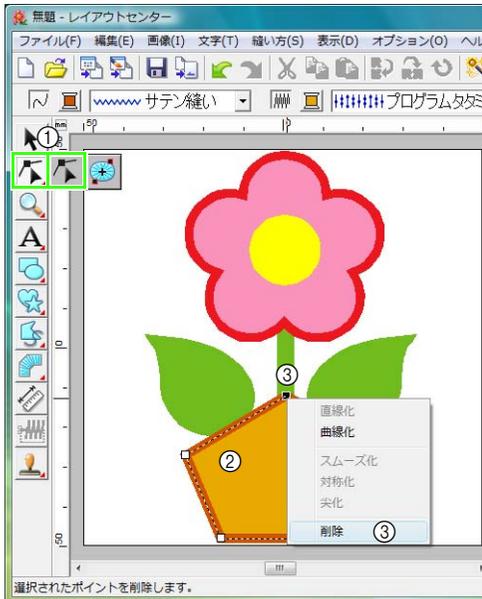
### 1 植木鉢を描きます。

図のように、デザインページ上でドラッグします。

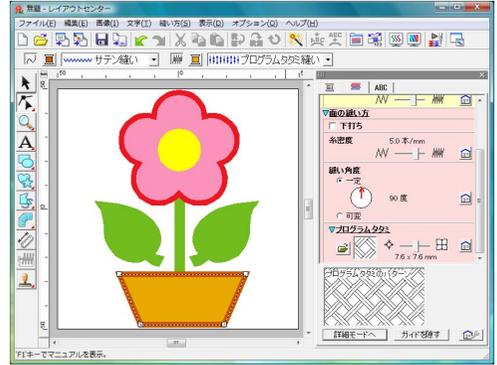


### 2 ポイントを削除します。

- ① ツールボックスの  をクリックし、 をクリックします。
- ② 植木鉢の図形データをクリックします。  
→ 図形データのポイントが表示されます。
- ③ 削除する上端のポイントを右クリックし、**削除**をクリックします。



→ ポイントが削除され、台形になります。



これで、でき上がりです。

-  刺しゅうデータの保存については、P.24 の「刺しゅうデータを保存する」を参照してください。
- オリジナルカードへの書き込みについては、P.18 の「オリジナルカードへ書き込む」を参照してください。

## 4. 文字を入力する

文字の刺しゅうデータを作ります。

レイアウトセンターでは、いろいろな文字の刺しゅうデータを作ることができます。

内蔵フォント： 35種類のアルファベット書体と日本語の楷書と行書の書体が内蔵されています。

TrueType フォント： お使いのパソコンにインストールされている TrueType フォントの刺しゅうデータを作ることができます。

スモールフォント： 文字サイズが 3mm から 6mm の小さい文字です。小さくても、つぶれることなくきれいな文字に縫い上がります。

モノグラム： モノグラム専用フォント、内蔵フォント、TrueType フォントと飾り模様を自由に組み合わせでデザインできます。

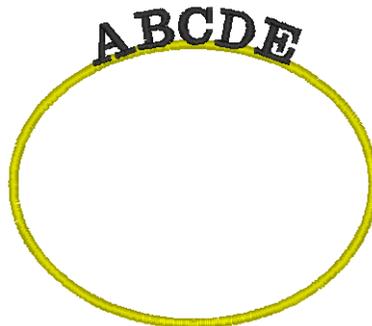
オリジナルフォント： フォントクリエイターで作ったオリジナルデザインのフォントの刺しゅうデータを作ることができます。

文字配列： 文字を円や四角形などの図形データに組み合わせて、いろいろな配列ができます。

変形： 26種類の変形パターンを文字に適用できます。

 P.81の「文字を入力する」

ここでは、文字を入力して、円に配列する方法を説明します。

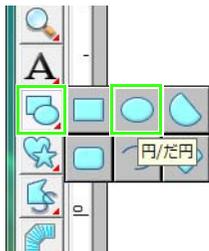


ステップ1	円を描く
ステップ2	文字を入力する
ステップ3	文字を図形に配列する

## ステップ1 円を描く

文字を配列する円を描きます。

- 1 ツールボックスのをクリックし、をクリックします。



- 2 線の色を**キイロ**、線の縫い方を**サテン縫い**に設定します。

 P.30の「図形データを描く、移動する」

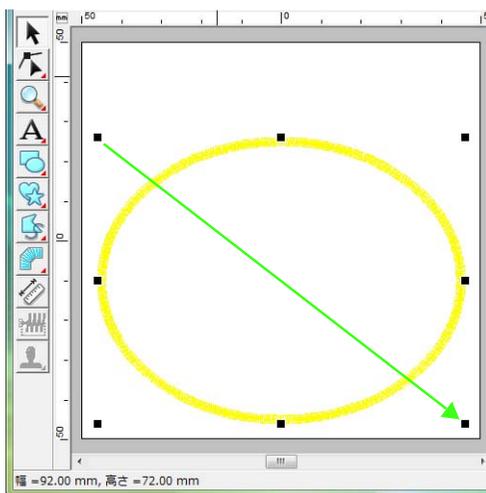


- 3 面は縫わない設定にします。

をクリックして、と縫い方セレクトが表示されない状態にします。



- 4 図のようにデザインページ上でドラッグします。

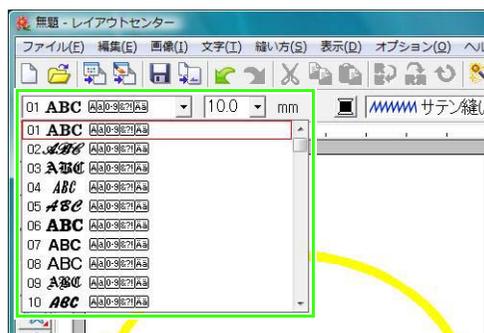


## ステップ2 文字を入力する

- 1 ツールボックスのをクリックし、をクリックします。



画面の上に表示される書体セレクトで、内蔵フォントの書体番号 01 を選択します。



 P.81の「文字/ミニサイズ文字を入力する」

- 2 デザインページをクリックします。
- 3 「ABCDE」とキーボードで入力します。

入力された文字が表示されます。

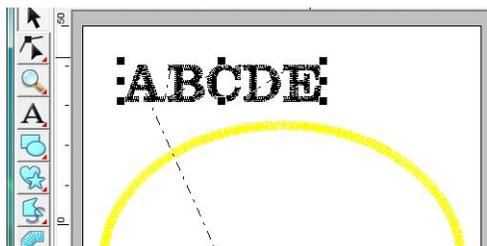


### メモ：

**選択できる文字**の文字をクリックし、**選択**をクリックしても入力できます。

## 4 OK をクリックします。

→ デザインページに文字が入力されます。



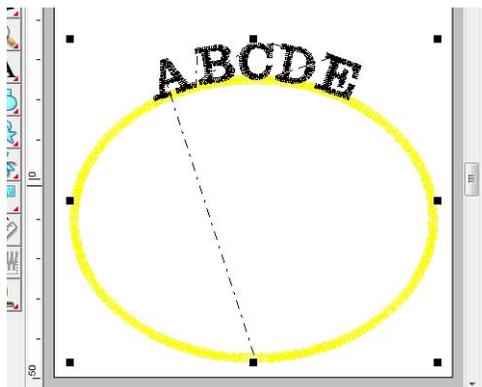
### メモ:

書体やサイズ、系色や縫い方は変更できます。

P.83 の「文字属性を指定する」

## 3 OK をクリックします。

→ 文字が円に沿って配列されます。



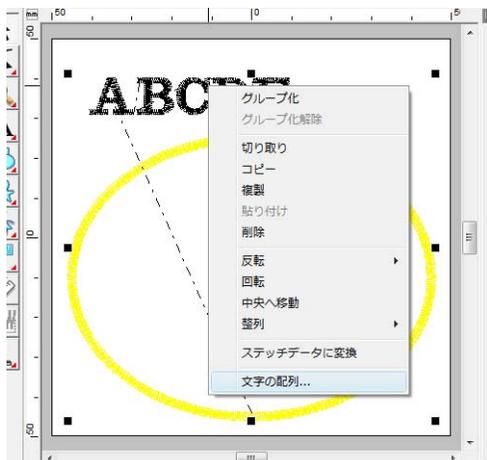
これで、でき上がりです。

## ステップ3 文字を図形に配列する

### 1 文字データと円データの両方を選択します。

P.32 「メモ」

### 2 カーソルを円または文字の上に置き、形が に変わったら、右クリックし、**文字の配列**をクリックします。

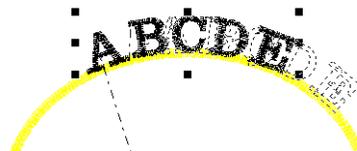


**文字の配列の設定**ダイアログボックスで配列の設定ができます。ここでは初期設定のままにしておきます。

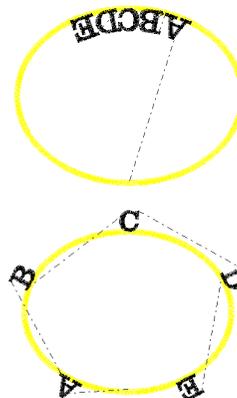


### メモ:

- 配列した文字は、図形上の好きな位置に移動できます。文字データのみを選択し、ドラッグすると、図形に沿って移動できます。



- いろいろな配列のしかたができます。



P.90 の「文字配列を設定する」

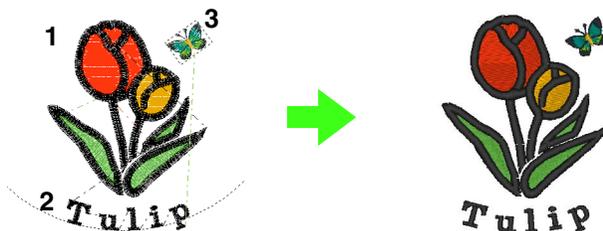
- 文字の変形のパターンボタンでも、円弧配列ができます。

P.87 の「文字を変形させる」

- 刺しゅうデータの保存については、P.24 の「刺しゅうデータを保存する」を参照してください。  
オリジナルカードへの書き込みについては、P.18 の「オリジナルカードへ書き込む」を参照してください。

## 5. 刺しゅうデータを組み合わせる

①画像から作った刺しゅうデータ、②文字入力で作った刺しゅうデータ、③付属の刺しゅうデータを組み合わせて、オリジナルの刺しゅうデータを作ってみましょう。それぞれの刺しゅうデータのサイズや配置を調整しながら、組み合わせていきます。

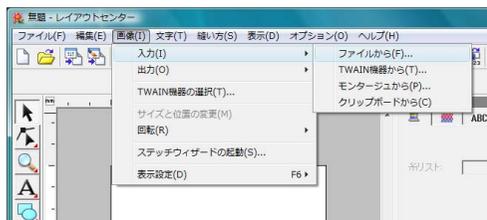


ステップ1	オートパンチで画像から刺しゅうデータを作る
ステップ2	文字を加えて、文字間を調整する
ステップ3	円を加えて、文字を配列する
ステップ4	付属の刺しゅうデータを取り込んで、回転する

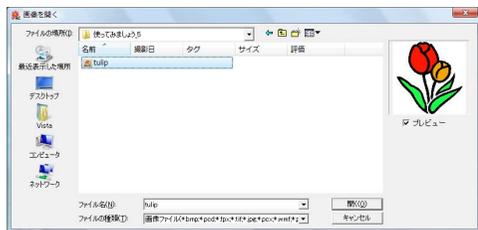
### ステップ1 オートパンチで画像から刺しゅうデータを作る

チューリップの画像を開いて、刺しゅうデータに変換します。

- 1 メニューの**画像**→**入力**→**ファイル**からをクリックします。

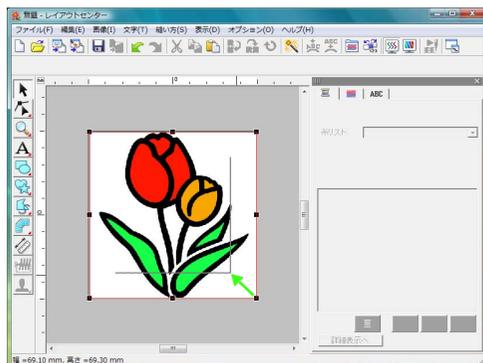


- 2 **ドキュメント (マイドキュメント)** → **刺しゅう PRO 8** → **使ってみましょう** → **使ってみましょう\_5** フォルダを選択し、**tulip.bmp** を取り込みます。



P.21の「レイアウトセンターに画像データを取り込む」

- 3 **(Shift)** キーを押しながらハンドルをドラッグして、サイズを縮小します。



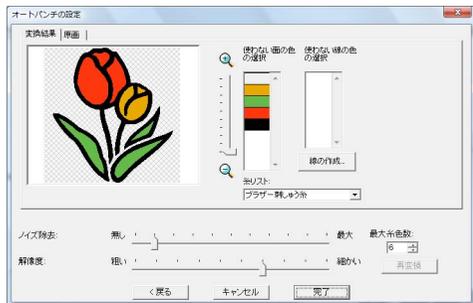
- 4 ツールバーの をクリックします。



- 5 **オートパンチ** を選択し、**次へ** をクリックします。



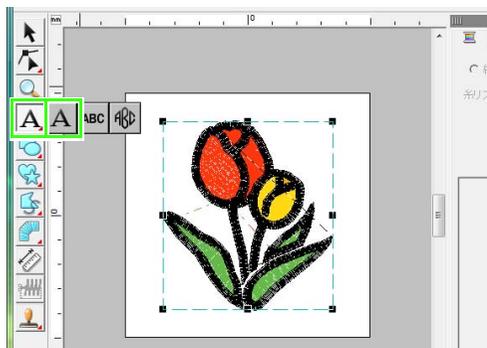
6 完了をクリックします。



→ チューリップの刺しゅうデータができました。

## ステップ2 文字を加えて、文字間を調整する

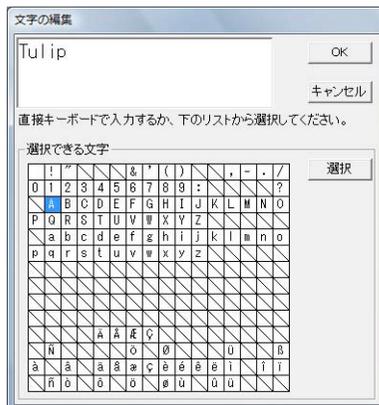
1 ツールボックスの **A** をクリックし、**A** をクリックします。



書体は内蔵フォントの書体番号 01 を選択します。

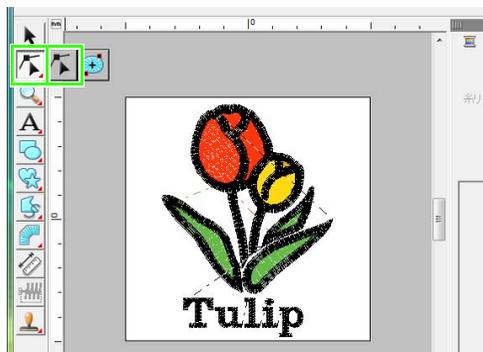
 P.81 の「文字/ミニサイズ文字を入力する」  
チューリップの下あたりをクリックします。

2 キーボードで「Tulip」と文字を入力し、OK をクリックします。



→ 文字が入力されます。

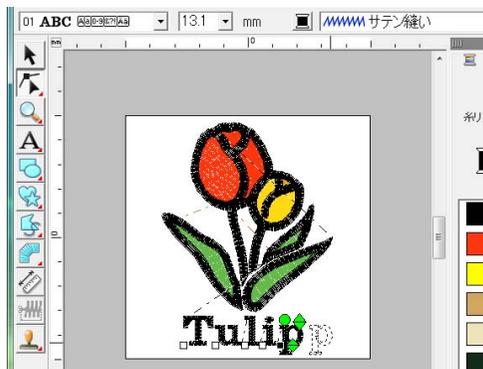
3 ツールボックスの  をクリックし、 をクリックします。



4 文字をクリックし、「p」の左下のポイントをクリックします。

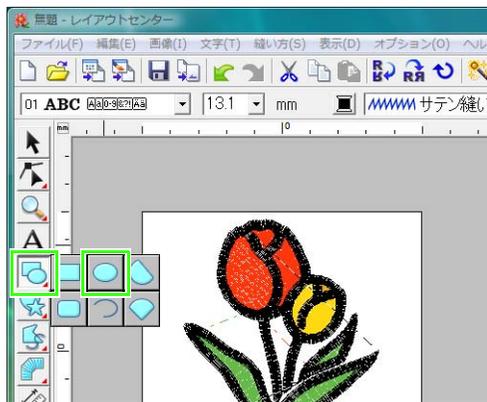
5 「p」の上にカーソルを置き、カーソルの形が  **A** に変わったら、文字を右に移動して文字間を調整します。

同様に他の文字を移動して、全体的な文字間を調整します。



## ステップ3 円を加えて、文字を配列する

- 1 ツールボックスの  をクリックし、 をクリックします。



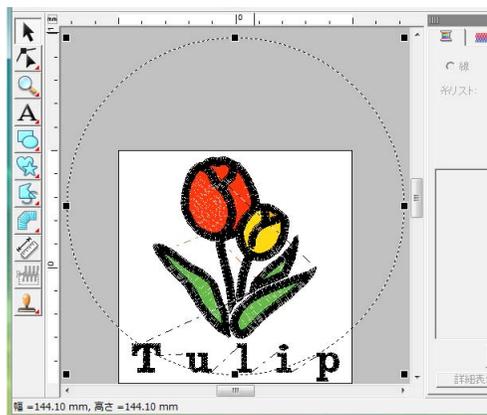
- 2 線、面とも、縫わない設定にします。

 P.37 の「円を描く」

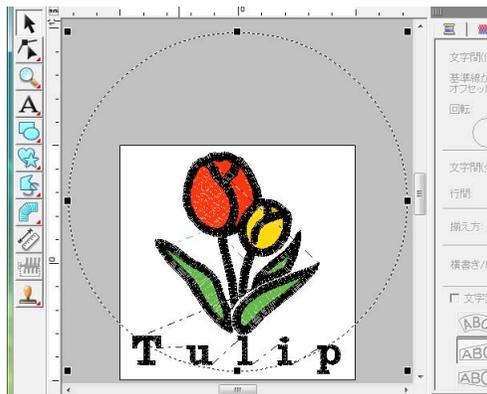


- 3 円を描き、位置を調整します。

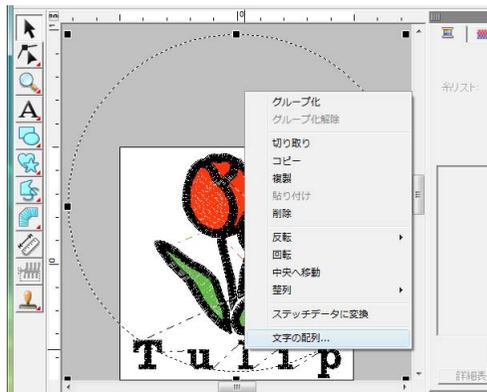
作業領域を使ってドラッグし、大きな円を描き、位置を調整します。



- 4 文字を選択し、**Ctrl** キーを押しながら、円をクリックします。



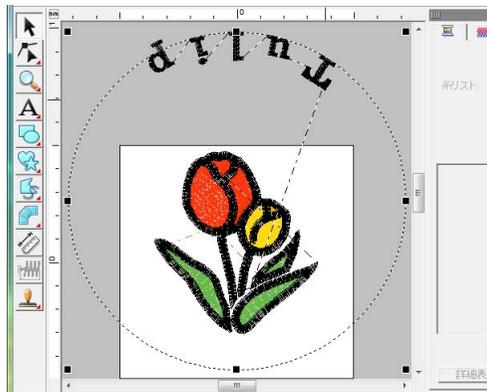
- 5 カーソルを円または文字の上に置き、カーソルの形が  に変わったら、右クリックし、**文字の配列**をクリックします。



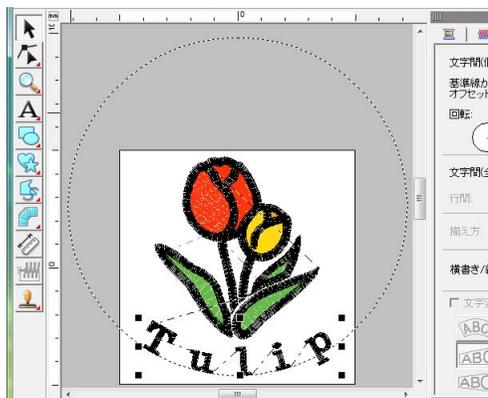
- 6 **反対側**チェックボックスをチェックし、**OK**をクリックします。



→ 文字が円の内側に沿って配列されます。



- 7 選択中のデータ以外の場所をクリックして、いったん何も選択されていない状態にします。文字を選択し、ドラッグして位置を調整します。



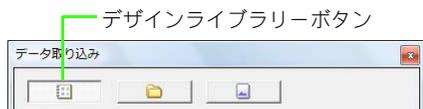
👉 P.38「メモ」、P.90の「文字配列を設定する」

## ステップ4 付属の刺しゅうデータを 取り込んで、回転する

蝶の刺しゅうデータを取り込んで、角度を調整します。

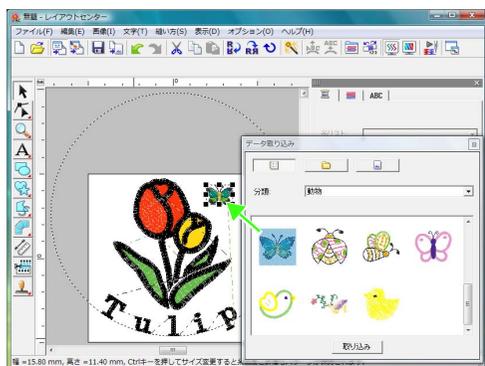
- 1 メニューの**ファイル→データ取り込み**をクリックします。

- 2  をクリックします。

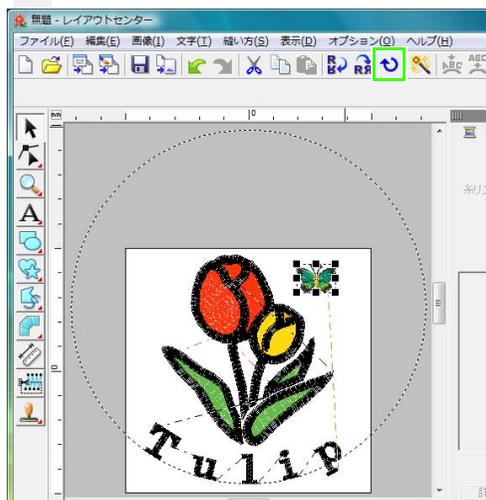


または  が押されている場合は、 をクリックしてデザインライブラリーモードにします。

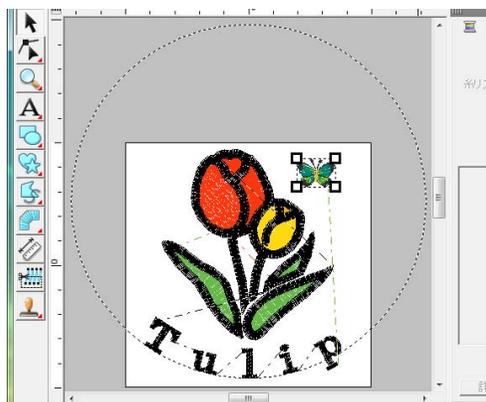
- 3 **分類セレクト**で**動物**を選択し、蝶をデザインページヘドラッグします。



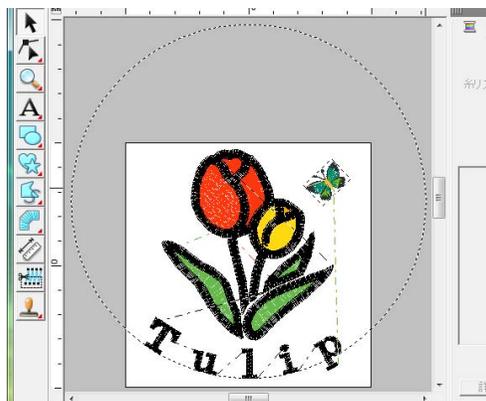
- 4 蝶をクリックして選択し、ツールバーの  をクリックします。



- 5 回転ハンドルをドラッグして、角度を調整します。



これで、でき上がりです。



👉 刺しゅうデータの保存については、P.24の「刺しゅうデータを保存する」を参照してください。  
オリジナルカードへの書き込みについては、P.18の「オリジナルカードへ書き込む」を参照してください。

## 6. プリントデザインと刺しゅうを組み合わせる

背景画像と刺しゅうデータを組み合わせて、作品を作ってみましょう。

レイアウトセンターで画像を取り込み、その画像を背景画像として、刺しゅうデータと組み合わせてデザインします。次に、アイロンプリント紙に印刷して転写するか、布に直接印刷して、背景画像を布にプリントします。そして、その布に刺しゅうデータを刺しゅうします。



ステップ1	背景画像と組み合わせてデザインする
ステップ2	背景画像を印刷する
ステップ3	位置合わせシートを印刷する
ステップ4	刺しゅうする

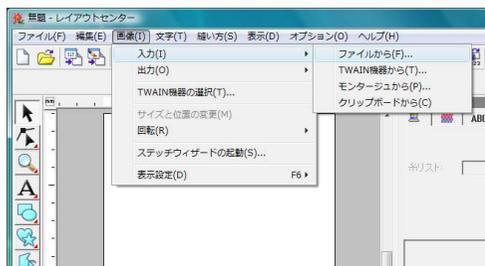
### ステップ1 背景画像と組み合わせてデザインする

画像を取り込んで刺しゅうデータを作ったり、既存の刺しゅうデータを取り込んでデザインします。ここでは、このソフトウェアに付属されているギフトボックス画像 (Bear\_Background.jpg) と熊の刺しゅうデータ (Bear.pes) を使います。

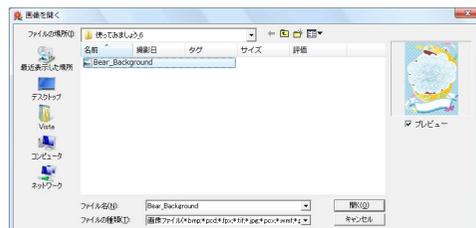
- 1 メニューの**オプション**→**デザインページ**の設定をクリックします。**デザインページ**サイズの**枠サイズ**を選択し、130×180mmに設定して、**OK**をクリックします。

P.68の「デザインページのサイズと色を設定する」

- 2 メニューの**画像**→**入力**→**ファイルから**をクリックします。

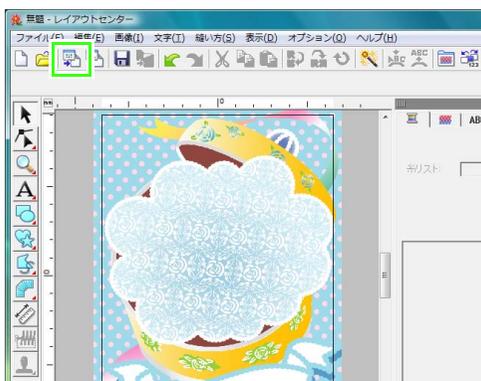


- 3 **ドキュメント (マイドキュメント)** → **刺しゅう PRO 8** → **使ってみましょう** → **使ってみましょう\_6** フォルダを選択し、**Bear\_Background.jpg** を取り込みます。



P.122の「画像データを取り込む」

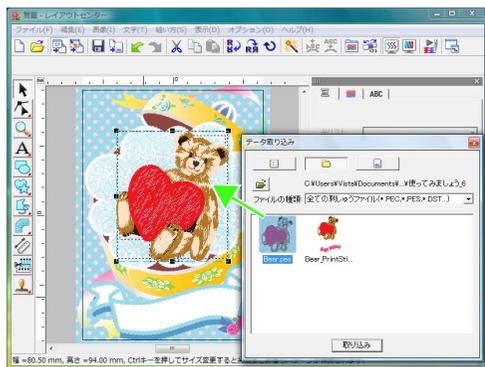
- 4 ツールバーの をクリックします。



# 使ってみましょう

- 5  をクリックし、 をクリックしてフォルダを選択し、**Bear.pes** ファイルをドラッグして取り込みます。

ドキュメント (マイドキュメント) → 刺しゅう PRO 8 → 使ってみましょう → 使ってみましょう \_6 フォルダから取り込みます。



 P.50 の「刺しゅうデータを取り込む」

- 6 文字を入力します。

書体は内蔵フォントの **No. 30**、糸色は**コイピンク**を選択します。



 P.81 の「文字/ミニサイズ文字を入力する」

- 7 文字データを画像のデザインに合わせて変形させます。

- ① **ABC** をクリックします。
- ② **文字変形** チェックボックスをチェックし、**ABC** をクリックします。



- ③ ツールバーの  をクリックし、回転ハンドルをドラッグして、角度を調整します。
- ④  やハンドルをドラッグして、サイズを調整します。



 P.55 の「刺しゅうデータを回転する」、P.87 の「文字を変形させる」

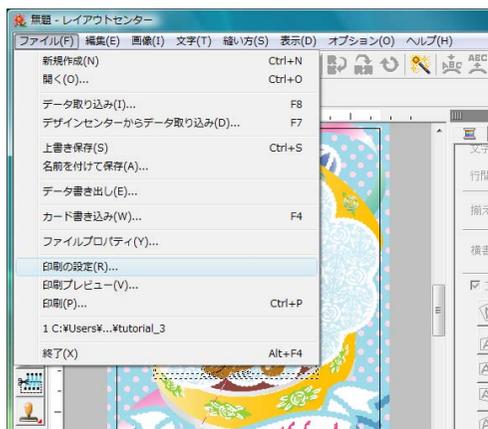
- 8 デザインが完成したら、ミシンで使えるように刺しゅうデータをメディアに保存します。

 刺しゅうデータの保存については、P.24 の「刺しゅうデータを保存する」を参照してください。  
オリジナルカードへの書き込みについては、P.18 の「オリジナルカードへ書き込む」を参照してください。

## ステップ2 背景画像を印刷する

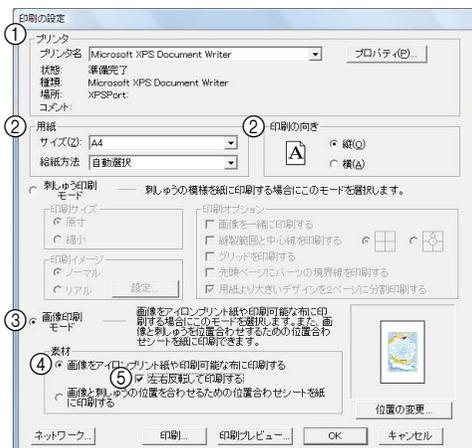
背景の画像をアイロンプリント紙または印刷できる布に印刷します。

- 1 メニューの**ファイル**→**印刷の設定**をクリックします。



- 2 印刷の設定をします。

- ① お使いのプリンタを選択します。
- ② 印刷するアイロンプリント紙または布に合わせて、**用紙**と**印刷の向き**の設定を選択します。
- ③ **画像印刷モード**を選択します。
- ④ **画像をアイロンプリント紙や印刷可能な布に印刷する**を選択します。
- ⑤ 反転印刷が必要なアイロンプリント紙に印刷するときは、**左右反転して印刷する**チェックボックスをチェックします。  
プリンタによっては、用紙選択で「アイロンプリント紙」を選択すると印刷時にプリンタ側で自動的に反転印刷するものがあります。そのようなプリンタを使う場合は、**左右反転して印刷する**チェックボックスのチェックを外してください。  
詳しくは、お使いのプリンタの取扱説明書を参照してください。



- 3 **位置の変更**をクリックします。
- 4 画像の位置を確認します。

画像が印刷領域からはみ出ている場合は、画像をドラッグして位置を調整します。



- 5 **OK** をクリックします。
- 6 **印刷** をクリックします。

### メモ:

**印刷プレビュー**をクリックすると、印刷イメージを確認できます。

- 7 印刷ダイアログボックスの設定を行い、OK をクリックします。

 P.145 の「印刷する」  
→ 印刷が始まります。



### メモ：

アイロンプリント紙または印刷できる布の印刷については、アイロンプリント紙または布に付属の説明書を確認してください。

## ステップ3 位置合わせシートを印刷する

画像と刺しゅうの位置を合わせるためのシートを印刷します。

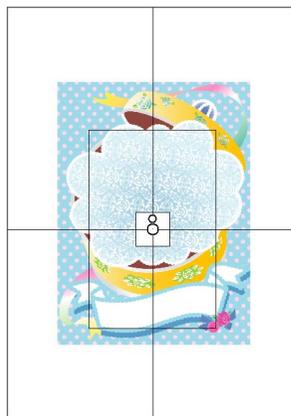
- 1 印刷の設定をします。
- ① 印刷する用紙に合わせて、**用紙と印刷の向き**の設定を選択します。
  - ② **画像と刺しゅうの位置を合わせるための位置合わせシートを紙に印刷する**を選択します。



- 2 印刷をクリックします。

- 3 印刷ダイアログボックスの設定を行い、OK をクリックします。

 P.145 の「印刷する」  
→ 印刷が始まります。



### メモ：

**印刷プレビュー**をクリックすると、印刷イメージを確認できます。

## ステップ4 刺しゅうする

- 1 アイロンプリント紙に印刷した場合は、画像を布に転写します。



### メモ:

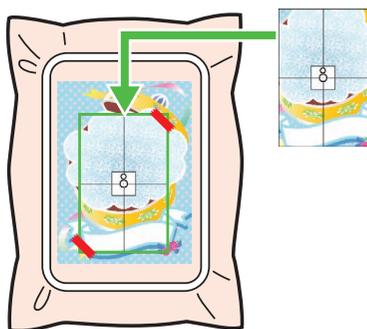
アイロンプリント紙の転写については、アイロンプリント紙に付属の説明書を確認してください。

- 2 刺しゅう枠に布地を張ります。



- 3 背景画像と刺しゅうを合わせるため、布地の画像に合わせて位置合わせシートを布地に貼ります。

- 位置合わせシートが大きいときは、位置合わせがしやすいように適当なサイズに切ってください。
- 位置合わせシートがずれないように、テープで布に固定してください。



- 4 ミシンに刺しゅう枠をセットします。

位置合わせシートがずれないように注意してください。

- 5 針位置を位置合わせシートの中心のマークに合わせます。

- 6 針位置を合わせたら、位置合わせシートを取り除きます。

- 7 ミシンをスタートして縫製します。



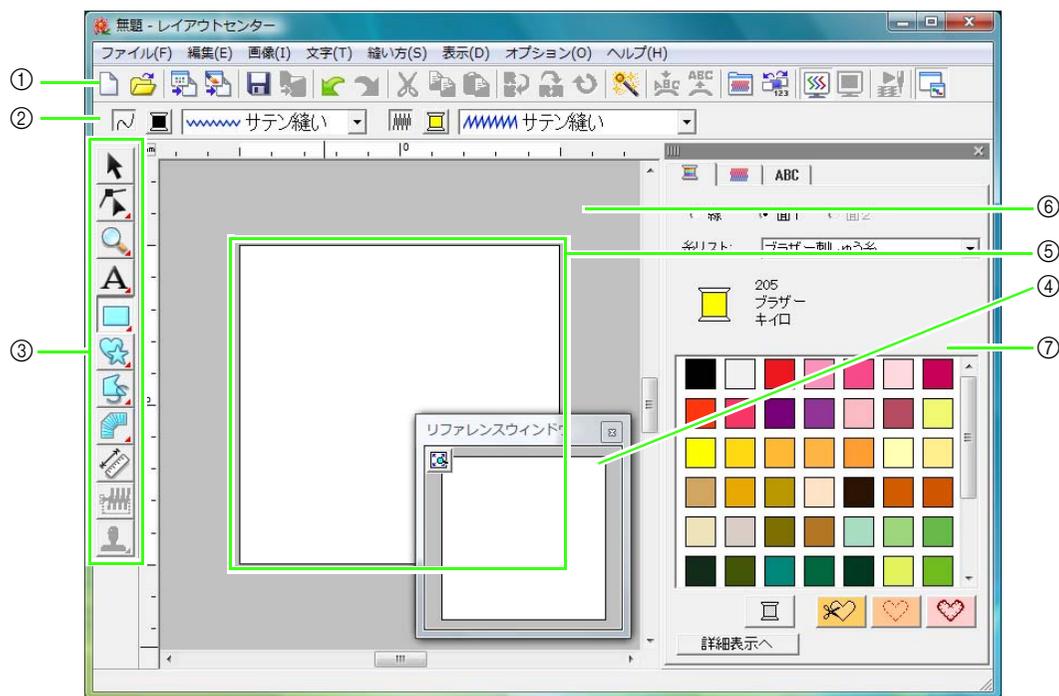
### メモ:

- ミシンの使い方については、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。
- 次のフォルダに、背景画像と刺しゅうを組み合わせたサンプルデータが6個あります。

**ドキュメント(マイドキュメント) ¥刺しゅう PRO 8 ¥サンプル ¥レイアウトセンター ¥印刷と刺しゅう**

# 刺しゅうデータを編集する (レイアウトセンター)

## レイアウトセンターの画面



- ① ツールバー  
各メニュー機能へのショートカットです。
- ② 縫い方バー  
刺しゅうデータの縫い方 (糸色、縫い方の種類) 等を設定します。
- ③ ツールボックス  
刺しゅうデータの作成、選択、編集に使います。

- ④ リファレンスウィンドウ  
デザインページ全体または刺しゅうデータ全体が表示され、デザインページをズームイン表示にしても、全体のどの部分が表示されているかを確認できます。

 P.67の「刺しゅうデータをリファレンスウィンドウで見る」

- ⑤ デザインページ  
この領域内で、刺しゅうデータを作ります。

### メモ:

初期設定で表示されるデザインページのサイズは 100 × 100mm です。

- ⑥ 作業領域
- ⑦ 糸色、縫い方の設定、書式設定ダイアログボックス  
糸色、縫い方の設定、書式設定を統合したダイアログボックスです。タブで表示を切り替えます。

### メモ:

- 統合ダイアログを表示するときは、 または  をクリックするか、メニューの **縫い方** → **縫い方の設定** または **文字** → **書式設定** をクリックします。閉じるときは、 をクリックします。
- 初めて起動したときは、統合ダイアログは画面右側に固定されています。ダイアログ上部のバーをダブルクリックするかドラッグすると、移動できます。固定位置に戻りたいときは、タイトルバーをダブルクリックするか画面右にドラッグします。

# 刺しゅうデータを開く / 取り込む

## メモ:

レイアウトセンターは、同時に複数のファイルを開くことができます。また、同時に開いているファイル間で、データをコピー・ペーストできます。

## 新規デザインページを作る

ツールバーボタン: 

1. ツールバーの  をクリックするか、メニューの **ファイル** → **新規作成** をクリックします。  
→ 新規デザインページが表示されます。

## メモ:

デザインページのサイズは変更できます。

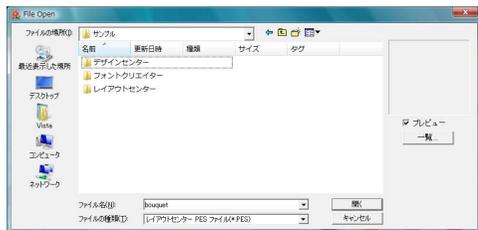
-  P.68 の「デザインページのサイズと色を設定する」

## レイアウトセンターファイルを開く

以前に保存したレイアウトセンターのファイル (.pes ファイル) を開きます。

ツールバーボタン: 

1. ツールバーの  をクリックするか、メニューの **ファイル** → **開く** をクリックします。
2. ドライブ、フォルダを選択します。



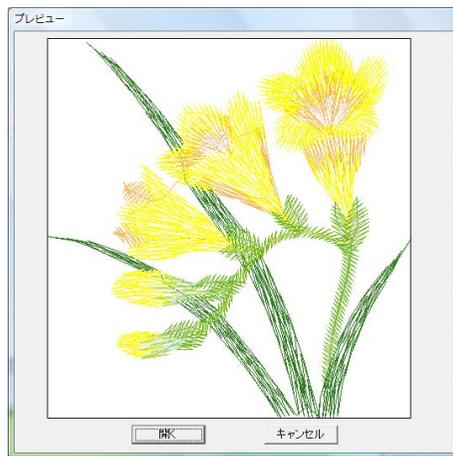
プレビューチェックボックスがチェックされていると、選択したファイルの内容がプレビュー領域に表示されます。

## メモ:

- **一覧** をクリックすると、**一覧** ダイアログボックスで表示中のフォルダ内の刺しゅうデータをアイコンで確認できます。



- 刺しゅうデータを選択して **データ確認** をクリックすると、拡大表示で確認できます。



- 表示されているファイルを開くときは、**開く** をクリックします。

## 注意:

- ファイルが表示されていないときは、選択中のフォルダに .pes ファイルがありません。 .pes ファイルがあるフォルダを選択してください。
- .pes ファイル以外のファイルを選択すると、プレビュー領域に「予期しないファイル形式です。」と表示されます。

3. ファイルを選択して開くをクリックするか、ダブルクリックしてファイルを開きます。

→ 選択されたファイルがデザインページに表示されます。

## メモ:

次の方法でもファイルを開くことができます。

- エクスプローラで刺しゅうファイルを表示させて、刺しゅうファイルをレイアウトセンターのウィンドウヘドラッグする
- エクスプローラで刺しゅうファイルを表示させて、刺しゅうファイルをダブルクリックする

## 刺しゅうデータを取り込む

ツールバーボタン: 

1. ツールバーの  をクリックするか、メニューの **ファイル** → **データ取り込み** をクリックします。
2. 取り込み元に合わせて、表示モードを選択します。



- ① デザインライブラリーモード
- ② フォルダモード
- ③ カードモード

3. ファイルアイコンを選択して取り込みをクリックするか、ダブルクリックします。

→ 刺しゅうデータがデザインページに表示されます。

## メモ:

- **データ取り込み** ダイアログボックスからデザインページへ、ファイルアイコンをドラッグしても取り込むことができます。
- 一度に複数のファイルを選択して取り込むことはできません。

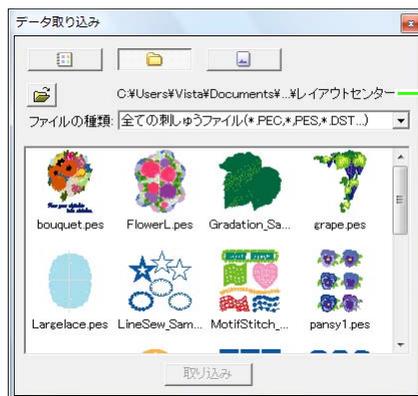
4. **データ取り込み** ダイアログボックスを閉じるときは、右上の  をクリックします。

## ■ デザインライブラリーから

1.  をクリックすると、デザインライブラリーモード画面が表示されます。
2. **分類** セレクタからカテゴリを選択して、目的の刺しゅうデータを表示します。

## ■ フォルダから

1.  をクリックすると、フォルダモード画面が表示されます。



表示中のフォルダの階層を示しています。

2.  をクリックします。  
→ **フォルダの参照** ダイアログボックスが表示されます。
3. フォルダを選択し、**OK** をクリックします。
4. **ファイルの種類** でファイル形式を指定して、刺しゅうデータを表示します。

## 注意:

他社の市販データから刺しゅうデータを取り込むときは、サイズがデザインページに合っているかを確認してください。

## 📖 メモ:

.dst ファイルは糸色情報を持っていないため、レイアウトセンターに取り込むと仮の色が割り当てられます。このため、取り込んだ .dst ファイルは予期しない色になることがあります。**縫い順/ロック**ダイアログボックスで、糸色を変更してください。

🔗 P.121 の「糸色を変更する」

## ■ 刺しゅうカードから

1. 刺しゅうカードをカードライターに挿入します。

🔗 P.18 の「オリジナルカードへ書き込む」

2.  をクリックします。

→ 読み込みが完了すると、カードモード画面が表示され、刺しゅうカード内の刺しゅうデータが表示されます。

## 💡 注意:

著作権上、この機能が使えない刺しゅうカードがあります。

## デザインセンターから刺しゅうデータを取り込む

デザインセンターの刺しゅうデータを、直接デザインページに取り込みます。

🔗 P.154 の「刺しゅうデータを原画から作る (デザインセンター)」

ツールバーボタン: 

1. デザインセンターを起動し、ファイルを開きます。

🔗 P.147 の「原画ステージ」、P.156 の「ファイルを開く」

2. ツールバーの  をクリックするか、メニューの **ファイル→デザインセンターからデータ取り込み** をクリックします。

3. **取り込み倍率**の数値を入力するか、スピンボタンをクリックして指定します。



## 💡 注意:

デザインページのサイズより大きなサイズになる取り込み倍率は、指定できません。また24%以下も指定できません。

4. **方向**で取り込む向きを選択します。
5. **取り込み**をクリックして、刺しゅうデータを取り込みます。

## 刺しゅうデータを確認する

### 表示倍率を切り替える

刺しゅうデータをズームイン、ズームアウトして詳細部分や見えない部分を表示します。

ツールボックスのをクリックすると、5つのボタン が表示されます。目的に応じて、ボタンをクリックします。

: デザインページをクリックすると、表示が拡大されます。

ドラッグすると、特定の領域を拡大して表示できます。ドラッグして表示される四角形で見たい部分を囲みます。マウスボタンを放すと、四角形で囲まれた部分が拡大されます。

: デザインページをクリックすると、表示が縮小されます。

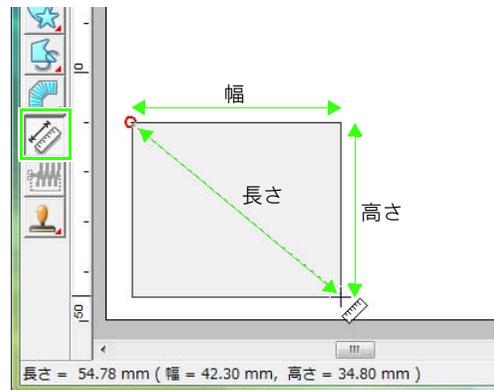
**1:1**: デザインページがほぼ原寸で表示されます。

: 刺しゅうデータを選択してからボタンをクリックします。画面サイズに合わせて、選択した刺しゅうデータ全体が表示されます。

: 画面サイズに合わせて、デザインページ全体が表示されます。

### 2点間の長さを測る

1. ツールボックスのをクリックします。
2. 長さを測りたい場所の始点にカーソルを置き、クリックします。  
→ マウスボタンは押したまま、放さないでください。
3. そのままマウスをドラッグすると、ステータスバーに長さが表示されます。



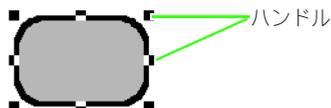
# 刺しゅうデータを編集する

ここでは、移動、拡大/縮小、回転などの刺しゅうデータの編集について説明します。刺しゅうデータを編集するときは、まず刺しゅうデータを選択します。

## 刺しゅうデータを選択する

1. ツールボックスの  をクリックします。
2. 刺しゅうデータをクリックします。

→ 刺しゅうデータの周りにハンドルが表示されます。



### メモ:

- ステータスバーに、刺しゅうデータのサイズ (幅と高さ) が表示されます。
- 刺しゅうデータを選択解除するときは、他の刺しゅうデータを選択するか、刺しゅうデータが無い部分をクリックするか、ツールボックスのズームツール以外の別のボタンをクリックします。

3. 複数の刺しゅうデータを選択するときは、**(Ctrl)** キーを押しながら刺しゅうデータをクリックします。

### メモ:

- ドラッグしても、刺しゅうデータを選択できます。ドラッグして表示される四角形で、全体または一部が囲まれたデータがすべて選択されます。
- **(Tab)** キーを押すと、入力順で刺しゅうデータを選択できます。

## すべての刺しゅうデータを選択する

1. ツールボックスの  をクリックします。
2. メニューの **編集** → **すべて選択** をクリックします。

### メモ:

ロックされた刺しゅうデータは選択されません。

- 🔗 P.121の「刺しゅうデータをロックする」

## 刺しゅうデータを移動する

1. 刺しゅうデータを選択し、その上にカーソルを置きます。
2. ドラッグして、移動します。

### メモ:

- **(Shift)** キーを押しながらドラッグすると、水平方向または垂直方向に移動できます。
- 矢印キーを押すと、矢印キーの方向に0.5mmずつ移動します。矢印キーを押し続けると、矢印キーの方向に移動し続けます。
- **グリッドに固定** が設定されているときは、矢印キーを押すと矢印の方向に1グリッドずつ移動します。

🔗 P.69の「グリッドの設定を変更する」

- 図形データ上に配列された文字データを線に沿って移動する場合、矢印キーでは移動できません。

🔗 P.90の「文字配列を設定する」

## 刺しゅうデータを中央へ移動する

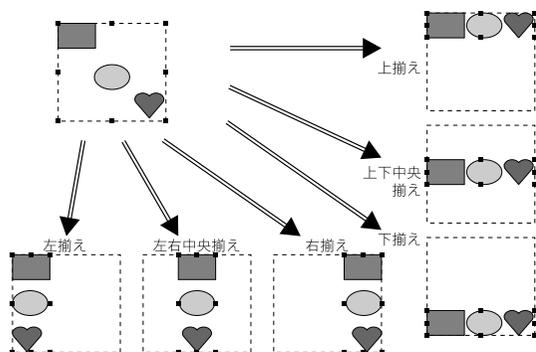
1. 1つまたは複数の刺しゅうデータを選択します。
2. メニューの **編集** → **中央へ移動** をクリックします。

→ 選択された刺しゅうデータ全体が、デザインページの中央へ移動します。

## ■ 刺しゅうデータを整列する

1. 複数の刺しゅうデータを選択します。
2. メニューの**編集**→**整列**をクリックし、**左揃え**、**左右中央揃え**、**右揃え**、**上揃え**、**上下中央揃え**、**下揃え**のいずれかを選択します。

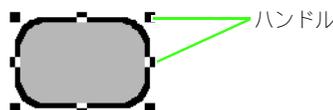
→ 選択された刺しゅうデータは、次のように整列します。



## 刺しゅうデータを拡大/縮小する

### ■ 拡大/縮小する

1. 刺しゅうデータを選択します。



2. ハンドルをドラッグして、刺しゅうデータのサイズを調整します。

#### 📖 メモ:

- **(Shift)** キーを押しながらハンドルをドラッグすると、刺しゅうデータの中心から拡大/縮小されます。
- 拡大/縮小中も、ステータスバーにサイズが表示されます。

#### 💡 注意:

- スタンプは、設定された面が拡大/縮小されても、パターンの大きさや位置は変わりません。スタンプが設定された刺しゅうデータのサイズを変更するときは、変更後にスタンプの位置などを確認してください。

👉 P.117の「スタンプを設定/編集する」

- 刺しゅうカードから読み込んだ刺しゅうデータには、拡大/縮小できないものがあります。
- ステッチデータをそのまま拡大/縮小すると、針数は変わらないので刺しゅう品質が落ちることがあります。**(Ctrl)** キーを押しながら拡大/縮小すると、糸密度やタタミ縫いの品質を保ったまま、サイズを変えられます。

👉 P.236の「ステッチデータの拡大/縮小について」

## ■ サイズを指定して拡大/縮小する

1. 刺しゅうデータを選択します。
2. メニューの**編集**→**数値設定**→**サイズ**をクリックします。
3. 縦横比を固定して拡大/縮小するときは、**縦横比を保持**チェックボックスをチェックします。



4. 比率 (%) またはサイズ (mm またはインチ) のどちらで指定するか、選択します。
5. **幅**と**高さ**の数値を入力するか、スピンドタンをクリックして指定します。
6. 糸密度やタタミ縫いの品質を維持したまま刺しゅうデータのサイズを変更したいときは、**糸密度とパターンを保持**をチェックします。

## メモ:

糸密度とパターンを保持はステッチデータが選択されているときのみチェックできます。

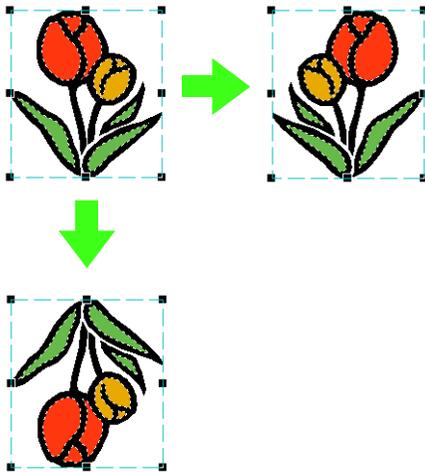
 P.236 の「ステッチデータの拡大/縮小について」

7. OK をクリックします。

## 刺しゅうデータを上下または左右に反転する

ツールバーボタン:  

1. 刺しゅうデータを選択します。
2. ツールバーの  をクリックするか、メニューの **編集** → **反転** → **上下** をクリックします。  
 ツールバーの  をクリックするか、メニューの **編集** → **反転** → **左右** をクリックします。



## 注意:

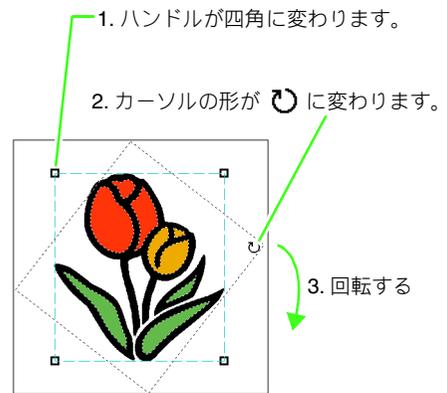
刺しゅうカードから読み込んだ刺しゅうデータには、反転できないものがあります。

## 刺しゅうデータを回転する

### ■ 回転する

ツールバーボタン: 

1. 刺しゅうデータを選択します。
2. ツールバーの  をクリックするか、メニューの **編集** → **回転** をクリックします。
3. ハンドルをドラッグすると、回転します。



## メモ:

**Shift** キーを押しながらドラッグすると、15度単位で回転します。

## ■ 角度を指定して回転する

1. 刺しゅうデータを選択します。
2. メニューの**編集**→**数値設定**→**回転**をクリックします。
3. 回転角度の数値を入力するか、スピンドタンをクリックして指定します。



### 📖 メモ:

→の矢印をドラッグしても、回転角度を指定できます。

4. OK をクリックします。

## 刺しゅうデータをグループ化/ グループ化解除する

### ■ グループ化する

複数の刺しゅうデータをグループ化して 1 つの刺しゅうデータにします。グループ化された刺しゅうデータは、編集する際に 1 つの刺しゅうデータとして処理されます。

1. 複数の刺しゅうデータを選択します。
2. メニューの**編集**→**グループ化**をクリックします。

→ 選択した刺しゅうデータがグループ化されます。

### 📖 メモ:

ドーナツ縫いや図形データへの文字配列が設定されている刺しゅうデータの一部分をグループ化しようとする、設定されているデータ全体がグループ化されます。

### ■ グループ化を解除する

1. グループ化された刺しゅうデータを選択します。
2. メニューの**編集**→**グループ化解除**をクリックします。  
→ グループ化が解除されます。

### ■ グループ化された刺しゅうデータを個別に編集する

刺しゅうデータをグループ化した後も個別に編集ができます。

1. グループ内の個別の刺しゅうデータは、**Alt** キーを押しながら刺しゅうデータをクリックして選択します。グループ内の複数の個別データを選択する場合は、**Alt** キーと **Ctrl** キーを押しながら刺しゅうデータをクリックします。

### 📖 メモ:

グループ化された刺しゅうデータ全体またはグループ内の個別データを選択すると、周りに水色の枠が表示されます。

2. 刺しゅうデータを編集します。

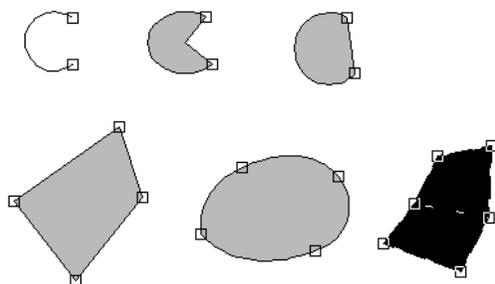
### 📖 メモ:

グループ内の刺しゅうデータが削除され、グループを構成する刺しゅうデータが1つになると、グループ化は解除されます。

# 刺しゅうデータを変形させる

## ポイントを選択する

1. ツールボックスの  をクリックします。  
→ 2つのボタン   が表示されます。
2.  をクリックします。
3. 刺しゅうデータをクリックします。  
→ 既存ポイントが、小さな白い四角で表示されます。



### メモ:

ポイントを選択できる刺しゅうデータは、直線、曲線、円弧、扇形、円弧と弦、マニュアルパンチングデータとステッチデータです。

4. ポイントをクリックします。  
→ 選択されたポイントは、黒い四角で表示されます。

### メモ

次の方法で複数のポイントを選択できます。

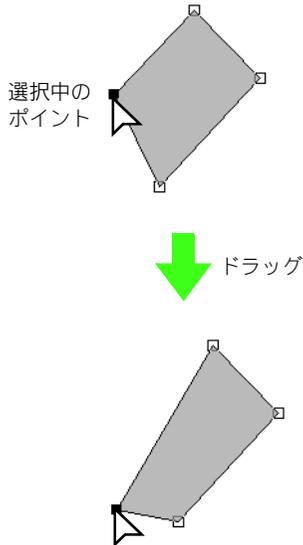
- ドラッグ  
→ 表示された四角形で囲まれたポイントすべてを選択
- **Ctrl** キーを押しながらポイントをクリック  
→ クリックしたポイントを追加選択  
→ 選択されているポイントをクリックすると、選択解除
- **Shift** キーを押しながらポイントをクリック  
→ 選択したポイント間のポイントすべてを選択
- **Shift** キーを押しながら  /  キーを押す  
→ 終点の方向へ追加選択  
→  /  キーを押すと、選択解除
- **Shift** キーを押しながら  /  キーを押す  
→ 始点の方向へ追加選択  
→  /  キーを押すと、選択解除

また、次の方法で始点または終点の方向へ、選択するポイントを変更できます。

- **Ctrl** キーを押しながら  /  キーを押す  
→ 終点の方向へ選択を変更
- **Ctrl** キーを押しながら  /  キーを押す  
→ 始点の方向へ選択を変更
- ステッチデータのポイント選択については、P.62 の「ステッチデータの針落ち点を編集する」を参照してください。

## ポイントを移動する

1. ポイントを選択します。  
 P.57の「ポイントを選択する」
2. ポイントを別の位置にドラッグします。



### 注意：

このとき、必ず、選択したポイントをドラッグしてください。他の場所をドラッグすると、新たなポイントが挿入されたり、選択したポイントの選択が解除されます。

### メモ：

- 選択されているすべてのポイントが同じ方向に移動します。
- **Shift**キーを押しながらドラッグすると、水平方向または垂直方向に移動できます。
- 矢印キーを押すと、矢印キーの方向に0.5mmずつ移動します。矢印キーを押し続けると、矢印キーの方向に移動し続けます。
- **グリッドに固定**が設定されているときは、矢印キーを押すと矢印キーの方向に1グリッドずつ移動します。

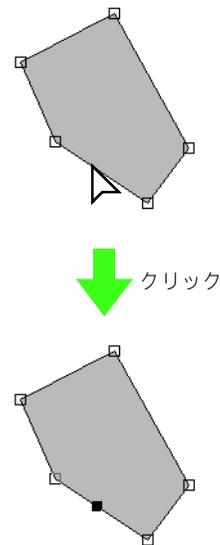
 P.69の「グリッドの設定を変更する」

- 円弧・扇形・円弧と弦の場合、端点の移動に矢印キーを使うことはできません。
- ドーナツ縫いが設定された刺しゅうデータのポイントも移動できます。ただし、内側の刺しゅうデータのポイントを外側の刺しゅうデータを越えて外側に移動することはできません。移動したい場合は、ドーナツ縫いを解除してください。

## ポイントを挿入する

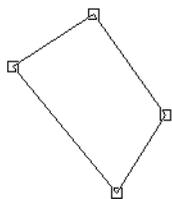
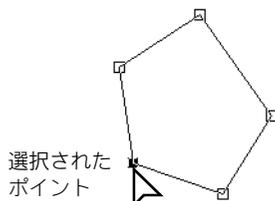
刺しゅうデータの形を変更するために、新しくポイントを挿入します。曲線の新たなポイントは、ハンドルを使って接線方向を変えることもできます。

1. ツールボックスの  をクリックし、 をクリックします。
2. 刺しゅうデータをクリックします。
3. 輪郭線上をクリックして、ポイントを挿入します。



## ポイントを削除する

1. ポイントを選択します。  
 P.57の「ポイントを選択する」
2. **Delete** キーを押すか、メニューの**編集**→**削除**をクリックします。

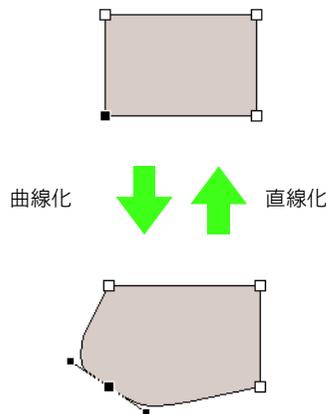


## 直線を曲線に、または曲線を直線に変える

1. ポイントを選択します。  
 P.57の「ポイントを選択する」

2. メニューの**編集**→**ポイント**→**曲線化**または**直線化**をクリックします。

→ 曲線のポイントは角に、角は曲線に変わります。



## 尖った曲線の角をとる (スムーズ化)

1. 曲線のポイントを選択します。  
 P.57の「ポイントを選択する」



2. メニューの**編集**→**ポイント**→**スムーズ化**をクリックします。

→ 角が曲線になります。



3. 曲線ハンドルをドラッグして調整します。

## 曲線ハンドルを対称化する

1. 曲線のポイントを選択します。

 P.57の「ポイントを選択する」



2. メニューの**編集**→**ポイント**→**対称化**をクリックします。
3. 曲線ハンドルをドラッグして調整します。

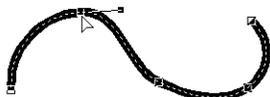
→ 2本の曲線ハンドルは、常に同じ長さで動きます。



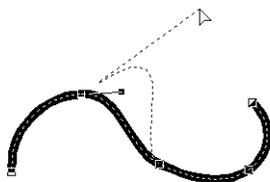
## 曲線を尖らせる

1. 曲線のポイントをクリックします。

 P.57の「ポイントを選択する」



2. メニューの**編集**→**ポイント**→**尖化**します。
- 2本の曲線ハンドルが個別に調整できるようになります。



3. 曲線ハンドルをドラッグして調整します。

## 縫い始終点/中心点を移動する

### ■ 始点 / 終点を移動する

ツールボックスのツールを使って作られた、刺しゅうデータの縫い始終点の位置を調整できます。

1. ツールボックスのをクリックします。  
→ 2つのボタンが表示されます。
2. をクリックします。

### 注意：

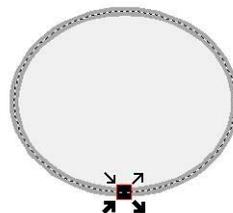
縫いの始終点が最適化されていると (メニューの**縫い方**→**縫い始終点の最適化**がチェックされている場合)、縫いの始終点の編集はできません。このツールで縫いの始終点を編集するときは、メニューの**縫い方**→**縫い始終点の最適化**をクリックして解除してください。

3. 刺しゅうデータをクリックします。  
→ 刺しゅうデータの始終点が表示されます。

### メモ：

同心円縫いや放射縫いが設定されている場合は、中心点も表示され、編集できます。

 P.61の「中心点を移動する」



### 注意：

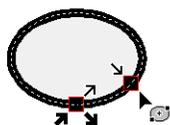
ステッチデータ、文字データ、マニュアルパンチングデータの始終点は編集できません。

-   輪郭線の縫い始めの点です。前のデータからこの位置へ接続されます。
-   輪郭線の縫い終わりの点です。この位置から次のデータへ接続されます。
-   面縫いの縫い始めの点です。前のデータからこの位置へ接続されます。
-   面縫いの縫い終わりの点です。この位置から次のデータへ接続されます。

## 📖 メモ:

縫い設定がオフになっている面部や線部は、その始終点は表示されません。

4. 矢印マークを移動したい位置にドラッグすると、アウトラインに沿って移動します。



## 💡 注意:

- 正方形 / 長方形、円 / だ円・円弧描画ツール、図形描画ツール、線描画ツールで描かれた刺しゅうデータのみ縫い始終点の編集ができます。マニュアルパンチングデータや文字入力ツールで作られた刺しゅうデータやステッチデータは編集できません。
- メニューの縫い方→縫い始終点の最適化をオンにすると、それまでの始終点の編集内容は破棄され、自動的に最適化されます。

## ■ 縫い始終点を最適化する

縫い始終点の位置を自動調整して最適化します。

1. メニューの縫い方→縫い始終点の最適化をクリックします。

チェックマークが表示され、縫い始終点の最適化が行われます。

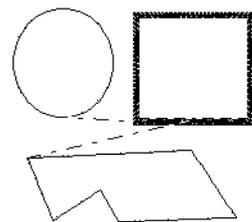
最適化を解除するときは、メニューの縫い方→縫い始終点の最適化をクリックしてチェックを外します。

→ チェックマークが縫い始終点の最適化に表示されているときは、連続する同色の刺しゅうデータについて、縫い始終点が最短距離で結ばれるように位置が調整されます。

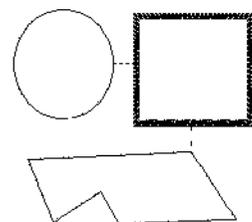
## 💡 注意:

- 長方形・円・円弧・円弧と弦・扇形描画ツール、図形描画ツール、線描画ツールで描かれた刺しゅうデータのみ縫い始終点の最適化ができます。
- メニューの縫い方→縫い始終点の最適化を設定すると、ポイント編集ツールで縫い始終点の編集はできません。

→ チェックマークが**始終点の最適化**に表示されていないときは、始終点は最適化されていません。ただし、始終点の最適化を設定後解除しても、設定された縫い始終点の位置は保持されます。ポイント編集ツールで縫い始終点を編集できます。



縫い始終点の最適化設定前



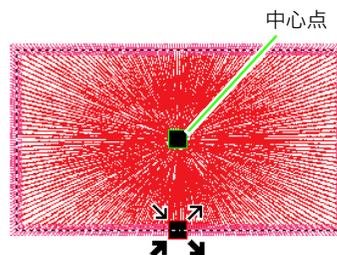
縫い始終点の最適化設定後

## ■ 中心点を移動する

同心円縫いまたは放射縫いが設定された面縫いは、中心点を変更して装飾効果を調整できます。

1. ツールボックスのをクリックし、をクリックします。
2. 同心円縫いや放射縫いが設定された面をクリックします。

→ 中心点と縫い始終点が表示されます。



3. プレビュー画面で確認しながら、中心点をドラッグして模様を調整します。

## ステッチデータを編集する

ステッチデータは、刺しゅうの縫い目は実線（——）、渡り糸（刺しゅうデータ間を結ぶステッチデータ）の縫い目は一点鎖線（- - -）で表示されます。

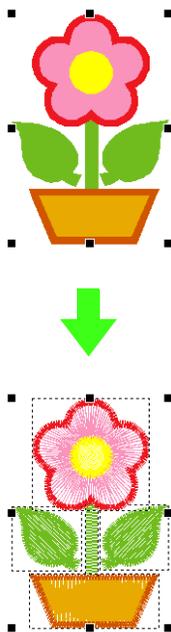
### 刺しゅうデータをステッチデータに変換する

図形データ、文字データ、マニュアルパンチングデータをステッチデータに変換し、編集できます。

 P.70の「図形を描く」

1. 刺しゅうデータを選択します。
2. メニューの縫い方→ステッチデータに変換をクリックします。

選択されたデータが、ステッチデータに変換されます。



→ ステッチデータに変換されると、データの周囲に点線が表示されます。変換されたデータは、ポイント編集ツールで針落ち点の編集ができます。

#### メモ：

- ドーナツ縫いや図形データへの文字配列が設定されている刺しゅうデータは、その一部をステッチデータに変換しようとする時、設定されているデータ全体がステッチデータに変換されます。
- 縫い方が設定されていない刺しゅうデータは、ステッチデータに変換すると削除されます。
- ステッチデータに変換できる刺しゅうデータは、図形データ、文字データ、マニュアルパンチングデータです。

### ステッチデータの針落ち点を編集する

1. ツールボックスのをクリックし、をクリックします。
2. ステッチデータをクリックします。

→ 針落ち点が、小さな白い四角で表示されます。

#### 注意：

ステッチデータは、点線の四角で囲まれて表示されます。  
点線の四角で囲まれていない刺しゅうデータ（ステッチデータ以外のデータ）は、針落ち点を編集できません。

3. 白い四角をクリックして、針落ち点を選択します。

→ 選択された針落ち点は、黒い四角で表示されます。

## 📖 メモ:

- 渡り糸をクリックすると、その両端の針落ち点が選択されます。
- 刺しゅうデータのポイント選択と同じ方法で、複数の針落ち点を選択したり、選択する針落ち点を切り替えたりできます。

👉 P.57の「ポイントを選択する」

- **(Tab)** キーを押すと、縫い順に糸色ごとのすべての針落ち点を選択できます。

**(Shift)** キーを押しながら **(Tab)** キーを押すと、縫い順の逆順に糸色ごとのすべての針落ち点を選択できます。

## 📖 メモ:

次の方法で糸色ごとの始点を選択できます。

- **(Ctrl)** キーと **(Home)** キーを押す  
→ 縫い順が1番目の色の部分の始点を選択
- **(Ctrl)** キーと **(End)** キーを押す  
→ 縫い順が最後の色の部分の終点を選択
- 針落ち点を選択し、**(Home)** キーを押す  
→ 選択した針落ち点の色の部分の始点を選択
- 針落ち点を選択し、**(End)** キーを押す  
→ 選択した針落ち点の色の部分の終点を選択

## 💡 注意:

針落ち点を選択するときは、確実に針落ち点(白い四角)をクリックしてください。デザインページの空白部分をクリックすると、選択中の針落ち点がすべて選択解除されます。

## ■ 針落ち点を移動する

1. 針落ち点を選択し、ドラッグして移動します。

## 📖 メモ:

刺しゅうデータのポイント移動と同じ方法で、針落ち点を移動できます。ただし、矢印キーを押すと0.1mmずつ移動します。

👉 P.58の「ポイントを移動する」

## ■ 針落ち点と渡り糸を挿入する

1. 針落ち点間の線上をクリックして、新しい針落ち点を挿入します。

針落ち点を挿入して渡り糸に変更するときは、**(Ctrl)** と **(Shift)** キーを押しながら線をクリックします。

## ■ 針落ち点を削除する

1. 針落ち点を選択し、**(Delete)** キーを押して削除します。

## 📖 メモ:

渡り糸の終点を削除すると、その渡り糸は削除され、前後の針落ち点がつながります。

## ステッチデータをブロックに変換する (STB 機能)

STB (Stitch to Block) 機能で、ステッチデータをブロック (マニュアルパンチングデータ) に変換できます。マニュアルパンチングデータに変換すると、縫い方の設定を変更できるようになります。また、拡大/縮小しても、刺しゅう品質を保持できるようになります。

1. ステッチデータを選択します。
2. メニューの縫い方 → STB 機能をクリックします。
3. スライダーをドラッグし、パラメータを調整します。



## 📖 メモ:

通常は**普通**に設定します。ステッチデータの複雑さにより、必要に応じて**粗い**または**細かい**を設定します。

4. **OK** をクリックします。

→ グループ化されたマニュアルパンチングデータに変換されます。

マニュアルパンチングデータのグループ化/グループ化解除、グループ化された刺しゅうデータの個別の編集方法については、P.56の「刺しゅうデータをグループ化/グループ化解除する」を参照してください。

## 注意：

刺しゅうカードから取り込んだステッチデータには、**STB 機能**を使えないものがあります。



P.236の「ステッチデータの拡大/縮小について」

## ステッチデータの一部を切り取る

1. ツールボックスの  をクリックします。

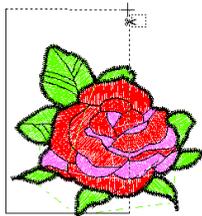
## 注意：

このツールは、ステッチデータにのみ使うことができます。

## メモ：

レイアウトセンターの描画ツールや文字入力ツールで作られた刺しゅうデータは、ステッチデータに変換すると、ステッチ分割機能を使うことができます。

2. ステッチデータをクリックします。  
→ 選択したステッチデータ以外のデータは非表示になります。
3. 切り取り部分の始点をクリックします。
4. クリックして次の角 (ポイント) を指定します。  
→ カーソルを動かすと切り取り線が点線に表示され、角 (ポイント) をクリック (入力) すると実線に変わります。



## メモ：

- 右クリックすると、直前に入力したポイントを削除できます。右クリックすることにより、入力した逆の順序で1つずつポイントを削除できます。
- ステッチデータを囲んでいない切り取り線は無効になります。この場合、エラーメッセージが表示され、切り取り線は削除されません。

5. 切り取り部分の多角形ができれば、**ダブルクリック**します。
6. 切り取った部分を編集します。

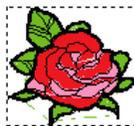
## 注意：

- 複数の切り取り部分を指定して、一度に切り取ることはできません。切り取る部分の数だけ、この手順を繰り返してください。
- 切り取るごとにその部分の縫い順は、最後へ送られます。切り取り部分内の糸色の縫い順は、元の刺しゅうデータの糸色の縫い順が保持されます。

## ステッチデータを色ごとに分解する

ステッチデータを色ごとに分解します。

分解前



分解後



1. ステッチデータを 1 つまたは複数個選択します。
2. メニューの縫い方→ステッチデータを色毎に分解をクリックします。

→ ステッチデータが色ごとに分解され、それぞれ点線で囲まれます。

## メモ：

ステッチデータ以外のデータや、ステッチデータ以外のデータを含んでグループ化された刺しゅうデータを選択している場合は、この機能は使えません。

## 縫製イメージをプレビューする

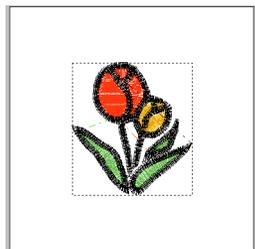
刺しゅうデータを作っているときや完成後に、そのデータの縫製イメージや仕上がりをイメージをプレビューできます。実際にどのように縫われるかを確認できます。

### ■プレビューを見る

ツールバーボタン: 

1. ツールバーの  をクリックするか、メニューの表示→プレビューをクリックします。

→ 刺しゅうデータの縫製イメージが表示されます。



2. 通常表示に戻るには、1. を繰り返すか、**Esc** キーを押します。

### ■リアルプレビューを見る

ツールバーボタン: 

1. ツールバーの  をクリックするか、メニューの表示→リアルプレビューをクリックします。

→ 刺しゅうデータの仕上がりをイメージが表示されます。



2. 通常表示に戻すには、1. を繰り返すか、**Esc** キーを押します。

#### 注意:

- リアルプレビュー画面では、刺しゅうデータの編集はできません。
- デザインページに画像が取り込まれているときは、画像の表示設定の条件に従って画像が表示されます。

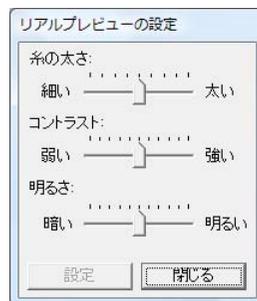
 P.125 の「画像の表示設定を変更する」

#### メモ:

##### リアルプレビューの設定を変更する

リアルプレビューの設定を変更して、刺しゅうデータを見やすくできます。

- 1) メニューの表示→リアルプレビューの設定をクリックします。
- 2) 必要に応じて、糸の太さ、コントラスト、明るさの設定を変更します。



- 3) リアルプレビューが表示されているときは、設定をクリックすると、変更した設定でリアルプレビューが表示されます。リアルプレビューが表示されていないときは、OK をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

 P.65 の「縫製イメージをプレビューする」

## ステッチを確認する

マシンでどのように縫われていくか、縫製の様子をステッチシミュレーターで確認できます。

ツールバーボタン: 

1. ツールバーの  をクリックするか、メニューの表示→ステッチシミュレーターをクリックします。

ステッチシミュレーターダイアログボックスが表示され、デザインページの刺しゅうデータの表示が消えます。



2.  をクリックして、シミュレーションを開始します。

### メモ:

スライダはシミュレーションの進行状況を示しています。また、スライダをドラッグすると、シミュレーションを進めたり、戻したりできます。



ボタンをクリックすると、次の操作ができます。

 : シミュレーションを停止し、開始前の状態に戻ります。

 : シミュレーションを一時停止します。 をクリックすると、再開します。

 : スライダをドラッグすると、シミュレーションの表示スピードを調整できます。

 : 現在または前の色の縫い始めまで戻ります。

 : 次の色の縫い始めまで進みます。

 : 針数 / ステップボックスで指定した数だけ針数を戻ります。

 : 針数 / ステップボックスで指定した数だけ針数を進めます。

 \* : 前の枠パーツ部の縫い始めまで戻ります。

 \* : 次の枠パーツ部の縫い始めまで進みます。

\* カスタムサイズのデザインページで作った分割模様の刺しゅうデータの場合にのみ表示されます。

数値はそれぞれ次の内容を示しています。

 22574 — 描画中の針数  
90657 — 全体の針数

 4 — 描画中の糸色の縫い順  
10 — 全体の糸数

 2 — 描画中の枠パーツの縫い順  
4 — 全体の枠パーツ数

このインジケータは、カスタムサイズのデザインページで作られた分割模様の刺しゅうデータの場合にのみ表示されます。

3. ダイアログボックスの右上の  をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

### メモ:

- 刺しゅうデータを選択してから **ステッチシミュレーター** ダイアログボックスを表示すると、選択した刺しゅうデータのみシミュレーションできます。
- デザインページをズームインしてから **ステッチシミュレーター** ダイアログボックスを表示すると、拡大表示されてステッチが見やすくなります。

## 刺しゅうデータを リファレンスウィンドウで見る

デザインページのデータは、リファレンスウィンドウに表示されます。ズームインして作業をしているときに、デザインページ全体を確認できます。現在表示されている部分が赤い枠（表示領域枠）で表示され、全体のどの部分を作業しているかを確認できます。

ツールバーボタン：

リファレンスウィンドウの表示 / 非表示は、ツールバーのをクリックするか、メニューの**表示**→

**リファレンスウィンドウ**をクリックするか、ショートカットキー（**F11**）を押して切り替えます。

### ■ 表示方法を切り替える

リファレンスウィンドウは、デザインページ全体を表示するか、刺しゅうデータ全体を表示領域サイズに合わせて表示するか、切り替えることができます。

1. をクリックします。

→ リファレンスウィンドウの表示方法が切り替わります。

デザインページ全体を表示



刺しゅうデータ全体を表示



### ■ 表示領域枠を移動する

表示領域枠を移動して、画面に表示するデザインページの領域を、リファレンスウィンドウで指定できます。

1. カーソルを表示領域枠の上に移動します。
2. 表示領域枠をドラッグして、デザインページの表示したい部分を囲む位置に移動します。

→ 表示領域枠で囲まれたデータ部分が表示されます。

### ■ 表示領域枠を書き直す

枠を書き直して、画面に表示するデザインページの領域を、リファレンスウィンドウで指定できます。

1. リファレンスウィンドウの表示したい部分をクリックまたはドラッグします。

→ クリックした位置を中心とした表示領域枠に書き直され、表示領域枠で囲まれた部分が表示されます。特定の領域を表示するときは、目的の部分を囲むようにドラッグします。

### ■ 表示領域枠を拡大 / 縮小する

1. カーソルを表示領域枠の角に移動します。
2. 角をドラッグし、表示領域枠のサイズを調節します。

# デザインページのサイズと色を設定する

デザインページのサイズと色、および背景色を変更できます。デザインページのサイズはお使いの刺しゅう枠のサイズに合わせて選択できます。複数のパーツに分割して縫製する分割模様の刺しゅうデータ用に、カスタムサイズを設定することもできます。

1. メニューのオプション→デザインページの設定をクリックします。
2. デザインページのサイズを指定します。



お使いのミシンの枠サイズに応じて、**枠サイズ**を選択し、セレクトで選択します。

## メモ：

**90度回転**をチェックすると、デザインページが90度回転した状態でレイアウトできます。

分割模様用のカスタムサイズを設定する場合は、**カスタムサイズ**を選択し、デザインページの**幅**と**高さ**を指定します。

P.177の「分割模様の刺しゅうデータを作る」

3. **デザインページセレクト**でデザインページの色を選択します。
4. **背景セレクト**で背景の色を選択します。
5. **OK** をクリックします。

## メモ：

**標準**をクリックすると、標準設定（**枠サイズ**：**100 × 100mm**）に戻ります。

## 注意：

• **枠サイズ**の130 × 300mmと100 × 172mmには、数字の前に「\*」が付いています。このサイズは、3ヶ所でミシンに取り付ける特殊な刺しゅう枠（大型枠）用の刺しゅうデータを作るときに選択してください。

P.183の「大型枠用の刺しゅうを作る」

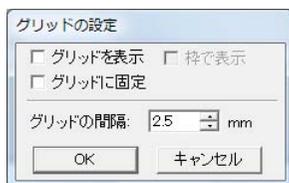
• **枠サイズ**は、お使いのミシンの最大刺しゅう縫製範囲を越えるサイズを選択しないでください。

# ソフトウェアの設定を変更する

## グリッドの設定を変更する

グリッドの表示 / 非表示を切り替えたり、グリッドの表示のしかたや間隔を指定できます。

1. メニューの**表示**→**グリッド**をクリックします。
2. グリッドを表示するときは、**グリッドを表示**チェックボックスをチェックします。グリッドを非表示にするときは、**グリッドを表示**チェックボックスのチェックを外します。



3. 同じ大きさの刺しゅうデータを作ったり、等間隔に刺しゅうデータを並べたいときは、**グリッドに固定**チェックボックスをチェックします。

### メモ:

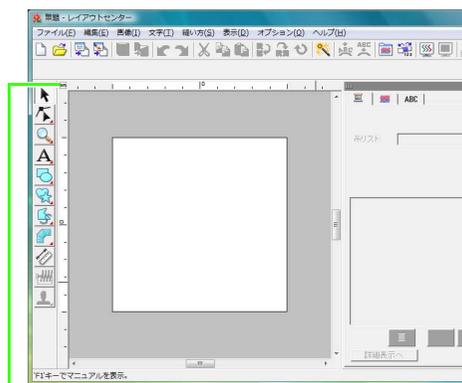
**グリッドに固定**を選択すると、カーソルは**グリッドの間隔**で設定された数値で移動します。固定機能はグリッドの表示 / 非表示に関わらず有効です。

4. **グリッドの間隔**の数値を入力するか、スピンボタンをクリックして指定します。
5. 表示のしかたを選択します。  
**枠で表示**チェックボックスをチェックすると、縦と横のグリッド線が表示されます。  
**枠で表示**チェックボックスのチェックを外すと、グリッド線の交点のみが表示されます。
6. **OK** をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

## 長さの単位 (mm / インチ) を変更する

アプリケーションで使う長さの単位を、mm またはインチから選択できます。

1. メニューの**オプション**→**単位の設定**をクリックして、単位 (mm または **インチ**) を選択します。



ルーラーを表示しているときは、ここをクリックしても、単位 (mm / インチ) の切り替えができます。

## ルーラーの設定を変更する

ルーラーの表示 / 非表示を設定できます。

1. メニューの**表示**→**ルーラー**をクリックします。  
→ チェックマークが表示され、ルーラーが表示されます。  
  
ルーラーを非表示にするときは、メニューの**表示**→**ルーラー**をクリックしてチェックを外します。

## 図形を描く

### 📖 メモ：

- 図形を描く前と後に、糸色と縫い方の種類を変更できます。
  - 👉 P.97 の「糸色と縫い方を設定する」
- 縫い方の詳細設定は、**縫い方の設定**ダイアログボックスで行います。
  - 👉 P.100 の「縫い方の詳細設定をする」

### 長方形、円・円弧について

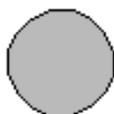
正方形 / 長方形、円 / だ円、円弧描画ツールを選択すると、長方形や円などを描くことができます。



長方形



角が丸い長方形



円



だ円



円弧



扇形



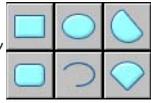
円弧と弦

円弧以外の図形データにはすべて、輪郭線と面部があり、それぞれに縫い方を設定できます。円弧は輪郭線のみとなります。

### 💡 注意：

このツールで図形を描く場合は、形を選択してから描画します。たとえば、円を描いてから、それを円弧に変えることはできません。

### 長方形、円・円弧を描く

1. ツールボックスの  をクリックします。  
→ 6つのボタン  が表示されます。
2. 描きたい図形のボタンをクリックします。  
→ 縫い方バーが表示されます。
3. カーソルをドラッグして図形を描きます。

#### ■ 長方形

カーソルをドラッグすると、長方形を描くことができます。

### 📖 メモ：

**Shift** キーを押しながらカーソルをドラッグすると、正方形が描けます。

## ■ 角が丸い長方形

ツールボックスの  をクリックすると、**角の丸み** セレクタに現在の角の丸みの設定値が表示されます。

角の丸みを変えたいときは、**角の丸み** セレクタに数値を入力して **Enter** キーを押すか、セレクタで数値を選択します。



カーソルをドラッグすると、現在の設定の角の丸い長方形を描くことができます。

例 1  
角の丸み：0.0mm



例 2  
角の丸み：20.0mm



### メモ：

長方形ツールで描いたデータも、選択すると**角の丸み** セレクタが表示され、角の丸みの設定を変更できます。

## ■ 円またはだ円

カーソルをドラッグすると、だ円を描くことができます。

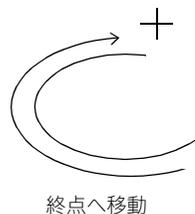
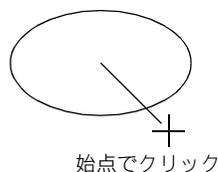
### メモ：

**Shift** キーを押しながらカーソルをドラッグすると、真円が描けます。

## ■ 円弧 、円弧と弦 、扇形

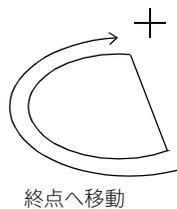
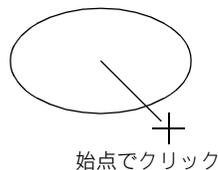
1. 「円またはだ円」と同様の方法で円を描きます。  
→ マウスボタンを放すと円と線が表示されます。
2. カーソルを移動すると、線が回転します。  
線を始点に移動してクリックします。  
→ 線が消えます。
3. カーソルを移動すると、円の形が変わります。  
カーソルを終点に移動しクリックすると、形が決定します。

円弧



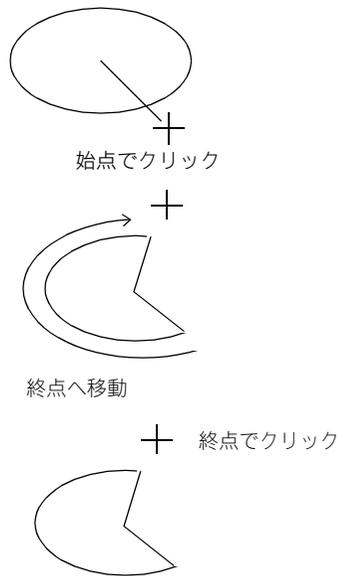
+ 終点でクリック

円弧と弦



+ 終点でクリック

扇形

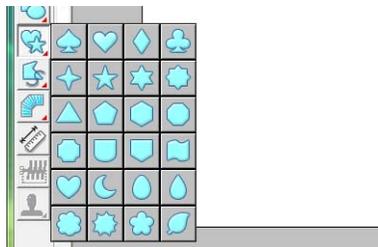


## 各種の図形を描く

図形描画ツールを選択すると、ハート型、星型、多角形など、24種類の図形を描くことができます。これらの図形には、輪郭線と面部があり、それぞれに縫い方を設定できます。

1. ツールボックスの  をクリックします。

→ 24種類の図形ボタンが表示されます。



2. 描画する図形のボタンをクリックします。

3. カーソルをドラッグします。

→ 選択した図形が描かれます。

### メモ:

**(Shift)** キーを押しながらカーソルをドラッグすると、図形ボタンのアイコンと同じ縦横比の図形が描けます。

## 直線と曲線について

線描画ツールでは、直線、曲線でデータを作ることができます。



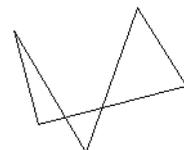
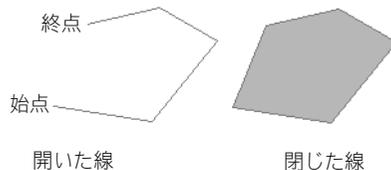
このツールボタンを使うと、閉じた線で描かれます。この刺しゅうデータは輪郭線と面ができます。それぞれの部分に色と縫い方を設定できます。

### メモ:

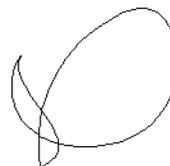
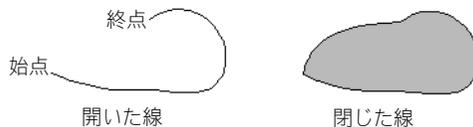
線が途中で交差していると面の設定はできません。面を作る場合は線を交差させないようにしてください。



このツールボタンを使うと、開いた線で描かれます。この刺しゅうデータは面がないので、輪郭線のみにか色と縫い方を設定できます。



線が交差しているので  
面部はありません。



線が交差している  
ので面部はありません。

## 直線と曲線を描く

1. ツールボックスの  をクリックします。

→ 8つのボタンが表示されます。



-  : ポイントをクリックして閉じた直線を描きます。  
(ショートカットキー: **Z**)
-  : ポイントをクリックして開いた直線を描きます。  
(ショートカットキー: **Z**)
-  : ポイントをクリックして閉じた曲線を描きます。  
(ショートカットキー: **X**)
-  : ポイントをクリックして開いた曲線を描きます。  
(ショートカットキー: **X**)
-  : 下絵として画像を開き、その色の境界に沿ってクリックすると、セミオートを使い閉じた線を描きます。セミオートとは半自動トレースのことで、下絵の境界に密着してポイントが設定されます。  
(ショートカットキー: **C**)
-  : 下絵として画像を開き、その色の境界に沿ってクリックすると、セミオートを使い開いた線を描きます。  
(ショートカットキー: **C**)
-  : カーソルをドラッグして、フリーハンドで閉じた線を描きます。
-  : カーソルをドラッグして、フリーハンドで開いた線を描きます。

2. 描画する線種のボタンをクリックします。

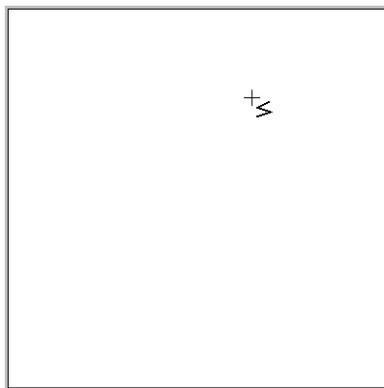
→ 縫い方バーが表示されます。

3. デザインページをクリックまたはカーソルをドラッグして、線を描きます。

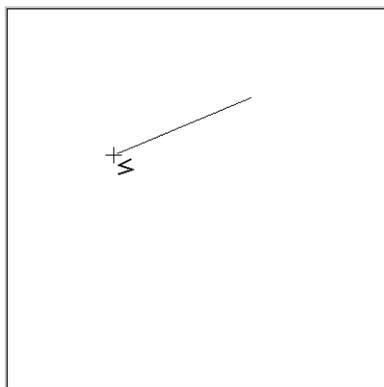
## ■ 直線 / 曲線

ここでは直線ツールで説明しますが、曲線ツール、セミオートツールも使い方は同じです。

1. 始点にカーソルを移動し、クリックします。



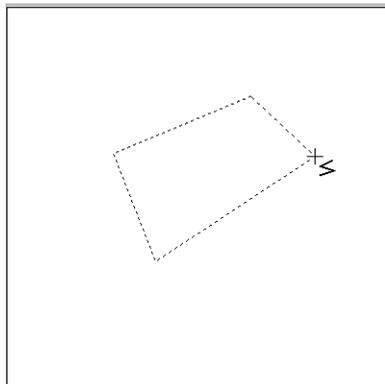
2. 次のポイントにカーソルを移動し、クリックします。



### メモ:

右クリックするか、**BackSpace** キーを押すと、直前に入力したポイントを削除できます。

3. 各ポイントをクリックしながらカーソルを移動し、終点でダブルクリックするか、**Enter** キーを押します。



## メモ:

- 自由に線の種類を変えることができます。ボタンをクリックして選び直すか、ショートカットキーを押します。
- 直線を描画中に **Shift** キーを押しながらカーソルを移動すると、水平または垂直方向に線が描けます。
- セミアートを選択して描画する場合は、下絵となる画像が必要です。画像がない場合は、直線と同じ動作になります。

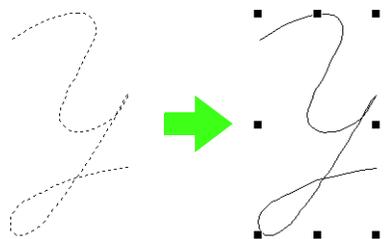
P.122 の「画像データを取り込む」

- 刺しゅうデータを描いてから、直線を曲線に、また、その逆に変更できます。

P.59 の「直線を曲線に、または曲線を直線に変える」

## フリーハンド線

- カーソルをドラッグして、線を描きます。
- マウスボタンを放すと、ドラッグしたとおりの線が描けます。



## 両端の処理を変更する

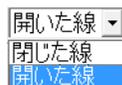
### ■ 両端の処理

線描画ツールで描いた線は、両端の処理（開いた線 / 閉じた線）を変更できます。

- 線描画ツールで作ったデータを選択します。

P.53 の「刺しゅうデータを選択する」

→ 縫い方バーに**両端の処理**セレクトが表示されます。



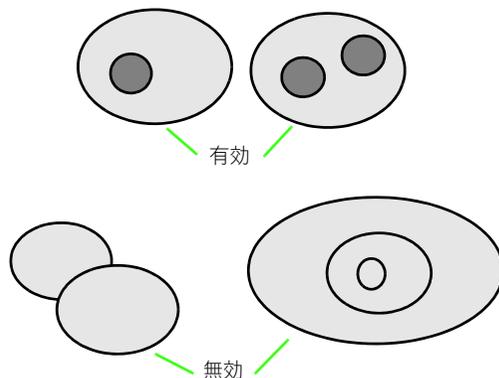
- 開いた線または閉じた線を選択します。

→ 選択したデータの両端の処理が変更されます。

## 面縫いの二重縫いを防止する (ドーナツ縫い)

ドーナツ縫いを設定すると、重なった面の二重縫いを防ぐことができます。ドーナツ縫いは、1つの面が他の面を完全に囲む場合にのみ設定できます。

- 一对の刺しゅうデータを選択します。この例では、だ円が円を取り囲んでいます。

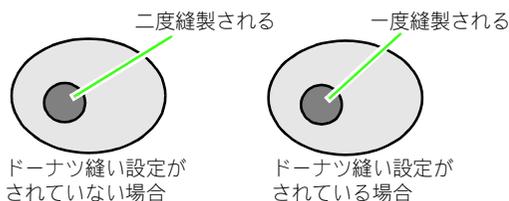
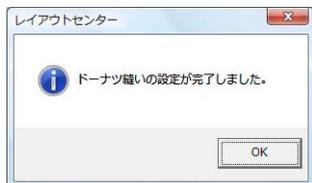


## メモ:

ドーナツ縫いは、1つの刺しゅうデータの内側に、別の刺しゅうデータが完全に囲まれて入っていないと設定できません。また文字データ、マニュアルパンチングデータ、ステッチデータには適用できません。

## 2. メニューの縫い方→ドーナツ縫いの設定をクリックします。

→ 選択された一対の刺しゅうデータにドーナツ縫いが設定されたときは、次のメッセージが表示されます。



### 📖 メモ:

ドーナツ縫いが設定できないときは、エラーメッセージが表示されます。

## 3. OK をクリックして、メッセージを閉じます。

### 📖 メモ:

- ドーナツ縫いが設定された刺しゅうデータは、1つのデータを移動すると、設定されたデータ全体が移動します。
- 3つ以上の刺しゅうデータにドーナツ縫いを設定する場合は、まず2つのデータにドーナツ縫いを設定します。次に、ドーナツ縫いを設定したデータと未設定のデータを1つ選択して、ドーナツ縫いを設定します。設定したいデータ分、この手順を繰り返します。
- 線描画ツール、扇形ツール、円弧と弦ツールで作った刺しゅうデータの輪郭線は、ポイント編集ツールで編集できます。

🔗 P.150の「輪郭データの形を変更する」

### 💡 注意:

ドーナツ縫いの設定の前と後でプレビューを表示すると、ドーナツ縫い設定で実際にどのように縫われるか確認できます。

🔗 P.65の「縫製イメージをプレビューする」

## ■ ドーナツ縫いを解除する

1. ドーナツ縫いが設定されている刺しゅうデータを選択します。

2. メニューの縫い方→ドーナツ縫いの解除をクリックします。

→ ドーナツ縫いが解除されます。

## 重なっている図形データの形を変える

重なり削除、結合は、正方形/長方形、円/だ円、円弧描画ツール、図形描画ツール、線描画ツールで作った刺しゅうデータに適用できます。

## ■ 重なり削除

重ねて配置されている図形データの、重なり部分を削除します。

複数個のデータに適用でき、縫い順が後のデータ(画面上では前面のデータ)が優先され、縫い順が先のデータの重なり部分が削除されます。

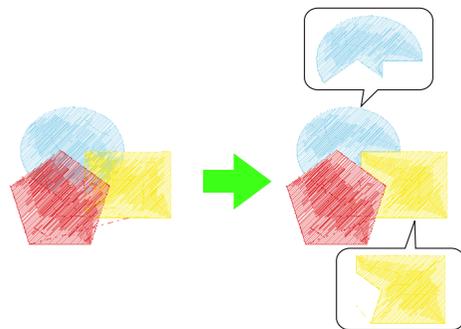
この機能を使うと、多重縫いを防ぐことができます。また、データの重なり部分を削除することで、図形描画ツールにない図形を作ることができます。

1. 2つ以上の重なっている刺しゅうデータを選択します。

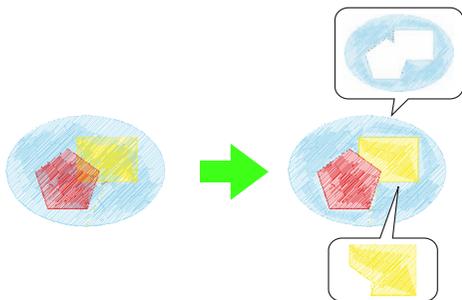
2. メニューの縫い方→重なり削除をクリックします。

→ 重なっている部分が削除されます。

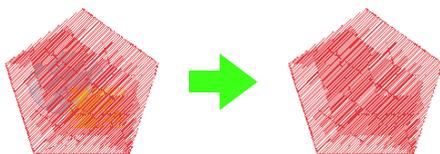
- 部分的に重なっている場合



- 1つの刺しゅうデータがその他のデータを包括して重なっている場合



- 縫い順が最後の刺しゅうデータがその他のデータを包括して重なっている場合



- 縫い順が1番目の刺しゅうデータ
- 縫い順が2番目の刺しゅうデータ
- 縫い順が3番目の刺しゅうデータ

## メモ:

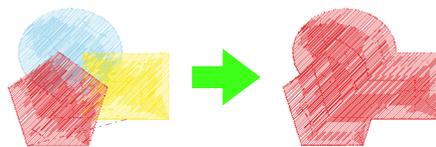
重なり削除ができないときは、エラーメッセージが表示されます。

## ■ 結合

重ねて配置されている図形データを結合します。複数個のデータに設定でき、結合後は縫い順が最後のデータ（画面上では最前面のデータ）の色と縫い方に設定されます。

1. 2つ以上の重なっている刺しゅうデータを選択します。
2. メニューの縫い方→結合をクリックします。  
→ 選択したすべてのデータが結合されます。

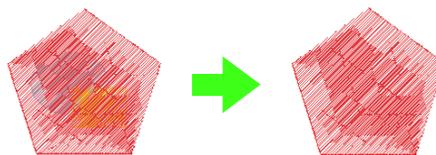
- 部分的に重なっている場合



- 1つの刺しゅうデータがその他のデータを包括して重なっている場合



- 縫い順が最後の刺しゅうデータがその他のデータを包括して重なっている場合



- 縫い順が1番目の刺しゅうデータ
- 縫い順が2番目の刺しゅうデータ
- 縫い順が3番目の刺しゅうデータ

## メモ:

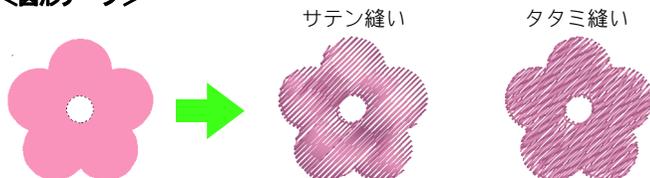
結合できないときは、エラーメッセージが表示されます。

## マニュアルパンチングデータを作る

面縫いにタタミ縫いやサテン縫いを設定すると、面全体の縫い目の角度は同一方向または形状に従った方向になります。マニュアルパンチングツールを使うと、縫い角度を自分で調整でき、より手縫いに近い刺しゅうデータを作ることができます。

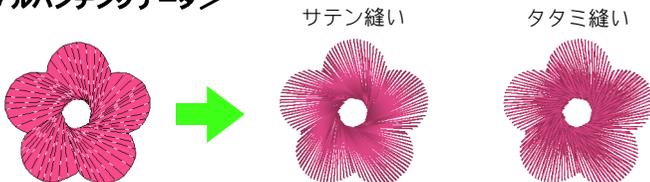
例えば、次の図形データの面部にタタミ縫いやサテン縫い、放射縫いを設定すると、それぞれ次のような縫い上がりになります。

### <図形データ>



上の図をガイドにして、マニュアルパンチングデータを作ると、次のような縫い上がりになります。

### <マニュアルパンチングデータ>



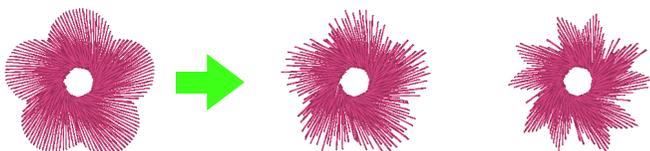
データ上で描かれる線が、縫い目方向になります。放射縫いの中心をねじったような縫い目を作ってみました。

図形データの平面的な模様に対し、花びらのような立体感をつけることができました。

また、マニュアルパンチングデータには「ぼかし縫い」設定という機能があります。縫い目密度を減らしたり、縫い目の長さに長短をつけたりすることで、輪郭をぼかしてデザインできます。

 P.111 の「マニュアルパンチング」の「ぼかし縫い」

### 例：タタミ縫い

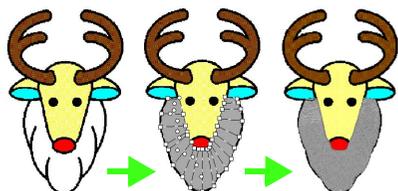


いろいろなバリエーションの花びらを作ることができます。

トナカイの画像 (Rudolph.bmp) を下絵に使い、ひげの部分の作り方を例にして、マニュアルパンチングツールの使い方を説明します。

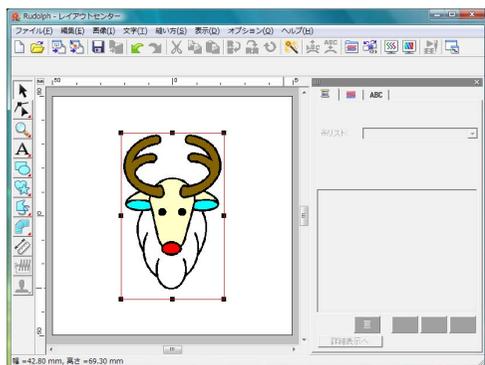
下絵と完成データは次のフォルダにあります。

**ドキュメント (マイドキュメント) ¥ 刺しゅう PRO 8**  
**¥ サンプル ¥ レイアウトセンター ¥ マニュアル**  
**パンチング**



## 1. Rudolph.bmp ファイルを取り込みます。

P.122 の「画像データを取り込む」



## 2. ツールボックスの をクリックします。

→ 5つのボタン が表示されます。

: 直線ブロック型パンチングデータ (面縫い) を作る時に選択します。  
 (ショートカットキー: **(Z)**)

: 曲線ブロック型パンチングデータ (面縫い) を作る時に選択します。  
 (ショートカットキー: **(X)**)

: セミオートを使った直線ブロック型パンチングデータを作るときに選択します。

セミオートとは半自動トレースのことで、下絵の線に密着してポイントが設定されます。下絵がない場合は、直線ブロック型パンチングデータと同じ動作になります。

(ショートカットキー: **(C)**)

### メモ:

セミオートを選択して描画する場合は、下絵となる画像が必要です。画像を取り込んでください。

: 走り型パンチングデータ (線縫い) を作る時に選択します。

(ショートカットキー: **(V)**)

: 送り型パンチングデータ (渡り糸) を作る時に選択します。

(ショートカットキー: **(B)**)

P.237 の「ミシンの糸切りの設定について」

マニュアルパンチングデータの作成中は、ツールの種類を自由に変更できます。ショートカットキーを使うと便利です。

## 3. をクリックし、直線のブロック型データを作ります。

→ 縫い方バーが表示されます。



## 4. パンチングの色をギン、ブロックの縫い方をタタミ縫いに設定します。

### メモ:

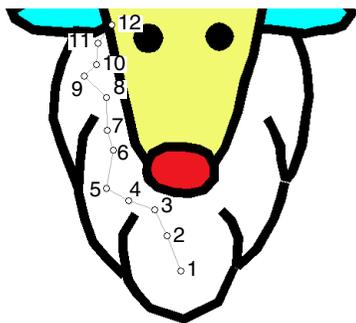
• 刺しゅうデータを作った後でも、糸色と縫い方の種類を変更できます。

P.98 の「糸色」、P.99 の「縫い方の種類」

• 縫い方の詳細設定は、**縫い方の設定**ダイアログボックスで行います。

P.100 の「縫い方の詳細設定をする」

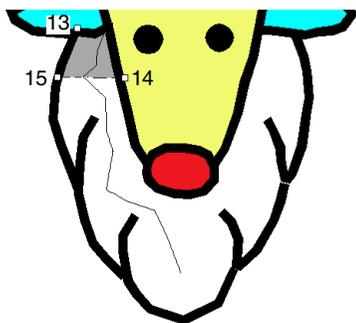
5. ポイント 1 (始点) から 12 をクリックします。



**メモ:**

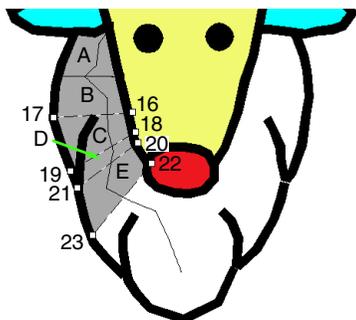
右クリックするか、**BackSpace** キーを押すと、直前に入力したポイントを削除できます。

6. ポイント 12 (走り型データの最終ポイント) をクリックした後、 をクリックし、ポイント 13 から 15 をクリックします。



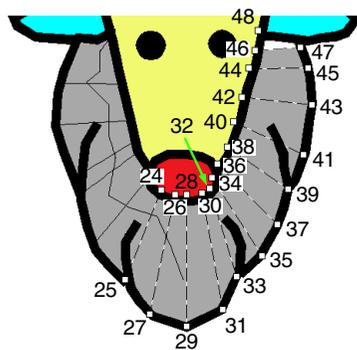
→ 線で囲まれている部分に面が設定されません。

7. ポイント 16 から 23 をクリックします。

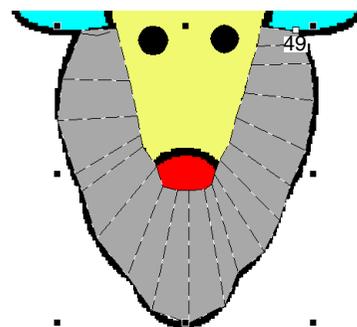


→ A から E の順で面が作られました。

8. ポイント 24 から 48 をクリックします。



9. ポイント 49 (データの最終点) でクリックして **Enter** キーを押すか、ダブルクリックして、データを完成させます。



**メモ:**

- マニュアルパンチングツールで思い通りに図形を描くことができなくても、ポイントを編集すれば形を調整できます。

 P.57 の「刺しゅうデータを変形させる」

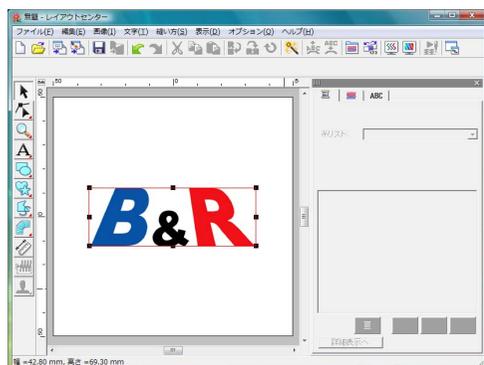
- 、、 ツールで作るデータには輪郭線の線縫いは作られません。

## ■ オリジナルロゴを作る

マニュアルパンチングツールを使えば、好きなロゴの画像を下絵にして刺しゅうデータを作ることができます。

1. 刺しゅうデータにしたいロゴの画像を取り込みます。

 P.122 の「画像データを取り込む」



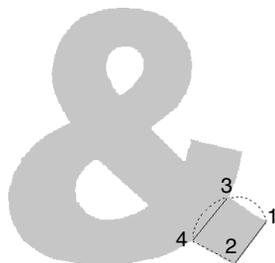
ここでは真ん中の「&」の部分の作り方を例にして説明します。

### メモ:

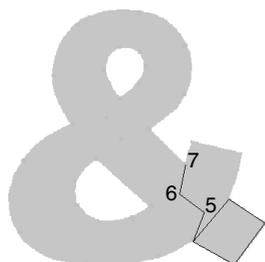
デザインページの下絵の表示を薄くできます。

 P.125 の「画像の表示設定を変更する」

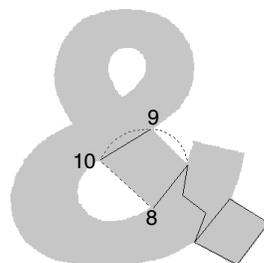
2.  をクリックし、ポイント 1 から 4 をクリックします。



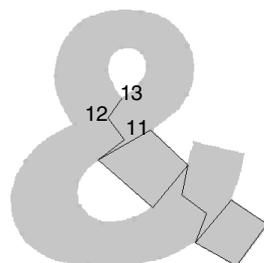
3. ポイント 4 をクリックした後、 をクリックし、ポイント 5 から 7 をクリックします。



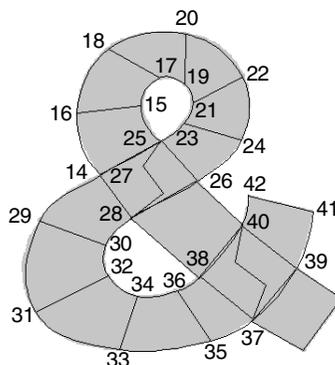
4. ポイント 7 をクリックした後、 をクリックし、ポイント 8 から 10 をクリックします。



5. ポイント 10 をクリックした後、 をクリックし、ポイント 11 から 13 をクリックします。



6. ポイント 13 をクリックした後、 をクリックし、ポイント 14 から 41 をクリックします。



7. ポイント 42 (データの最終点) でクリックして **Enter** キーを押すか、ダブルクリックして、データを完成させます。

### メモ:

マニュアルパンチングツールで思い通りに図形を描くことができなくても、ポイントを編集すれば形を調整できます。

 P.57 の「刺しゅうデータを変形させる」

# 文字を入力する

## 文字 / ミニサイズ文字を入力する

1. ツールボックスの **A** をクリックします。

→ 3つのボタン **A** **ABC** **ABC** が表示されま  
す。

2. **A** または **ABC** をクリックします。

**A** : 文字

**ABC** : ミニサイズ文字

→ 縫い方バーが表示されます。



3. 書体、サイズ、糸色、縫い方の種類、縫い方の詳細設定を指定します。

### メモ:

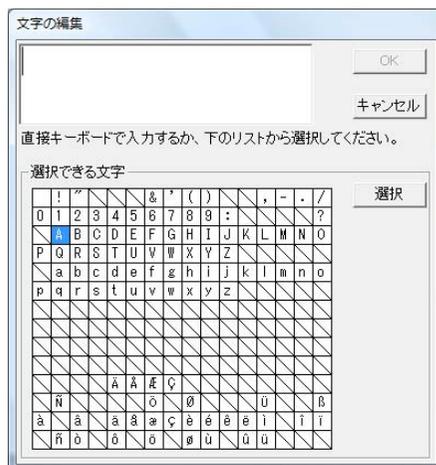
- 文字を入力した後でも、書体、文字のサイズ、糸色、縫い方の種類を変更できます。  
 P.83の「書体」、P.85の「文字サイズ」、P.98の「糸色」、P.99の「縫い方の種類」
- 文字属性は、**書式設定**ダイアログボックスで指定します。  
 P.86の「文字属性を設定する」
- 文字データは、縫い方の詳細設定を**縫い方設定**ダイアログボックスで指定できます。  
 P.100の「縫い方の詳細設定をする」

### 注意:

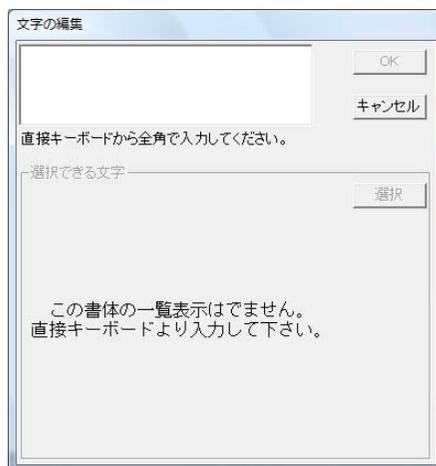
- ソフトウェアの内蔵フォント (書体番号 01 ~ 35、行書、楷書)、またはオリジナルフォントが選択されている場合は、線の縫い方は設定できません。
- TrueType フォントが選択されている場合は、輪郭線があり、線の糸色と縫い方を設定できます。
- ミニサイズ文字は、縫い方の種類を選択できません。また、縫い方の設定もできません。

4. デザインページをクリックします。

→ **文字の編集**ダイアログボックスが表示され、選択された書体で入力可能な**選択できる文字**一覧が表示されます。



楷書、行書の場合

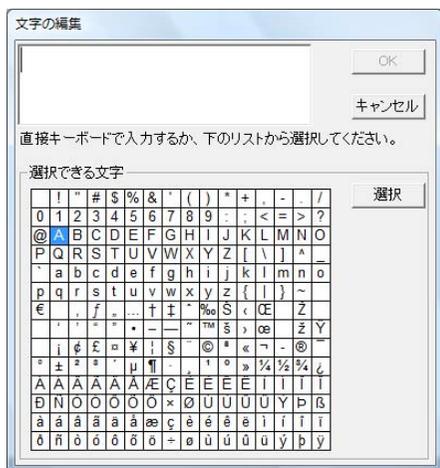


TrueType フォントが選択されている場合は、次のようなダイアログボックスが表示されます。

欧文フォントの場合、選択できる文字欄には、選択されているフォントのイメージで文字等が表示されます。入力、または選択された文字は、選択されているフォントのイメージで上欄部分に表示されます。

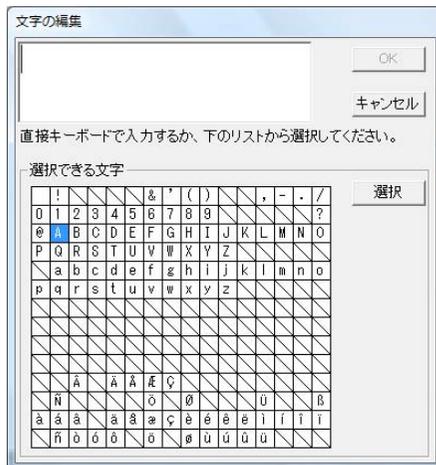
# 刺しゅうデータを編集する (レイアウトセンター)

アルファベットフォントの場合

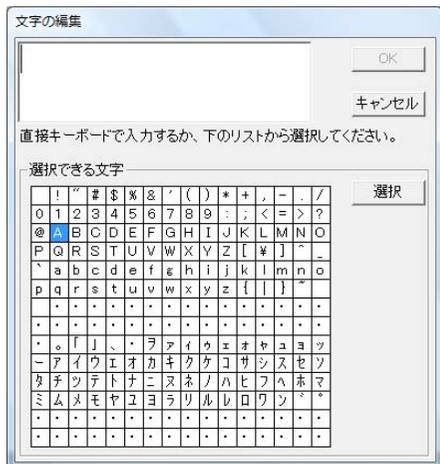


ミニサイズ文字が選択されている場合は、次のようなダイアログボックスが表示されます。

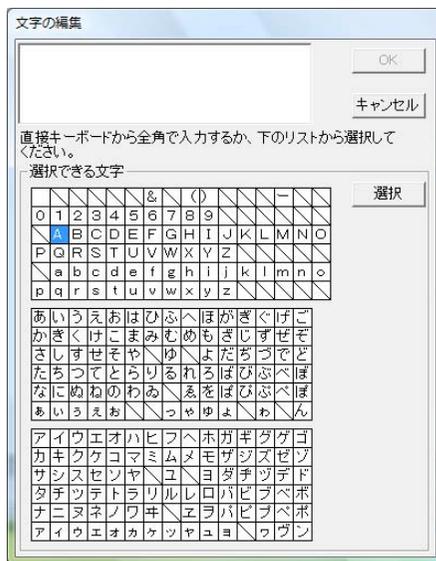
アルファベットフォントの場合



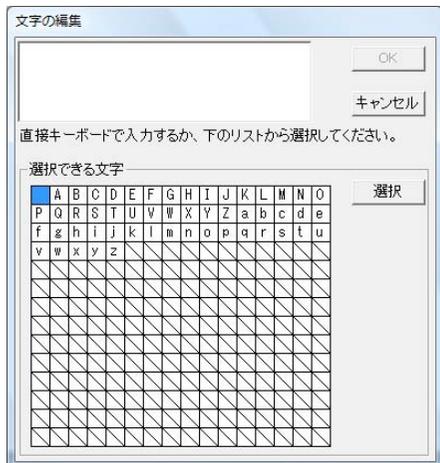
日本語フォントの場合



かなフォントの場合



オリジナルフォントの場合



## 5. 文字をキーボードで入力します。

### 📖 メモ:

- **(Enter)** キーを押すと、改行します。
- 01 ~ 35 のアルファベット書体は、英数半角で入力してください。また、楷書、行書の書体を選択したときは、全角で入力してください。半角文字は受け付けません。
- **選択できる文字**の文字をクリックして**選択**をクリックするか、文字をダブルクリックしても入力できます。楷書、行書は、**選択できる文字**一覧が表示されません。キーボードから直接入力してください。

## 6. OK をクリックします。

→ デザインページに文字が表示されます。

### 📖 メモ:

- 入力した文字を編集するときは、文字を選択してからメニューの**文字**→**文字の編集**をクリックします。**文字の編集**ダイアログボックスで、編集します。

🔗 P.85 の「文字を編集する」

- **選択できる文字**一覧の文字の上にカーソルを移動すると、その文字の拡大画像が表示されます。
- ミニサイズ文字ツールで作る文字データは、文字間の渡り糸を切らなくてもよいように作られます。

### 💡 注意:

入力した文字が選択されている書体になかったり、刺しゅうデータに変換できない場合は、エラーメッセージが表示されます。ダイアログボックスの**OK**をクリックして、**文字の編集**ダイアログボックスに戻り、入力し直してください。

### 💡 注意:

#### ミニサイズ文字の縫製について

- 縫製するときは、糸調子を通常の刺しゅうデータの場合より弱くしてください。
- 縫い速度を遅く設定するときれいに仕上がります。  
(糸調子と縫い速度の調整については、ミシンの取扱説明書を参照してください。)
- 文字の間の渡り糸は、切らないように設定してください。(ミシンの糸切り設定については、ミシンの取扱説明書を参照してください。)

## 文字属性を指定する

**書体**セレクトと**文字サイズ**セレクトで設定します。

### 📖 メモ:

ツールボックスの **A**、**ABC** を選択すると、**書体**セレクトと**文字サイズ**セレクトが表示されます。また、デザインページで文字データを選択しても表示されます。

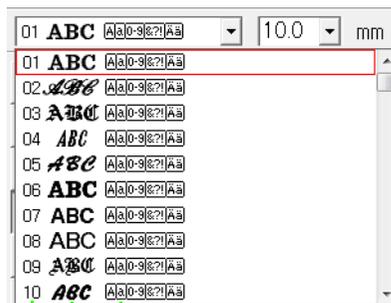
### 💡 注意:

- ミニサイズ文字以外のフォントで文字サイズを小さく設定すると、きれいに縫製できません。サイズは 15mm 以上に設定してください。
- TrueType フォントは、フォントデザインによって、正しく刺しゅうデータに変換できないものがあります。例えば、明朝体、教科書体等は文字の線にとても細い部分があり、刺しゅうデータ用には適していません。ゴシック体のような、ある程度太く均一な線の書体を選択してください。

## ■ 書体 01 ABC [Aa0-9@?1Aa]

### 1. 書体セレクトをクリックします。

→ 書体リストが表示されます。



書体番号      書体見本      使用できる文字の種類

### 2. 書体を選択します。

→ これから入力する文字は、ここで設定した書体になります。

→ 文字データが選択されているときは、その文字データの書体が変更されます。

## 刺しゅうデータを編集する (レイアウトセンター)

書体と各書体で使用できる文字の種類は、次の通りです。

### ・内蔵フォント

文字	
01	ABC [A][a][0-9][&?][Ää]
02	ABC [A][a][0-9][&?][Ää]
03	ABC [A][a][0-9][&?][Ää]
04	ABC [A][a][0-9][&?][Ää]
05	ABC [A][a][0-9][&?][Ää]
06	ABC [A][a][0-9][&?][Ää]
07	ABC [A][a][0-9][&?][Ää]
08	ABC [A][a][0-9][&?][Ää]
09	ABC [A][a][0-9][&?][Ää]
10	ABC [A][a][0-9][&?][Ää]
11	ABC [A][a][0-9][&?]
12	ABC [A][a][0-9][&?]
13	ABC [A][a][0-9][&?]
14	ABC [A][a][0-9][&?]
15	ABC [A][a][0-9][&?]
16	ABC [A][a][0-9][&?]
17	ABC [A][a][0-9][&?]
18	ABC [A]
19	ABC [A]
20	ABC [A][a][0-9][&?]
21	ABC [A]
22	ABC [A][a]
23	ABC [A]
24	ABC [A]
25	ABC [A]
26	ABC [A]
27	ABC [A]
28	ABC [A]
29	ABC [A] [0-9]
30	ABC [A][a][0-9][&?][Ää]
31	ABC [A][a][0-9][&?][Ää]
32	ABC [A][a][0-9][&?][Ää]
33	ABC [A][a][0-9][&?][Ää]
34	ABC [A][a][0-9][&?][Ää]
35	ABC [A][a][0-9][&?][Ää]

楷書 [あ][力][漢]
行書 [あ][力][漢]
ミニサイズ文字
S <sub>L</sub> 01 ABC [A][a][0-9][&?][Ää] (5-6 mm)
S <sub>L</sub> 02 ABC [A][a][0-9][&?][Ää] (5-6 mm)
S <sub>L</sub> 03 ABC [A][a][0-9][&?][Ää] (5-6 mm)
S <sub>L</sub> 04 ABC [A][a][0-9][&?][Ää] (3-4 mm)
S <sub>L</sub> 05 ABC [A][a][0-9][&?][Ää] (3-4 mm)
S <sub>L</sub> 06 あいう [A][a][0-9][あ][力] (5-6 mm)
S <sub>L</sub> 07 あいう [A][a][0-9][あ][力] (3-4 mm)

### 使用できる文字の種類の意味

- [A] アルファベットの大文字
- [a] アルファベットの小文字
- [0-9] 数字
- [&?] ピリオド、括弧、その他の記号
- [Ää] アクセント記号付きアルファベット  
(5-6 mm) ミニサイズ文字の文字サイズ (ミニサイズ文字のみ表示)
- [あ] ひらがな
- [カ] カタカナ
- [漢] 漢字

### 📖 メモ:

内蔵フォントのミニサイズ文字は、ミニサイズ文字専用のフォントです。

## • オリジナルフォント



フォントクリエイターで.pefファイルを作り、刺しゅう PRO8 がインストールされているフォルダの**MyFont** フォルダに保存すると、書体リストにオリジナルフォントとして表示されます。

刺しゅう PRO がインストールされたドライブ¥ **Program Files** ¥ **Brother** ¥ **刺しゅう PRO 8** ¥ **MyFont**

オリジナルフォントは内蔵フォントの次に表示されます。また、オリジナルフォントには、 アイコンが書体名の横に表示されています。



P.216 の「フォントクリエイターの基本的な使い方」

## • TrueType フォント

オリジナルフォントの次に、システムにインストールされている TrueType フォントの書体名が、その書体の表示例とともに表示されます。



### メモ：

- TrueType フォントを選択すると、輪郭線がある文字データになり、線の糸色と縫い方を設定できます。
- TrueType フォントの詳細設定を、メニューの**文字**→**TrueTypeフォントの設定**で変更できます。



P.92 の「TrueType フォントの属性を設定する」



### 注意：

TrueType フォントの中には、フォーマットやデザインの形状により、きれいに刺しゅうデータに変換できないもの、また縫い上がりがきれいにならないものがあります。実際に縫う前に、試し縫いを行ってください。また、TrueType のフォントの中には刺しゅうデータに変換できないものがあります。



P.81 の「文字/ミニサイズ文字を入力する」

## ■ 文字サイズ 10.0 mm

### 1. 文字サイズセレクタをクリックします。



### 2. 高さを入力して **Enter** キーを押すか、**文字サイズ**セレクタで数値を選択します。

→ これから入力する文字は、ここで設定したサイズになります。

→ 文字データが選択されているときは、その文字データのサイズが変更されます。



P.81 の「文字/ミニサイズ文字を入力する」

## 文字を編集する

入力した文字を編集します。

### 1. 文字データまたはミニサイズ文字データを選択します。

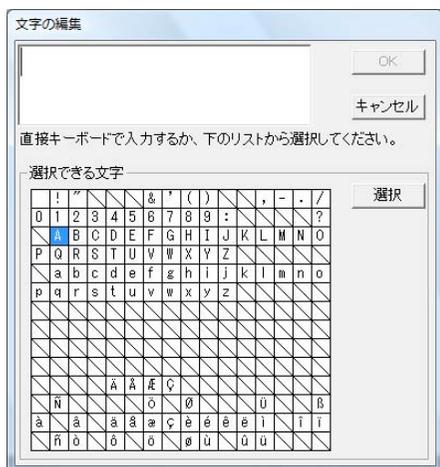


### 注意：

複数の文字データを一度に編集することはできません。複数の文字データを選択している場合は、この機能は使えません。

## 2. メニューの文字→文字の編集をクリックします。

→ 選択した文字が文字入力領域に表示されます。



## 3. 文字を編集します。

## 4. OK をクリックします。

→ デザインページに、編集された文字が表示されます。

 P.81 の「文字/ミニサイズ文字を入力する」

## 文字属性を設定する

**書式設定** ダイアログボックスで様々な文字属性を設定できます。

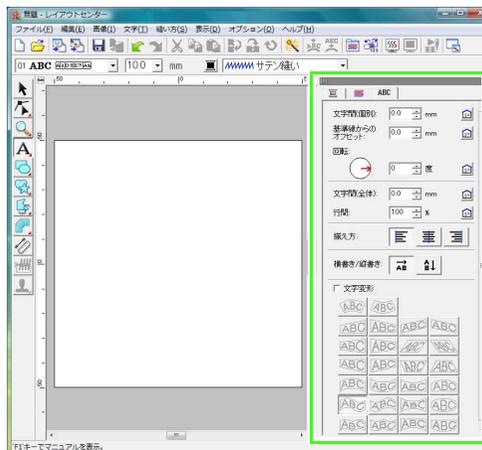
設定を変更するたびに、文字データに設定が適用されます。

## 1. 文字データまたはミニサイズ文字データを選択します。

## 2. メニューの文字→書式設定をクリックします。

 P.48 の「糸色、縫い方の設定、書式設定ダイアログボックス」

## 3. 必要に応じて、設定を変更します。



## メモ:

各設定の右側の  をクリックすると、標準設定値に戻ります。

文字間 (個別)	文字間隔を設定します。1文字単位で設定できます。	0.0mm <b>A b c d e f</b>
		5.0mm (A と b の間) <b>A b c d e f</b>
基準線からの オフセット	文字の基準線からの位置を設定します。1文字単位で設定できます。	0.0mm <b>A b c d e f</b>
		2.0mm <b>A b c d e f</b>
回転	文字を回転します。1文字単位で設定できます。	0度 <b>A b c d e f</b>
		20度 <b>A b c d e f</b>
文字間 (全体)	選択した文字列すべての文字間隔を設定します。	0.0mm <b>A b c d e f</b>
		2.0mm <b>A b c d e f</b>
行間	選択した文字列すべての行間隔を文字の高さとの比率で設定します。	100% <b>A b c d e f g h i j k l</b>
		150% <b>A b c d e f g h i j k l</b>

揃え方	文字列を左、中央、右に揃えます。	左揃え A b c d e f g h i j k l
		中央 A b c d e f g h i j k l
		右揃え A b c d e f g h i j k l
横書き / 縦書き	横書き / 縦書きの設定をします。	横書き A B C
		縦書き A B C

## メモ:

- 書体によって、**縦書き**に対応していない文字があります。
- **文字間 (個別)** と **文字間 (全体)** は、ともに文字の間隔を設定します。この2つの違いは、**文字間 (全体)** は、常に文字データ全体に適用されるのに対し、**文字間 (個別)** は、個々の文字に適用される点です。データ全体に**文字間 (個別)** を適用すると、**文字間 (全体)** と全く同じように機能します。

 文字データの個別書体選択については、P.88の「文字を選択する」を参照してください。

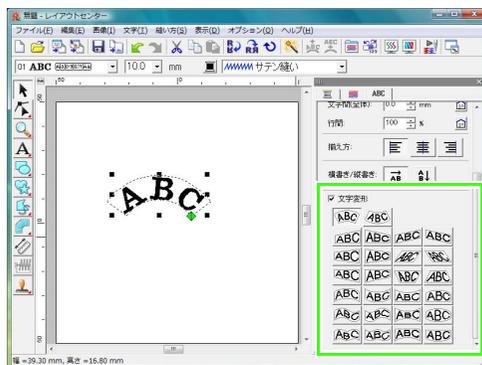
## ■文字を変形させる

内蔵されている変形パターンを選択して、文字を変形させます。

## メモ:

ミニサイズ文字データには設定できません。

1. 文字データを選択します。
2. **文字変形**チェックボックスをチェックし、変形ボタンをクリックします。



→ 選択した文字の形に応じて、文字の周りに点線と  または  が表示されます。



## 注意:

TrueType フォントの文字データに文字変形を設定すると、TrueType フォントの形状によっては、文字の輪郭線と面部にわずかな隙間が生じることがあります。

3.  をドラッグして、文字を変形させます。



## メモ:

-  は、縦にのみドラッグできます。
-  は、横にのみドラッグできます。

変形した文字データを元の形に戻すときは、**文字の変形**チェックボックスのチェックを外します。



## メモ:

 または  を使うと、円弧配列ができます。

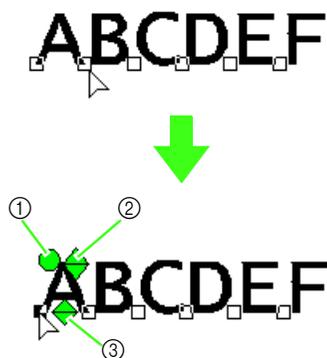
## 文字を選択する

文字を選択すると、文字ごとに書体、サイズ、糸色、縫い方の種類、属性を変更できるようになります。

1. ツールボックスのをクリックし、をクリックします。
2. 文字データまたはミニサイズ文字データを選択します。  
→ 文字のポイントが、小さな白い四角で表示されます。
3. 文字のポイントをクリックして文字を選択します。

複数の文字を選択するときは、**(Ctrl)** キーを押しながら各文字のポイントををクリックするか、文字のポイントを囲むようにドラッグします。

- 選択された文字のポイントは、黒い四角で表示されます。
- 文字の周りにハンドルが表示されます。
- 縫い方バーが表示されます。



- ① 回転ハンドル
- ② サイズハンドル
- ③ 垂直オフセットハンドル

### メモ:

- 刺しゅうデータのポイント選択と同じ方法で、複数の文字のポイントを選択したり、選択するポイントを切り替えたりできます。

 P.57 の「ポイントを選択する」

- TrueType フォントの輪郭線は、線縫いをオンに設定すると、糸色や縫い方の種類を設定できます。

## 文字サイズと文字の属性を変更する

ドラッグするだけで、文字のサイズと属性（文字間(個別)、基準線からのオフセット、回転）を簡単に変更できます。

### ■ サイズを変更する

1. カーソルを右上のハンドルの上に移動します。
2. ハンドルをドラッグします。

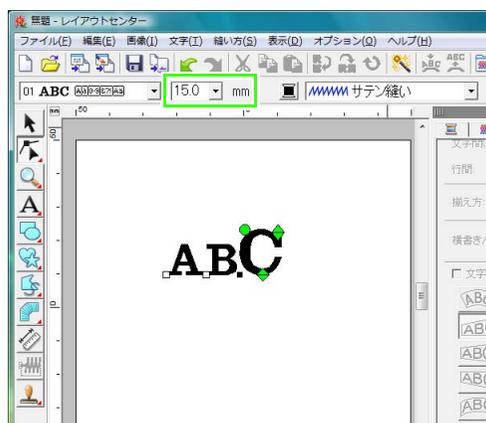


→ 文字の輪郭線が点線で表示され、サイズを調整できます。



3. マウスボタンを放すと、文字のサイズが変更されます。

→ 新しいサイズが、縫い方設定バーに表示されます。



### メモ:

ミニサイズ文字のサイズも大きくできますが、縫い目が粗くなります。

## ■ 文字間 (個別) を変更する

1. ◆ ◆ ● ハンドル以外の文字上にカーソルを移動します。
2. 文字を横にドラッグします。



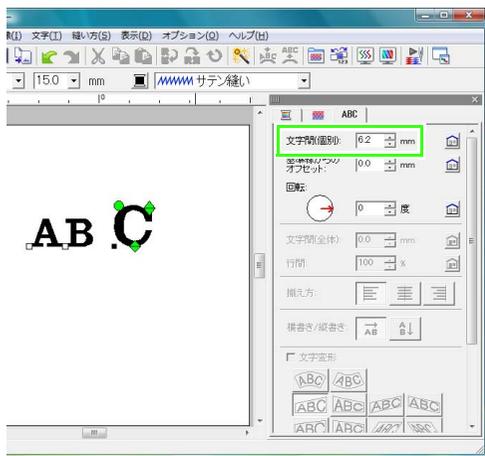
→ 文字の輪郭線が点線で表示され、水平に移動できます。



3. マウスボタンを離すと、文字間 (個別) が変更されます。



→ **書式設定** ダイアログボックスが開いている場合は、新しい間隔が表示されます。



## ■ 基準線からのオフセットを変更する

1. カーソルを下側の ◆ ハンドルの上に移動します。
2. ハンドルを縦にドラッグします。



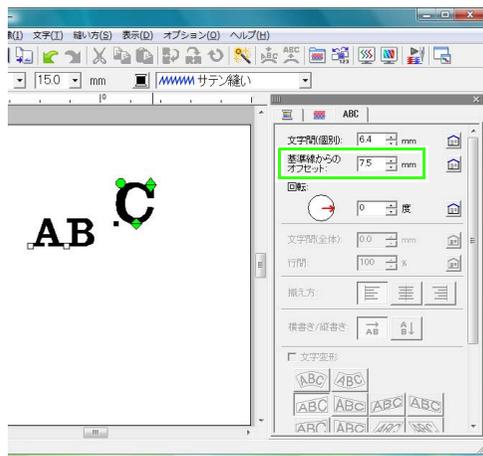
→ 文字の輪郭線が点線で表示され、上下に移動できます。



3. マウスボタンを離すと、文字の基準線からのオフセット (位置) が変更されます。



→ **書式設定** ダイアログボックスが開いている場合は、新しい基準線からのオフセット値が表示されます。



## ■ 文字を回転する

### 📖 メモ:

モノグラム文字は回転できません。

1. カーソルを ● ハンドルの上に移動します。



2. ハンドルをドラッグします。

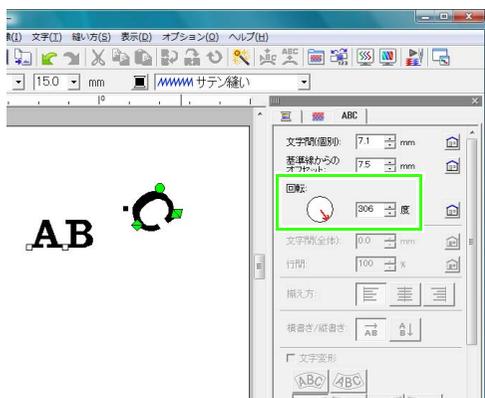
→ 文字の輪郭線が点線で表示され、回転できます。



3. マウスボタンを離すと、文字の角度が変更されます。



→ **書式設定** ダイアログボックスが開いている場合は、新しい回転角度が表示されません。



### 📖 メモ:

- **書式設定** ダイアログボックスで数値を設定しても、選択中の文字に適用されます。
- 各設定の右側の 🏠 をクリックすると、標準設定値に戻ります。

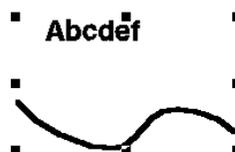
## 文字配列を設定する

図形データ (曲線、直線データなど) の輪郭線に沿って文字データを配列できます。

🔗 P.70 の「図形を描く」

ツールバーボタン:

1. 文字データまたはミニサイズ文字データと図形データを選択します。



2. ツールバーの をクリックするか、メニューの **文字** → **文字の配列** をクリックします。

3. **横位置**、**縦位置**、**向き** セレクタをクリックして、配置のしかたを選択します。



### 📖 メモ:

図形データの反対側に文字データを配置する場合は、**反対側** をチェックします。

4. OK をクリックします。

### 💡 注意:

- 変形した文字データを配列すると、文字の変形は解除されます。
- 1 つの図形データに対して配列できる文字データは 1 つだけです。

### 📖 メモ:

図形上の文字データを選択してドラッグすると、文字データの位置を移動できます。

🔗 P.38 の「メモ」

<p>横位置</p>	<p>線に沿うときの文字の分布を設定します。</p>	
<p>縦位置</p>	<p>文字と線との間隔を設定します。</p>	
<p>向き</p>	<p>線に対する文字の傾きを設定します。</p>	
<p>反対側</p>	<p>配列を反対側にします。</p>	

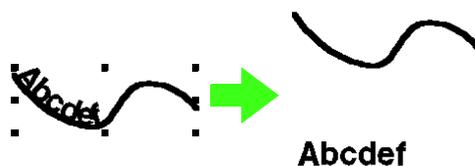
## ■ 文字配列を解除する

図形データに沿って配列した文字データを切り離します。

ツールバーボタン:

1. 図形データ上に配列された文字データを選択します。

2. ツールバーの をクリックするか、メニューの文字→文字配列の解除をクリックします。



P.90の「文字配列を設定する」

## TrueType フォントの属性を設定する

TrueType フォントの文字データの属性 (スタイル等) を設定できます。

1. TrueType フォントの文字データを選択します。
2. メニューの**文字→TrueTypeフォントの設定**をクリックします。

→ 選択された文字データの現在の属性が表示されます。



3. **スタイル**で字体を選択します。
4. **書体の種類**で書体を選択します。
5. **OK** をクリックします。

→ これから入力する TrueType フォントの文字データには、ここで設定した属性が反映されます。

### 注意：

- **スタイル**と**書体の種類**の内容は、選択された TrueType フォントによって異なります。
  - 選択された文字列が、複数の TrueType フォントで作られていると、**TrueType フォントの設定**は選択できません。
- また、同一フォントでも文字ごとにスタイルや書体の種類が異なる場合は、文字列の最初の文字の属性設定がダイアログボックスに表示されます。
- どちらの場合も、1文字のみが選択されている場合は、ダイアログボックスにその文字に設定されている属性が表示されます。

📖 P.81の「文字/ミニサイズ文字を入力する」、P.86の「文字属性を設定する」

## 文字データを図形データに変換する

TrueType フォントの文字データを、図形データに変換します。

1. TrueTypeフォントの文字データを選択します。
2. メニューの**文字→図形データに変換**をクリックします。

→ 選択されていた文字データが、図形データに変換されます。



変換された図形データは、縫い方が設定されていないため、点線で表示されます。目的に応じて、縫い方を設定してください。

### メモ：

グループ化やドーナツ縫いを設定すると、形状崩れを防ぐことができます。

📖 P.239の「抜き文字を作る (図形データに変換した文字を使う)」

# モノグラムを作る

モノグラム機能を使うと、1～3文字の大文字アルファベットを変形し、周りに装飾を加えてモノグラムを作ることができます。

1. ツールボックスの **A** をクリックします。

→ 3つのボタン  が表示されます。

2.  をクリックします。

→ 縫い方バーが表示されます。



TrueType フォントの場合



## メモ:

- **Diamond** と **Script** は、モノグラム専用のフォントです。内蔵フォントや TrueType フォント、オリジナルフォントも使えます。
- ミニサイズ文字は、使えません。

3. 書体、サイズ、糸色、縫い方の種類、縫い方の詳細設定を指定します。

## メモ:

- モノグラムを作った後も、書体、サイズ、糸色、縫い方の種類を変更できます。
  - ➡ P.94 の「モノグラム書体」、P.94 の「モノグラムサイズ」、P.98 の「糸色」、P.99 の「縫い方の種類」
- 文字属性は、**書式設定** ダイアログボックスで指定します。
  - ➡ P.86 の「文字属性を設定する」
- 縫い方の詳細設定は、**縫い方の設定** ダイアログボックスで行います。
  - ➡ P.100 の「縫い方の詳細設定をする」

## 注意:

- **Diamond**、**Script**、内蔵フォント (書体番号 01～35、行書、楷書)、またはオリジナルフォントが選択されている場合は、線の縫い方は設定できません。
- TrueType フォントが選択されている場合は、輪郭線があり、線の糸色と縫い方を設定できます。

4. デザインページをクリックします。

5. 文字 (大文字) をキーボードで入力します。



## メモ:

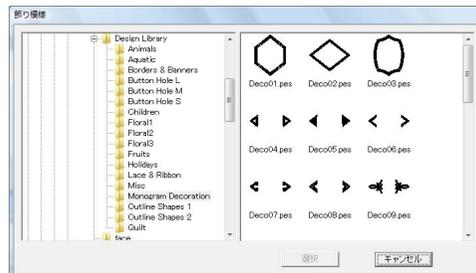
- **選択できる文字** の文字をクリックして **選択** をクリックするか、文字をダブルクリックしても入力できます。
- モノグラム機能で入力できる文字数は、3文字までです。

## 注意:

改行はできません。**Enter** キーを押すと、ダイアログボックスは閉じ、デザインページにモノグラムデータが表示されます。

6. モノグラム文字の周囲や両サイドに装飾を加えるときは、**飾り模様** チェックボックスをチェックし、**模様選択** をクリックします。

7. 飾り模様をクリックして **選択** をクリックするか、飾り模様をダブルクリックします。



→ 選択した飾り模様が **モノグラムの編集** ダイアログボックスのプレビュー領域に表示されます。

## 8. OK をクリックします。

→ デザインページに選択した飾り模様とモノグラムデータが表示されます。



## 9. ツールボックスの をクリックして飾り模様またはモノグラムデータを選択し、サイズと位置を調整します。

 P.53 の「刺しゅうデータを移動する」

 P.54 の「刺しゅうデータを拡大 / 縮小する」

## 10. 必要に応じて、縫い方設定バーで飾り模様とモノグラムの糸色と縫い方を変更します。

## モノグラム属性を指定する

モノグラム書体セレクトとモノグラムサイズセレクトで設定します。

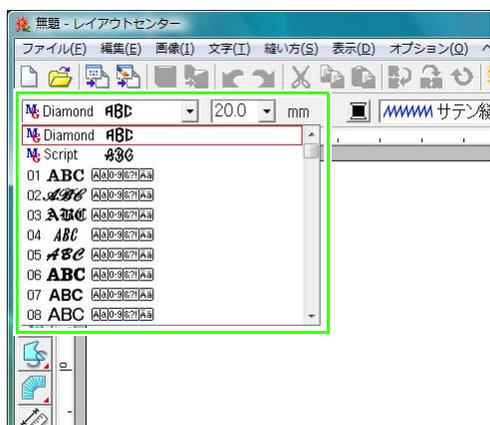
### メモ:

ツールボックスの  を選択すると、モノグラム書体セレクトとモノグラムサイズセレクトが表示されます。また、デザインページでモノグラムデータを選択しても表示されます。

## ■モノグラム書体

### 1. モノグラム書体セレクトをクリックします。

→ モノグラムの書体リストが表示されます。



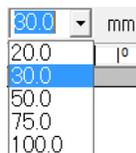
### 2. 書体を選択します。

→ これから入力するモノグラムは、ここで設定した書体になります。

→ モノグラムデータが選択されているときは、そのモノグラムデータの書体が変わります。

## ■モノグラムサイズ

### 1. モノグラムサイズセレクトをクリックします。



### 2. 数値を入力して **Enter** キーを押すか、モノグラムサイズセレクトで数値を選択します。

→ これから入力するモノグラムは、ここで設定したサイズになります。

→ モノグラムデータが選択されているときは、そのモノグラムデータのサイズが変わります。

## ■ モノグラム文字を編集する

### 1. モノグラムデータを選択します。

#### 💡 注意：

複数のモノグラムデータを選択している場合は、この機能は使えません。複数のモノグラムデータを一度に編集することはできません。

### 2. メニューの**文字**→**文字の編集**をクリックします。

→ 選択したモノグラムデータの文字が入力領域に表示されます。



### 3. 文字を編集します。

### 4. OK をクリックします。

→ 編集されたモノグラムが表示されます。

#### 📖 メモ：

- 飾り模様を追加/変更するときは、**モノグラムの編集**ダイアログボックスで**飾り模様**チェックボックスをチェックし、**模様選択**をクリックして、**飾り模様**ダイアログボックスから選択します。
- 飾り模様は、選択し直しても元の飾り模様はそのまま、新しい飾り模様が追加されます。不要な飾り模様は、デザインページで選択して削除してください。

🔗 P.93の「モノグラムを作る」

## ■ モノグラムを1文字ずつ編集する

文字データと同様の方法で、モノグラムデータも文字ごとに書体、サイズ、糸色、縫い方の種類、文字間隔、基準線からのオフセットを設定できます。回転はできません。

🔗 P.88の「文字を選択する」、P.88の「文字サイズと文字の属性を変更する」

# 線と面に糸色と縫い方を設定する

縫い方バーで、次の刺しゅうデータの属性を設定できます。

- 図形属性 (角の丸み、両端の処理)
- 文字属性 (書体、サイズ)
- 刺しゅう属性 (糸色と縫い方、輪郭線と面部のオン/オフ)

指定できる設定は、選択されたツールと刺しゅうデータの種類によって異なります。

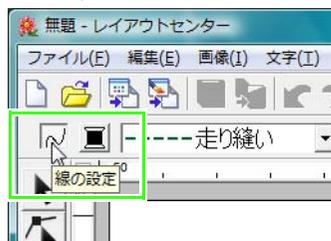
## 例 1：長方形データが選択されている場合



## 例 2：文字データが選択されている場合



カーソルを縫い方バーのボタンまたはセレクト上に置くと、そのボタンやセレクトの機能を示すラベルが表示されます。以下の説明では、縫い方バーの各構成要素を、これらのラベルに表示される名前で呼びびます。



刺しゅうデータの属性は、データを作る前に設定できます。また、データを作った後でも変更できます。例えば、長方形を描くときは、長方形描画ツールを選択後に、糸色と角の丸みを設定できます。描いた後でも、その長方形を選択して属性を変更できます。

## 図形属性

	<b>角の丸</b> セクタ：長方形の角を丸める大きさを設定します。 P.71 の「角が丸い長方形」
	<b>両端の処理</b> セクタ：直線や曲線で描かれたデータを開いた線にするか、閉じた線にするかを設定します。 P.74 の「両端の処理」

## 文字属性

	<b>書体、モノグラム書体</b> セクタ：文字の書体を選択します。 P.83 の「書体」、 P.94 の「モノグラム書体」
	<b>文字サイズ、モノグラムサイズ</b> セクタ：文字サイズを選択します。 P.85 の「文字サイズ」、 P.94 の「モノグラムサイズ」

## 刺しゅう属性

	<b>線の設定</b> ボタン：輪郭線縫いのオン/オフを切り替えます。線の設定がオフのときは、輪郭線の縫製は行われません。(糸色または縫い方の設定はできません。) 文字データ、モノグラムデータは、TrueType フォントが選択されているときのみ輪郭線縫いの設定ができます。 P.97 の「線縫い/面縫い」
	<b>面の設定</b> ボタン：面縫いのオン/オフを切り替えます。面の設定がオフのときは、面の縫製は行われません。(糸色または縫い方の設定はできません。) P.97 の「線縫い/面縫い」
	<b>線の色、面の色、文字の色、モノグラムの線の色、モノグラムの面の色、パンチングの色</b> ボタン：輪郭線、面、文字、モノグラム、マニュアルパンチングデータの糸色を設定します。 P.98 の「糸色」 特別な色 P.99 の「特別な色」
	<b>線の縫い方、モノグラムの線の縫い方、ブロックの縫い方</b> セクタ：輪郭線の縫い方を設定します。 P.99 の「縫い方の種類」
	<b>面の縫い方、モノグラムの面の縫い方、ブロックの縫い方</b> セクタ：面部、文字、モノグラム、マニュアルパンチングデータの縫い方を設定します。 P.99 の「縫い方の種類」

## 糸色と縫い方を設定する

刺しゅうデータに糸色と縫い方を設定します。輪郭線や面がある刺しゅうデータには、それぞれ異なる糸色と縫い方を設定できます。面にグラデーションを設定すると、糸色をもう1色追加してブレンディングを行うこともできます。(P.119の「グラデーションを作る / ブレンディングを設定する」) 文字データには、1文字ごとに糸色と縫い方を設定できます。

輪郭線と面がある刺しゅうデータとは、TrueTypeフォントの文字・モノグラム、円・だ円、扇形、円弧と弦、長方形、24種類の図形、閉じた直線、閉じた曲線のことです。これらの刺しゅうデータは、輪郭線と面部の縫う / 縫わないの設定ができます。

円弧、開いた直線・曲線などの輪郭線だけの刺しゅうデータは、輪郭線の縫う / 縫わないが設定できます。

内蔵フォントやオリジナルフォントの文字、マニュアルパンチングデータは、輪郭線のない面だけのデータです。面だけの刺しゅうデータは、面部の縫う / 縫わないは設定できません。

## ■ 線縫い / 面縫い

で輪郭線縫いの、で面縫いのオン / オフを切り替えます。

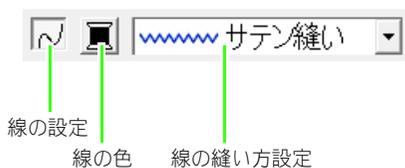
### メモ:

- オフ設定のときは縫製されません。(糸色または縫い方の設定はできません。)

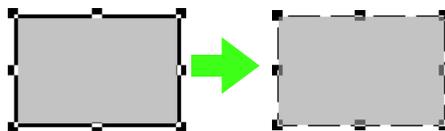
ボタンをクリックするごとに、オン / オフが交互に切り替わります。

オン: 線の色 / 面の色 ボタンと 線の縫い方 / 面の縫い方 セレクタが表示されます。

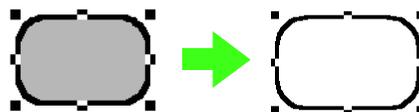
オフ: 線の色 / 面の色 ボタンと 線の縫い方 / 面の縫い方 セレクタは表示されません。



線縫いオン:                      線縫いオフ:



面縫いオン:                      面縫いオフ:



P.98の「糸色」、P.99の「縫い方の種類」

### 注意:

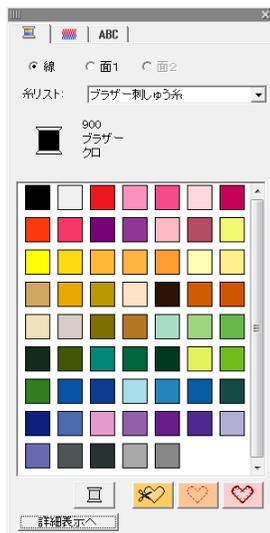
線描画ツールを使い、閉じた線として描かれているデータでも、データの輪郭がそれ自体で交差していると、面縫いの属性を閉じた線の内側に設定することはできません。

## ■ 糸色

輪郭線や面部、文字データやマニュアルパンチングデータの糸色は、**糸色**ダイアログボックスで設定します。

### 1. 糸色ボタンをクリックします。

- パレット表示モード



- 詳細表示モード



### メモ：

糸色ダイアログボックスには2つの表示モードがあり、モード切り替えは左下のボタンで行います。

- 糸色の詳細を表示するときは、**詳細表示へ**ボタンをクリックします。
- 糸色のみを表示するときは、**パレット表示へ**ボタンをクリックします。

### 2. 糸リストセレクトから、糸のブランドまたはユーザー糸リストを選択します。

### 3. 糸色リストから、色を選択します。

### メモ：

図形データ、TrueType フォントの文字 / モノグラムデータ、閉じた線データは、糸色ダイアログボックスの上部で、どの部分 (**線**、**面 1**、**面 2**) の色を設定するか切り替えることができます。

**線**：線の色

**面 1**：面の色

**面 2**：レンディング設定時の追加色

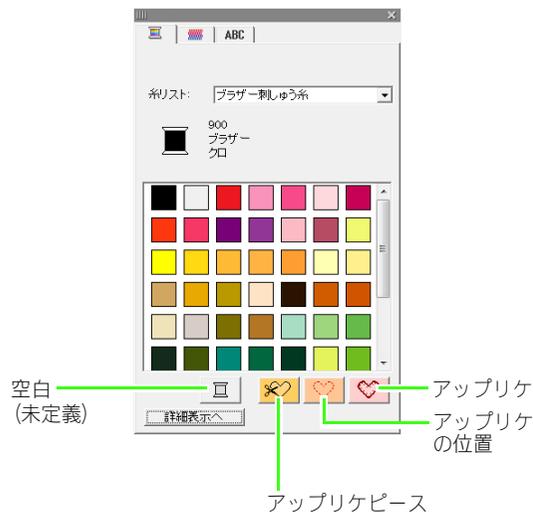
(**面 2** は、レンディングを設定している場合のみ選択できます。)

 P.119の「グラデーションを作る / レンディングを設定する」

 ユーザー糸リストの設定方法や、ミシンでの糸色の扱いについては、P.113の「ユーザー糸リストを作成 / 編集する」を参照してください。

 糸色の変更のしかたについては、P.121の「糸色を変更する」を参照してください。

## ■ 特別な色



- **空白 (未定義)** : 糸色表示機能のあるミシンでは、自動的に指定された糸色を表示しますが、実際にミシンを使って縫製する際、そのときに応じて色を決めたいときに、「空白」を指定します。
- 次の 3 つの特別な色を使って、アップリケを作ります。  
**アップリケピース** : アップリケにする布などを切り取るための輪郭線を縫います。  
**アップリケの位置** : アップリケを縫い付ける布に、アップリケ位置のガイド線を縫います。  
**アップリケ** : アップリケを縫い付けます。

### 📖 メモ :

アップリケウィザードを使うと、簡単にアップリケを作ることもできます。

- 👉 P.139 の「アップリケを作る (アップリケウィザード)」, P.175 の「アップリケを作る」

## ■ 縫い方の種類



輪郭線、面、文字、マニュアルパンチングデータの縫い方の種類を設定します。

### 1. 縫い方セクタをクリックします。

→ 縫い方セクタに表示される、設定できる縫い方の種類は選択した刺しゅうデータにより異なります。

刺しゅうデータの種類	線の縫い方設定	面の縫い方設定
文字 (内蔵フォント、オリジナルフォント、モノグラム)	なし	サテン縫い、タタミ縫い、プログラムタタミ縫い
文字 (TrueType フォント)	サテン縫い、走り縫い、3重縫い、モチーフ縫い、E/V ステッチ	サテン縫い、タタミ縫い、プログラムタタミ縫い、パイピング縫い、モチーフ縫い
ミニサイズ文字	なし	なし
マニュアルパンチングデータ	なし	サテン縫い、タタミ縫い、プログラムタタミ縫い、パイピング縫い、モチーフ縫い
その他	サテン縫い、走り縫い、3重縫い、モチーフ縫い、E/V ステッチ	サテン縫い、タタミ縫い、プログラムタタミ縫い、パイピング縫い、モチーフ縫い、クロスステッチ、同心円縫い、放射縫い、渦巻き縫い、スティッピング

### 2. 縫い方の種類をクリックします。

- 👉 P.97 の「線縫い / 面縫い」、P.100 の「縫い方の詳細設定をする」

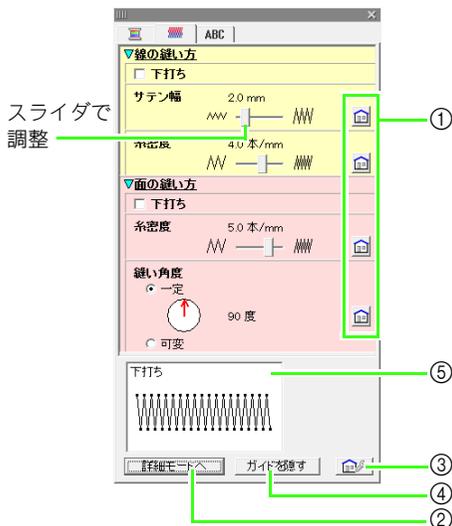
## 縫い方の詳細設定をする

線と面に対する縫い方の詳細設定は、**縫い方の設定**ダイアログボックスで行います。

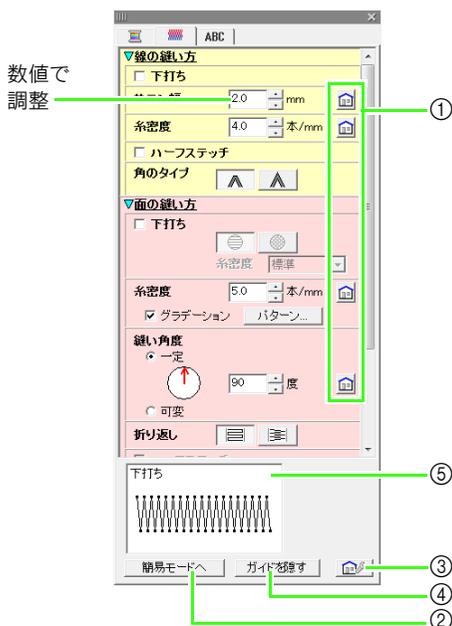
1. 刺しゅうデータを選択するか、描画ツールまたは文字入力ツールを選択します。
2. メニューの**縫い方**→**縫い方の設定**をクリックします。

P.48の「レイアウトセンターの画面」

- 簡易モード



- 詳細モード



- ① 左の設定を標準設定値に戻します。
- ② モードを切り替えます。
- ③ 縫い方の設定の保存 / 呼び出しをします。
- ④ ガイドの表示 / 非表示を切り替えます。
- ⑤ ガイド表示領域  
設定を変更することに、具体的な変化をここで確認できます。

### メモ:

ダイアログボックスに表示される縫い方の設定の内容は、選択されている縫い方の種類によって異なります。

3. 基本的な設定を簡単に指定する場合は、**簡易モード**へをクリックします。指定できるすべての設定を細かく指定する場合は、**詳細モード**へをクリックします。

### メモ:

• 簡易モードで表示されない設定は、詳細モードでの設定値が保持されます。

4. 必要に応じて、**線の縫い方**または**面の縫い方**の下に表示された各設定を変更します。

→ 設定を変更するたびに、設定値が刺しゅうデータに適用されます。

**縫い方の設定**の各設定については、P.101の「線の縫い方」とP.104の「面の縫い方」を参照してください。よく使う設定は、保存すると便利です。詳しくは、P.112の「縫い方設定をリストに保存する」を参照してください。

### 注意:

**縫い方の設定**ダイアログボックスの各設定は、表示モードに関係なく、変更されるまで、現在設定されている内容が保持されます。

## ■ 線の縫い方

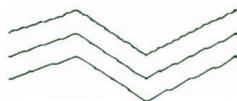
指定できる縫い方の設定は、選択した縫い方によって異なります。

### サテン縫い



下打ち	下打ちを設定する場合、チェックを入れます。 下打ちをすると、縫い縮みを防ぐことができます。	しない 	する 
サテン縫い	サテン幅を設定します。	狭い 	太い 
糸密度	糸密度を 1mm あたりの糸数で設定します。	粗い 	細かい 
ハーフステッチ	ハーフステッチを設定する場合、チェックを入れます。 折り返しの片側の糸密度が細かい場合に、一定密度になるように自動的に調整されます。 文字データ、図形データに設定できます。	しない  内側の糸密度が細かい	する  一定密度に調整される
角のタイプ	角をどのように縫うかを設定します。		

### 走り縫い



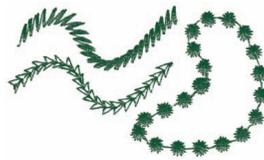
走りピッチ	走りピッチを設定します。	短い 	長い 
走り回数	輪郭線を縫う回数を設定します。	1回  x1	5回  x5

### 3重縫い



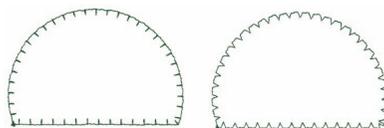
走りピッチ	走りピッチを設定します。	短い 	長い 
-------	--------------	--------	--------

## モチーフ縫い



	モチーフ縫いのパターンを選択します。 をクリックすると、 <b>一覧</b> ダイアログボックスが表示されます。フォルダを選択し、パターン一覧から希望のパターン (.pmf ファイル) を選択します。	
	パターンのサイズを設定します。高さや幅の比率を維持して、拡大/縮小できます。	
	① <b>高さ</b> (縦の長さ)	パターンの高さを設定します。 小さい  大きい
	② <b>幅</b> (横の長さ)	パターンの幅を設定します。 低い  高い 短い  長い
アレンジ 1 (縦配列)	パターンの縦配列を設定します。 パターン全部または 1 パターンごとに上下反転できます。	
アレンジ 2 (横配列)	パターンの横配列を設定します。 パターン全部または 1 パターンごとに左右反転できます。	
スペース	パターンの間隔を設定します。 狭い  広い	
走りピッチ	走りピッチを設定します。 短い  長い	

## E/V ステッチ



E ステッチ		E ステッチか V ステッチかを選択します。	
<b>E ステッチ</b>			
	① 間隔	ストロークの間隔を設定します。	狭い                      広い 
	② ストローク幅	ストロークの高さを設定します。	短い                      長い 
	③ 走りピッチ	線縫いの走りピッチを設定します。	狭い                      広い 
走り回数	線縫いの縫い回数を設定します。		1回                      5回 
ストローク回数	ストロークの縫い回数を設定します。		1回                      3回 
ストロークの向き	ストロークの向き (内側 / 外側) を設定します。		 
<b>V ステッチ</b>			
	① 間隔	ストロークの間隔を設定します。	狭い                      広い 
	② ストローク幅	パターンの高さを設定します。	狭い                      長い 
	③ 走りピッチ	線縫いの走りピッチを設定します。	狭い                      広い 
走り回数	縫い回数を設定します。 V ステッチは、線縫いとストロークは同じ縫い回数で縫われます。		1回                      5回 
ストロークの向き	ストロークの向き (内側 / 外側) を設定します。		 

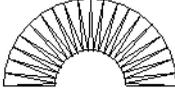
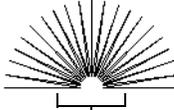
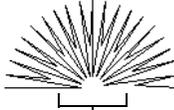
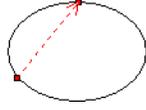
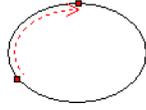
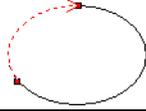
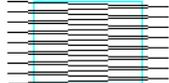
## ■ 面の縫い方

指定できる縫い方の設定は、選択した縫い方によって異なります。

### サテン縫い



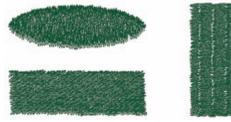
下打ち	下打ちを設定する場合、チェックを入れ、以下の設定を行います。 下打ちをすると、縫い縮みを防ぐことができます。															
	下打ちの縫い種類を設定します。															
	• 文字とマニュアルパンチングデータの場合	• その他のデータの場合														
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>端のみ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>面のみ (サテン縫いの1重縫い)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>面のみ (パイピング縫いの1重縫い)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>端と面 (サテン縫いの1重縫い)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>面のみ (サテン縫いとパイピング縫いの2重縫い)</td> </tr> </table>		端のみ		面のみ (サテン縫いの1重縫い)		面のみ (パイピング縫いの1重縫い)		端と面 (サテン縫いの1重縫い)		面のみ (サテン縫いとパイピング縫いの2重縫い)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>1重縫い： 指定された縫い方向に対して垂直に縫います。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2重縫い： 指定された縫い角度に対して45度と-45度で縫います。</td> </tr> </table>		1重縫い： 指定された縫い方向に対して垂直に縫います。		2重縫い： 指定された縫い角度に対して45度と-45度で縫います。
	端のみ															
	面のみ (サテン縫いの1重縫い)															
	面のみ (パイピング縫いの1重縫い)															
	端と面 (サテン縫いの1重縫い)															
	面のみ (サテン縫いとパイピング縫いの2重縫い)															
	1重縫い： 指定された縫い方向に対して垂直に縫います。															
	2重縫い： 指定された縫い角度に対して45度と-45度で縫います。															
<b>糸密度</b> 下打ちの糸密度を、 <b>濃い</b> / <b>標準</b> / <b>薄い</b> から選択します。																
糸密度	糸密度を 1mm あたりの糸数で設定します。	粗い  細かい														
	<b>グラデーション</b> 糸密度にグラデーション (濃淡) を設定する場合、チェックを入れます。 次の場合は、設定できません。 • 縫い角度が <b>可変</b> に設定されている • 文字データおよびマニュアルパンチングデータ <b>パターン</b> をクリックして、グラデーションのパターンを設定します。 P.119の「グラデーションを作る / ブレンディングを設定する」	オフ  オン														

<p><b>縫い角度</b></p>	<p>縫い方向の種類を設定します。 文字データおよびマニュアルパンチングデータは設定できません。 <b>一定</b>：一定の角度で縫います。  をドラッグするか、数値を選択して、角度を設定します。 <b>可変</b>：面の形状に合わせて、縫い方向を自動的に可変します。</p>	<p><b>一定</b></p>  <p><b>可変</b></p> 
<p><b>ハーフステッチ</b></p>	<p>ハーフステッチを設定する場合、チェックを入れます。 折り返しの片側の糸密度が細かい場合に、一定密度になるように自動的に調整されます。 縫い角度が<b>一定</b>に設定されていると設定できません。</p>	<p>しない                      する</p>  <p>内側の糸密度が細かい</p>  <p>一定密度に調整される</p>
<p><b>内部走り経路</b></p>	<p>面内部の走り縫いの経路を設定します。</p> <p> 面の内部 (図形内部の最短経路)</p> <p> 輪郭線沿い (図形の輪郭線の内側の線上の最短経路)</p> <p> 輪郭線上 (図形の輪郭線上の最短経路)</p> <p>面の内部は、<b>グラデーション</b>が設定されていると設定できません。 次の場合は、設定できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>縫い角度が<b>可変</b>に設定されている</li> <li>文字データおよびマニュアルパンチングデータ</li> </ul>	<p> 面の内部</p>  <p> 輪郭線沿い</p>  <p> 輪郭線上</p> 
<p><b>縮み補正</b></p>	<p>縫製面を縫い方向に伸長して、縫い縮みを補正します。</p>	<p>補正なし                      最適補正</p>  

 **メモ：**

マニュアルパンチングについては、P.77の「マニュアルパンチングデータを作る」を参照してください。

## タタミ縫い



下打ち		
糸密度	👉 P.104 の「サテン縫い」	
縫い角度		
折り返し	ステッチの折り返しパターンを指定します。 縫い角度が <b>可変</b> に設定されていると設定できません。	
ハーフステッチ	👉 P.105 の「ハーフステッチ」、「内部走り経路」	
内部走り経路		
縫いピッチ	縫いピッチを設定します。	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>短い</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>長い</p> </div> </div>
偏差	縫い目のずらし具合を設定します。	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>0%</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>50%</p> </div> </div>
縮み補正	👉 P.105 の「縮み補正」	

## プログラムタタミ縫い



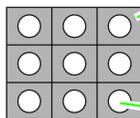
下打ち	👉 P.104 ~ P.105 の「サテン縫い」
糸密度	
縫い角度	
ハーフステッチ	
内部走り経路	
縮み補正	

プログラムタタミ										
	モチーフ縫いのパターンを選択します。 をクリックすると、 <b>一覧</b> ダイアログボックスが表示されます。フォルダを選択し、パターン一覧から希望のパターン (.pas ファイル) を選択します。									
	パターンのサイズを設定します。高さ と幅の比率を維持して、拡大 / 縮小でき ます。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">小さい </td> <td style="width: 50%; text-align: center;">大きい </td> </tr> </table>	小さい 	大きい 							
小さい 	大きい 									
	① <b>高さ (縦の長さ)</b> パターンの高さを設定 します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">低い </td> <td style="width: 50%; text-align: center;">高い </td> </tr> </table>	低い 	高い 							
	低い 	高い 								
② <b>幅 (横の長さ)</b> パターンの幅を設定し ます。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">短い </td> <td style="width: 50%; text-align: center;">長い </td> </tr> </table>	短い 	長い 								
短い 	長い 									
<b>角度</b>	をドラッグするか、数値を選択して、 パターンの角度を設定します。 <table style="width: 100%; border: none; text-align: center;"> <tr> <td>135度</td> <td>90度</td> <td>45度</td> </tr> <tr> <td>180度</td> <td></td> <td>0度</td> </tr> <tr> <td>225度</td> <td>270度</td> <td>315度</td> </tr> </table>	135度	90度	45度	180度		0度	225度	270度	315度
135度	90度	45度								
180度		0度								
225度	270度	315度								
<b>オフ セット</b>	オフセット 方向 (横 / 縦)      パターン配列のオフセット方向 (ずらし 方向) を設定します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">0% </td> <td style="width: 50%; text-align: center;">縦方向 50% </td> </tr> </table>	0% 	縦方向 50% 							
	0% 	縦方向 50% 								
オフセット 値      パターン配列のオフセット値 (ずらし 量) を設定します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">横方向 50% </td> <td style="width: 50%; text-align: center;">縦方向 50% </td> </tr> </table>	横方向 50% 	縦方向 50% 								
横方向 50% 	縦方向 50% 									
<b>ベースの縫い方</b>										
<b>折り返し</b>	ベースの縫い方を設定する場合、チェックを入れ、以下の設定を行います。 ステッチの折り返しパターンの形を指 定します。 縫い角度が <b>可変</b> に設定されていると設 定できません。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;"></td> <td style="width: 50%; text-align: center;"></td> </tr> </table>									
<b>縫いピッチ</b>	縫いピッチを設定します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">短い </td> <td style="width: 50%; text-align: center;">長い </td> </tr> </table>	短い 	長い 							
短い 	長い 									
<b>偏差</b>	縫い目のずらし具合を設定します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">0% </td> <td style="width: 50%; text-align: center;">50% </td> </tr> </table>	0% 	50% 							
0% 	50% 									

パターン



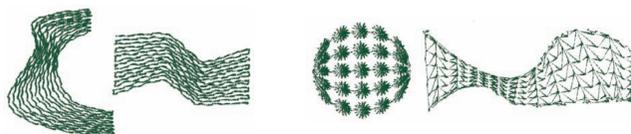
縫い沈め、または浮き上がり  
効果を設定した面



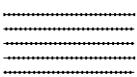
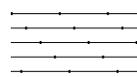
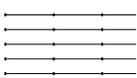
プログラムタタミ縫いのベースの縫い方  
(斜線で示したパターン以外の領域) で設  
定された縫い方で縫われます。

パターンファイルで設定された縫い方で  
縫われます。

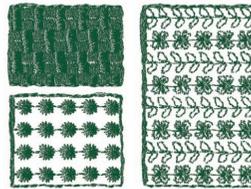
## パイピング縫い



ブロックの進行方向に沿って縫い目を作ります。

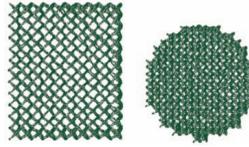
<b>角度</b>	縫い方向の角度を設定します。  をドラッグするか、数値を選択して、設定します。 マニュアルパンチングデータには設定できません。	
モチーフ縫いを使わない場合に設定します。		
<b>糸密度</b>	1mm 当たりの糸数を設定します。	粗い  細かい 
<b>走りピッチ</b>	線縫いの走りピッチを設定します。	短い  長い 
<b>偏差</b>	縫い目のずらし具合を設定します。	0%  50% 
<b>モチーフ縫い</b>		
モチーフ <input type="text" value="パターン1のみ"/>	 P.109 の「面の縫い方」の「モチーフ縫い」	
パターン 1/パターン 2 モチーフパターンの種類と大きさ アレンジ 1 (縦配列) アレンジ 2 (横配列) スペース横 (横の間隔) スペース縦 (縦の間隔)	 P.102 の「線の縫い方」の「モチーフ縫い」	
オフセット量 走りピッチ	 P.109 の「面の縫い方」の「モチーフ縫い」	

## モチーフ縫い



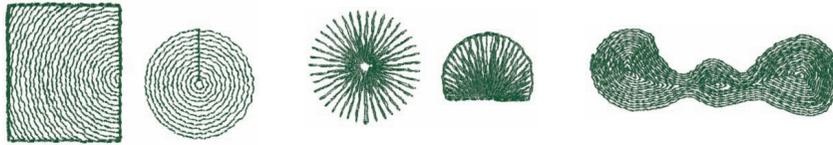
<b>モチーフ</b> モチーフ縫いに使うパターンを選択します。 パターン1のみ ▼ <b>パターン1のみ</b> ：パターン1のみを使います。 <b>パターン2のみ</b> ：パターン2のみを使います。 <b>パターン1と2</b> ：パターン1と2を使います。各列で交互に縫製されます。		<b>パターン1のみ</b> 	<b>パターン2のみ</b> 
<b>パターン1/パターン2</b>	各パターンの設定をします。		
モチーフパターンの種類と大きさ アレンジ1 (縦配列) アレンジ2 (横配列) スペース横 (横の間隔)	P.102の「線の縫い方」の「モチーフ縫い」		
スペース縦 (縦の間隔)	パターンの縦の間隔を設定します。	狭い 	広い 
<b>角度</b>	をドラッグするか、数値を選択して、角度を設定します。		
<b>オフセット量</b>	パターン配列のオフセット量 (ずらし量) を設定します。	小さい 	大きい 
<b>走りピッチ</b>	P.102の「線の縫い方」の「モチーフ縫い」		

## クロスステッチ



サイズ	格子の縦横のサイズを設定します。 詳細モードでは、単位として mm またはカウントで設定します。どちらの単位で設定しても、もう一方の単位も連動して設定されます。	小さい	大きい
縫い方	縫い回数を、 <b>2重縫い</b> /4重縫い/6重縫いから設定します。	2重縫い	6重縫い
		x2	x6

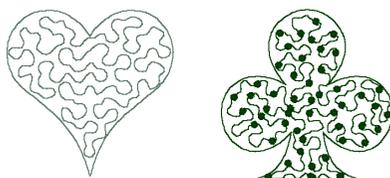
## 同心円縫い、放射縫い、渦巻き縫い



同心円縫いと放射縫いの中心点の移動については、P.61の「中心点を移動する」を参照してください。

糸密度	糸密度を 1mm あたりの糸数で設定します。	同心円縫い 粗い	同心円縫い 細かい
走りピッチ	走りピッチを設定します。	放射縫い 粗い	放射縫い 細かい
		渦巻き縫い 粗い	渦巻き縫い 細かい
		短い	長い

## ステッピング



走りピッチ	走りピッチを設定します。 モチーフ縫いを使う場合は設定できません。	短い ----- 曲線が滑らかになります。	長い ----- 曲線が角張ります。
スペース	隣り合う線縫いの平均間隔を設定します。	狭い 	広い 
モチーフ縫い	モチーフ縫いを使って模様をつくる場合、チェックを入れ、以下の設定を行います。		
モチーフパターンの種類と大きさ	P.102の「線の縫い方」の「モチーフ縫い」		
アレンジ1 (縦配列)			
アレンジ2 (縦配列)			
スペース			
走りピッチ			

## マニュアルパンチング

マニュアルパンチングデータは、面の縫い方がサテン縫い、タタミ縫い、プログラムタタミ縫いの場合、ぼかし縫いの設定ができます。

ぼかし縫い設定なし

ぼかし縫い設定あり



ぼかし縫い	<p>ぼかし縫いのパターンを選択します。 をクリックすると、一覧ダイアログボックスが表示されます。パターン一覧から希望のパターンを選択します。</p>	<p>ぼかし縫いを適用する端を設定します。 チェックを入れるとデザインページの刺しゅうデータにぼかし縫いが設定されますので、確認しながら設定する端を指定します。</p>	<p>上端 &lt;パターン 11 &gt; の場合</p> <p>上端のみ</p> <p>下端のみ</p> <p>下端 &gt;パターン 18 &gt; の場合</p> <p>上端下端両方</p>
	<p>3.0 mm</p>	<p>ぼかし縫いの幅を設定します。</p>	<p>短い </p> <p>長い </p>

## プログラムタタミ縫いとスタンプに関する注意

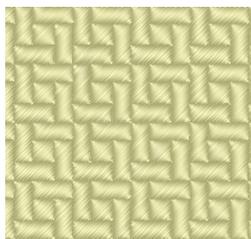
プログラムタタミ縫いやスタンプを設定する場合、縫い方とパターン角度によっては、パターンの効果が十分に現れない場合があります。これは、パターンのデータと縫いが交わる所に針落ちデータを作られるためです。

したがって、プログラムタタミ縫いやスタンプを設定する場合は、必ずプレビュー機能を使って縫い角度、パターン角度が正しいか確認してください。効果的な角度の値を得るため、別の縫い角度を試して比較してみてください。

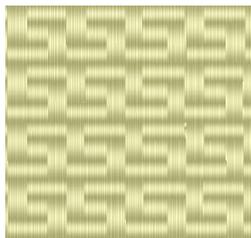
プログラムタタミ縫いの例：



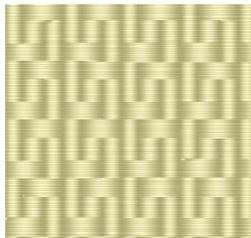
例 1  
縫い角度：45 度 (標準)



例 2  
縫い角度：90 度



例 3  
縫い角度：0 度



 P.65 の「縫製イメージをプレビューする」、P.199 の「ステッチクリエイターの基本的な使い方」

## よく使う縫い方を保存する

頻繁に使う縫い方を保存し、縫い方を設定するときに呼び出すことができます。

### メモ：

簡易モードと詳細モードのどちらの設定でも保存できます。

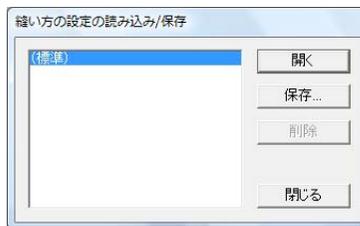
## ■ 縫い方設定をリストに保存する

1. 縫い方の設定ダイアログボックスを表示します。

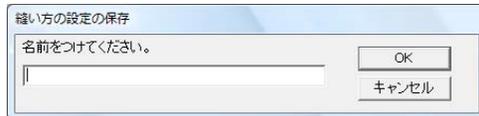
 P.100 の「縫い方の詳細設定をする」

2. 必要に応じて、縫い方の設定ダイアログボックスの設定を変更し、 をクリックします。

3. 保存をクリックします。



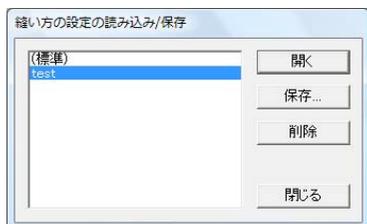
4. 設定名を入力し、OK をクリックして、リストに登録します。



5. 閉じるをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

## ■ リストから設定を削除する

1. **縫い方の設定の読み込み/保存**ダイアログボックスで、削除する設定名を選択します。



2. **削除**をクリックし、確認メッセージが表示されたら、**はい**をクリックします。

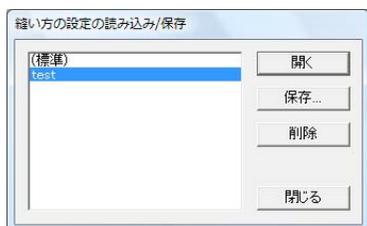


### メモ:

(標準) は削除できません。

## ■ リストから縫い方の設定を呼び出す

1. **縫い方の設定の読み込み/保存**ダイアログボックスで、呼び出したい設定名を選択します。



2. **開く**をクリックします。

→ **縫い方の設定**ダイアログボックスの設定が呼び出した設定に変わります。



### メモ:

- 呼び出した設定を変更して上書き保存したいときは、**縫い方の設定**ダイアログボックスで をクリックし、**保存**をクリックし、設定名を変更しないで **OK** をクリックします。
- 保存した設定は、別のパソコンで使うこともできます。コピー元のパソコンの**刺しゅうPRO 8** フォルダ (アプリケーションフォルダ) の **settings** フォルダから **sastd.txt** をコピーして、コピー先のパソコンの同じパスにある **settings** フォルダに貼り付けます。

刺しゅう PRO がインストールされたドライブ ¥ Program Files ¥ Brother ¥ 刺しゅうPRO 8 ¥ settings

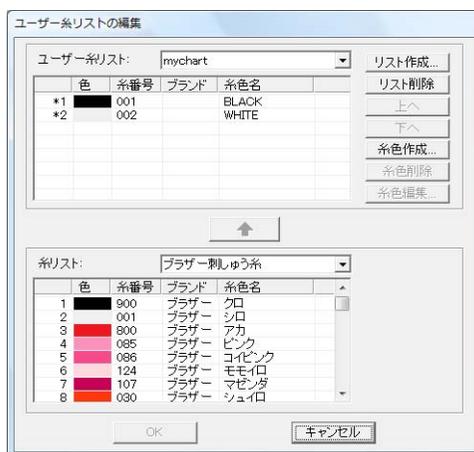
## ユーザー系リストを作成 / 編集する

ユーザー系リストとは、よく使う糸やお手持ちの糸を登録するなど、自由に作成 / 編集できるリストです。システム系リストからの糸データを組み合わせたり、新規の糸データを加えることもできます。

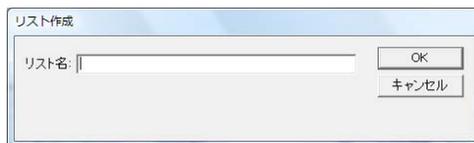
1. **メニューのオプション**→**ユーザー系リストの編集**をクリックします。

## ■ 新しい系リストを作る

1. **リスト作成**をクリックします。



2. リスト名を入力し **OK** をクリックして、系リストを登録します。



### メモ:

登録されたリストは、**ユーザー系リストセレクト**から選択し、内容を編集できます。

## ■ 糸リストを削除する

1. ユーザー糸リストセレクトから糸リストを選択します。

ユーザー糸リスト: mychart2

2. リスト削除をクリックします。

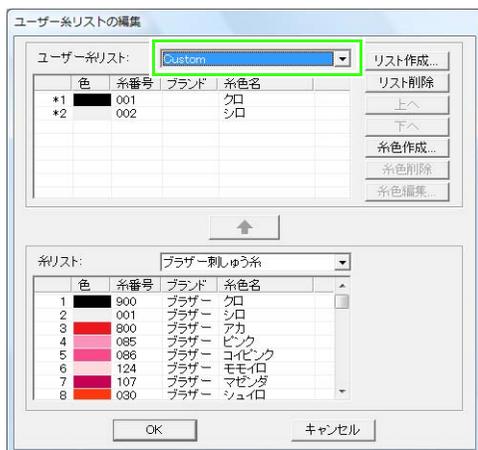
→ 次のメッセージが表示されます。



3. はいをクリックします。

## ■ 編集する糸リストを選択する

1. ユーザー糸リストセレクトから糸リストを選択します。



### 🔦 注意:

ユーザー糸リストが何も選択されていない状態では編集作業は行えません。

## ■ 糸リストから糸色を追加する

1. 糸リストセレクトからブランドを選択します。

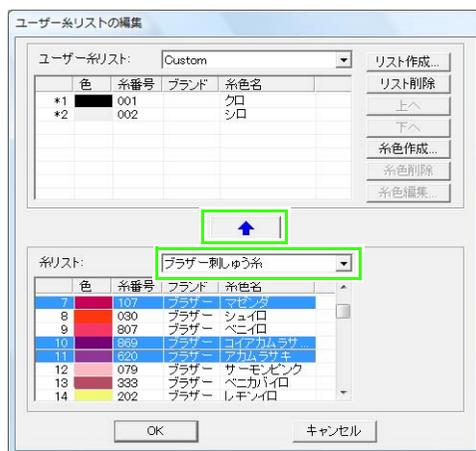
2. 糸リストの糸色一覧から糸色を選択します。

### 📖 メモ:

複数の色を選択するときは、**(Shift)** キーまたは **(Ctrl)** キーを押しながら糸色をクリックします。

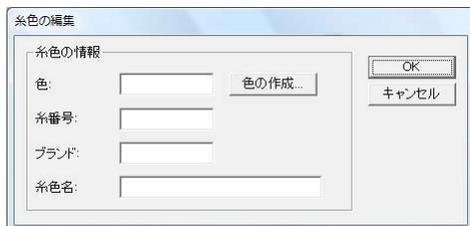
3.  をクリックします。

→ 選択した糸色がユーザー糸リストに追加されます。



## ■ 新しい糸色を追加する

1. **糸色作成**をクリックします。
2. **色の作成**をクリックします。

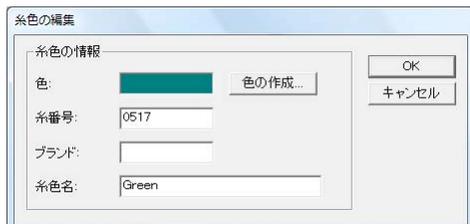


3. 色を選択し、**OK**をクリックします。



→ **糸色の編集**ダイアログボックスに新しい色が表示されます。

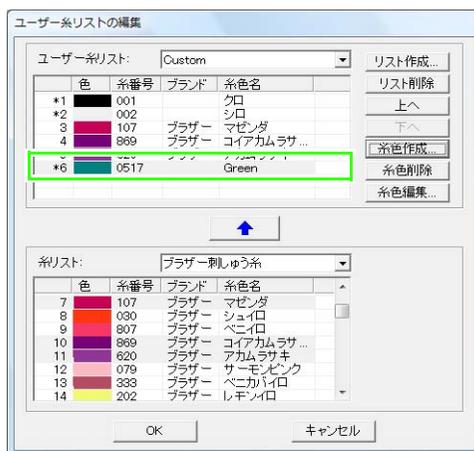
4. 必要に応じて、**糸番号**、**ブランド**、**糸色名**のボックスに数字や文字を入力します。



### メモ:

糸番号は数字のみ入力できます。

5. **OK**をクリックして、新しい糸色をユーザー糸リストに追加します。



### メモ:

新しく追加された糸色は、行の左端に (\*) マークが表示されます。

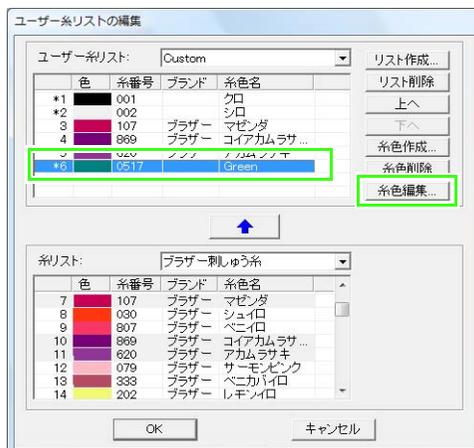
## ■ 糸色を削除する

ユーザー糸リストに登録されている糸色を削除する場合は、**ユーザー糸リスト**の糸色一覧の削除する糸色を選択し、**糸色削除**をクリックします。

## ■ 糸色を編集する

ユーザー糸リストに登録されている糸色は、色や糸番号等を変更できます。

1. **ユーザー糸リスト**の糸色一覧の編集する糸色を選択し、**糸色編集**をクリックします。



## 2. 新しい糸色の追加と同様に、糸色の情報を編集します。

### メモ:

編集された糸色は、新しく追加された糸色と同様に、行の左端に (\*) マークが表示されます。

## ■ 糸色の順序を変更する

ユーザー糸リストの糸色一覧の順序を変更する糸色を選択し、**上へ**または**下へ**をクリックします。

## ■ 作成/編集したユーザー糸リストを保存する

ユーザー糸リストを作成 / 編集し終わったら、**OK** をクリックして**ユーザー糸リストの編集**ダイアログボックスを閉じます。

### 注意:

このソフトウェアで作った刺しゅうデータをミシンで扱う場合、ミシン上での糸色に関する表示は、ミシンにより異なります。

#### 1. 糸色を表示する機能がないミシン

設定された糸色の情報は、一切ミシンには表示されません。

#### 2. 糸色を表示する機能があるミシン

各刺しゅうデータに設定された糸色の情報のうち、糸色のみがミシン上に表示されます。ただし、表示される糸色名はミシンが内蔵している糸色名に限られます。そのため、刺しゅうデータに設定された糸色に一番近い糸色をミシンに内蔵している糸色名から選択し、ミシンに表示されます。

#### 3. データ糸色優先機能があるミシン

ミシンの中には、このソフトウェアで設定された糸の情報を表示できる機種があります。そのミシンでは、刺しゅうデータに設定された糸情報のうち、糸色、糸色名、ブランド名、糸番号などが表示されます。

ただし、編集もしくは追加した糸色 (行の左端に\*マークがついている糸色) は、糸番号のみが表示されます。

### メモ:

編集したユーザー糸リストは、別のパソコンで使うことができます。コピー元のパソコンの**刺しゅうPRO 8** フォルダ (アプリケーションフォルダ) の **Color** フォルダから **chart2.btc** をコピーして、コピー先のパソコンの同じパスにある **Color** フォルダに貼り付けます。

刺しゅう PRO がインストールされたドライブ ¥ **Program Files** ¥ **Brother** ¥ **刺しゅう PRO 8** ¥ **Color**

# 面部を編集する

## スタンプを設定/編集する

長方形/円・円弧/図形/直線描画ツールや文字ツール、マニュアルパンチングツールを使って描かれた刺しゅうデータのサテン縫い、タタミ縫い、プログラムタタミ縫いの面部にスタンプを設定します。

### メモ:

あらかじめいくつかのプログラムタタミ/スタンプパターンが用意されています。また、ステッチクリエイターで編集してオリジナルのパターンを作ることができます。

 P.199の「ステッチクリエイターの基本的な使い方」

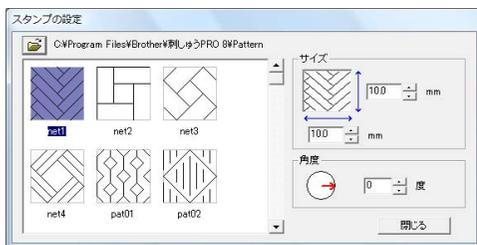
### ■スタンプを設定する

1. ツールボックスの  をクリックします。

→ 2つのボタン   が表示されます。

2.  をクリックします。

3. プログラムタタミ/スタンプパターン (.pas ファイル) を選択し、クリックします。



### メモ:

- 縫い止め/浮き上がり効果が設定されている面は、それぞれ赤と青で表示されます。
- 別のフォルダを選択するときは、 をクリックします。

4. スタンプの幅と高さを変更する場合は、**サイズ**に数値を入力するか、スピンドットをクリックして指定します。

5. スタンプの角度を変更する場合は、**角度**の下の赤い矢印をドラッグして設定します。また、数値を入力するか、スピンドットをクリックしても変更できます。

### メモ:

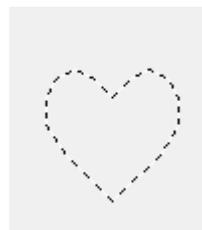
- スタンプツール選択中は、**スタンプの設定**ダイアログボックスは開いたままで作業ができます。スタンプのサイズと角度をいつでも調整できます。
- ダイアログボックスを閉じた後、再度開くときはツールボックスの  をクリックします。

6. スタンプを設定したい面をクリックします。

→ 選択した面の輪郭線が、赤い破線で表示されます。

7. スタンプを設定する位置をクリックします。

→ スタンプの形状が点線で表示されます。



### メモ:

- スタンプが、面の外側にも表示される場合がありますが、面と重なっている部分のみが縫われます。
- 同じ面に複数のスタンプを設定するときは、必要な数だけ、面をクリックします。
- 選択した面にカーソルを入れなければ、スタンプを設定できません。
- **スタンプの設定**ダイアログボックスは、スタンプツールを選択中のみ表示されます。

## ■ スタンプを編集する

1. ツールボックスの  をクリックします。

→ 2つのボタン  が表示されます。

2.  をクリックします。

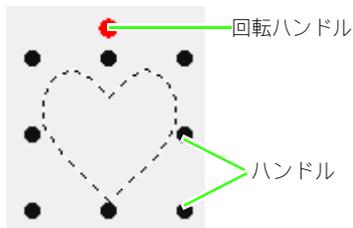
→ 設定されているスタンプが点線で表示されます。

3. スタンプを設定した面をクリックします。

→ 面の輪郭線が、赤い破線で表示されます。

4. スタンプをクリックします。

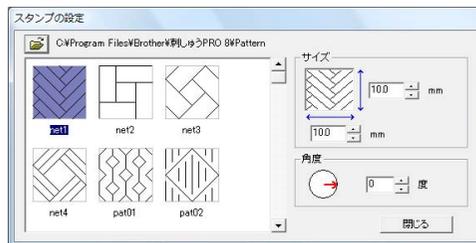
→ 丸いハンドルがスタンプの周囲に表示され、回転ハンドルがスタンプの上部に表示されます。



### 💡 注意：

複数個のスタンプを一緒に選択することはできません。別のスタンプを選択すると、前に選択していたスタンプの選択は解除されます。

5. スタンプを編集します。



- スタンプの形状を変更する場合は、**スタンプの設定**ダイアログボックスで別のスタンプを選択して、**設定**をクリックします。
- スタンプのサイズと角度を変更する場合は、**スタンプの設定**ダイアログボックスで**サイズ**と**角度**を指定するか、ハンドルまたは回転ハンドルをドラッグして調整します。
- スタンプを移動する場合は、スタンプをドラッグします。
- スタンプを削除する場合は、メニューの**編集** → **削除**を選択するか、**(Delete)**キーを押します。

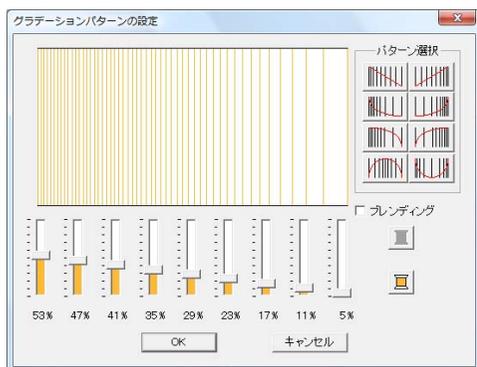
### 📖 メモ：

- スタンプを設定した刺しゅうデータを移動や回転をすると、スタンプも一緒に移動や回転しますが、刺しゅうデータのサイズを変更してもスタンプのサイズは変わりません。
- スタンプは設定された面内でのみ縫われます。

## グラデーションを作る / ブレンディングを設定する

サテン縫い、タタミ縫い、またはプログラムタタミ縫いは、1色または2色の糸密度を調整して、好みのグラデーションパターンを作ることができます。

1. **縫い方の設定**ダイアログボックスの詳細モードで、**面の縫い方のグラデーション**チェックボックスをチェックします。
2. **パターン**をクリックします。
3. 糸色を変えるときは、をクリックします。**糸色**ダイアログボックスで色を選択して、**OK**をクリックします。



4. **パターン選択**のパターンボタンをクリックして、グラデーションのパターンを選択します。
5. スライダーを動かして、グラデーションの糸密度を調節します。

### メモ：

変更結果がプレビュー領域に表示されます。

6. 2色を混ぜる場合は、**ブレンディング**チェックボックスをチェックし、その下のをクリックします。**糸色**ダイアログボックスで色を選択して、**OK**をクリックします。
7. **OK**をクリックします。

### メモ：

- **ブレンディング**を解除したときは、面の色ボタン (3. でクリックしたボタン) で選択されている色が適用されます。
- グラデーションの糸色は、**糸色**ダイアログボックスで**面 1**、**面 2**を選択して変更することもできます。

 P.98の「糸色」

# 縫い順や糸色を確認・変更する / ロックする

縫い順 / ロックダイアログボックスで、刺しゅうデータの縫い順を確認、変更できます。また、色や縫い方の設定を変更したり、刺しゅうデータをロックすることもできます。

ツールバーボタン: 

1. ツールバーの  をクリックするか、メニューの縫い方→縫い順/ロックをクリックします。



: クリックすると、それぞれの部分がコマいっぱいに表示されます。

: クリックすると、連続する同色の部分が組み合わされて1つのコマに表示されます。



## メモ:

- 同色の複数の部分を組み合わせて表示しているコマは、番号の左横に  が表示されます。  
 をクリックすると、部分ごとのコマが表示されます。



 は、連続する同色の部分の最初の部分で、続いて同色の各部分が縫い順で表示されていることを示しています。

 をクリックすると、その色の部分を組み合わせた表示に戻ります。

- 縫い順 / ロックダイアログボックスを閉じるときは、右上の  をクリックします。

## 刺しゅうデータを選択する

1. 縫い順 / ロックダイアログボックスで、コマを選択します。

→ コマを選択すると、コマの枠が青くなり、デザインページのそのコマの面の輪郭線が赤い破線で表示されます。

## メモ:

複数のコマを選択するときは、**(Shift)** または **(Ctrl)** キーを押しながら各コマをクリックするか、コマを囲むようにドラッグします。

## 縫い順を変更する

縫い順を変更するときは、部分のコマを選択し、新しい縫い順の位置までドラッグします。ドラッグ中は赤い縦線が表示され、コマの移動先を示します。



ダイアログボックスの上のボタンをクリックしてもコマを移動できます。

- : 縫い順を先頭に移動します。
- : 縫い順を1つ前に移動します。
- : 縫い順を1つ後に移動します。
- : 縫い順を最後に移動します。

## 同じ色のデータを組み合わせる

刺しゅうデータを組み合わせてデザインしている場合、縫い順 / ロックダイアログボックスで、同じ色の刺しゅうデータをまとめることができます。同じ色の刺しゅうデータのコマの横にドラッグします。

## メモ:

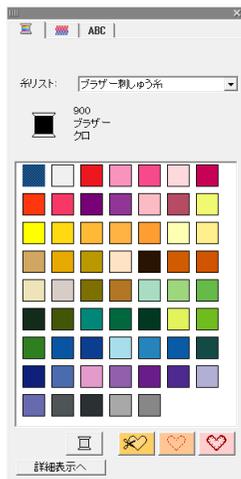
縫い順を変更した後は、刺しゅうデータの重なっている部分が正しい縫い順になっているか確認してください。

## 糸色を変更する

ステッチデータの色も、ここで変更できます。

 P.51の「メモ」

1. **縫い順/ロック**ダイアログボックスで、コマを選択します。
2. 縫い方バーの  をクリックします。  
 P.48の「レイアウトセンターの画面」
3. 設定したい色をクリックします。



→ デザインページと**縫い順/ロック**ダイアログボックスに、刺しゅうデータが新しい色で表示されます。

 P.98の「糸色」

## 縫い方の設定を変更する

1. **縫い順/ロック**ダイアログボックスで、コマを選択します。
2. メニューの**縫い方**→**縫い方の設定**をクリックします。  
 P.48の「レイアウトセンターの画面」  
→ **縫い方の設定**ダイアログボックスが表示されます。
3. 縫い方の設定を変更します。  
 P.99の「縫い方の種類」、P.100の「縫い方の詳細設定をする」

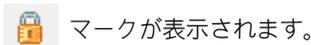
## 刺しゅうデータをロックする

移動したり、削除したくない刺しゅうデータを固定できます。ロックを設定するとその刺しゅうデータは選択できなくなり、編集できなくなります。

1. **縫い順/ロック**ダイアログボックスで、コマを選択します。

2.  をクリックします。

→ 刺しゅうデータがロックされ、コマの下に



ロックを解除したいときは、コマを選びもう一度

- 度  をクリックします。

### **メモ:**

- 番号の左側に  表示されているコマは、同色の複数部分を組み合わせで作られています。ロックをすると、すべての部分がロックされます。
- 面と線がある刺しゅうデータは、面と線のどちらか一方がロックされると、その刺しゅうデータはロックされます。
- グループ化、円弧配列、ドーナツ縫い設定など、組み合わせ設定がされている刺しゅうデータは、部分データの1つがロックされるとすべてのデータがロックされます。

## 画像データを取り込む

刺しゅうデータの原画やマニュアルパンチングの下絵として、また、プリントデザインと刺しゅうを組み合わせるときのプリントデザイン用として、画像を取り込むことができます。

画像の取り込み方は、次の4つの方法があります。

- ①ファイルから
- ②スキャナやデジタルカメラから
- ③似顔絵から
- ④クリップボードから



### 注意：

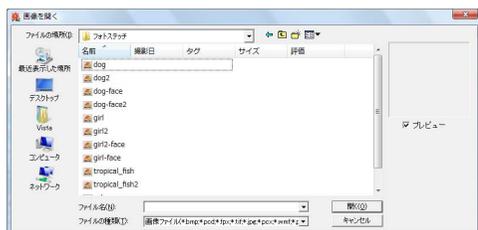
デザインページに取り込める画像は1つです。別の画像を取り込むと、それまで表示されていた画像とおきかえられます。

### 画像 / 写真データの取り込み

クリップアートや写真など、いろいろなファイル形式の画像をレイアウトセンターに取り込んで刺しゅうデータを作ることができます。

P.20の「画像ファイルの形式について」

1. メニューの**画像→入力→ファイルから**をクリックします。
2. ドライブ、フォルダ、ファイル名を選択します。



### メモ：

プレビューチェックボックスがチェックされていると、選択したファイルの内容が**プレビュー**領域に表示されます。

3. **開く**をクリックしてファイルを開きます。  
→ デザインページに原画（画像ファイル）が表示されます。



### メモ：

このソフトウェアには、いろいろな素材のサンプル画像が付属されています。次の**刺しゅう PRO 8** フォルダの**ClipArt** フォルダにあります。  
刺しゅう PRO がインストールされたドライブ ¥ Program Files ¥ Brother ¥ **刺しゅう PRO 8** ¥ ClipArt

### スキャナ/デジタルカメラから画像データを取り込む

TWAIN 規格対応のスキャナ等の機器から画像をデザインページに取り込んで、刺しゅうデータを作るときの下絵や原画として使うことができます。



### メモ：

TWAIN とは、スキャナ等を制御するソフトウェアのためのアプリケーションインターフェイス（API）の標準規格です。

1. スキャナ等の TWAIN 機器が、パソコンに正しく接続されていることを確認します。
2. メニューの**画像→TWAIN 機器の選択**をクリックします。
3. **ソースリスト**から、使う機器を選択してクリックします。



### 注意：

TWAIN 機器のドライバがインストールされていない場合、**ソースリスト**には何も表示されません。TWAIN 機器のドライバソフトウェアをインストールしてください。

4. **選択**をクリックします。

## 5. メニューの**画像**→**入力**→**TWAIN 機器**からをクリックします。

→ **ソースの選択**ダイアログボックスで選択した機器のドライバインターフェイスが表示されます。

## 6. 画像の取り込みに必要な設定を指定し、画像を取り込みます。

### 注意：

TWAIN 機器の使い方については、その機器のヘルプマニュアルをご覧ください。その機器の製造元にお問い合わせください。

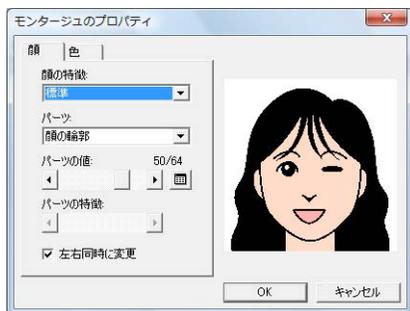
→ TWAIN 機器とドライバ間の画像転送が完了すると、取り込んだ画像が貼り付けられます。

## 似顔絵を作る

髪型、目、鼻、口などのパーツを組み合わせることで似顔絵を作り、その画像を取り込みます。

## 1. メニューの**画像**→**入力**→**モンタージュ**からをクリックします。

## 2. **顔の特徴**から、似顔絵の全体的なイメージ(雰囲気)を選択します。細め、太め、子供などがあります。



## 3. **パーツ**から、変更する顔の**パーツ**を選択します。

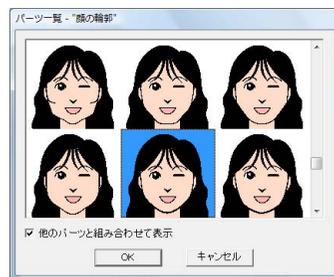
### メモ：

サンプルイメージの各パーツ部分をクリックしても選択できます。

## 4. **パーツの値**スライダを動かして、**パーツの形**を選択します。

### メモ：

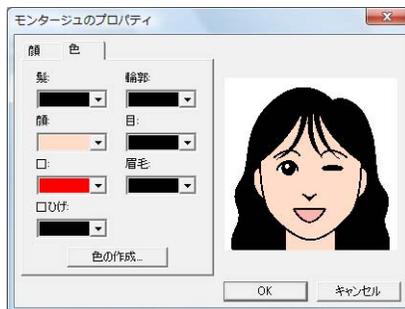
- **左右同時に変更**チェックボックスをチェックすると、目、耳は左右が同じパーツになります。
-  をクリックすると、選択したパーツの一覧が表示されます。



- **他のパーツと組み合わせる表示**チェックボックスをチェックすると、他のパーツと組み合わせられた形で、チェックを外すとそのパーツが単独で、一覧表示されます。
- 目的のパーツをクリックし**OK**をクリックするか、ダブルクリックして選択します。

## 5. **パーツの特徴**スライダを動かして、**パーツの特徴** (標準 / やや大 / やや小 / 横長 / 縦長) を選択します。

## 6. **色**タブをクリックすると、**パーツの色**を選択できます。パーツの色をクリックし、色を選択します。



## 7. 似顔絵ができれば、**OK**をクリックします。

→ デザインページに、似顔絵の画像が表示されます。

## クリップボードから画像データを取り込む

クリップボードにコピーされている画像を、デザインページに取り込むことができます。別のアプリケーションソフトで表示した画像を、ファイルに保存しなくても、クリップボードに一時コピーすることでその画像を取り込めます。

1. メニューの **画像→入力→クリップボードから** をクリックします。



### 注意：

この機能は、クリップボードに画像がコピーされていないときは使えません。

→ デザインページに画像が表示されます。



### メモ：

画像は解像度 100dpi (高さ、幅とも) で表示されます。

## 画像の各設定の変更

### 画像の表示設定を変更する

デザインページの画像の表示のしかたを選択できます。

1. メニューの**画像**→**表示設定**をクリックし、設定を選択します。
  - 表示する場合は、**表示 (100%)** をクリックします。
  - 薄く表示する場合は、表示する濃さ (**75%**、**50%** または **25%**) をクリックします。
  - 表示しない場合は、**表示しない** をクリックします。

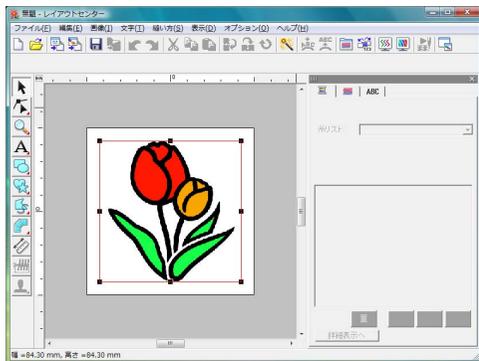
#### メモ：

- デザインページに取り込まれた画像がない場合は、この機能は使えません。
- **(F6)** キーを押すと、**表示 (100%)**、**75%**、**50%**、**25%** および **表示しない** を切り替えることができます。

### 画像のサイズや角度、位置を調整する

画像のサイズや角度、位置を調整します。

1. メニューの**画像**→**サイズと位置の変更**をクリックします。
  - 画像の周囲に赤い線とハンドルが表示されます。



#### メモ：

ステータスバーに、画像のサイズ (幅と高さ) が表示されます。

### 画像データを移動する

1. カーソルを画像上に移動します。
2. ドラッグして、移動します。

### 画像データを拡大/縮小する

1. カーソルをハンドルの上に移動します。
2. ハンドルをドラッグして、画像のサイズを調整します。

#### メモ：

- **(Shift)** キーを押しながらハンドルをドラッグすると、画像の中心から拡大/縮小されます。

### 画像データを回転する

画像を 90 度ずつ回転できます。

1. メニューの**画像**→**回転**をクリックし、**右に 90度回転**または**左に 90度回転**を選択します。
  - 画像が指定した方向へ回転します。

### 画像データを削除する

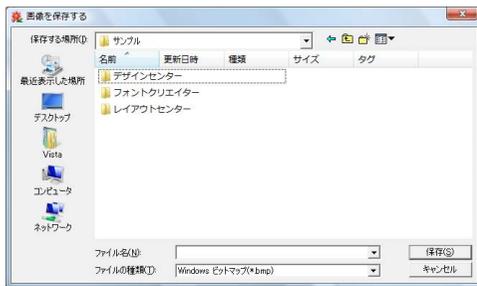
1. **(Delete)** キーを押すか、メニューの**編集**→**削除**をクリックします。
  - 画像データはデザインページから削除されます。

## 画像データを保存する

画像データをファイルとして保存できます。また、クリップボードにコピーすることもできます。

### ■ ファイルとして保存する

1. メニューの**画像**→**出力**→**ファイル**へをクリックします。
2. ドライブ、フォルダ、ファイルの種類を選択します。



3. ファイル名を入力します。

#### 📖 メモ:

画像データは、Windows ビットマップ (.bmp) または JPEG (.jpg) のどちらかで保存できます。

4. **保存**をクリックして、データを保存します。

### ■ クリップボードに出力する

1. メニューの**画像**→**出力**→**クリップボード**へをクリックします。  
→ デザインページの画像データがクリップボードにコピーされます。

# 画像データを刺しゅうデータへ自動変換する (ステッチウィザード)

ステッチウィザードに従って、画像データを刺しゅうデータに変換します。

ツールバーボタン: 

1. デザインページに画像が表示されていない場合は、メニューの**画像→入力**を使い、刺しゅうデータに変換する原画を用意します。

 P.122 の「画像データを取り込む」

2. メニューの**画像→サイズと位置の変更**を使い、原画を作りたい刺しゅうデータの大きさ、位置に調整します。

3. ツールバーの  をクリックするか、メニューの**画像→ステッチウィザードの起動**をクリックします。

→ 次のダイアログボックスが表示されます。



- ① 変換前の画像のイメージ
- ② 変換後の刺しゅうデータのイメージ
- ③ 変換方法の種類
- ④ 選択した変換方法の説明

### 注意:

デザインページに画像が表示されていないと、**画像の変換方法の選択**ダイアログボックスは表示されません。**画像を開く**ダイアログボックスが表示されます。

4. **変換方法**を選択してクリックし、**次へ**をクリックします。

#### オートパンチ:

自動的に画像の境界を抽出して、刺しゅうデータを作ります。

(「**オートパンチを選択した場合**」に進みます。)

#### フォトステッチ 1:

写実風の写真刺しゅうデータを作ります。色は**カラー**、セピア調またはグレー調 (**セピア**)、**モノクロ**から選択できます。

(「**フォトステッチ 1 (カラー)**」を選択した場合、「**フォトステッチ 1 (セピア)**」を選択した場合) または「**フォトステッチ 1 (モノクロ)**」を選択した場合に進みます。)

#### フォトステッチ 2:

写真を4色 (**カラー**) または1色 (**モノクロ**) で表現する刺しゅうデータを作ります。

(「**フォトステッチ 2 (カラー)**」を選択した場合) または「**フォトステッチ 2 (モノクロ)**」を選択した場合に進みます。)

#### クロスステッチ:

クロスステッチの刺しゅうデータを作ります。色は**カラー**、セピア調またはグレー調 (**セピア**) から選択できます。

(「**クロスステッチ (カラー)**」を選択した場合) または「**クロスステッチ (セピア)**」を選択した場合に進みます。)

#### デザインセンター:

デザインセンターを起動します。デザインセンターのデザインページに画像が取り込まれます。

(「**デザインセンターを選択した場合**」に進みます。)

### メモ:

刺しゅうデータには、それぞれ次の画像が適しています。

#### オートパンチ/クロスステッチ/デザインセンター

- 色数が少なく、色のはっきりしたイラスト

#### フォトステッチ

- 明るくはっきりした写真
- 人物の写真の場合、次のサイズを目安に画像を調整してください。
  - 顔のアップ画像の場合: 10 × 10cm
  - バストアップ画像の場合: 13 × 18cm

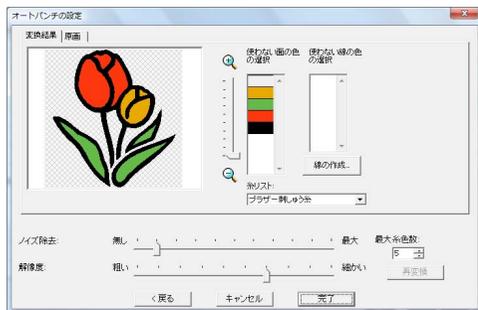
## 原画を刺しゅうデータに自動変換する (オートパンチ)

「使ってみましょう」で、刺しゅうデータを作りながら基本的な使い方を説明しています。

 P.21 の「オートパンチ」

### ■ オートパンチを選択した場合

#### 1. 変換結果を確認します。



変換された結果が**変換結果**タブに表示されます。

 と  の間のズームスライダを動かすと、画像の表示倍率を調整できます。

オートパンチの変換は、以下の設定を変更できます。

**ノイズ除去**：原画に含まれるゴミ（ノイズ）を除去する程度を設定します。

**解像度**：変換する際の解像度を設定します。

**最大糸色数**：使用する糸色の数を設定します。

**糸リストセレクト**で糸リストを選びます。選択した糸リストから最適な糸色が選択されます。ユーザー糸リストも選択できます。

**原画**タブをクリックすると、原画が表示されます。

思い通りの変換結果になっていたら、**6.**へ進みます。

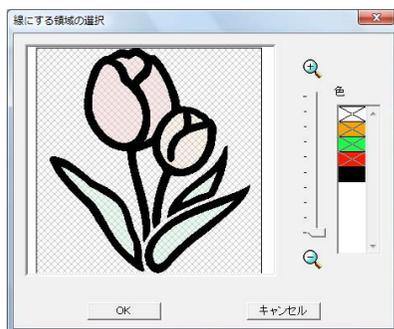
面を線に変更したり、縫う部分を変更したりしたい場合は、**2.**へ進みます。

#### **メモ：**

設定を変更したら、**再変換**をクリックして新しい設定で変換し直します。**再変換**をクリックしないと、新しい設定は適用されません。

#### 2. 面を線に変換する場合は、**線の作成**をクリックします。

#### 3. 線に変換する面をクリックします。



#### **メモ：**

色リストの色をクリックして×マークを外すと、線にする面を色単位で指定できます。

#### 4. OK をクリックします。

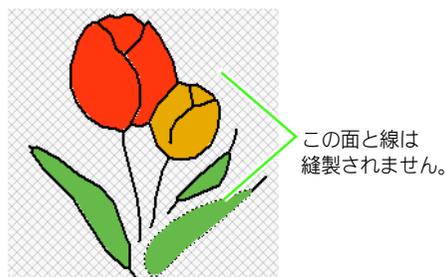
→ 面が線に変換されます。

#### 5. 縫製領域 (刺しゅうデータにする部分) を選択します。

**変換結果**タブの画像の各部分をクリックして、縫製する / しないを選択します。面を変換してできた線も選択できます。

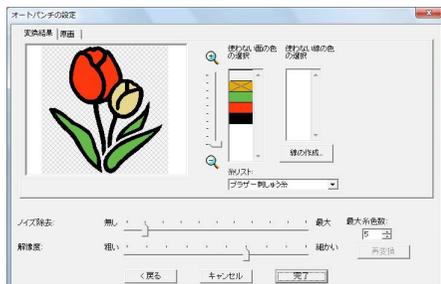
#### **メモ：**

縫製されない面部は×マークで、線部は点線で表示されます。



## 📖 メモ:

- 必要に応じて、**使わない面の色の選択**リストまたは**使わない線の色の選択**リストの色をクリックして、色単位で縫製する/しないを選択します。



- ×マークが付いている色が、縫製しない設定になります。

## 6. 必要な設定を選択できたら、完了をクリックします。

- 変換結果に、最適な糸色、縫い方が設定された刺しゅうデータが作られ、デザインページに表示されます。
- 画像は、自動的に非表示になります。

## 📖 メモ:

作られた刺しゅうデータは、他の刺しゅうデータと同様に、後から糸色や縫い方の設定を変えることができます。

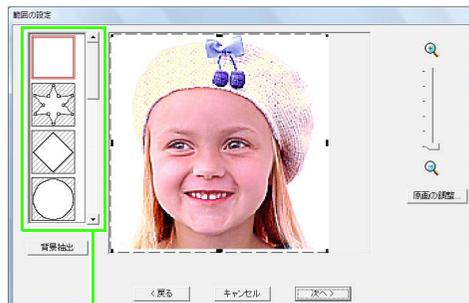
## 写真を刺しゅうデータに自動変換する (フォステッチ1/フォステッチ2)

### ■ フォステッチ1 (カラー) を選択した場合

「使ってみましょう」で、刺しゅうデータを作りながら基本的な使い方を説明しています。

📖 P.25の「フォステッチ」

## 1. ダイアログボックスの左側のマスクリストから、画像をトリミングする形状 (マスク) を選択しクリックします。



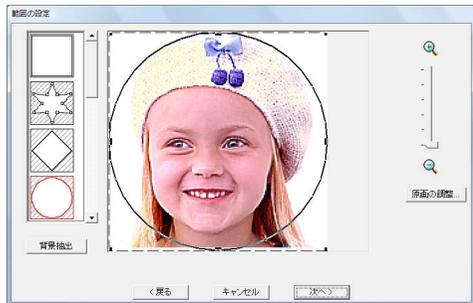
マスクリスト

## 2. プレビュー領域で、マスクの形状と位置を調整します。マスクのハンドルを移動して、刺しゅうデータに変換する画像部分を囲みます。

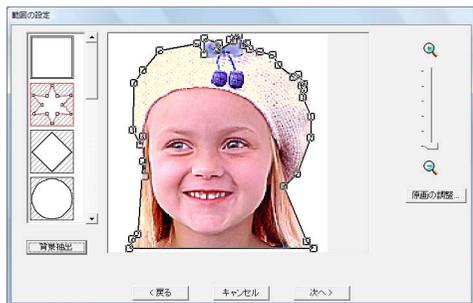
## 📖 メモ:

- **原画の調整**をクリックすると、**原画の調整**ダイアログボックスが表示され、画像の調整ができます。
- 🔍 と 🔍 の間のズームスライダを動かすと、画像の表示倍率を調整できます。
- 任意の形のマスクを作るときは、 を選択し、ポイントを移動、挿入、削除してマスクの形を調整します。マスクの輪郭線をクリックすると、ポイントを挿入できます。ポイントを削除するときは、ポイントを選択して、**Delete** キーを押します。
- 背景が1色の場合は、**背景抽出**をクリックすると、自動的に画像の輪郭が検出されます。ポイントを移動または削除することで、マスクの輪郭線を調整できます。

丸いマスクで編集した場合



調整可能なマスクで編集した場合



## 注意：

原画が小さい場合、マスクのサイズを小さくできないことがあります。

## メモ：

### 原画の調整

• **範囲の設定**ダイアログボックスで**原画の調整**をクリックすると、**原画の調整**ダイアログボックスが表示されます。



- **原画－輪郭強調**スライダで、原画の輪郭を強調する割合を調整します。**輪郭強調**に近く設定するほど、明るい部分と暗い部分の境界が明確になります。
- **暗い－明るい**スライダで、原画の明るさを調整します。
- **コントラスト低－コントラスト高**スライダで、原画のコントラストを調整します。

3. **範囲の設定**ダイアログボックスの**次へ**をクリックします。

4. 画像の位置とサイズを調整します。

- 画像をドラッグして、移動します。
- ハンドルをドラッグして、サイズを調整します。
- 刺しゅうのサイズは、ダイアログ左下で確認できます。



刺しゅうのサイズ

## メモ：

**ページのサイズに合わせる**をクリックすると、マスク画像がデザインページサイズにいったいのサイズに調整されます。

5. 次へをクリックします。
6. 縫い方や糸色を設定します。



- ☞ P.133 の「縫い方設定」、「糸色設定」
- ☞ 候補から選択については、P.27 の 7 を参照してください。

7. プレビューの更新をクリックします。

→ プレビューが更新されます。



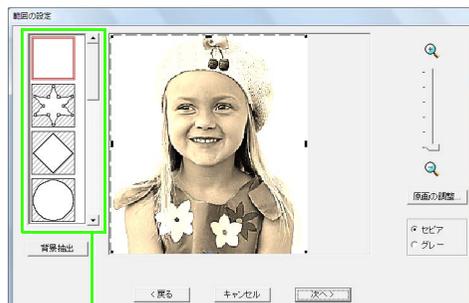
8. 完了をクリックします。

- 刺しゅうデータが作られ、デザインページに表示されます。
- 画像は、自動的に非表示になります。

## ■ フォトステッチ 1 (セピア) を選択した場合

基本的な使い方は、フォトステッチ 1 (カラー) と同じです。

1. ダイアログボックスの左側のマスクリストから、画像をトリミングする形状 (マスク) を選択しクリックします。



マスクリスト

2. プレビュー領域で、マスクの形状と位置を調整します。マスクのハンドルを移動して、刺しゅうデータに変換する画像部分を囲みます。

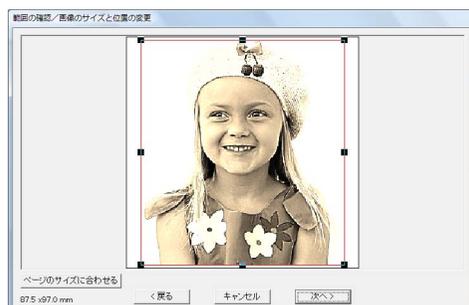
☞ P.129 の 2.

3. セピアまたはグレーをクリックして、色調を選択します。

4. 次へをクリックします。

5. 画像の位置とサイズを調整します。

☞ P.130 の 4.



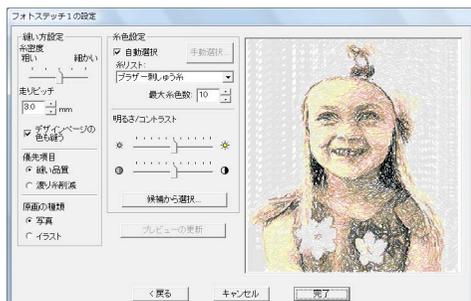
6. 次へをクリックします。

7. 縫い方や糸色を設定します。

☞ P.133 の「縫い方設定」、「糸色設定」

## 8. プレビューの更新をクリックします。

→ プレビューが更新されます。



## 9. 完了をクリックします。

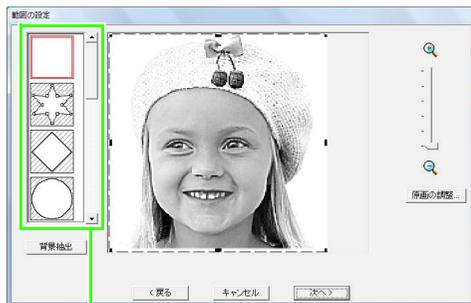
→ 刺しゅうデータが作られ、デザインページに表示されます。

→ 画像は、自動的に非表示になります。

## ■ フォトステッチ 1 (モノクロ) を選択した場合

基本的な使い方は、フォトステッチ 1 (カラー) と同じです。

### 1. ダイアログボックスの左側のマスクリストから、画像をトリミングする形状 (マスク) を選択しクリックします。



マスクリスト

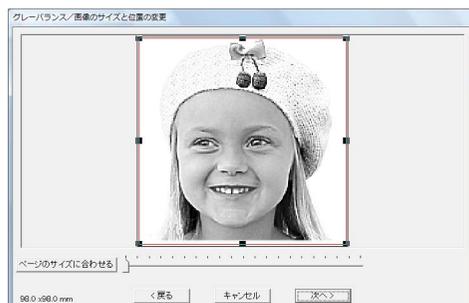
### 2. プレビュー領域で、マスクの形状と位置を調整します。マスクのハンドルを移動して、刺しゅうデータに変換する画像部分を囲みます。

👉 P.129 の **2.**

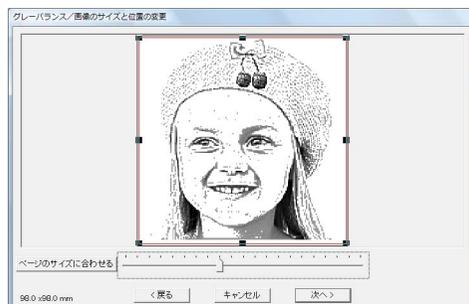
### 3. 次へをクリックします。

## 4. 画像の位置とサイズを調整します。

👉 P.130 の **4.**



## 5. スライダーをドラッグして、どの部分を刺しゅうデータにするか設定します。



## 6. 次へをクリックします。

## 7. 縫い方や糸色を設定します。



👉 P.133 の「縫い方設定」、「糸色設定」

### 8. プレビューの更新をクリックします。

→ プレビューが更新されます。



### 9. 完了をクリックします。

→ 刺しゅうデータが作られ、デザインページに表示されます。

→ 画像は、自動的に非表示になります。

### 縫い方設定

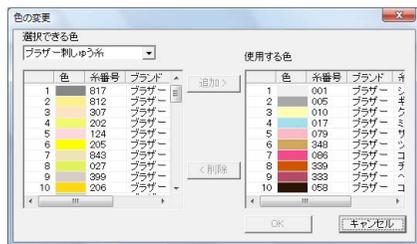
糸密度	作りたい刺しゅうデータの細かさを設定します。 <b>細かい</b> に設定するほど、細かい表現が可能となりますが、ステッチ数は多くなります。(ステッチが重なります)
走りピッチ	縫いピッチを設定します。この設定値を最低の長さとしてデータが作られます。値を低くすると、縫いピッチが短くなり、より細かい刺しゅうになります。
デザインページの色も縫う (モノクロは設定不可)	この項目にチェックを入れると、デザインページと同色の部分に縫い目データが作られます。布地の色をそのまま生かすときはチェックを外してください。初期設定では、選択されています。
優先項目	刺しゅうデータに変換する際の優先項目を選択します。 <b>縫い品質</b> ：縫い上がりの品質を優先してデータが作られます。ただし、渡り糸が多く発生します。 <b>渡り糸削減</b> ：縫製時のわずらわしさを低減するため、渡り糸が少なくなるようにデータが作られます。ただし、縫い上がり時の品質が若干落ちることがあります。
原画の種類	<b>写真</b> を選択すると、糸色を混ぜ合わせ、より自然なデータが作られます。 <b>イラスト</b> を選択すると、糸色を混ぜ合わせないで、データが作られます。 写真などの画像データは <b>写真</b> を、イラストなどの画像データには <b>イラスト</b> を選択します。

### 糸色設定

カラー/セピア	
自動選択	糸色を自動で選択する場合は、このチェックボックスを選択します。初期設定では、このチェックボックスが選択されています。このチェックボックスの選択が解除されている場合は、手動で糸を選択します。
手動選択	<b>自動選択</b> チェックボックスが選択されていないときに表示されます。このボタンをクリックして <b>色の変更</b> ダイアログボックスを開き、刺しゅうデータ作成用に選択された糸色を手動で設定します。(P.134 左の「メモ」)
糸リスト	自動選択により糸色を選択する際の、糸リストを選択します。選択した糸リストから最適な糸色が選択されます。ユーザー糸リストも選択できます。
最大糸色数	自動設定で選び出す色数の値を設定します。
モノクロ	
色の変更	使用する糸色を変更したい場合は、 <b>色の変更</b> ボタンをクリックして、 <b>糸色</b> ダイアログボックスを開きます。また、縫製に使う糸のブランドも変更できます。色を選択して、 <b>OK</b> をクリックし、色の変更を確認します。
カラー/セピア/モノクロ	
明るさ/コントラスト	上のスライダで、明るさを調整します。右に動かすと明るくなり、左に動かすと暗くなります。下のスライダで、コントラストを調整します。右に動かすとコントラストが強くなり、左に動かすと弱くなります。 <b>プレビューの更新</b> をクリックして、プレビューを確認します。
候補から選択	<b>候補から選択</b> ダイアログボックスを開く場合に、このボタンをクリックします。明るさとコントラストが自動補正された6種類のプレビューが表示されます。この中から1つを選んで <b>OK</b> をクリックすると、その明るさとコントラストの設定が適用され、プレビューも更新されます。
プレビューの更新	設定を変更した後に、このボタンをクリックすると、プレビューが更新されます。

## メモ:

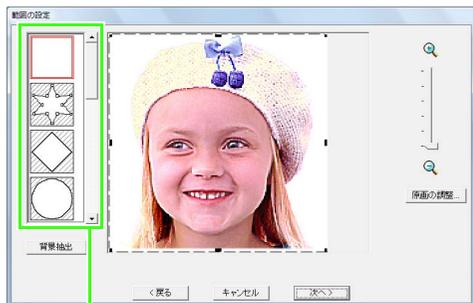
### 色の変更ダイアログについて



- 選択できる色リストで選択した色を、使用する色リストに追加するには、**追加**をクリックします。
- 使用する色リストから色を削除するには、**削除**をクリックします。
- 選択できる色リストと使用する色リストは、糸色の明度が高い順に並んでいます。この順番が縫い順となり、変更はできません。
- 使用する色リストに追加可能な最大糸色数は50色です。
- 使用する色リストに表示されている糸色は、**選択できる色**リストには表示されません。
- 複数のコマを選択するときは、**(Shift)** または **(Ctrl)** キーを押しながら各コマをクリックするか、コマを囲むようにドラッグします。

## ■ フォトステッチ 2 (カラー) を選択した場合

1. ダイアログボックスの左側のマスクリストから、画像をトリミングする形状 (マスク) を選択しクリックします。



マスクリスト

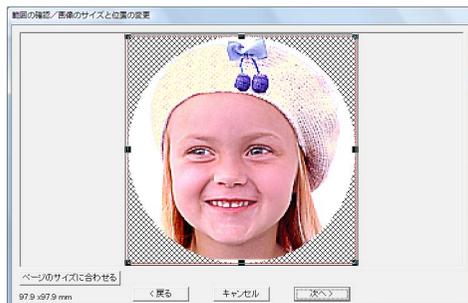
2. プレビュー領域で、マスクの形状と位置を調整します。マスクのハンドルを移動して、刺しゅうデータに変換する画像部分を囲みます。

P.129 の **2.**

3. **次へ**をクリックします。

4. 画像の位置とサイズを調整します。

P.130 の **4.**



5. **次へ**をクリックします。

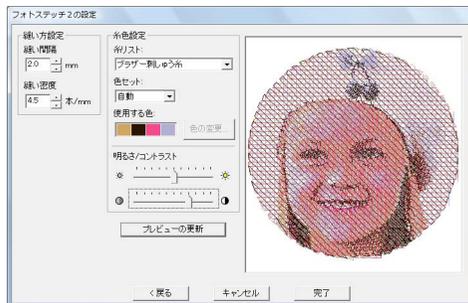
6. **縫い方**や**糸色**を設定します。



P.136 の「縫い方設定」、「糸色設定」

7. **プレビューの更新**をクリックします。

→ プレビューが更新されます。



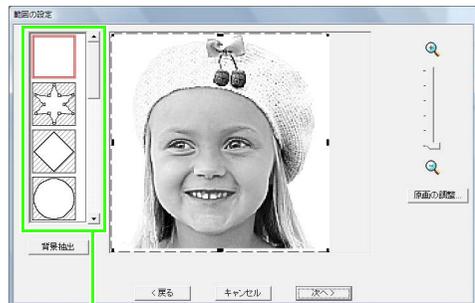
8. **完了**をクリックします。

→ 刺しゅうデータが作られ、デザインページに表示されます。

→ 画像は、自動的に非表示になります。

## ■ フォトステッチ 2 (モノクロ) を選択した場合

1. ダイアログボックスの左側のマスクリストから、画像をトリミングする形状 (マスク) を選択しクリックします。



マスクリスト

2. プレビュー領域で、マスクの形状と位置を調整します。マスクのハンドルを移動して、刺しゅうデータに変換する画像部分を囲みます。

P.129 の **2.**

3. **次へ**をクリックします。

4. 画像の位置とサイズを調整します。

P.130 の **4.**



5. スライダーをドラッグして、どの部分を刺しゅうデータにするか設定します。



6. **次へ**をクリックします。

7. 縫い方や糸色を設定します。



P.136 の「縫い方設定」、「糸色設定」

8. **プレビューの更新**をクリックします。

→ プレビューが更新されます。



9. **完了**をクリックします。

→ 刺しゅうデータが作られ、デザインページに表示されます。

→ 画像は、自動的に非表示になります。

## 縫い方設定

縫い間隔	刺しゅうデータを作る平行線の間隔を設定します。 
縫い密度	サテン縫いで縫製する刺しゅうデータの領域の最大密度を設定します。刺しゅうデータは、縫い密度の設定よりも低い密度で作られます。

## 糸色設定

カラー	
糸リスト	自動選択により糸色を選択する際の、糸リストを選択します。選択した糸リストから最適な糸色が選択されます。ユーザー糸リストも選択できます。
糸セット	<b>自動</b> を選択すると、最も適した4色が自動的に選択されます。または、4色の組合せを選択します。 選択肢の色は、C (シアン)、M (マゼンタ)、Y (イエロー)、K (ブラック)、R (レッド)、G (グリーン)、B (ブルー)です。原画でよく使われている色を次の組合せの中から選択します。 糸の組み合わせ：CMYK、RGBK、CRYK、BMYK
使用する色	選択された4つの糸色を表示します。
色の変更	使用する糸色を変更したい場合は、 <b>使用する色</b> の色をクリックし、 <b>色の変更</b> をクリックして、糸色ダイアログボックスを開きます。色を選択し、 <b>OK</b> をクリックします。 <b>フォーステッチ2の設定</b> ダイアログボックスに戻り、選択した糸色が適用されたプレビューが表示されます。
モノクロ	
色の変更	使用する糸色を変更したい場合は、 <b>色の変更</b> ボタンをクリックして、 <b>糸色</b> ダイアログボックスを開きます。また、糸リストも変更できます。色を選択して、 <b>OK</b> をクリックし、色の変更を確認します。
カラー/モノクロ	
明るさ/コントラスト	上のスライダで、明るさを調整します。右に動かすと明るくなり、左に動かすと暗くなります。 下のスライダで、コントラストを調整します。右に動かすとコントラストが強くなり、左に動かすと弱くなります。 <b>プレビューの更新</b> をクリックして、プレビューを確認します。
プレビューの更新	設定を変更した後に、このボタンをクリックすると、プレビューが更新されます。

## 原画をクロスステッチの刺しゅうデータに自動変換する (クロスステッチ)

「使ってみましょう」で、刺しゅうデータを作りながら基本的な使い方を説明しています。

 P.28の「クロスステッチ」

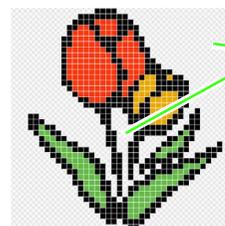
### ■ クロスステッチ (カラー) を選択した場合

- 縫製領域 (刺しゅうデータにする部分) を選択します。  
画像の各部分をクリックして、縫製する / しないを選択します。



### 📖 メモ:

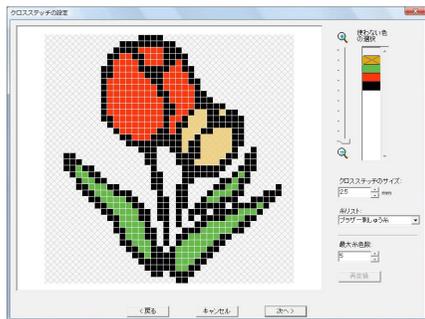
- 縫製されない面部は×マークで表示されます。



この面は縫製されません。

-  と  の間のズームスライダを動かすと、画像の表示倍率を調整できます。

2. 必要に応じて、**使わない色の選択リスト**の色をクリックして、色単位で縫製する/しないを選択します。



**メモ:**

×マークが付いている色が、縫製しない設定になります。

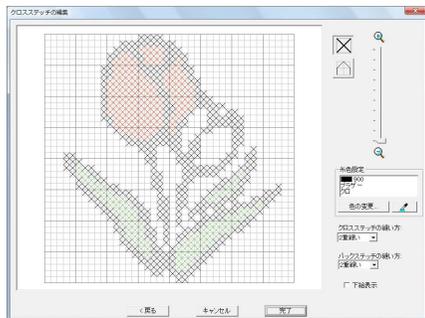
3. 縫い方や糸色を設定します。

クロスステッチのサイズ	格子の縦横のサイズを設定します。
糸リスト	糸色を選択する際の、糸リストを選択します。選択した糸リストから最適な糸色が選択されます。ユーザー糸リストも選択できます。
最大糸色数	使用する色数を設定します。設定された色数内でデータが作られません。 <b>再変換</b> をクリックすると、変更結果を確認できます。

4. **次へ**をクリックします。

→ クロスステッチの編集ダイアログが表示されます。

5. 必要に応じて、ステッチを編集します。



- 追加/削除するステッチを選択する
  - (クロスステッチ) : マス目の中にクロスステッチを設定します。
  - (バックステッチ) : マス目の辺 ( または ) と中 ( または ) にバックステッチを設定します。
- 設定する糸色を選択する
 

**糸色設定**に現在選択されている色が表示されています。

**色の変更**をクリックして、糸色ダイアログボックスを表示し、希望の色をクリックします。

ステッチで使われている色を選択したいときは、 をクリックしてから、その色が使われているステッチをクリックします。
- 作業領域をクリック/ドラッグしてステッチを追加/削除する
  - クロスステッチの場合  
マス目をクリック : 追加
  - バックステッチの場合  
マス目の辺上をクリック : 辺上に追加  
マス目の対角線上をクリック : 対角線上に追加
  - クロスステッチ/バックステッチの共通  
ドラッグ : 連続追加  
右クリック/右ドラッグ : 削除/連続削除

**注意:**

ステッチを編集後、**戻る**をクリックして前のダイアログに戻ると、ここで編集したステッチはリセットされます。

**メモ:**

-  と  の間のズームスライダを動かすと、画像の表示倍率を調整できます。
- 下絵表示**をクリックすると、原画を表示できます。

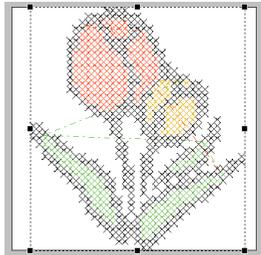
6. **クロスステッチの縫い方とバックステッチの縫い方**で、それぞれのステッチの縫い回数を設定します。

2重縫い、4重縫い、6重縫いから選択します。

7. 必要な設定を選択できたら、**完了**をクリックします。

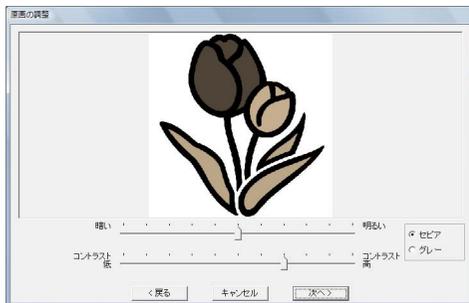
→ クロスステッチデータが作られ、デザインページに表示されます。

→ 画像は、自動的に非表示になります。



## ■ クロスステッチ (セピア) を選択した場合

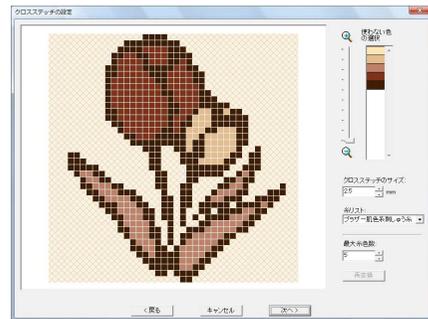
1. 画像の明るさとコントラストを調整します。



上のスライダで、明るさを調整します。右に動かすと明るくなり、左に動かすと暗くなります。下のスライダで、コントラストを調整します。右に動かすとコントラストが強くなり、左に動かすと弱くなります。

2. **セピア**または**グレー**をクリックして、色調を選択します。
3. **次へ**をクリックします。

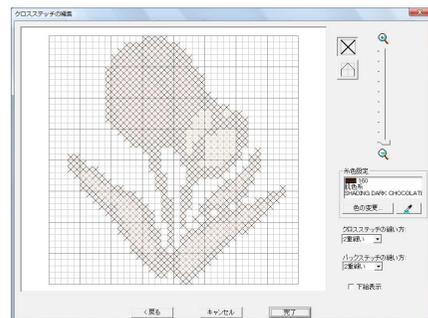
4. 縫製領域を選択し、縫い方や糸色を設定します。



☞ P.136 の **1.**、P.137 の **2.**、**3.**

5. **次へ**をクリックします。

6. 必要に応じて、ステッチを編集します。



☞ P.137 の **5.**

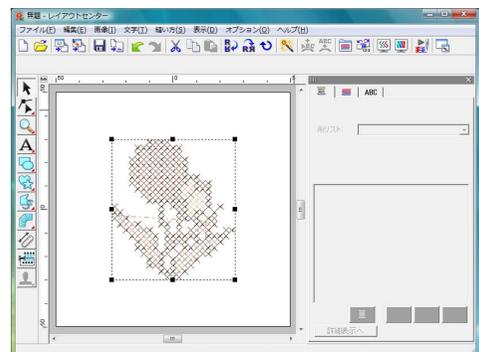
7. ステッチの縫い回数を設定します。

☞ P.137 の **6.**

8. 必要な設定を選択できたら、**完了**をクリックします。

→ クロスステッチデータが作られ、デザインページに表示されます。

→ 画像は、自動的に非表示になります。



4.以降は、クロスステッチ (カラー) の 1.以降と同様の手順です。

 P.136 の「クロスステッチ (カラー) を選択した場合」

## 原画から手動で刺しゅうデータを作る (デザインセンター)

### ■ デザインセンターを選択した場合

→ デザインセンターが起動し、画像が取り込まれたデザインページが表示されます。

 P.154 の「刺しゅうデータを原画から作る (デザインセンター)」

## アップリケを作る (アップリケウィザード)

アップリケウィザードを使うと、アップリケデータを簡単に作成することができます。

「使ってみましょう (上級編)」で、刺しゅうデータを作りながら使い方を説明しています。

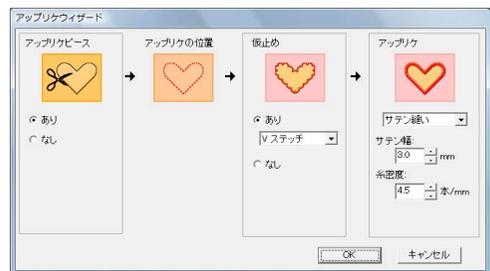
 P.175 の「アップリケを作る」

1. 円や正方形などの閉じた図形データを選択します。

### メモ:

- 線が交差したデータは選択できません。
- アップリケウィザード終了後は、アップリケを作るために使われた図形データは削除されます。

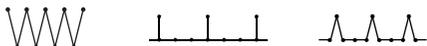
2. メニューの縫い方→アップリケウィザードをクリックします。
3. アップリケピースの切り取り線を縫製する / しないを選択します。縫製する場合は **アップリケピースの下のあり**を、しない場合は **なし**を選択します。



4. **アップリケの位置**(アップリケを縫い付けるためのガイド線) が、自動的に縫製するように設定されます。

5. 仮止めの縫製をする場合は、**仮止めの下のあり**を、仮止めをしない場合は**なし**を選択します。**あり**を選択した場合は、セレクトから縫い目の種類を選択します。仮止めには、サテン縫い、Eステッチ、Vステッチを選択できます。

サテン縫い      Eステッチ      Vステッチ



6. アププリケ縫いの縫い方の種類、各設定を指定します。**アププリケ**の下のセレクトまたはスピンをクリックして指定します。

7. **OK** をクリックして、アププリケウィザードを終了します。デザインページにアププリケデータが表示されます。

## 刺しゅうデータ情報を確認する

刺しゅうの大きさ、針数、縫製時間、色数、色の順序などの縫い方情報を、**デザインのプロパティ**ダイアログボックスで確認します。

1. メニューの**オプション**→**デザインのプロパティ**をクリックします。

### 注意：

表示される縫製時間は目安です。実際の縫製時間は、お使いのミシンの機種や設定により前後する場合があります。



### メモ：

- 刺しゅうデータを選択して**デザインのプロパティ**ダイアログボックスを表示すると、選択した刺しゅうデータの**プロパティ**を確認できます。刺しゅうデータが選択されていない場合は、デザインページ全体の刺しゅうデータの情報が確認できます。
- 基本色で表示**チェックボックスをチェックすると、ミシンで表示される糸色名に切り替わります。
- デザインページのサイズにカスタムサイズまたは大型枠(100×172mm、130×300mm)が設定されている場合、刺しゅうデータを選択しないで**デザインのプロパティ**ダイアログボックスを表示すると、デザインページ全体の刺しゅうデータの情報が刺しゅう枠ごとに表示されます。



# 保存 / 印刷する

## 保存する

### ■ 上書き保存する

ツールバーボタン: 

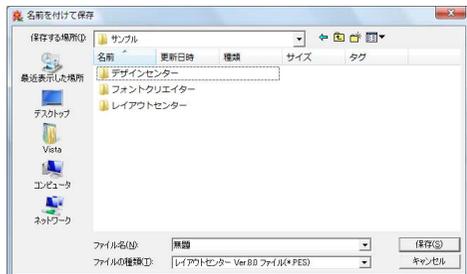
1. ツールバーの  をクリックするか、メニューの **ファイル** → **上書き保存** をクリックします。

→ データがまだ名前を付けて保存されていないときや、元のファイルが見つからないときは、**名前を付けて保存** ダイアログボックスが表示されます。

### ■ 新しい名前を付けて保存する

既存ファイルを編集し、別のファイル名で保存すると、元ファイルは上書きされず、作業中のデータは別ファイルとして保存されます。ファイルは .pes ファイルで保存されます。

1. メニューの **ファイル** → **名前を付けて保存** をクリックします。
2. ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。



#### 🔔 注意:

ファイルの種類で旧バージョンを選択すると、保存された .pes ファイルを旧バージョンのソフトウェアで開くことができます。ただし保存されたデータはすべてステッチデータに変換されます。

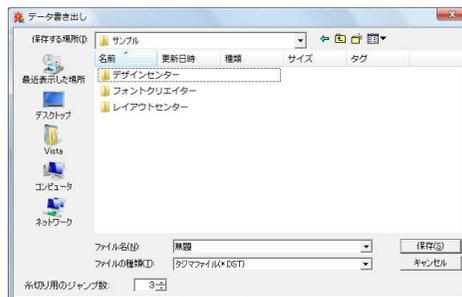
3. **保存** をクリックします。

→ レイアウトセンターのタイトルバーに新しいファイル名が表示されます。

### ■ 刺しゅうデータを別の形式で出力する

デザインページに表示されているデータを、別のファイル形式 (.dst, .hus, .exp, .pcs, .vip, .sew, .jef, .csd, .xxx, .shv) に変換して出力します。

1. メニューの **ファイル** → **データ書き出し** をクリックします。
2. ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。



3. 書き出すファイル形式 (.dst, .exp, .pcs, .hus, .vip, .shv, .jef, .sew, .csd, .xxx) を選択します。

#### 📖 メモ:

DST 形式では、工業用刺しゅうミシンの自動糸切りを指示するためにジャンプコードが使用されており、自動糸切りのためのジャンプ回数はご使用のミシンによって異なります。変換時にジャンプ回数を指定できます。**糸切り用のジャンプ数**に数値を入力するか、スピンボタンで値を変更します。(この設定は DST 形式が選ばれている場合のみ有効です。)

4. **保存** をクリックします。

#### 🔔 注意:

- 刺しゅうカードから読み込んだ刺しゅうデータには、出力できないものがあります。
- 分割模様の刺しゅうデータは、単一のファイルとして書き出され、パーツごとに分割されることはありません。

## ■ オリジナルカードへ刺しゅうデータを 書き込む

作業中のデザインページの刺しゅうデータをオリジナルカードに保存して、ミシンに転送します。

### 📖 メモ：

複数の刺しゅうデータのオリジナルカードへの書き込みについては、P.195 の「刺しゅうファイルをオリジナルカードへ書き込む」を参照してください。

### 💡 注意：

刺しゅうデータに設定されている刺しゅう枠サイズが、お使いのミシンで使える刺しゅう枠のサイズより大きくないことを確認してください。

ツールバーボタン：

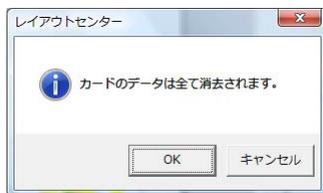


1. オリジナルカードをカードライターに挿入します。

📖 P.18 の「オリジナルカードへ書き込む」

2. ツールバーの  をクリックするか、メニューの **ファイル** → **カード書き込み** をクリックします。

→ 次のメッセージが表示されます。



### 💡 注意：

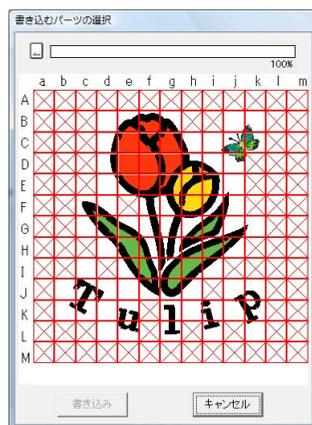
データが保存されているオリジナルカードに書き込みを行うと、カードのデータはすべて消去されます。書き込みを行う前に、必要なデータはハードディスクや他の記録媒体などに保存し、カードに必要なデータが残っていないことを確認してください。

📖 P.51 の「刺しゅうカードから」

### 📖 メモ：

カスタムサイズのデザインページで作られた分割模様の刺しゅうデータは、枠パーツごとに分けて書き込むことができます。枠パーツデータの合計サイズがオリジナルカードの空き容量を超えている場合や、パーツのサイズが 90 × 90cm で 80 個以上に分割されている場合は、刺しゅうデータを分けて複数のデザインカードに書き込んでください。

1 枚のカードに保存できないときは、**書き込むパーツの選択** ダイアログボックスが表示されます。書き込み可能容量がいっぱいになるまで枠パーツを選択します。



ダイアログボックス上部のカード容量インジケータで、枠パーツデータの容量 (青色) とカードの空き容量 (白色) を確認できます。枠パーツを選択すると、選択した枠パーツデータによって使用される容量が青色で表示され、選択するごとに加算されていきます。空き容量の上限を超えると、カード容量インジケータ全体が赤色になります。選択を解除する場合は、解除する枠パーツを再クリックします。

**書き込み** をクリックすると、選択した枠パーツデータがオリジナルカードに書き込まれます。(書き込みは、枠パーツが選択されており、選択したパーツを書き込むために十分な空き容量がカードにある場合にのみ表示されます。)

3. **OK** をクリックします。

→ データがオリジナルカードに転送されている間、書き込み中メッセージが表示され、その後次のメッセージが表示されません。



- OK をクリックして、メッセージを閉じます。

 P.141 の「上書き保存する」、P.141 の「新しい名前を付けて保存する」

## ■ pes ファイルにコメントを書く

.pes ファイルで保存された刺しゅうデータについての説明や情報を入力します。

- メニューの**ファイル**→**ファイルプロパティ**をクリックします。
- 情報を入力、または、変更します。



- OK をクリックして入力した情報を保存します。

### メモ:

- 入力したデータは、次に保存するときにファイルに保存されます。
- ファイルは入力した情報に基づいてデザインデータベースで検索できます。

 P.193の「刺しゅうファイルを検索する」

## 縫製範囲を設定する

縫製範囲を設定できます。

- メニューの**縫い方**→**縫製範囲の設定**をクリックします。
- デザインページの外形**または**縫製データの外形**を選択します。



- OK をクリックします。

→ **デザインページの外形**を選択すると、縫製開始時に、針の位置が作業中のデザインページの中心になるように、刺しゅうデータが作られます。

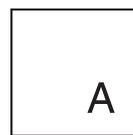
### メモ:

**デザインページの外形**を選択すると、刺しゅうデータのサイズはデザインページの大きさになります。

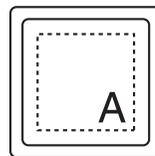
→ **縫製データの外形**を選択すると、縫製開始時に、針の位置が刺しゅうデータの中心になるように、刺しゅうデータが作られます。

### メモ:

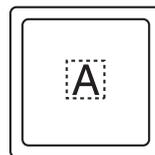
**縫製データの外形**を選択すると、刺しゅうサイズの実寸が縫製範囲としてミシンに認識されるので、ミシンのレイアウト機能がより発揮されます。



デザインページ (作業中画面)



縫製範囲=デザインページの外形



縫製範囲=縫製データの外形

 P.68 の「デザインページのサイズと色を設定する」

## 印刷する

プリントデザインと刺しゅうを組み合わせる場合の印刷のしかたについては、「使ってみましょう」も参照してください。

 P.43 の「6. プリントデザインと刺しゅうを組み合わせる」

### ■ 印刷の設定を変更する

刺しゅうデータを印刷する前に、印刷設定を変更する必要がある場合があります。

1. メニューの**ファイル**→**印刷の設定**をクリックします。
2. **用紙と印刷の向き**を選択します。



3. 刺しゅうデータを印刷するときは、**刺しゅう印刷モード**を選択します。  
**印刷サイズ**、**印刷オプション**、**印刷イメージ**で印刷の詳細を選択します。

#### 印刷サイズ

**原寸:**刺しゅうデータのイメージを1ページ目に実寸で印刷します。2ページ目に縫い情報(刺しゅう寸法、刺しゅう色順、針数、刺しゅう枠の位置)が印刷されます。ファイル名は両方のページに印刷されます。

**縮小:**刺しゅうデータの縮小イメージとファイル名、縫い情報(刺しゅう寸法、刺しゅう色順、針数、刺しゅう枠の位置)が、1ページに印刷されます。

#### 印刷オプション

**画像と一緒に印刷する:**刺しゅうデータと一緒に、デザインページに取り込まれている画像も印刷します。ただし、刺しゅうの印刷エリアから画像がはみ出しているときは、その部分は印刷されません。

**縫製範囲と中心線を印刷する:**(原寸印刷が選択されている場合にのみ設定できます。)



:刺しゅうデータの最大外形(  P.143 の「縫製範囲を設定する」)とその中心軸を黒色で印刷します。



:中心軸の上に、さらに位置合わせマークを印刷します。

**グリッドを印刷する:**刺しゅう枠に添付の刺しゅうシートに印刷されているグリッドと同様のグリッド線を緑色で印刷します。

**先頭のページにパーツの境界線を印刷する:**デザインページがカスタムサイズに設定されている刺しゅうデータのデザイン部分を印刷します。パーツの境界線が赤色で印刷されます。

**用紙より大きいデザインを2ページに分割印刷する:**紙の寸法よりも大きい刺しゅうデータは、A4またはレターサイズの紙に半分ずつ印刷されます。(印刷の設定ダイアログボックスで**原寸印刷**が選択されており、デザインページが用紙より大きいもの [刺しゅう枠のサイズ: 300 × 200mm、180 × 300mm、**大型刺しゅう枠用のデータ:** 170 × 290mm (180 × 300mm)、または 290 × 190mm (300 × 200mm)] に設定されている場合にのみ設定できます。)  または  が紙の右下に印刷されて1/2の分割印刷であることを示します。

#### 印刷イメージ

**ノーマル:**刺しゅうデータがプレビュー画面のイメージで印刷されます。

**リアル:**刺しゅうデータがリアルプレビュー画面のイメージで印刷されます。リアルの設定の詳細を変更するには、**設定**をクリックします。

 P.65 の「リアルプレビューの設定を変更する」

#### 注意:

- **用紙より大きいデザインを2ページに分割印刷する**チェックボックスを選択しないで印刷すると、分割印刷はされません。刺しゅうの実寸より小さい紙を指定していると、はみ出た部分は印刷されません。

- 取り込んだ画像をアイロンプリント紙や印刷可能な布に印刷する場合や、位置合わせシートを印刷する場合に、**画像印刷モード**を選択し、**素材**を設定します。

## 素材

**画像をアイロンプリント紙や印刷可能な布に印刷する:**背景画像をアイロンプリント紙や印刷できる布に印刷します。画像のみが印刷されます。

**左右反転して印刷する:**画像を左右反転して印刷します。アイロンプリント紙に印刷する場合、通常は左右反転して印刷する必要があります。(詳細はお使いのアイロンプリント紙の説明書を参照してください。)

お使いになるプリンタに左右反転の機能がない場合を選択します。(詳細はお使いのプリンタの取扱説明書を参照してください。)

**画像と刺しゅうの位置を合わせるための位置合わせシートを紙に印刷する:**画像と刺しゅうの位置を合わせるためのシートを印刷します。画像の上に位置合わせマークと刺しゅうの範囲を示す基準線が印刷されます。

**位置の変更:**用紙に対する画像の印刷位置を変更できます。(用紙の画像印刷領域から画像がはみ出ているときは、その部分は印刷されません。) **位置の変更**を押すと**画像の印刷位置の設定**ダイアログボックスが表示され、画像をドラッグして用紙に対する画像の印刷位置を調整できます。

- OK をクリックします。

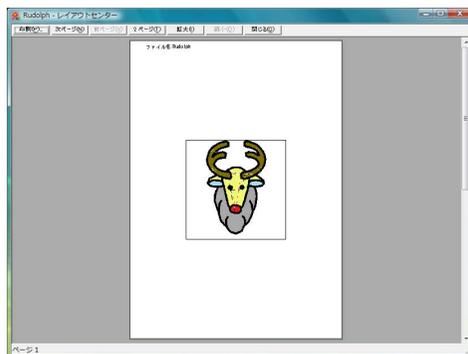
 P.65の「縫製イメージをプレビューする」

## ■ 印刷イメージを確認する

印刷前に印刷イメージを確認できます。

- メニューの**ファイル**→**印刷プレビュー**をクリックします。

→印刷イメージが表示されます。

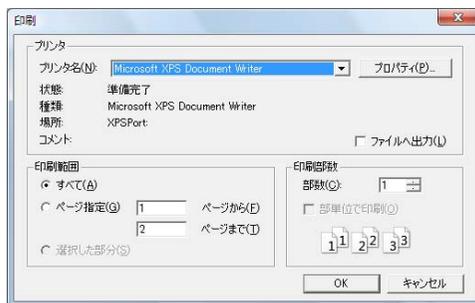


 P.144の「印刷の設定を変更する」、P.145の「印刷する」、P.140の「刺しゅうデータ情報を確認する」

## ■ 印刷する

作業中のデザインページと情報を印刷します。

- メニューの**ファイル**→**印刷**をクリックします。
- 必要に応じて、設定を選択します。



- OK をクリックして、印刷します。
- プリンタの指示に従って、印刷を終了します。

# デザインセンターの基本的な使い方

## 画像から刺しゅうデータを作る

デザインセンターは、画像を原画として刺しゅうデータを作るときに使います。その際、画像の図柄を修正したり、輪郭線や面部を細かく区切って縫い方の設定をしたりできます。

原画にする画像は色数が少なく、色のはっきりしたイラストが適しています。細かい部分やグラデーションがあるイラストや写真は輪郭線を抽出しにくいので不向きです。

次の4つのステージで作っていきます。

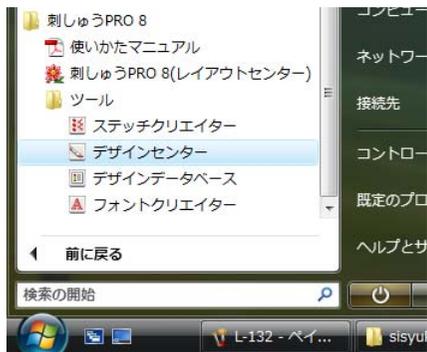
ステップ1 原画ステージ	ステップ2 輪郭線画ステージ	ステップ3 輪郭データステージ	ステップ4 縫い方設定ステージ
			
画像を開き、輪郭線にする色を指定します。	原画は白黒の輪郭線画に変換されます。 輪郭線を描いたり、消したりできます。  例) マフラーの線を消しました。 マフラーに線を加えました。	輪郭線画は輪郭データに変換されます。 輪郭データのポイントを編集して図柄を編集できます。  例) 目の部分を移動して、表情を変えてみました。 尾翼に星模様を入れました。	輪郭データに縫い方や糸色を設定して、刺しゅうデータを完成させます。  例) 原画とは違う色を付けると、雰囲気が変わります。
<ul style="list-style-type: none"><li>各ステージで作業を中断しても、データを保存しておけば後で作業を再開できます。</li><li>輪郭線画データは .pel 形式で、輪郭データは .pem 形式で保存されます。</li><li>刺しゅうデータは .pem 形式で保存されます。デザインセンターで作った .pem データをミシンに転送するには、レイアウトセンターへ送ってからオリジナルカードへ書き込んでください。</li></ul> <p> P.18の「オリジナルカードへ書き込む」、P.153の「レイアウトセンターへ送る」</p>			

ここでは、デザインセンターの基本的な使い方を説明します。詳しい使い方や設定については、P.154の「刺しゅうデータを原画から作る（デザインセンター）」を参照してください。

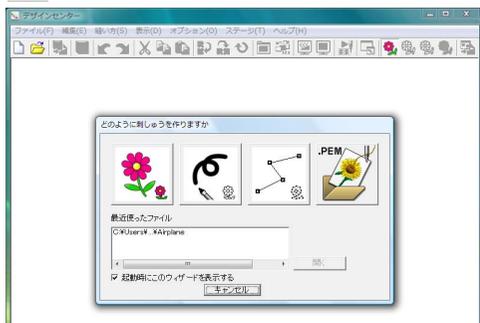
## ステップ1 原画ステージ

刺しゅうデータの原画（画像）を取り込み、輪郭線画に変換します。

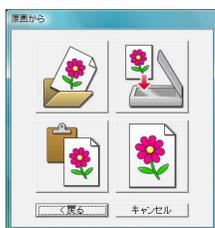
- 1  をクリックし、すべてのプログラム→刺しゅう PRO 8 → ツール → デザインセンターを選択します。



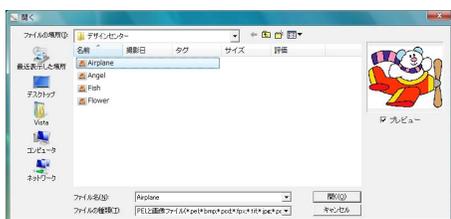
- 2  をクリックします。



- 3  をクリックします。



- 4 画像ファイルを選び、開くをクリックします。



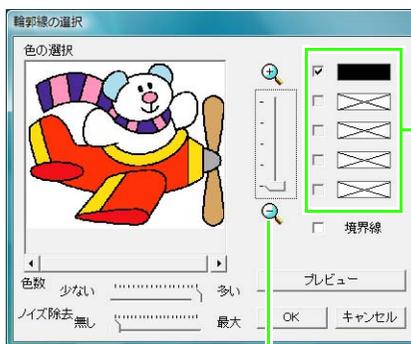
### メモ:

次のフォルダに、デザインセンター用のサンプル画像ファイルがあります。

**ドキュメント (マイドキュメント) ¥ 刺しゅう PRO 8 ¥ サンプル ¥ デザインセンター**

- 5 **輪郭線の選択** ダイアログボックスで、輪郭線に変換したい線の色をクリックします。

→ クリックした部分の色が右側のボックスに表示されます。チェックボックスに  が表示されている色が選択されている色です。



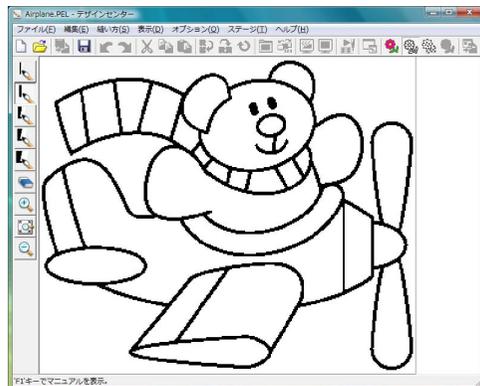
ズームスライダで原画を大きく表示すると、目的の色を選択しやすくなります。

輪郭線以外の色を選択してしまった場合は、その色の横のチェックボックスのチェックを外すと、選択が解除されます。

- 5  **輪郭線の選択** ダイアログボックスのその他の設定については、P.157 の「画像の輪郭を抽出する」を参照してください。

- 6 輪郭線にする色が選択できたら、OK をクリックします。

→ 輪郭線画がデザインページに表示されます。

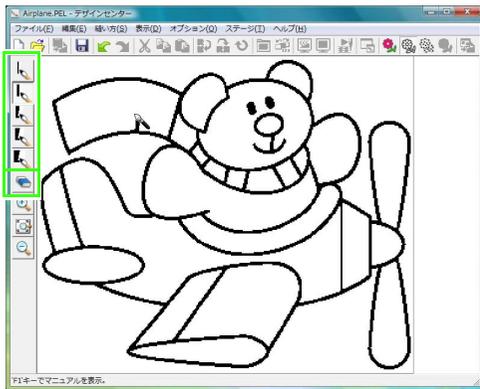


## ステップ2 輪郭線画ステージ

このステージでは、輪郭線画の線を編集します。フリーハンドで輪郭線を自由に描いたり、消したりできます。

- 1 線を消すときは、ツールボックスのペンツールを選択して右クリックするか、右ボタンを押してドラッグします。

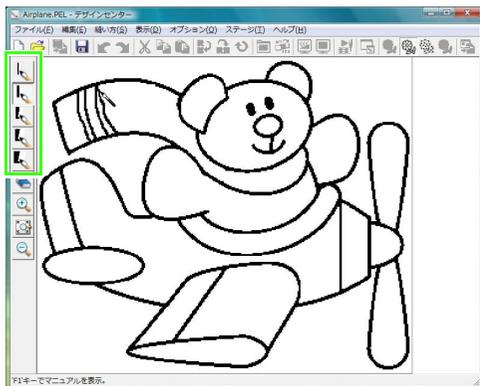
ツールボックスの  でも、線を消すことができます。



- 2 線を描くときは、ツールボックスのペンツールを選択します。

描きたい線の太さによって、ペンツールを選んでください。

ドラッグすると、線が引かれます。



### メモ:

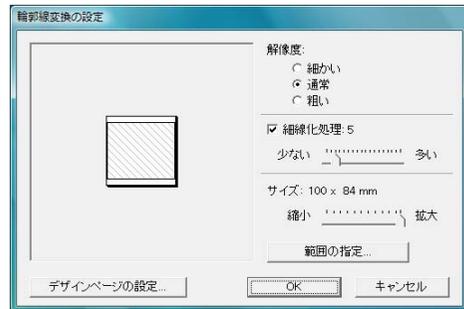
**Shift** キーを押しながらドラッグすると、水平方向または垂直方向に線を引けます。

### メモ:

- まちがって線を描いたり消してしまった場合は、メニューの**編集**→**元に戻す**をクリックするか、またはツールバーの  をクリックすると、直前の操作を取り消すことができます。
- ツールボックスの 、、 を使うと、表示サイズを変更できます。

- 3 輪郭線画ができたら、ツールバーの  をクリックするか、メニューの**ステージ**→**輪郭データステージ**をクリックします。

- 4 OK をクリックします。



 **輪郭線交換の設定**ダイアログボックスのその他の設定については、P.159の「輪郭線交換の設定を指定する」を参照してください。

→ 輪郭線画が、輪郭データに変換されます。



### メモ:

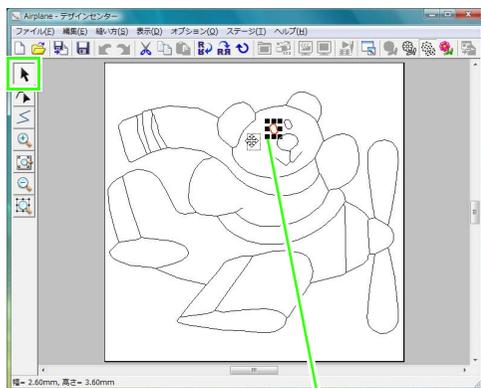
輪郭データに変換後も、輪郭線画ステージに戻り、輪郭線画を修正できます。

## ステップ3 輪郭データステージ

輪郭データはポイントを移動したり、追加 / 削除することで、図案を修正できます。面部は、線で完全に囲まれていないと縫い方を設定できません。面にしたい部分は、このステージできちんと線で囲ってください。

### ■ 輪郭データを移動する

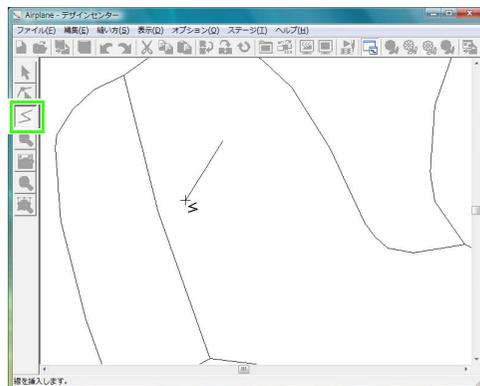
- 1 ツールボックスの  をクリックし、移動したい輪郭線データをクリックします。  
→ ハンドルが表示され、輪郭線が赤くなります。
- 2 カーソルを輪郭データ上に移動して、カーソルの形が  に変わったら、ドラッグします。



ハンドル

### ■ 輪郭データに線を加える

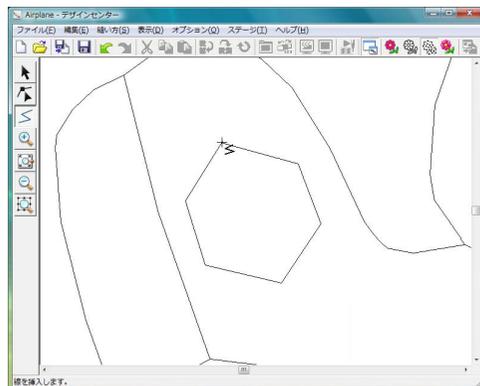
- 1 ツールボックスの  をクリックします。
- 2 始点でクリックし、次の点でクリックします。  
→ 2つのポイントを結ぶ直線が引かれます。クリックを繰り返すごとに直線が追加されていきます。



### 📖 メモ:

- 右クリックするか、**BackSpace** キーを押すと、直前に入力したポイントを削除できます。
- **Shift** キーを押しながらドラッグすると、水平方向または垂直方向に線を引けます。

- 3 終点でダブルクリックします。

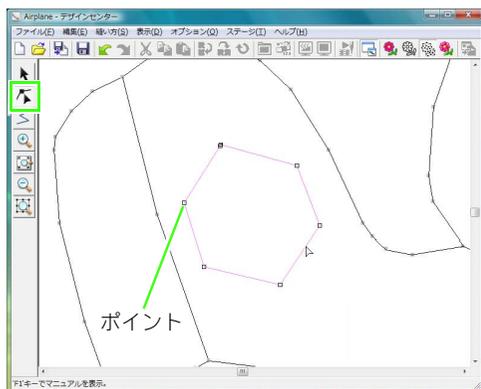


## ■ 輪郭データの形を変更する

① ツールボックスの  をクリックします。

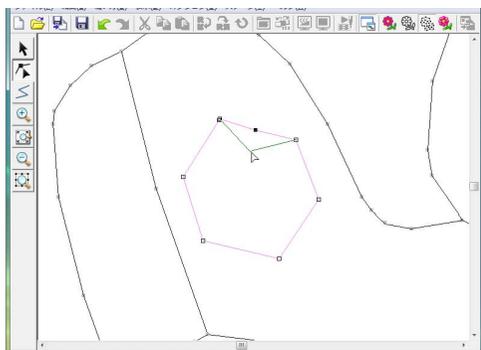
② 輪郭データの線をクリックします。

→ 選択された線はピンク色に変わり、ポイントが小さな四角で表示されます。

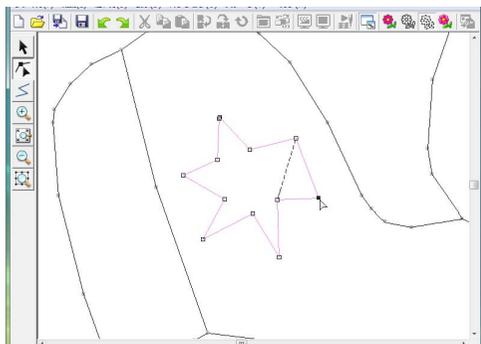


③ 線上をクリックするとポイントが追加されます。

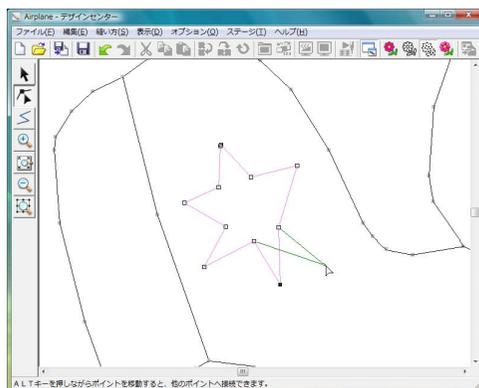
そのポイントをドラッグすると、角を追加できます。



④ ポイントを削除すると、角がなくなります。ポイントをクリックして、**Delete** キーを押すか、メニューの **編集** → **削除** をクリックします。



⑤ ポイントをドラッグすると、ポイントが移動して、線の形が変わります。



### 📖 メモ:

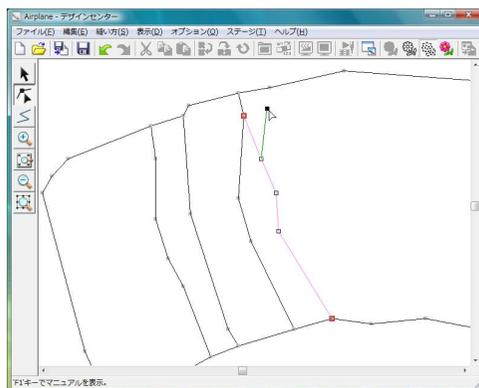
複数のポイントを選択すると、そのポイントを同時に移動または削除できます。複数のポイントを選択するときは、**Ctrl** キーを押しながらクリックするか、ポイントを囲むようにドラッグします。

## ■ 線を切断する

ポイント部分で線を切断できます。

① 「輪郭データの形を変更する」の ①、② を行い、線を選択します。

② ポイントをクリックして、メニューの **編集** → **切断** をクリックすると、ポイントの部分で線が切断されます。

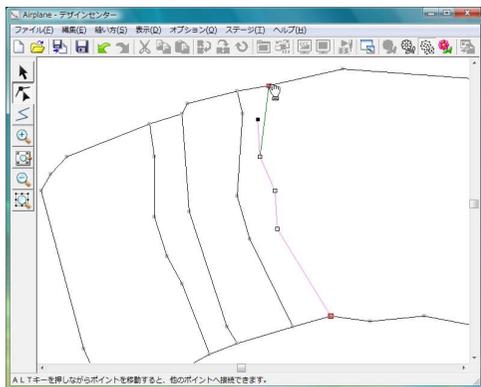


## ■線を接続する

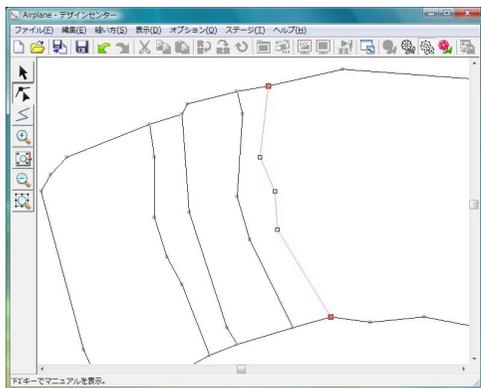
2つのポイントを合わせて線をつなぐことができます。

- 1 「輪郭データの形を変更する」の①、②を行い、線を選択します。
- 2 **Alt** キーを押しながら、ポイントを接続するポイントまでドラッグします。

→ カーソルの形が  に変わり、2つのポイントが重なると赤い四角が表示されます。



- 3 マウスボタンを放すと、接続されます。



## ■縫い方設定ステージへ進む

輪郭データができれば、ステージ4に進みます。

- 1 ツールバーの  をクリックするか、メニューの **ステージ** → **縫い方設定ステージ** をクリックします。



### 📖 メモ:

縫い方設定ステージに進んでからも、輪郭データステージに戻り、輪郭データを修正できます。

## ステップ4 縫い方設定ステージ

輪郭データの各部分に縫い方を設定し、刺しゅうデータにします。

### ■リファレンスウィンドウを使う

原画の色を確認しながら色選びができます。

- 1 ツールバーの  をクリックします。
- 2 **画像** タブをクリックします。

→ ステージ1で開いた画像が表示されます。



### 📖 メモ:

**参照画像** ボタンが押されている場合は、**原画** ボタンをクリックしてください。

## ■縫い方を設定する

縫い方は、まず色と縫い方を選択し、次に設定したい線または面をクリックして設定します。

- 1 ツールボックスの 、 または  をクリックします。

 : 1つなりの輪郭線すべてに縫い方を設定します。

 : 輪郭線の一部に縫い方を設定します。

 : 面に縫い方を設定します。

→ 縫い方バーが次のように表示されます。

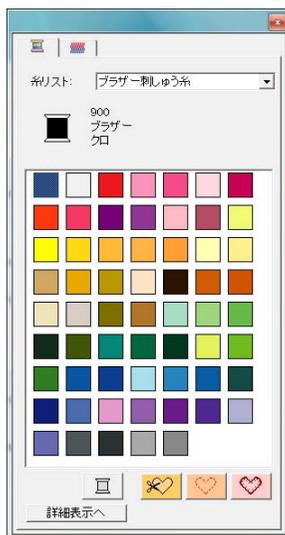
、 の場合

 走り縫い  
線の縫い方セレクト

 の場合

 夕英縫い  
面の縫い方セレクト

- 2  をクリックします。
- 3 設定する色をクリックします。



- 4 縫い方セクタをクリックし、縫い方を選択します。

- 5  または  を選択しているときは、輪郭線をクリックして縫い方を設定します。



→ 縫い方が設定されます。



- 6  を選択しているときは、面をクリックして縫い方を設定します。



→ 縫い方が設定されます。

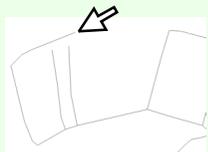


設定し直したいときは、① から ⑥ を繰り返します。



## 注意：

下図のように、閉じていない（線で完全に囲まれていない）面は縫い方を設定できません。



面に縫い方が設定できない場合は、輪郭データステージに戻り、面を囲む線を閉じてください。ポイント編集ツールを使って、繋がっていない線を編集します。

 P.162 の「直線を描く」

## メモ：

サテン幅や走りピッチなど縫い方の詳細設定は、縫い方の設定ダイアログで指定できます。

 P.166 の「縫い方の詳細設定をする」

## ■ レイアウトセンターへ送る

デザインセンターで作った刺しゅうデータは、レイアウトセンターへ送り、さらに編集したり、他の刺しゅうデータと組み合わせたりできます。

### 注意：

輪郭線と面の両方に縫い方が設定されていない刺しゅうデータは、レイアウトセンターに送ることはできません。

- 1 ツールバーの  をクリックするか、メニューの **ステージ** → **レイアウトセンター** へをクリックします。

→ レイアウトセンターが起動します。

- 2 取り込み倍率と取り込む方向を設定します。

設定できる倍率は、最大でレイアウトセンターのデザインページの大きさになる倍率、また、最小で 25% です。



- 3 取り込みをクリックします。

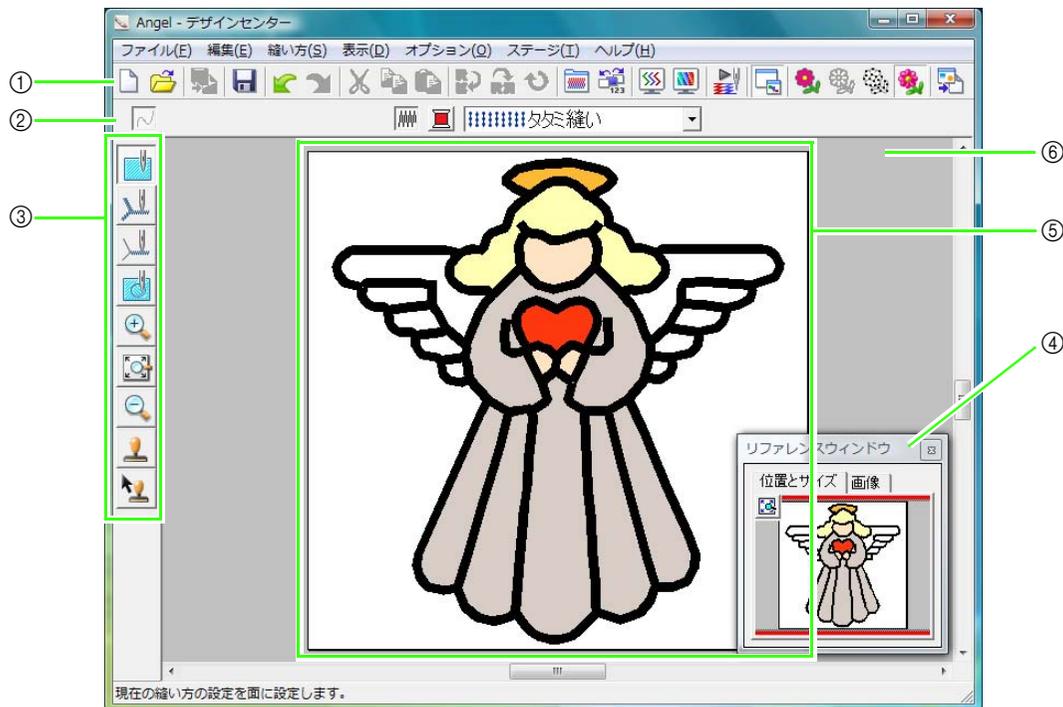
→ デザインセンターで作った刺しゅうデータが、レイアウトセンターに取り込まれます。

### メモ：

デザインセンターで作った刺しゅうデータ (.pem データ) は、そのままではオリジナルカードへ書き込めません。レイアウトセンターへ送ってから、カードへ書き込み、ミシンへ転送してください。

# 刺しゅうデータを原画から作る (デザインセンター)

## デザインセンターの画面



- ① ツールバー  
各メニュー機能へのショートカットです。
- ② 縫い方バー  
刺しゅうデータの縫い方 (糸色、縫い方) を設定します。(縫い方設定ステージのみ)
- ③ ツールボックス  
画像や刺しゅうデータの選択、編集に使います。原画ステージにはありません。他のステージでは、それぞれ異なったツールボックスが表示されます。(上の画面は、縫い方設定ステージの画面です。)
- ④ リファレンスウィンドウ  
リファレンスウィンドウには、常に輪郭データまたは刺しゅうデータ全体が表示され、デザインページをズームイン表示にしても、全体のどの部分が表示されているかを確認できます。

 P.163 の「刺しゅうデータを リファレンスウィンドウで見る」

- ⑤ デザインページ  
この領域内で、刺しゅうデータを作ります。

### メモ:

初期設定で表示されるデザインページのサイズは 100 × 100mm です。

- ⑥ 作業領域

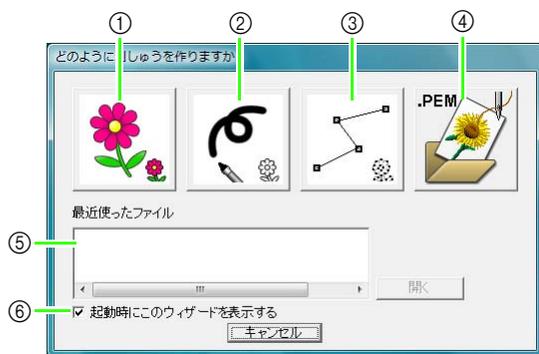
## 原画ステージ

### ウィザードを使う

どのように刺しゅうデータを作るか選択します。ウィザード画面で、既存の原画から作る、輪郭線画を描画する等、作成方法を選択すると、次の画面に進みます。

#### 1. メニューのファイル→ウィザードをクリックします。

→ **どのように刺しゅうを作りますか**ダイアログボックスが表示されます。



#### ① 原画から

原画から刺しゅうデータを作る場合にクリックします。

クリックすると、**原画から**ダイアログボックスが表示され、どのデータを取り込むか尋ねられます。引き続きウィザード形式で次の操作を選びます。

P.155の「画像を開く」

#### ② 新規作成（輪郭線画）

クリックすると、輪郭線画ステージで新規デザインページが開きます。

黒のペンと消しゴムツールを使って原画を描き、その原画から刺しゅうデータを作る場合に選択します。

P.158の「新規デザインページで描画する」

#### ③ 新規作成（輪郭データ）

クリックすると、輪郭データステージで新規デザインページが開きます。

輪郭データを初めから描画する場合や既存の .pem ファイルから輪郭データを取り込んでデータを作る場合に選択します。

P.161の「新規デザインページを開く」

#### ④ PEM ファイルを開く

以前、輪郭データステージまたは縫い方設定ステージで保存した .pem ファイルを編集する場合に選択します。

クリックすると、**開く**ダイアログボックスが表示され、.pem ファイルを選択できます。

#### ⑤ 最近使ったファイル

最近作業をしたファイルを開きます。

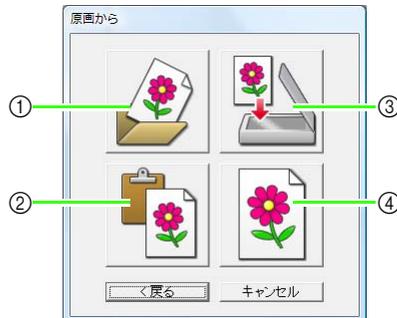
ファイルリストからファイルを選択し、**開く**をクリックします。

#### ⑥ 起動時にこのウィザードを表示する

デザインセンターの起動時にウィザードを常に表示する/しないの設定をします。しない場合は、チェックボックスをクリックしてチェックを外します。

### 画像を開く

**どのように刺しゅうを作りますか**ダイアログボックスで**原画から**ボタンをクリックすると、**原画から**ダイアログボックスが表示されます。



#### ① 画像ファイルを開く

既存の画像ファイルを開き、デザインページに貼り付ける場合にクリックします。

様々なファイル形式の画像を開くことができます。

P.20の「画像ファイルの形式について」

#### ② クリップボードから

クリップボードの画像をデザインページに貼り付ける場合にクリックします。クリップボードに画像がコピーされているときにのみ選択できます。

#### ③ TWAIN 機器から

パソコンに接続された TWAIN 機器（スキャナやデジタルカメラなど）から画像を取り込み、デザインページに貼り付ける場合にクリックします。

## ④ 現在のイメージ

原画ステージで開かれている原画を使う場合にクリックします。原画ステージで原画を開いているときにのみ選択できます。

### メモ：

#### TWAIN 機器から画像データを取り込むときは

- TWAIN 機器をパソコンに接続して、メニューの**ファイル**→**TWAIN 機器の選択**をクリックするか、**原画から**ダイアログボックスで**TWAIN 機器から**を選択します。**ソースの選択**ダイアログボックスが表示されたら、デバイスを選択し、メニューの**ファイル**→**TWAIN 機器から入力**をクリックします。
- TWAIN 機器の使い方については、その機器のヘルプマニュアルをご覧ください。

## 画像をスキャナで読み込む際のヒント

- 輪郭線がはっきりしない画像は、トレーシングペーパーで輪郭線をなぞり、スキャンしてください。
- 画像の色数を少なくすると、より良いスキャン結果を得ることができます。

## ファイルを開く

ウィザードを使わずに、直接ファイルを開きます。

1. ツールバーのをクリックするか、メニューの**ファイル**→**開く**をクリックします。
2. ドライブ、フォルダを選択します。
3. **ファイルの種類**から**画像ファイル**を選択します。
4. ファイルアイコンを選択して**開く**をクリックするか、ダブルクリックしてファイルを開きます。

### メモ：

- .pel ファイルを選択した場合は、輪郭線画ステージで開きます。
- .pem ファイルを選択した場合は、輪郭データステージまたは縫い方設定ステージで開きます。

## 輪郭線画ステージ

原画（画像ファイル）から輪郭線画（刺しゅうの輪郭線）にする色を選択し、輪郭線画ステージに進みます。輪郭線画ステージでは、ペンと消しゴムツールを使って輪郭線画を編集したり、新たに輪郭線画をフリーハンドで描いたりできます。

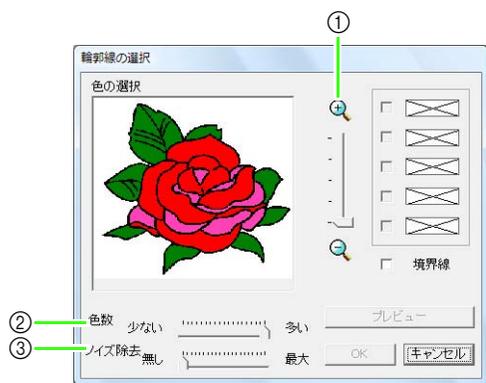
輪郭線の描画と消去のしかたについては、P.148の「輪郭線画ステージ」の**ステップ2**を参照してください。

### 画像の輪郭を抽出する

ツールバーボタン：

1. ツールバーのをクリックするか、メニューの**ステージ→輪郭線画ステージ**をクリックします。

→ **輪郭線の選択**ダイアログボックスが表示されます。



- ① **ズーム**スライダ  
原画の表示倍率を調整できます。
- ② **色数**スライダ  
輪郭線の色を選択するのが難しい画像は、このスライダで色数を減らしてみてください。
- ③ **ノイズ除去**スライダ  
輪郭が不鮮明な画像は、このスライダで、ゴミ（ノイズ）を除去してみてください。

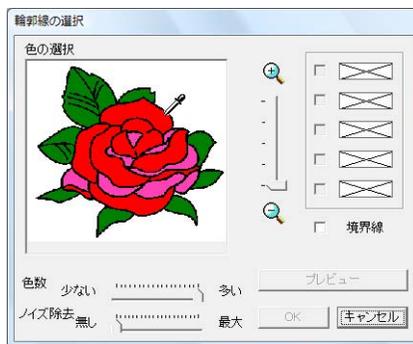
#### メモ：

- 原画には、16色の画像をお勧めします。256色や True Color の画像は、ほとんどの場合、5色選択しただけでは輪郭線画を作れません。256色または True Color の画像を使う場合は、色数スライダで色数を調整してください。

#### 注意：

輪郭データステージまたは縫い方設定ステージから作業を開始した場合、この機能は無効になります。

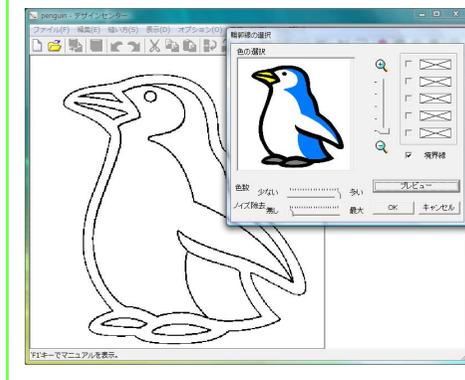
2. 輪郭線に変換したい線の色をクリックします。



**境界線**チェックボックスをチェックすると、色の境界線を抽出できます。

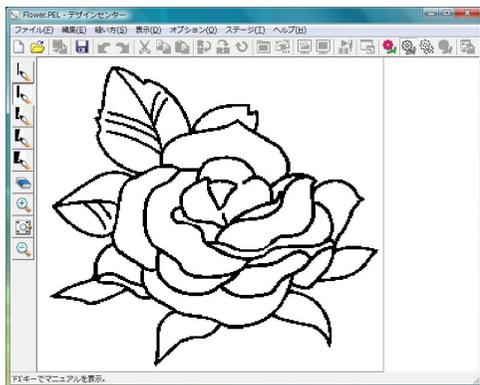
#### メモ：

- 選択した色を取り消すときは、その色のチェックボックスのチェックを外します。
- **境界線**チェックボックスをチェックすると、次のように変換されます。



3. **プレビュー**をクリックして、輪郭線画のプレビューを確認します。

## 4. OK をクリックします。



### 📖 メモ：

思い通りの輪郭線にならなかったときは、ツールバーの  をクリックして原画ステージに戻り、色を選択し直して輪郭線画に再変換してください。

## 新規デザインページで描画する

ツールバーボタン： 

1. ツールバーの  をクリックするか、メニューの**ファイル**→**新規作成（輪郭線画）**をクリックします。

→ 輪郭線画ステージの新規デザインページが表示されます。

新規デザインページで、ペンツールや消しゴムツールを使ってフリーハンドで輪郭線画を描くことができます。

 P.157 の「輪郭線画ステージ」

### 📖 メモ：

輪郭線画ステージでは、画像データは .pel ファイルで保存されます。

 P.161 の「新規デザインページを開く」、P.170 の「刺しゅうデータを保存する」

## 輪郭データステージ

輪郭線画 (刺しゅうの輪郭線) を輪郭データに変換し、輪郭データステージに進みます。輪郭線画は画像ビットマップ (単なる点の集合) であり、この段階での編集は、黒い点を描画または消去しているだけです。輪郭データステージでは、ポイント編集ツールで輪郭データのポイントの移動、削除、挿入をしたり、直線描画ツールで線を加えたりできます。

### 輪郭線変換の設定を指定する

ツールバーボタン:



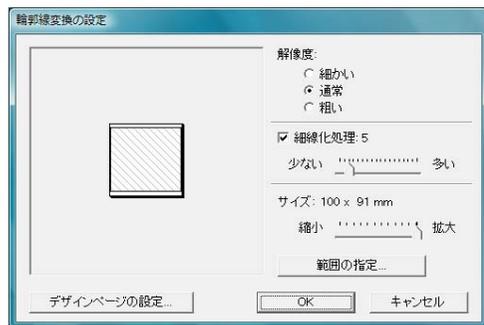
1. ツールバーの  をクリックするか、メニューの **ステージ** → **輪郭データステージ** をクリックします。

2. **解像度** を選択します。

通常の画像データの場合は、**通常** を選択してください。ファイル容量をあまり大きくすることなく、適度な解像度になります。

**粗い** を選択してみて、輪郭線画のイメージを損なわず輪郭データに変換された場合は、ファイル容量をできるだけ小さくするために **粗い** を選択してください。

輪郭線画が非常に細かく、**通常** では満足できる結果が得られない場合のみ **細かい** を選択してください。



3. 細線化処理を設定します。処理を行う場合は、**細線化処理** チェックボックスをチェックし、スライダで細線化処理の回数を設定します。

**細線化処理** チェックボックスをチェックすると、輪郭線画の中心をたどり、輪郭データに変換されます。

### メモ:

細線化処理の回数を **多い** にするほど、太い線は中心線が輪郭データになります。**少ない** にすると、太い線は **細線化処理** チェックボックスをチェックしないとと同じ処理がされます。



オン



**細線化処理** チェックボックスのチェックを外すと、輪郭線画の周囲をたどり、輪郭データが作られます。



オフ



4. **サイズスライダ** で、変換後の輪郭データのサイズを設定します。

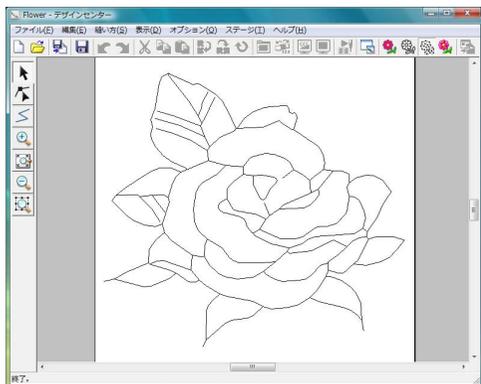
### 注意:

デザインページよりも大きなサイズに拡大することはできません。必要に応じて、**デザインページの設定** をクリックし、デザインページのサイズを変更してください。

### メモ:

原画を部分的に輪郭データしたいときは、範囲を選択できます。**範囲の指定** をクリックし、カーソル (+) をドラッグして、表示された四角形で選択したい範囲を囲みます。

## 5. OK をクリックします。



### 注意：

輪郭線画ステージから輪郭データステージに進むとき、輪郭変換の設定でいろいろな設定を試してみても思い通りの輪郭データにならない場合は、輪郭線画ステージに戻り、輪郭線画の輪郭線を修正するか、または原画から修正を行ってみてください。

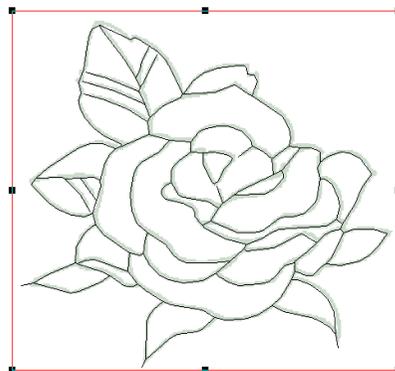
## 下絵を調整する

### ■ 下絵の表示のしかたを変更する

1. メニューの**表示**→**下絵の表示**をクリックし、設定を選択します。
  - 下絵を表示する場合は、**表示**をクリックします。
  - 下絵を薄く表示する場合は、**薄く表示**をクリックします。
  - 下絵を表示しない場合は、**表示しない**をクリックします。

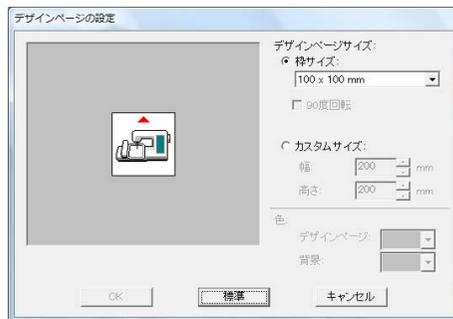
### ■ 下絵の位置やサイズを調整する

1. メニューの**表示**→**下絵の位置とサイズの変更**をクリックします。
2. 下絵をドラッグすると、移動できます。ハンドルをドラッグすると、下絵を拡大/縮小できます。



## デザインページのサイズを設定する

1. メニューの**オプション**→**デザインページの設定**をクリックします。
2. デザインページのサイズを指定します。



お使いのミシンの枠サイズに応じて、**枠サイズ**を選択し、セクタで選択します。

### メモ：

**90度回転**をチェックすると、デザインページが90度回転した状態でレイアウトできます。

分割模様用のカスタムサイズを設定する場合は、**カスタムサイズ**を選択し、デザインページの**幅**と**高さ**を指定します。

3. **OK** をクリックします。

### メモ：

**標準**をクリックすると、標準設定（**枠サイズ**：100 × 100mm）に戻ります。



## 注意：

**枠サイズ**は、お使いのミシンの最大刺しゅう縫製範囲を超えるサイズを選択しないでください。

## 新規デザインページを開く

輪郭データを描画したり、既存の輪郭データ (.pem ファイル) を取り込んでデータを作ったりするときは、新しいデザインページを開きます。

### 1. メニューの**ファイル**→**新規作成(輪郭データ)**をクリックします。

→ 新規デザインページが表示されます。



## メモ：

- 輪郭データステージでは、輪郭データは .pem ファイルで保存されます。
- 既存の .pem ファイルを取り込むときは、メニューの**ファイル**→**輪郭データ取り込み**をクリックします。

## 輪郭データを編集する

### ■ 輪郭データを選択する

1. ツールボックスの  をクリックします。
2. 輪郭データをクリックします。
3. 複数の輪郭データを選択するときは、**Ctrl** キーを押しながら輪郭データをクリックするか、輪郭データを囲むようにドラッグします。

### ■ 輪郭データの形を変更する

ポイントの移動、削除、挿入、切断 / 接続については、P.149 の「輪郭データステージ」を参照してください。

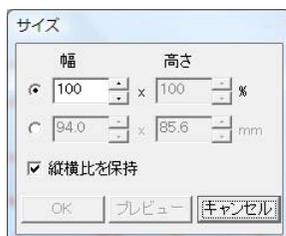
### ■ 輪郭データを拡大 / 縮小する

#### <拡大 / 縮小する>

1. 輪郭データを選択します。
2. ハンドルをドラッグすると、拡大 / 縮小します。

#### <サイズを指定して拡大 / 縮小する>

1. 輪郭データを選択します。
2. メニューの**編集**→**数値設定**→**サイズ**をクリックします。
3. 縦横比を固定して拡大 / 縮小するときは、**縦横比を保持**チェックボックスをチェックします。



4. 比率 (%) またはサイズ (mm またはインチ) のどちらで指定するか、選択します。
5. **幅**と**高さ**の数値を入力するか、スピンボタンをクリックして指定します。
6. **OK** をクリックします。

### ■ 輪郭データを上下または左右に反転する

1. 輪郭データを選択します。
2. ツールバーの  をクリックするか、メニューの**編集**→**反転**→**上下**をクリックします。  
ツールバーの  をクリックするか、メニューの**編集**→**反転**→**左右**をクリックします。

### ■ 輪郭データを回転する

#### <回転する>

1. 輪郭データを選択します。
2. ツールバーの  をクリックするか、メニューの**編集**→**回転**をクリックします。
3. ハンドルをドラッグすると、回転します。

## <角度を指定して回転する>

1. 輪郭データを選択します。
2. メニューの**編集**→**数値設定**→**回転**をクリックします。
3. 回転角度の数値を入力するか、スピンプタンをクリックして指定します。



### メモ:

- の矢印をドラッグしても、回転角度を指定できます。

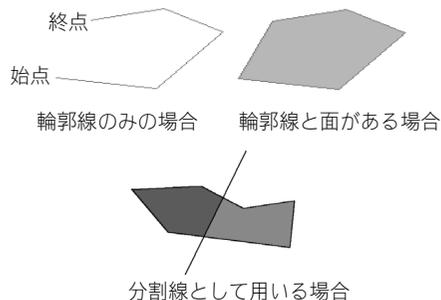
4. **OK** をクリックします。

## 直線を描く

直線描画ツールで、線を追加できます。

このツールで描いた線には、縫い方設定ステージで縫い方と糸色を設定できます。また、このツールで描いた線で囲まれた面にも、縫い方設定ステージで縫い方と糸色を設定できます。

すでにある面にこのツールで線を追加し、面を分割すると、分割されたそれぞれの面に個別の縫い方・糸色を設定できます。



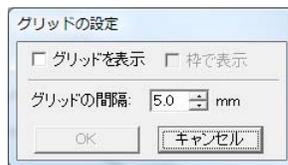
直線の描き方については、P.149 の「輪郭データに線を加える」を参照してください。

## ソフトウェアの設定を変更する

### ■グリッドの設定を変更する

グリッドの表示 / 非表示を切り替えたり、グリッドの表示のしかたや間隔を指定できます。(この機能は、輪郭データステージでのみ選択できます。)

1. メニューの**表示**→**グリッド**をクリックします。
2. グリッドを表示するときは、**グリッドを表示**チェックボックスをチェックします。グリッドを非表示にするには、**グリッドを表示**チェックボックスのチェックを外します。



3. **グリッドの間隔**の数値を入力するか、スピンプタンをクリックして指定します
4. 表示のしかたを選択します。  
**枠で表示**チェックボックスをチェックすると、縦と横のグリッド線が表示されます。  
**枠で表示**チェックボックスのチェックを外すと、グリッド線の交点のみが表示されます。
5. **OK** をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

### ■長さの単位を変更する

アプリケーションで使う長さの単位を、mm またはインチから選択できます。

1. メニューの**オプション**→**単位の設定**をクリックして、単位 (mm または**インチ**) を選択します。

## 刺しゅうデータを リファレンスウィンドウで見る

デザインページのデータは、リファレンスウィンドウに表示されます。ズームインして作業をしているときに、デザインページ全体を確認できます。現在表示されている部分が赤い枠（表示領域枠）で表示され、全体のどの部分を作業しているかを確認できます。

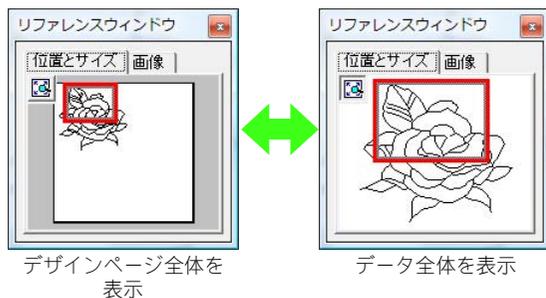
また、輪郭データステージと縫い方設定ステージでは、元の原画や別の画像データをリファレンスウィンドウで見ることができます。

リファレンスウィンドウの表示 / 非表示は、ツールバーの  をクリックするか、メニューの**表示→リファレンスウィンドウ**をクリックするか、ショートカットキー（**F11**）を押して切り替えます。

### ■ 表示方法を切り替える

リファレンスウィンドウは、デザインページ全体を表示するか、データ全体を表示領域サイズに合わせた表示するか、切り替えることができます。

1. **位置とサイズ**タブをクリックして、 をクリックします。



### ■ 表示領域枠を移動する

表示領域枠を移動して、画面に表示するデザインページの領域を、リファレンスウィンドウで指定できます。

1. カーソルを表示領域枠の上に移動します。
2. 表示領域枠をドラッグして、デザインページの表示したい部分を囲む位置に移動します。

→ 表示領域枠で囲まれた部分が表示されます。

### ■ 表示領域枠を書き直す

枠を書き直して、画面に表示するデザインページの領域を、リファレンスウィンドウで指定できます。

1. リファレンスウィンドウの表示したい部分をクリックまたはドラッグします。

### ■ 表示領域枠を拡大 / 縮小する

1. カーソルを表示領域枠の角に移動します。
2. 角をドラッグし、表示領域枠のサイズを調節します。

### ■ 別の参照画像を表示する

別の画像をリファレンスウィンドウに表示できます。

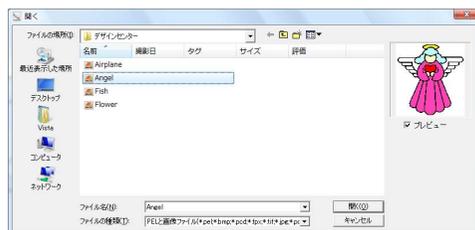
1. **画像**タブをクリックします。



2. **参照画像**をクリックし、 をクリックします。



3. 画像ファイルを選択し、**開く**をクリックします。



## 縫い方設定ステージ

輪郭データステージで輪郭を編集したら、縫い方設定ステージで縫い方を設定します。ズーム用ツールを使って、ズームインまたはズームアウト表示できます。

### メモ：

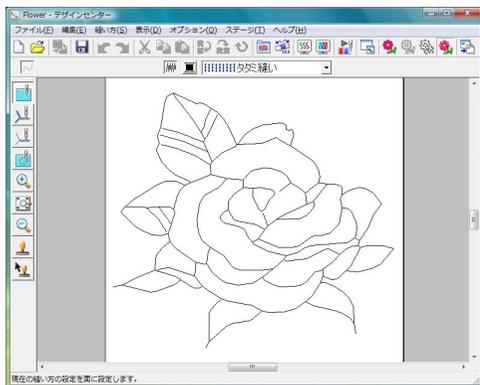
- 縫い方を設定した後も、糸色や縫い方の種類を変更できます。  
 P.166 の「糸色」、「縫い方の種類」
- 縫い方の詳細設定は、**縫い方の設定**ダイアログボックスで行います。  
 P.166 の「縫い方の詳細設定をする」

### ツールバーボタン：



1. ツールバーの  をクリックするか、メニューの **ステージ** → **縫い方設定ステージ** をクリックします。

→ データが縫い方設定ステージのデザインページに表示されます。



### メモ：

縫い方設定ステージでは、メニューの**オプション** → **デザインページプロパティ** で表示されるダイアログボックスで、デザインページと作業領域の色を変更できます。

## 線と面に縫い方を設定する

### ■ 面縫い

#### <面に縫い方を設定する>

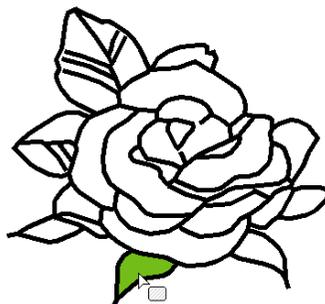
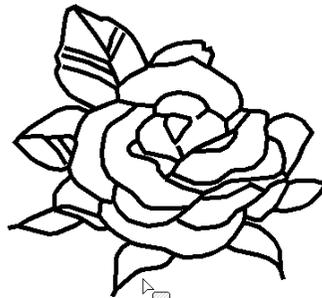
1. ツールボックスの  をクリックします。

2. 必要に応じて、糸色と縫い方の種類を変更します。

 P.165 の「縫い方バーの使い方」

3. 糸色と縫い方の種類を設定する面をクリックします。

→ 選択した面を囲む線が赤い破線で表示され、縫い方バーの糸色と縫い方の種類が面に設定されます。



### 注意：

縫い方を面に設定できないときは、輪郭データステージに戻り、輪郭線のポイントをポイント編集ツールで編集し、面を閉じて（線で完全に囲んで）ください。

 P.150 の「輪郭データの形を変更する」

## 📖 メモ:

- 面の輪郭線は閉じているように見えても、その面に対して縫い方を設定できない場合は、その輪郭線は閉じていません。輪郭の閉じられていない部分を見つけるには、輪郭データステージの直線描画ツールで面をいくつかに分割し、縫い方設定ステージで縫い方を設定してみます。輪郭データステージに戻り、設定できない輪郭線を確認します。
- 輪郭線を閉じるには、ポイント編集ツールを使うと便利です。

👉 P.150 の「輪郭データの形を変更する」

- 縫い方を設定後、設定した面を右クリックすると、**縫い方の設定**ダイアログボックスが表示され、縫い方の詳細設定を確認できます。

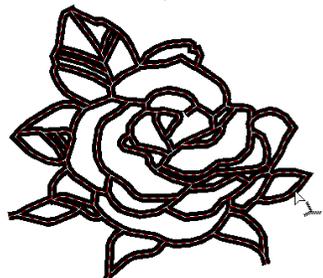
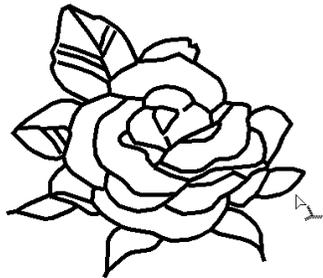
## ■ 線縫い

1. ツールボックスの  または  をクリックします。
2. 必要に応じて、糸色と縫い方の種類を変更します。

👉 P.165 の「縫い方バーの使い方」

3. 糸色と縫い方の種類を設定する輪郭線をクリックします。

→ 輪郭線が赤い破線で表示され、縫い方バーの糸色と縫い方の種類が輪郭線に設定されます。



## 📖 メモ:

-  は、選択した輪郭線の一部に縫い方を設定するときに使います。
- 縫い方を設定後、設定した輪郭線を右クリックすると、**縫い方の設定**ダイアログボックスが表示され、縫い方の詳細設定を確認できます。

## 縫い方バーの使い方

縫い方設定ステージの縫い方バーで、面と輪郭線の糸色と縫い方の種類を設定できます。

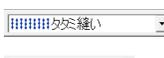
設定できる縫い方の種類は、選択したツールによって異なります。

例1:  が選択されている場合



例2:  または  が選択されている場合



	<b>面の設定</b> ボタン: 面縫いのオン/オフを切り替えます。
	<b>線の設定</b> ボタン: 線縫いのオン/オフを切り替えます。
	<b>面の色、線の色</b> ボタン: 線または面の糸色を設定できます。
 	<b>面の縫い方、線の縫い方</b> セレクタ: 線または面の縫い方の種類を設定します。

## ■ 面縫い / 線縫い

 で面縫いの、 で輪郭線縫いのオン/オフを切り替えます。

## 📖 メモ:

- オフ設定のときは縫製されません。(糸色または縫い方の設定はできません。)

# 刺しゅうデータを原画から作る（デザインセンター）

1. ボタンをクリックして、面/線縫いのオン/オフを設定します。クリックするごとに、オン/オフが交互に切り替わります。

オン：面の色 / 線の色ボタンと面の縫い方 / 線の縫い方セレクトが表示されます。

オフ：面の色 / 線の色ボタンと面の縫い方 / 線の縫い方セレクトは表示されません。



面の設定  
面の色



線の設定  
線の色

2. 面または線をクリックして、縫い方を設定します。

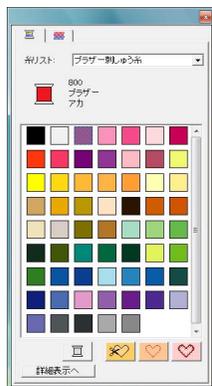
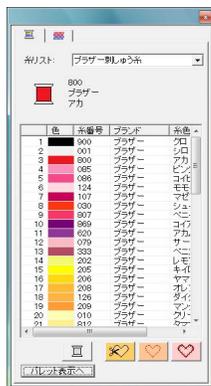
→ 面の設定 / 線の設定ボタンがオンになっている場合は、面の色 / 線の色ボタンに表示された糸色と面の縫い方 / 線の縫い方セレクトに表示された縫い方の種類が設定されます。

→ 面の設定 / 線の設定ボタンがオフになっている場合は、面は白く、線は点線で表示され、縫われない設定になります。

## ■ 糸色

線または面の糸色は、糸色ダイアログボックスで設定します。

1. 糸色ボタンをクリックします。
2. 糸リストセレクトから、糸のブランドまたはユーザーリストを選択します。



3. 糸色リストから、色を選択します。

→ 選択された糸色が面の色 / 線の色ボタンに表示されます。

## ■ メモ：

糸色リストの下の4つのボタンには特別な機能があります。

P.99 の「特別な色」

4. 面または輪郭線をクリックして、糸色を設定します。

## ■ 縫い方の種類

線の縫い方セレクト 面の縫い方セレクト



縫い方セレクトを使って、線または面の縫い方の種類を設定します。

1. 縫い方セレクトをクリックします。
2. 縫い方の種類をクリックします。

線の縫い方セレクト 面の縫い方セレクト



3. 面または輪郭線をクリックして、縫い方の種類を設定します。

## ■ 縫い方の詳細設定をする

線と面に対する縫い方の詳細設定は、縫い方の設定ダイアログボックスで行います。

ツールバーボタン：

1. ツールバーのをクリックするか、メニューの縫い方→縫い方の設定をクリックします。

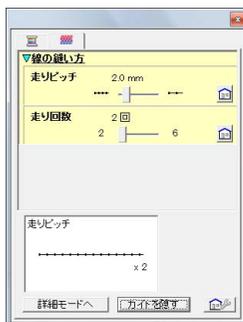
縫い方の設定の各設定については、P.101の「線の縫い方」と P.104の「面の縫い方」を参照してください。

## 📖 メモ：

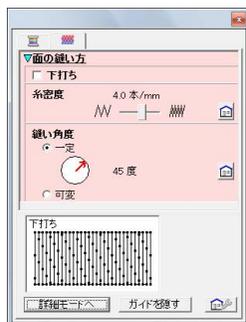
ツールボックスのが選択されていると、**縫い方の設定**ダイアログボックスに面の縫い方の設定が表示されます。またはが選択されていると、**縫い方の設定**ダイアログボックスに線の縫い方の設定が表示されます。

## 簡易モード：

線の縫い方の設定



面の縫い方の設定



## 詳細モード：

線の縫い方の設定



面の縫い方の設定



：左の設定を標準設定値に戻します。

## 詳細モードへ / 簡易モードへ：

表示モードを切り替えます。



縫い方の設定の保存 / 呼び出しをします。

 P.112の「よく使う縫い方を保存する」

## ガイドを隠す / ガイドを表示：

ガイドの表示 / 非表示を切り替えます。

縫い方の設定を変更するごとに、具体的な変化をここで確認できます。

## 📖 メモ：

ダイアログボックスに表示される縫い方の設定の内容は、選択されている縫い方の種類によって異なります。

## 2. 基本的な設定を簡単に指定する場合は、簡易モードへをクリックします。

指定できるすべての設定を細かく指定する場合は、**詳細モードへ**をクリックします。

## 📖 メモ：

・簡易モードで表示されない設定は、詳細モードでの設定値が保持されます。

## 3. 必要に応じて、線の縫い方または面の縫い方の下に表示された各設定を変更します。

 **縫い方の設定**の各設定については、P.101の「線の縫い方」とP.104の「面の縫い方」を参照してください。

よく使う設定は、保存すると便利です。詳しくは、P.112の「よく使う縫い方を保存する」を参照してください。

## 💡 注意：

**縫い方の設定**ダイアログボックスの各設定は、表示モードに関係なく、変更されるまで、現在設定されている内容が保持されます。

## 4. 輪郭線 / 面をクリックして、設定を適用します。

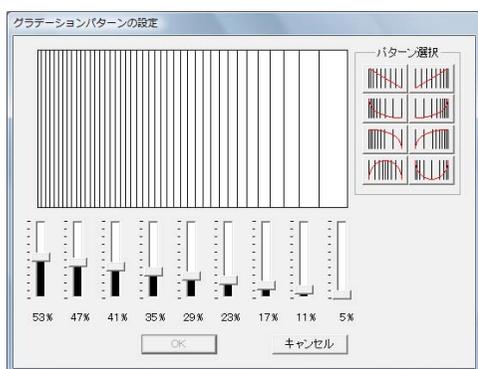
縫い方の設定をした輪郭線 / 面を右クリックして縫い方の設定を変更したときも、輪郭線 / 面をクリックして設定し直してください。

**縫い方の設定**の各設定については、P.101の「線の縫い方」とP.104の「面の縫い方」を参照してください。

## ■ グラデーションを作る

サテン縫い、タタミ縫い、またはプログラムタタミ縫いは、糸密度を調整してグラデーションパターンを作ることができます。

1. **縫い方の設定**ダイアログボックスの詳細モードで、**面の縫い方のグラデーション**チェックボックスをチェックします。
2. **パターン**をクリックします。
3. **パターン選択**のパターンボタンをクリックして、グラデーションパターンを選択します。



4. スライダを動かして、グラデーションの糸密度を調節します。
5. **OK** をクリックします。



### 注意：

デザインセンターのグラデーション機能では、ブレンディング機能は設定できません。

## よく使う縫い方を保存する

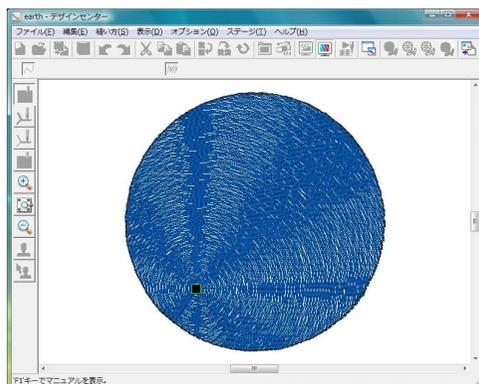
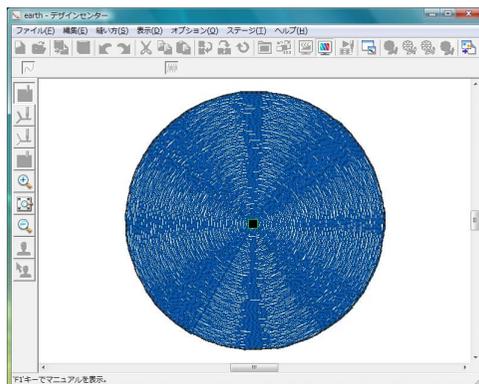
頻繁に使う縫い方を保存し、縫い方を設定するときに呼び出すことができます。

使い方はレイアウトセンターと同じです。P.112 の「よく使う縫い方を保存する」を参照してください。

## 同心円縫いと放射縫いの中心点を移動する

同心円縫いまたは放射縫いが設定された面縫いは、中心点を変更して装飾効果を調整できます。

1. ツールボックスの  をクリックします。
2. 糸色と縫い方の種類 (**同心円縫い**または**放射縫い**) を選択します。
3. 面をクリックします。  
→ 中心点 (  ) が表示されます。
4. プレビュー画面で確認しながら、中心点をドラッグして模様を調整します。



### メモ：

中心点を再移動する場合は、ツールボックスの  をクリックしてから、同心円縫いまたは放射縫いを設定した面をクリックします。中心点が表示され移動が可能になります。

## ドーナツ縫いを設定する

ドーナツ縫いを設定すると、重なった面の二重縫いを防ぐことができます。ドーナツ縫いは、1つの面が他の面を完全に囲む場合にのみ設定できます。

1. ツールボックスの  をクリックします。
2. 別の面を完全に囲む面をクリックします。



→ **ドーナツ縫いの設定** ダイアログボックスが表示されます。



### メモ:

**ドーナツ縫いの設定** ダイアログボックスで、内側の白い面をクリックすると、ドーナツ縫いが解除され、外側の面の色と同じ色で表示されます。もう一度同じところをクリックすると、ドーナツ縫いが設定されます。



3. **OK** をクリックして、ドーナツ縫いを設定します。

### メモ:

ドーナツ縫いの設定の前と後でプレビューを表示すると、実際にどのように縫われるか確認できます。

## スタンプを設定 / 編集する

ステッチクリエイターで作ったプログラムタミ / スタンプパターンを、デザインセンターの縫い方設定ステージで面に設定できます。あらかじめいくつかのプログラムタミ / スタンプパターンが用意されています。また、ステッチクリエイターで編集してオリジナルのパターンを作ることできます。

スタンプはツールボックスの  で設定します。また、設定したスタンプはツールボックスの  で編集できます。

使い方は、レイアウトセンターのスタンプ機能と同じです。

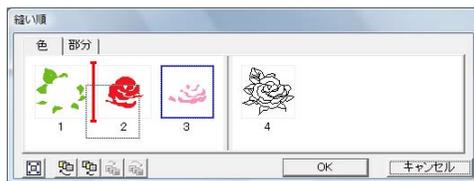
 P.117の「スタンプを設定 / 編集する」

## 縫い順を確認・変更する

刺しゅうデータの縫い順を、糸色ごとや同色の部分ごとに確認、変更できます。

1. ツールバーの  をクリックするか、メニューの**縫い方**→**縫い順**をクリックします。
2. 色の縫い順を確認、変更するときは、**色タブ**をクリックします。コマを新しい縫い順の位置にドラッグすると変更できます。

→ ドラッグ中は赤い縦線が表示され、コマの移動先を示します。マウスボタンを放すと、その位置に移動します。

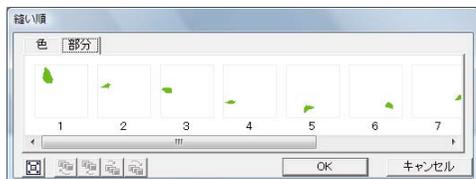


### メモ:

- 複数のコマを選択するときは、**Shift** または **Ctrl** キーを押しながら各コマをクリックするか、コマを囲むようにドラッグします。
- 面縫いのコマと輪郭縫いのコマは太い縦線で分けられています。この縦線を飛び越えて縫い順を変更することはできません。
-  をクリックすると、それぞれのデータがコマいっぱい拡大表示されます。

- 色の各部分の縫い順を確認、変更するときは、色タブ画面で表示する色を選択し、部分タブをクリックします。

→ 選択された色の部分の縫い順が表示されます。



- 部分の縫い順を変更するときは、コマを新しい縫い順の位置にドラッグします。
- OK をクリックします。

## ステッチを確認する

ミシンでどのように縫われていくか、縫製の様子をステッチシミュレーターで確認できます。

ツールバーの  をクリックするか、メニューの表示→ステッチシミュレーターをクリックして表示します。

使い方は、レイアウトセンターのステッチシミュレーターと同じです。

 P.66 の「ステッチを確認する」

## 刺しゅうデータをリファレンスウィンドウで見る

輪郭データステージと同様の方法で、縫い方設定ステージでも刺しゅうデータをリファレンスウィンドウで見ることができます。

 P.163 の「刺しゅうデータをリファレンスウィンドウで見る」

## 刺しゅうデータを保存する

それぞれのステージでデータを保存できます。

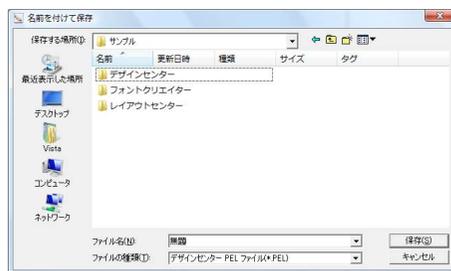
### ■ 上書き保存する

- ツールバーの  をクリックするか、メニューのファイル→上書き保存をクリックします。

### ■ 新しい名前を付けて保存する

既存ファイルを編集し、別のファイル名で保存すると、元ファイルは上書きされず、作業中のデータは別ファイルとして保存されます。

- メニューのファイル→名前を付けて保存をクリックします。
- ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。



### 📖 メモ：

- 拡張子は自動的に付けられます。
- 原画ステージからの画像データはビットマップファイル (.bmp) としてのみ保存できます。輪郭線画ステージでは、画像データは .pel ファイルで保存されます。輪郭データステージと縫い方設定ステージでは、輪郭データ、刺しゅうデータは .pem ファイルで保存されます。
- .pem データはレイアウトセンターへ送らないと、カードへ書き込むことはできず、ミシンへ転送することはできません。

 P.153 の「レイアウトセンターへ送る」

### 💡 注意：

ファイルの種類で旧バージョンを選択すると、保存された .pem ファイルを旧バージョンのソフトウェアで開くことができます。ただし、情報の一部が失われることがありますのでご注意ください。

- 保存をクリックします。

# 使ってみましょう（上級編）

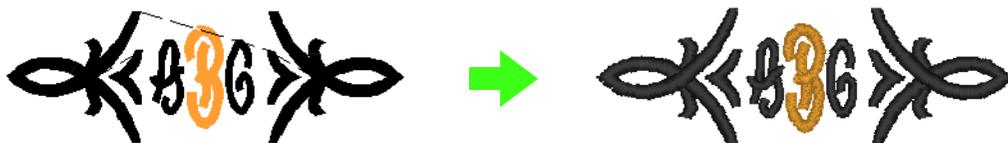
## モノグラムを作る

モノグラム機能を使うと、1～3文字の大文字アルファベットを変形し、周りに装飾を加えてモノグラムを作ることができます。

各ステップに従って、モノグラムデータを作ってみましょう。

ここで作るサンプルデータは、次のフォルダにあります。

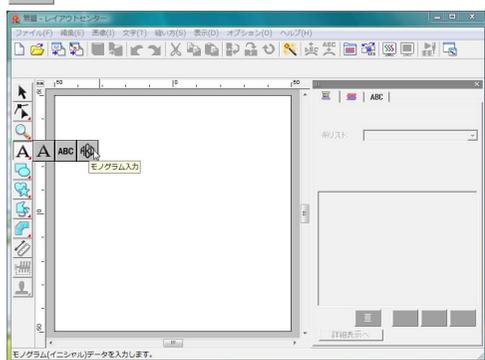
ドキュメント（マイドキュメント）¥刺しゅうPRO8¥使ってみましょう¥使ってみましょう\_7



ステップ1	モノグラムを入力する
ステップ2	文字の書体とサイズを変更する
ステップ3	糸色と縫い方を変更する
ステップ4	飾り模様の位置を調整する

### ステップ1 モノグラムを入力する

- 1 レイアウトセンターを起動します。
- 2 ツールボックスの **A** をクリックし、**ABC** をクリックします。



**Diamond** と **Script** は、モノグラム専用のフォントです。内蔵フォントや TrueType フォント、オリジナルフォントも使えます。

画面の上に表示されるセレクトで書体、サイズ、縫い方の種類を設定できます。

- 3 デザインページ上のモノグラムを入力したい位置でクリックします。
- 4 「ABC」とキーボードで入力します。



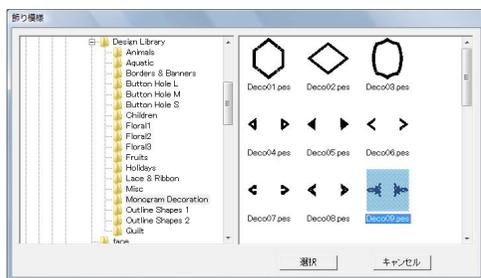
### 注意：

- **選択できる文字**の文字をクリックして**選択**をクリックするか、文字をダブルクリックしても入力できます。
- 改行はできません。**Enter**キーを押すと、ダイアログボックスは閉じ、デザインページにモノグラムデータが表示されます。

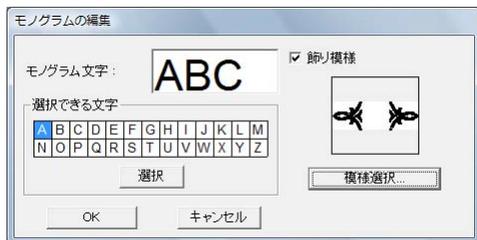
- 5 モノグラム文字の周囲や両サイドに装飾を加えるときは、**飾り模様**チェックボックスをチェックし、**模様選択**をクリックします。



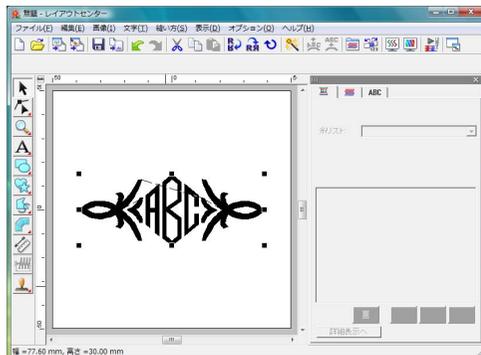
- 6 飾り模様をクリックして選択し、**選択**をクリックします。



- 7 OK をクリックします。



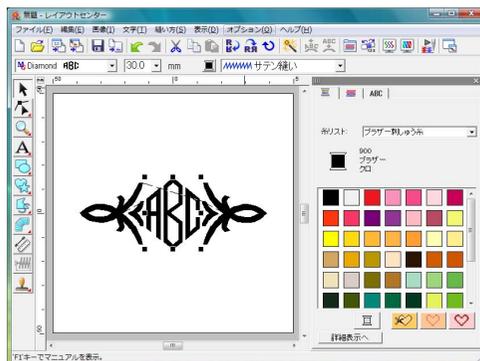
→ デザインページに選択した飾り模様とモノグラムデータが表示されます。



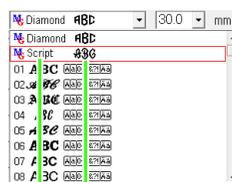
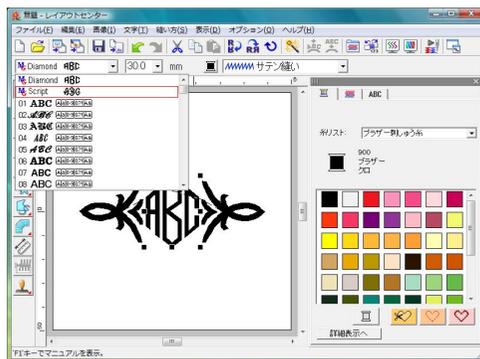
## ステップ2 文字の書体とサイズを変更する

モノグラム文字の書体とサイズを変更します。

- 1 ツールボックスの をクリックし、モノグラムデータをクリックします。



- 2 **モノグラム書体セクタ**で、書体を選択します。



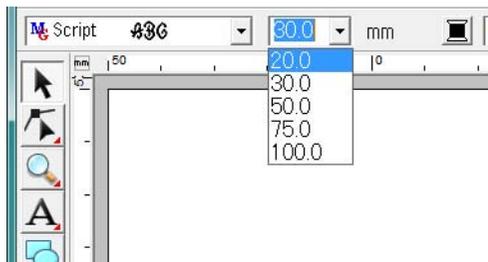
モノグラム フォント名  
モノグラムフォント サンプル

### メモ:

Diamond と Script は、モノグラム専用のフォントです。内蔵フォントや TrueType フォント、オリジナルフォントも使えます。

P.93 の「モノグラムを作る」

- 3 **モノグラムサイズセクタ**で、文字サイズを変更します。



## ステップ3 糸色と縫い方を変更する

モノグラム文字の糸色と縫い方を変更します。

- 1 ツールボックスの  をクリックし、 をクリックし、モノグラムデータをクリックします。

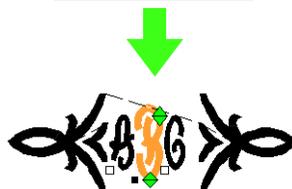


- 2 モノグラム文字のポイントをクリックして、変更する文字を選択します。



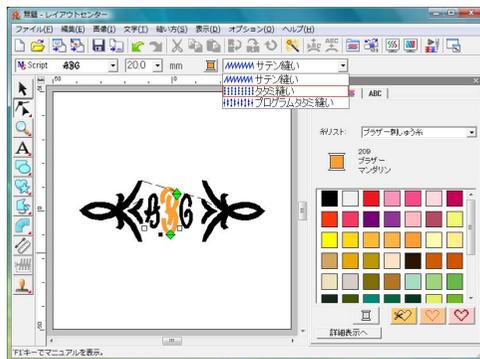
- 3  をクリックします。

色パレットの色をクリックして、選択した文字の糸色を変更します。



- 4 **モノグラムの面の縫い方セクタ**をクリックし、プルダウンメニューから縫い方の種類を選択します。

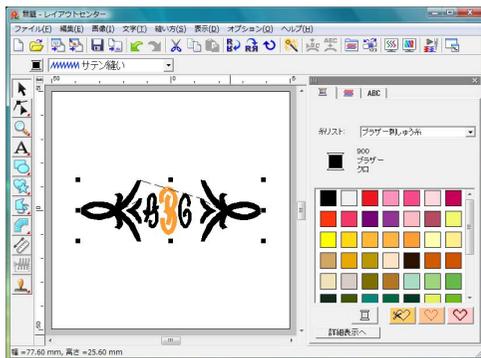
→ 選択した文字の縫い方が設定されます。



## ステップ4 飾り模様の位置を調整する

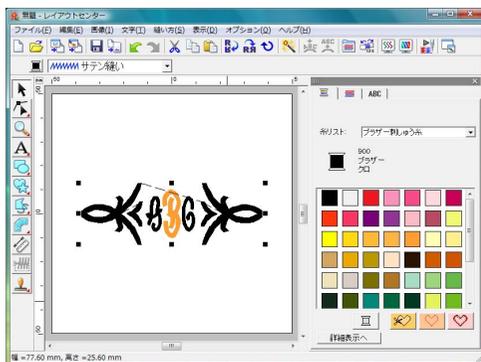
飾り模様の位置を調整します。

- 1 ツールボックスの  をクリックし、飾り模様をクリックします。



- 2 カーソルを飾り模様の上に置き、カーソルの形が  に変わったら、ドラッグして位置を調整します。

モノグラム文字が飾り模様の中心に位置するように、調整します。



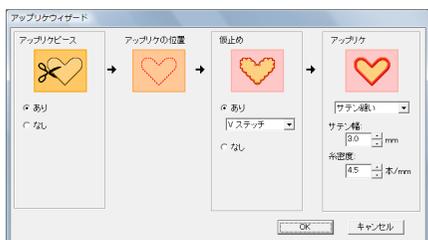
### メモ：

- 飾り模様のサイズを調整したいときは、ハンドルをドラッグします。
- モノグラム文字と飾り模様を選択して、メニューの **編集** → **整列** → **左右中央揃え** をクリックしても、位置を揃えることができます。

 P.54の「刺しゅうデータを配列する」

# アップリケを作る

アップリケウィザードを使うと、簡単にアップリケデータを作ることができます。各ステップに従って、アップリケデータを作ってみましょう。



アップリケウィザードでは、次の順に各データを設定していきます。

1. ア ppliqueベース
2. ア ppliqueの位置
3. 仮止め
4. ア pplique

アップリケデータの縫製方法については、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。

ここで作るサンプルデータは、次のフォルダにあります。

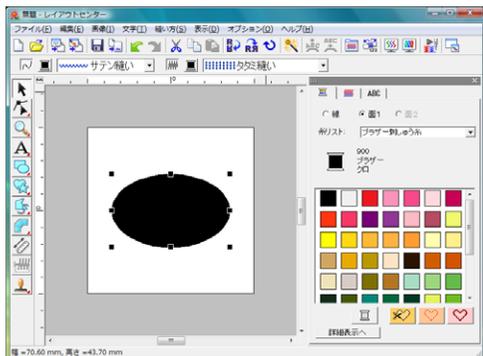
**ドキュメント（マイドキュメント）** \ 刺しゅう PRO 8 \ 使ってみましょう \ 使ってみましょう\_8

ステップ1	図形を描く
ステップ2	アップリケウィザードを使う

## ステップ1 図形を描く

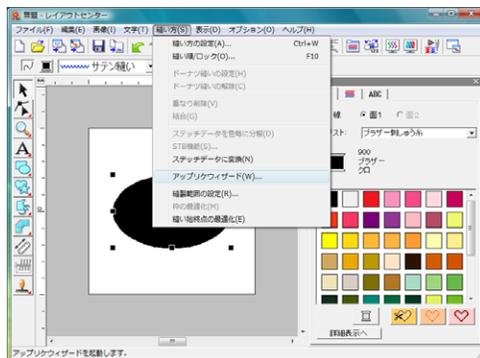
どの形の図形データからでも、アップリケデータを作ることができます。ここでは、だ円を描いてアップリケデータを作ります。

- 1 レイアウトセンターを起動します。
- 2 ツールボックスのをクリックし、をクリックして、だ円を描きます。
- 3 ハンドルをドラッグして、だ円の大きさを調整します。

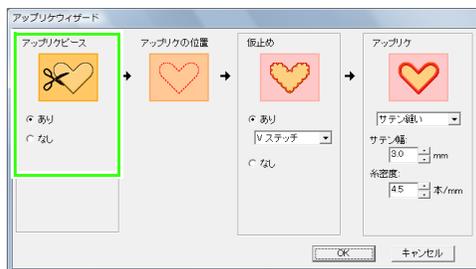


## ステップ2 ア ppliqueウィザードを使う

- 1 メニューの縫い方→アップリケウィザードをクリックします。

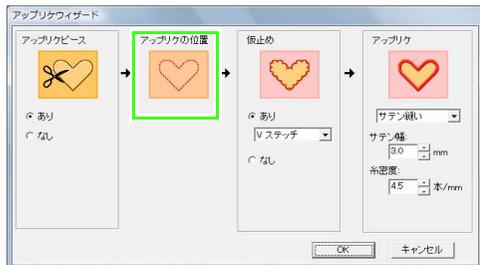


- 2 ア ppliqueベースで、ア ppliqueの切り取り線を縫製する（あり） / しない（なし）を選択します。

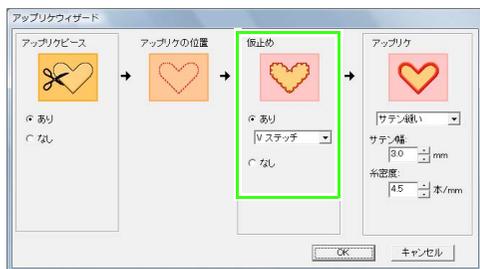


# 使ってみましょう（上級編）

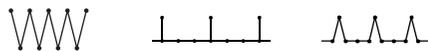
- 3 **アップリケの位置** (アップリケを縫い付けるためのガイド線) が、自動的に縫製されるように設定されます。



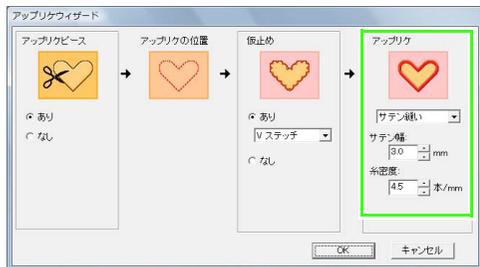
- 4 仮止めの縫製をする場合は、**仮止めのあり**を、仮止めをしない場合は**なし**を選択します。**あり**を選択した場合は、セクタから縫い目の種類を選択します。仮止めは、サテン縫い、E ステッチ、V ステッチから選択できます。



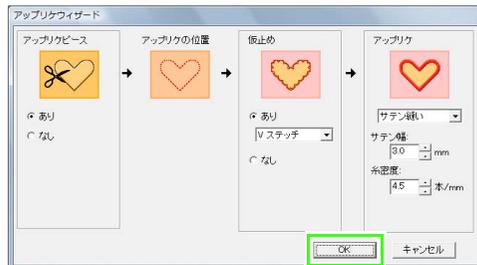
サテン縫い      E ステッチ      V ステッチ



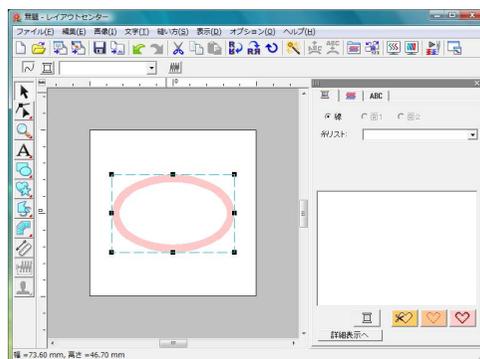
- 5 **アップリケ**で、アップリケ縫いの縫い方の種類とサテン幅、糸密度を設定します。



- 6 **OK** をクリックして、アップリケウィザードを終了します。デザインページにアップリケデータが表示されます。



→ アップリケデータが作られ、デザインページに表示されます。



## 分割模様の刺しゅうデータを作る

レイアウトセンターでは、刺しゅう枠より大きいサイズの刺しゅうデータを作り、そのデータを刺しゅう枠に合わせて分割する機能があります。

各ステップに従って、分割模様の刺しゅうデータを作り、分割した各パーツを縫製してみましょう。

ここで作るサンプルデータは、次のフォルダにあります。

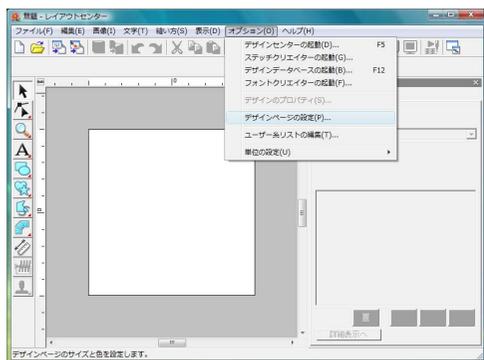
**ドキュメント（マイドキュメント）¥刺しゅう PRO 8¥使ってみましょう¥使ってみましょう\_9**

ステップ1	レイアウトセンターのデザインページのサイズを設定する
ステップ2	刺しゅうデータを作る
ステップ3	縫い順を確認する
ステップ4	布地に接着芯を貼る
ステップ5	刺しゅう位置の目印を付ける
ステップ6	刺しゅう枠に布地を張る
ステップ7	縫製する

### ステップ1 レイアウトセンターのデザインページのサイズを設定する

まず、デザインページのサイズを、刺しゅうデータのサイズに合わせて設定します。

- 1 レイアウトセンターを起動します。
- 2 メニューの**オプション**→**デザインページの設定**をクリックします。

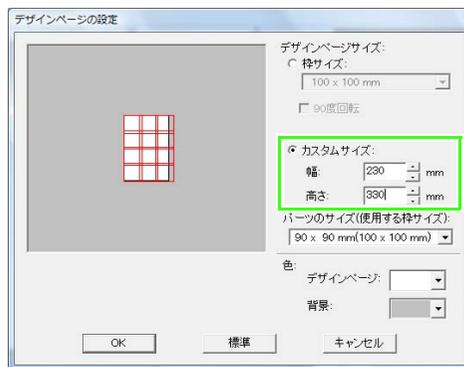


- 3 **カスタムサイズ**を選択し、デザインページの幅と高さを設定します。

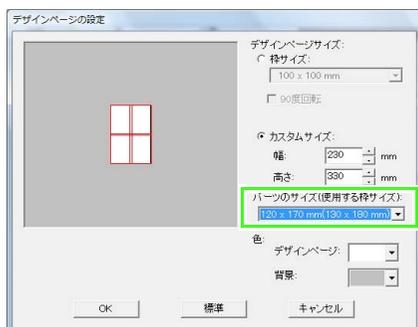
**幅と高さ**に設定できる範囲は、100mm～1000mmです。

刺しゅうデータの正確な幅と高さを設定してください。

ここでは、幅を 230mm、高さを 330mm に設定します。



- ④ **パーツのサイズ（使用する枠サイズ）** セレクタをクリックし、枠パーツ（使用する刺しゅう枠）のサイズを選択します。ここでは、120 × 170mm を選択します。



## メモ：

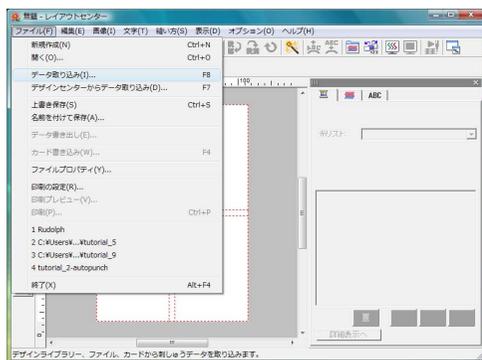
- **パーツのサイズ（使用する枠サイズ）** のパーツの幅と高さは、刺しゅう枠の実寸より10mm 小さくなっています。これは、パーツをきれいにたぎ合わせるために、パーツ間に重なる部分を作っているためです。10mm はこの重なる部分の大きさです。
- **パーツのサイズ（使用する枠サイズ）** では、縫製時に使う刺しゅう枠のサイズを選択してください。

- ⑤ OK をクリックします。

## ステップ2 刺しゅうデータを作る

ここでは、このソフトウェアに付属のレース模様の刺しゅうデータを使って説明します。

- ① ツールバーの  をクリックするか、メニューの **ファイル** → **データ取り込み** をクリックします。



- ②  をクリックし、 をクリックします。ドキュメント（マイドキュメント）→刺しゅう PRO 8 →サンプル→レイアウトセンターフォルダを選択し、Largelace.pes を選択します。

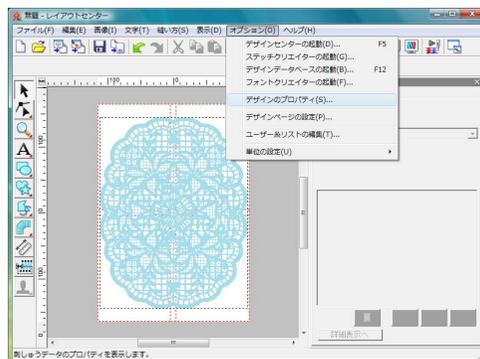


 P.50 の「刺しゅうデータを取り込む」

## ステップ3 縫い順を確認する

刺しゅうデータを縫う前に、枠パーツがどのように縫われていくか縫い順を見て、刺しゅう枠に布のどの部分を張るかを確認します。枠パーツは、左から右、上から下の順で縫われます。

- ① **メニューのオプション** → **デザインのプロパティ** をクリックします。



## メモ：

刺しゅうデータが選択されていると、縫い順を確認できません。縫い順を確認するときは、刺しゅうデータの選択を解除してください。

- ② 他の枠パーツの情報を表示するには、次または前をクリックします。次または前の縫い順の枠パーツの情報に切り替わります。確認したら、閉じるをクリックします。



### 注意：

カスタムサイズのデザインページで作られた刺しゅうデータは、保存またはオリジナルカードに書き込む前に、自動的に走り縫いが追加されます。縫製時に、この走り縫いの線を目安にして、枠パーツの位置合わせをすることができます。この縫い目は、**空白（未定義）**色として表示され、編集することはできません。

P.182 の「メモ」

## ステップ4 布地に接着芯を貼る

刺しゅうを縫製するときは、接着芯を使ってください。接着芯にはいろいろな種類がありますが、どの接着芯を使うかは、刺しゅうする布によって異なります。分割模様の場合、複数のパーツに分けて縫製しますので、布に接着芯を貼り付けるタイプのもので使ってください。たとえば、アイロンで接着できる接着芯や、接着剤が付いている接着芯、スプレー式の接着剤で接着する接着芯などがあります。

また、十分な強度の接着芯を刺しゅうの全面に貼り付けてください。接着芯が薄い場合は2枚重ねて貼り付ける必要がある場合があります。

### 注意：

- 刺しゅうをきれいに仕上げるためには、説明に従って、布に接着芯を貼り付けてください。布に適した接着芯を使わないと、布が縮みデザインが正しく配置されないことがあります。
- 接着芯の説明書を確認して、布に適したものを使ってください。

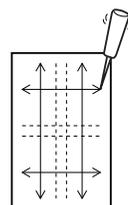
## ステップ5 刺しゅう位置の目印を付ける

使用する枠のサイズのテンプレートを使って、布に刺しゅう位置の目印を付けます。

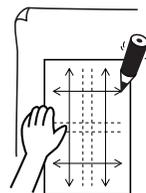
### メモ：

- テンプレートは、本製品に付属されています。
- テンプレートのデータも、PDF ファイルでこのソフトウェアの **Template** フォルダに付属されています。プリンタで印刷してお使いください。
- テンプレートの PDF ファイルは、原寸サイズです。印刷の際は、Adobe® Reader® の印刷設定で「ページの拡大 / 縮小」を「なし」に設定して、原寸（100%）で印刷してください。原寸で印刷されていないテンプレートを使うと、縫いずれなどが発生する原因となります。

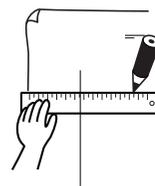
- ① テンプレートの各ラインの両端に、穴を開けます。



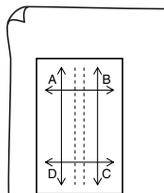
- ② 布の上にテンプレートを置き、それぞれの穴にチャコペンで印を付けます。



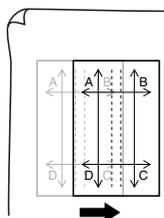
- ③ 布に付けた印を繋いで、基準線を描きます。



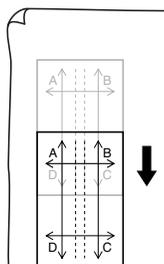
- ④ 布の上にテンプレートを置き、1つ目の枠パーツ位置の目印を付けます。ポイントA、B、C、Dに印を付けます。



- ⑤ 1つ目の枠パーツ位置の右側の枠パーツ位置の目印を付ける場合は、テンプレートのポイントAとDを布のポイントBとCに合わせて、印を付けます。



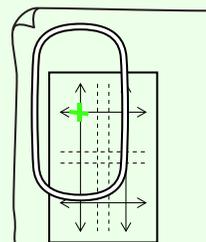
- ⑥ 1つ目の枠パーツ位置の下側の枠パーツ位置の目印を付ける場合は、テンプレートのポイントAとBを布のポイントDとCに合わせて、印を付けます。



- ⑦ ④から⑥を繰り返し、配置し直しながら、枠パーツ位置の目印を必要なパーツの数だけ付けます。

## 注意：

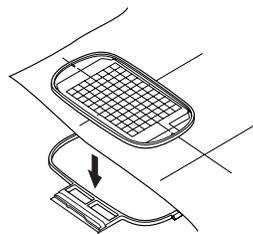
- 縦と横の線が交差するポイントが、枠パーツの中心となります。
- 布に対してどのように枠を取り付けるかを考え、布の上にテンプレートを置き、刺しゅう位置の基準線を描いてください。大きな枠（160 × 260、180 × 300、200 × 300）のテンプレートは、下の図のように、刺しゅうの縫製領域全体が含まれていません。縫製領域が布からはみ出ないように注意してください。（布端にテンプレートの端を合わせて置くと、縫製領域が布からはみ出てしまいます。）



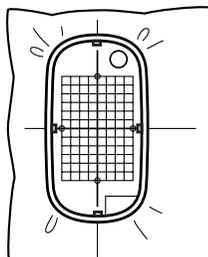
## ステップ6 刺しゅう枠に布地を張る

刺しゅう枠に付属の刺しゅうシートを用意してください。刺しゅうシートの基準線と布の基準線を合わせ、布がずれないように注意しながら、刺しゅう枠に布地を張ります。

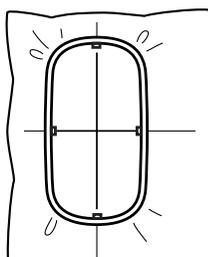
- ① 内枠に刺しゅうシートをのせ、1番目に縫製する枠パーツの基準線と刺しゅうシートの基準線を合わせて、布の上に置きます。



- ② 刺しゅうシートの基準線と布に描いた枠パーツの基準線がずれていないか注意しながら、布と内枠を外枠にセットします。布を引っ張りながら、シワやたるみが入らないようにします。



- ③ 刺しゅう枠がセットできたら、刺しゅうシートを取り外します。



### 💡 注意：

- 布の表面を上にして、内枠に乗せます。次に、内枠の高さと外枠の高さが同じなるまで、内枠をしっかりはめ込んでください。
- 刺しゅうシートを使わずに、刺しゅう枠のマークを使って布の縦と横を合わせることもできます。ただし、一部のミシンの刺しゅう枠は、枠のマークの中心が多少ずれているので、刺しゅうシートを使った方が正しい位置に刺しゅう枠をセットできます。
- ヒント：内枠の布地側になる面に両面テープを貼り、布地と内枠を仮留めすると、位置ずれを気にせずに刺しゅう枠をセットできます。

## ステップ7 縫製する

刺しゅうデータを縫製します。

- ① 分割模様の刺しゅうデータをミシンに転送すると、次のように刺しゅうデータがミシンに表示されます。まず、1番目に縫製する枠パーツ (Aa) を選択します。



### 📖 メモ：

Aa に縫製部分がない場合は、1番目に縫製する枠パーツを選択します。メニューの**オプション**→**デザインのプロパティ**を選択して、刺しゅうの縫い順を確認してください。

- ② 刺しゅう枠をミシンにセットし、針位置を布の基準線の交点に合わせます。
- ③ 1番目の枠パーツを縫製します。
- ④ 縫製し終わったら、ミシンから刺しゅう枠を外し、枠から布を外します。
- ⑤ 刺しゅう枠に、布の次の枠パーツ部分をセットします。

👉 P.180の「刺しゅう枠に布地を張る」

## 📖 メモ：

カスタムサイズのデザインページで作られた分割模様の刺しゅうデータは、保存またはオリジナルカードに書き込む前に、位置合わせの目安となる走り縫いが、枠パーツのつなぎ合わせ部分に自動的に加えられます。

この走り縫いは、糸色は**空白（未定義）**、縫い目の長さが7.0mm、縫い目の長さが0.3mmの止め縫いが設定されています。（位置合わせ線は、印刷プレビューで確認できます。赤色の線が位置合わせ線です。）

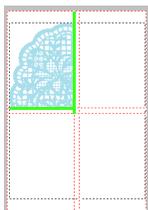
### 例：刺しゅうデータ Largelace.pes の場合

以下の手順で位置合わせをしながら縫製します。

**（Largelace.pes はドキュメント（マイドキュメント）¥刺しゅう PRO 8¥サンプル¥レイアウトセンターフォルダにあります。）：**

- 1) 1番目の枠パーツ（左上の部分）を縫製します。

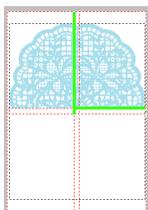
→ 位置合わせ線は枠パーツの下側と右側に縫製されます。



- 2) 手順1で縫製した枠パーツの右側の位置合わせ線と、2番目の枠パーツ（右上の部分）の左端を合わせて、刺しゅう枠を取り付け、縫製します。

→ 刺しゅう部分が縫製される前に、左側の位置合わせ線が縫製されます。1番目の枠パーツの右側の位置合わせ線とぴったり重なっているか確認します。

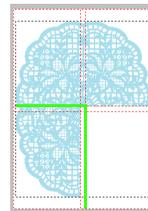
刺しゅう部分が縫製された後に、下側に位置合わせ線が縫製されます。



- 3) 手順1で縫製した枠パーツの下側の位置合わせ線と、3番目の枠パーツ（左下の部分）の上端を合わせて、刺しゅう枠を取り付け、縫製します。

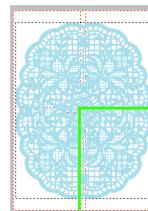
→ 刺しゅう部分が縫製される前に、上側の位置合わせ線が縫製されます。1番目の枠パーツの下側の位置合わせ線とぴったり重なっているか確認します。

刺しゅう部分が縫製された後に、左側に位置合わせ線が縫製されます。



- 4) 手順2で縫製した枠パーツの下側の位置合わせ線と、4番目の枠パーツ（右下の部分）の上端を、手順3で縫製した枠パーツの右側の位置合わせ線と、4番目の枠パーツ（右下の部分）の左端を合わせ、刺しゅう枠を取り付け、縫製します。

→ 刺しゅう部分が縫製される前に、位置合わせ線が縫製されます。2番目の枠パーツの下側の位置合わせ線、3番目の枠パーツの右側の位置合わせ線とぴったり重なっているか確認します。



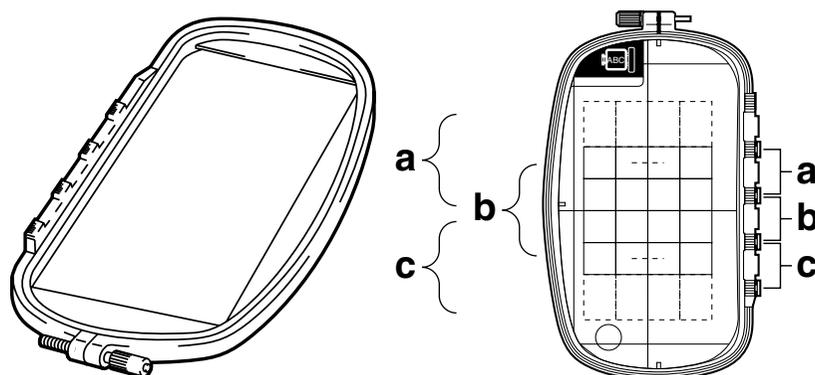
- 6) ①から⑤と同様の手順を繰り返して、残りの枠パーツをすべて縫製します。

## 大型枠用の刺しゅうを作る

ミシンに付属の大型枠（ミシンへの取り付け部が、3ヶ所あるもの、枠サイズ：130 × 300mm、100 × 172mm）に対応した刺しゅうデータを作ります。

ここで作るサンプルデータは、次のフォルダにあります。

ドキュメント（マイドキュメント）\ ¥刺しゅう PRO 8¥使ってみましょう¥使ってみましょう\_10



大型枠の例：100 × 172mm サイズの刺しゅう枠

これらの枠を使うときは、1つの刺しゅうデータのサイズが130 × 180mm（もしくは刺しゅうミシンの縫製サイズにより100 × 100mm）で、刺しゅう枠の取り付け位置（上図のa、b、c）を替えたときに位置が合うように、あらかじめ取り付け位置を考慮して刺しゅうデータが配置されている必要があります。また、各刺しゅうデータはミシンの縫製範囲内に収まっていないとなりません。

ステップ1	デザインページのサイズを設定する
ステップ2	刺しゅうデータを作る
ステップ3	枠を最適化する
ステップ4	刺しゅうデータを 確認する

### ステップ1 デザインページのサイズを設定する

- 1 レイアウトセンターで、メニューの**オプション**→**デザインページの設定**をクリックします。

→ **デザインページの設定**ダイアログボックスが表示されます。



- 2 **デザインページサイズの枠サイズ**を選択し、セレクトで、100 × 172mm または 130 × 300mm を選択します。

#### メモ：

- 大型枠用設定は、数字の前に\*が付いています。
- お使いのミシンで使用可能な刺しゅう枠を確認してから設定してください。

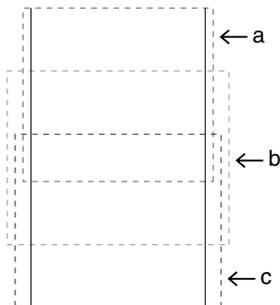
#### 注意：

デザインセンターの**デザインページの設定**ダイアログボックスでは、大型刺しゅう枠は設定できません。

- 3 **OK** をクリックします。

## ステップ2 刺しゅうデータを 作る

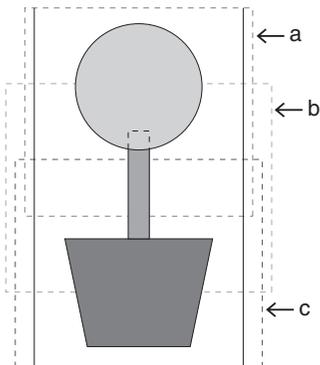
- ① 画面上のデザインページは次のように示されます。



### メモ：

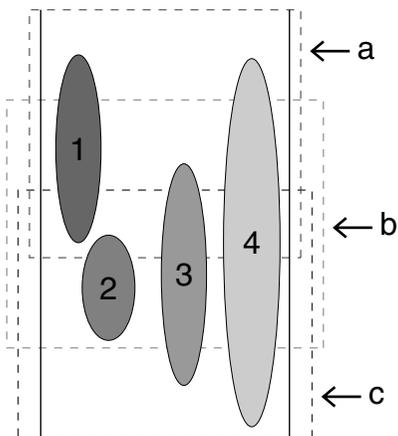
領域 a：上位の取り付け位置で刺しゅう枠を取り付けたときの縫製領域  
 領域 b：中央の取り付け位置で刺しゅう枠を取り付けたときの縫製領域  
 領域 c：下位の取り付け位置で刺しゅう枠を取り付けたときの縫製領域  
 各領域は点線で区分されています。

- ② 次の条件に適合するように刺しゅうデータを作ります。



- 1つの刺しゅうデータの大きさが、100 × 100mm（または 130 × 180mm）以内であること
- それぞれの刺しゅうデータが、各領域（a、b、cのいずれか）に完全に含まれていること

### メモ：



- 1：領域 a に完全に収まっているので問題ありません。
- 2：領域 b または c に完全に収まっているので問題ありません。
- 3：大きさは問題ありませんが、どの領域にも完全に収まっていないので、修正が必要です。（b または c に収まるように位置を修正する必要があります。）
- 4：サイズが大きすぎるので修正が必要です。（a、b または c に収まるように位置とサイズを修正する必要があります）

### 注意：

条件を満たしていない刺しゅうデータは、次のステップの縫い順の設定に進むときに警告が表示されます。

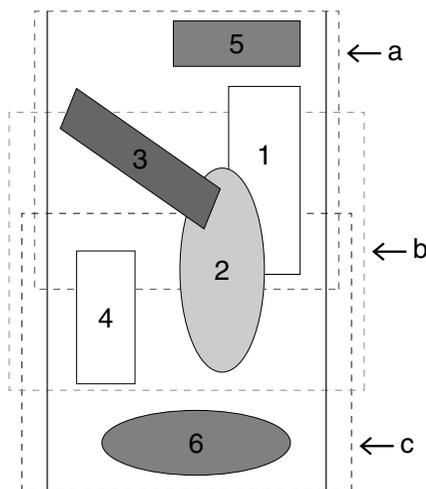
## ステップ3 枠を最適化する

枠の最適化機能をオンにしておくと、刺しゅう枠を頻繁に付け替えてもよくなり、縫いずれ、縫い弛み等が起きにくくなります。

## ① メニューの縫い方→枠の最適化をクリックします。

### 📖 メモ：

- オン設定のときは、メニューにチェックマークが表示されます。オフに設定すると、チェックマークが消えます。



- 枠の最適化をオンにすると、設定した縫い順を、刺しゅう枠の取り付け位置の付け替え回数が最も少なくなるように縫い順/枠の位置順を最適化したデータを作ります。このページの例では、縫い順は次のようになります。a (刺しゅうデータ 1) → b (刺しゅうデータ 2) → a (刺しゅうデータ 3、5) → c (刺しゅうデータ 4、6)  
枠の最適化をオフにすると、設定した縫い順通りに、各刺しゅうデータを縫います。このページの例では、縫い順は次のようになります。a (刺しゅうデータ 1) → b (刺しゅうデータ 2) → a (刺しゅうデータ 3) → c (刺しゅうデータ 4) → a (刺しゅうデータ 5) → c (刺しゅうデータ 6)  
この場合、刺しゅう枠の取り付け位置の付け替え回数は、刺しゅうデータによってはオンの場合より多くなることがあります。

### 💡 注意：

刺しゅう枠の取り付け位置の付け替え回数が増えると、縫いずれ、縫い弛み等が起きやすくなりますので、枠の最適化をオンにして刺しゅうデータを作ることをお勧めします。ただし、枠の最適化を行うと設定した縫い順が変更されることがありますので、縫製する前に縫い順を確認してください。

## ステップ4 刺しゅうデータを 確認する

### 💡 注意：

この機能を実行する前に、刺しゅうデータが選択されていないことを確認してください。刺しゅうデータが選択されていると、その刺しゅうデータの情報だけが表示されます。

## ① メニューのオプション→デザインのプロパティをクリックします。

→ デザインのプロパティダイアログボックスが表示され、デザインページの表示が自動的にページ全体表示に切り替わります。



### 📖 メモ：

- ダイアログボックスの最上行は、現在表示されている部分デザインシートの枠の位置番号と、部分デザインシートの総取り付け位置数を表示しています。
- このとき、デザインページの表示では、ダイアログボックスに表示されている枠の位置番号に対応する刺しゅうデータのみが表示され、また、対応する刺しゅう枠の取り付け位置の外形は赤い線で囲まれて表示されます。
- 前ボタンまたは次をクリックして、表示内容を現在表示されている取り付け位置から、前後の取り付け位置に対応するデザインに切り替えます。このとき、対応する刺しゅうデータと刺しゅう枠位置がデザインページに表示されます。

### 💡 注意：

デザインページより大きい、またはデザインページからはみ出している刺しゅうデータがあるときは、このダイアログボックスの代わりに、「データのサイズか位置を変更してください。」というエラーメッセージが表示されます。エラーの表示後、エラーに該当する刺しゅうデータが選択状態になりますので、サイズまたはその位置を調整してください。

## ■ 刺しゅうデータを保存する

すべての刺しゅうデータが、1 個のファイル（.pes ファイル）に保存されます。

### 📖 メモ：

ファイルのサイズ、色替え回数が指定数より大きい場合、または、個々の刺しゅうデータの中にどの部分デザインシートにも入らないものがある場合は、「全てのデータをデザインページの枠内に入れてください。そのまま保存されたデータはカードに書き込めません。それでも保存しますか?」という警告メッセージが表示されますので、変更するか、保存するか対応してください。

## ■ 刺しゅうデータをオリジナルカードへ書き込む

大型枠用刺しゅうデータは、1 つの刺しゅう枠の取り付け位置に対応する刺しゅうデータを 1 つの刺しゅうデータとし、それを複数組み合わせる縫製するように構成されています。

書き込みは、1 回の書き込み作業で、1 つの大型枠用の刺しゅうデータのすべてを（複数の刺しゅうデータとして）書き込みます。

この刺しゅうデータをミシン上で確認すると、次のようになります。



📌：刺しゅう枠の上位の取り付け位置（位置 a）で縫う刺しゅうデータ

📌：刺しゅう枠の中央の取り付け位置（位置 b）で縫う刺しゅうデータ

📌：刺しゅう枠の下位の取り付け位置（位置 c）で縫う刺しゅうデータ

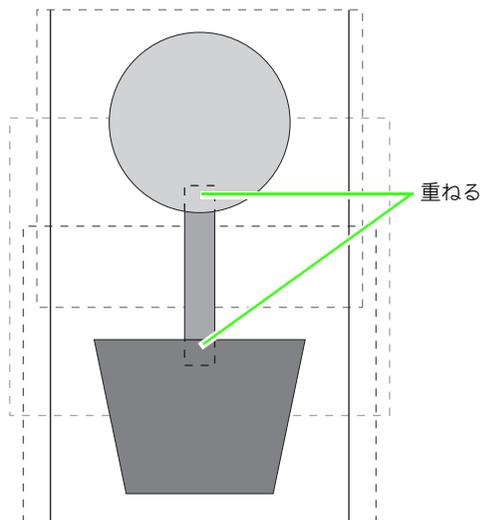
したがって、上記の例では、刺しゅうデータの枠位置の縫い順は b → a → c の順になります。

## 大型刺しゅう枠を使用する際の注意点：

- 実際の布地に縫製する前に、同じ布地で試し縫いを行ってください。また、針と糸も実際に使うものと同じものを使ってください。
- 必ず布地の裏に接着芯を貼り、刺しゅう枠にしっかりと張ってください。特に、薄い生地や伸縮地の場合は、接着芯を 2 枚重ねて使ってください。接着芯がないと、縫い縮み、輪郭線のずれ、布じわが起き、きれいな仕上がりになりません。
- 大きな刺しゅうデータに接着芯を使う場合の詳細は、P.179 の「布地に接着芯を貼る」を参照してください。
- 輪郭線は、サテン縫いを設定してください。走り縫い設定よりも縫いずれを防ぐことができます。



- 刺しゅう枠を異なった枠位置で取り付ける必要のある刺しゅうデータでは、刺しゅうデータの各部（継ぎ目）を重ねてデザインすると、縫いずれを防ぐことができます。



## ■ 大型枠用の刺しゅうデータの印刷について

デザインページが大型枠用に選択されていると、1 ページ目にデザインページの全体画像が、2 ページ目以降に刺しゅうデータの各部分データの縫い情報（刺しゅう寸法、縫い順、針数、枠位置）が印刷されるため総ページ数は刺しゅうデータによって異なります。

- 130 × 300mm のデザインページが選択されている場合、130 × 180mm を 1 つの部分データとして複数枚に分けて印刷します。
- 100 × 172 mm のデザインページが選択されている場合、100 × 100 mm を 1 つの部分データとして複数枚に分けて印刷します。

デザインページの印刷は以下の通り行われます。

### 原寸印刷が選択されている場合

1 ページ目にデザインページ全体を原寸大で印刷します。（ただし、130 × 300mm が選択されている場合は、デザインページ全体の縮小印刷になります。）その後、最初の枠取り付け位置から順に、各部分データの縫製イメージが印刷され、その刺しゅうデータの縫い情報が次のページに印刷されます。

### 縮小印刷が選択されている場合

1 ページ目にデザインページ全体を原寸大で印刷します。（ただし、130 × 300mm が選択されている場合は、デザインページ全体の縮小印刷になります。）その後、最初の枠取り付け位置から順に、各部分データの縫製イメージが印刷され、同じページにその刺しゅうデータの縫い情報が印刷されます。

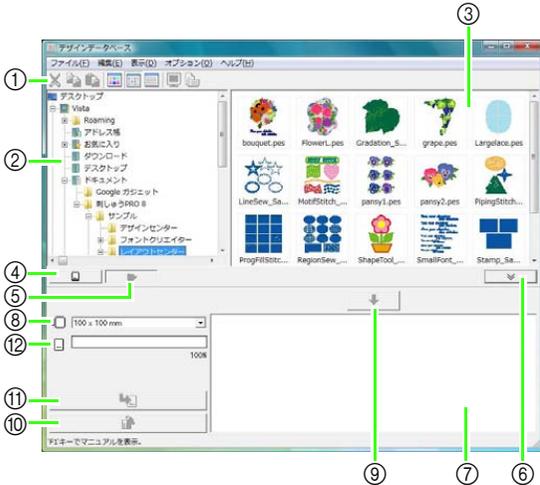


#### メモ：

メニューの**ファイル**→**印刷プレビュー**の各部分データのプレビュー表示も、上記のようになります。

# 刺しゅうファイルを管理する (デザインデータベース)

## デザインデータベースの画面

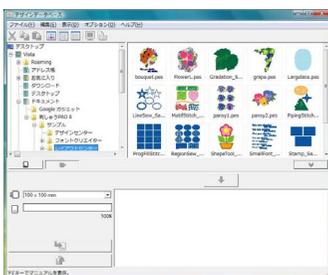


- ① ツールバー  
各メニュー機能へのショートカットです。
- ② フォルダビュー  
パソコン上のフォルダ階層を表示します。
- ③ コンテンツビュー  
選択したフォルダにあるすべての刺しゅうファイルの一覧、またはサムネイル (アイコン) を表示します。
- ④ カード読み込みボタン  
オリジナルカードを読み込みます。

- ⑤ フォルダ内容表示ボタン  
フォルダビューとコンテンツビューを、パソコンのフォルダ内容に切り替えます。
- ⑥ カード書き込みビューの表示/非表示ボタン  
刺しゅうファイルをオリジナルカードへ書き込むときにクリックします。カード書き込みビューの表示/非表示を切り替えます。
- ⑦ 書き込み候補リスト  
オリジナルカードに書き込む刺しゅうファイルが表示されます。
- ⑧ 刺しゅう枠セクタ  
オリジナルカードに刺しゅうファイルを書き込むときに、枠サイズを選択します。
- ⑨ 追加ボタン  
コンテンツビューで選択した刺しゅうファイルを、書き込み候補リストに追加します。
- ⑩ 削除ボタン  
選択されたファイルを書き込み候補リストから削除します。
- ⑪ 書き込みボタン  
書き込み候補リストに表示されている刺しゅうファイルを、オリジナルカードに書き込みます。
- ⑫ カード容量インジケータ  
オリジナルカードの容量に対する、選択した刺しゅうファイル (書き込み候補リストに追加したファイル) の容量が表示されます。

## デザインデータベースを起動する

1. をクリックし、**すべてのプログラム→刺しゅう PRO 8→ツール→デザインデータベース** を選択します。
2. フォルダビューのフォルダをクリックします。  
→ フォルダ内のすべての刺しゅうファイルが右側のコンテンツビューに表示されます。



### メモ:

- 次の拡張子のファイルのみが表示されます。  
.pes .phc .dst .exp .pcs .hus .vip  
.shv .jef .sew .csd .xxx .pen
- .pem ファイルは、ミシンで呼び出せないファイルのため表示されません。デザインセンターからレイアウトセンターへ送り、.pes ファイルで保存してください。

P.153 の「レイアウトセンターへ送る」

## 刺しゅうファイルを確認する

### 刺しゅうファイルをプレビューする

刺しゅうファイルの仕上がりがイメージを確認できます。

ツールバーボタン: 

1. フォルダビューで、フォルダを選択します。
2. コンテンツビューで、プレビューする刺しゅうファイルを選択します。
3. ツールバーの  をクリックするか、メニューの表示→プレビューをクリックします。



#### メモ:

.pen ファイルは、プレビューできません。

### 刺しゅうファイルの情報を確認する

ファイル名、サイズ、針数、縫製時間、糸色数、変更日などの縫い方情報を、**ファイルプロパティ**ダイアログボックスで確認できます。.pes ファイルは、刺しゅうファイルに関する追加情報も確認できます。

#### 注意:

- 表示される縫製時間は目安です。実際の縫製時間は、お使いのミシンの機種や設定により前後する場合があります。
- .pen ファイルは、縫製時間が表示されません。

ツールバーボタン: 

1. コンテンツビューで、情報を確認する刺しゅうファイルを選択します。

2. ツールバーの  をクリックするか、メニューの表示→ファイルプロパティをクリックします。

PES 以外のファイルおよび Ver.3.0 以前の PES ファイル



Ver.4.0 以降の PES ファイル



→ デザインページが**カスタムサイズ**に設定されている場合、または刺しゅう枠が大型枠 (100 × 172mm、130 × 300mm) に設定されている場合は、次のような**ファイルプロパティ**ダイアログボックスが表示されます。



#### メモ:

- 情報は枠の位置 (枠パーツ) ごとに表示されます。赤い枠が、表示されている枠パーツの位置を示しています。
-  または  をクリックして、他の枠の位置に切り替えます。

## 刺しゅうファイルを開く

### レイアウトセンターで刺しゅうファイルを開く

選択した .pes ファイルを、レイアウトセンターで開きます。

1. フォルダビューで、フォルダを選択します。



#### 注意：

必ず .pes ファイルの入っているフォルダを選択してください。

2. コンテンツビューで、.pes ファイルを選択します。
3. メニューの**ファイル→レイアウトセンターで開く**をクリックします。

→ 選択した .pes ファイルが、レイアウトセンターで開きます。

### レイアウトセンターで刺しゅうファイルを取り込む

選択した刺しゅうファイルを、レイアウトセンターで取り込むことができます。取り込むことができるファイルは次の形式です。

.pes、.phc、.dst、.exp、.pcs、.hus、.vip、.shv、.jef、.sew、.csd、.xxx

1. フォルダビューで、フォルダを選択します。
2. コンテンツビューで、レイアウトセンターに取り込む刺しゅうファイルを選択します。
3. メニューの**ファイル→レイアウトセンターで取り込む**をクリックします。

→ 選択した刺しゅうファイルが、レイアウトセンターに取り込まれます。



#### 注意：

.pen ファイルは、レイアウトセンターに取り込みません。

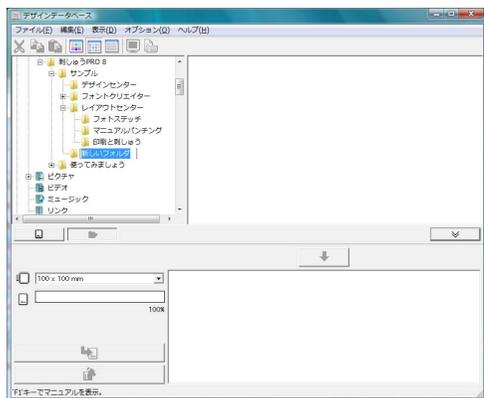
## 刺しゅうファイルを整理する

ファイルを別のフォルダに移動するなどして、刺しゅうファイルを整理できます。また、刺しゅうファイルの表示のしかたを、サムネイル大/サムネイル小/詳細から選択できます。

### 新規フォルダを作る

刺しゅうファイルを整理するために、新規フォルダを作ります。

1. フォルダビューで、フォルダを選択します。
2. メニューの**ファイル**→**フォルダ作成**をクリックします。  
→ 選択したフォルダにサブフォルダが作られ、**新しいフォルダ**と表示されます。



3. フォルダ名を入力し、**Enter** キーを押します。  
→ フォルダ名が入力された名前になります。

### 刺しゅうファイルを別のフォルダに移動・コピーする

デザインデータベースで、刺しゅうファイルのフォルダ間の移動ができます。

1. フォルダビューで、移動・コピーする刺しゅうファイルがあるフォルダを選択します。
2. フォルダビューに、移動先のフォルダを表示させます。
3. コンテンツビューの刺しゅうファイルを、フォルダビューの移動先のフォルダにドラッグします。



→ 移動先のフォルダが移動前のフォルダと同じドライブにある場合は、刺しゅうファイルは、ドラッグした先のフォルダに移動します。

→ 移動先のフォルダが移動前のフォルダと異なるドライブにある場合は、刺しゅうファイルは、ドラッグした先のフォルダにコピーされます。

#### メモ:

- 同じドライブにある別のフォルダにファイルをコピーするときは、**Ctrl** キーを押しながら、刺しゅうファイルをドラッグします。
- 異なるドライブにあるフォルダにファイルを移動するときは、**Shift** キーを押しながら、刺しゅうファイルをドラッグします。
- ファイルの移動やコピーは、メニューからもできます。刺しゅうファイルを選択して、メニューの**編集**→**切り取り** (または**編集**→**コピー**) を選択します。フォルダビューで移動先(コピー先)のフォルダを選択し、メニューの**編集**→**貼り付け**を選択してファイルを貼り付けます。

### 刺しゅうファイルの名前を変更する

デザインデータベースで、刺しゅうファイルのファイル名を変更できます。

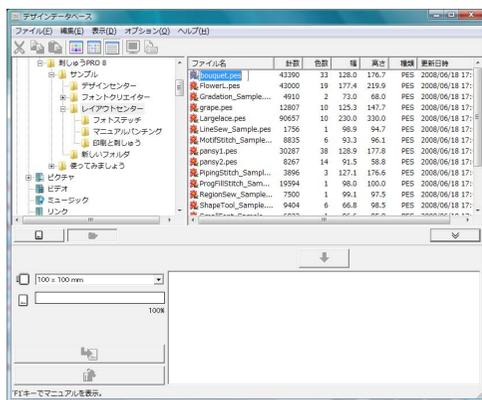
## 注意:

刺しゅうファイルの名前の変更は、コンテンツビューの表示のしかたが**詳細**に設定 (メニューの**表示**→**詳細**を選択) されているときのみできます。

 P.192 の「コンテンツビューの表示のしかたを変更する」

1. フォルダビューで、名前を変更する刺しゅうファイルのあるフォルダを選択します。
2. コンテンツビューで、刺しゅうファイルを選択します。もう一度ファイル名をクリックします。

→ ファイル名が反転表示に変わります。



3. 新しいファイル名を入力し、**Enter** キーを押します。

## メモ:

ファイルの拡張子は、変更できません。変更しようとするとき、エラーメッセージが表示されます。

## 刺しゅうファイルを削除する

デザインデータベースで、刺しゅうファイルを削除できます。

1. フォルダビューで、削除する刺しゅうファイルのあるフォルダを選択します。
2. コンテンツビューで、刺しゅうファイルを選択します。
3. **Delete** キーを押します。

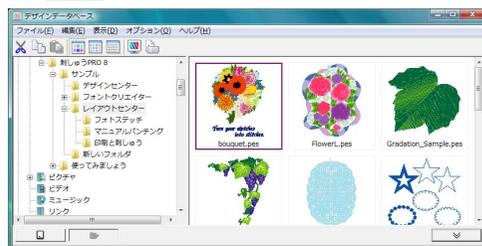
→ ファイルがゴミ箱に移動します。

## コンテンツビューの表示のしかたを変更する

コンテンツビューの刺しゅうファイルの表示を、**サムネイル大**、**サムネイル小**、**詳細**から選択できます。

1. メニューの**表示**をクリックして、表示設定を選択します。

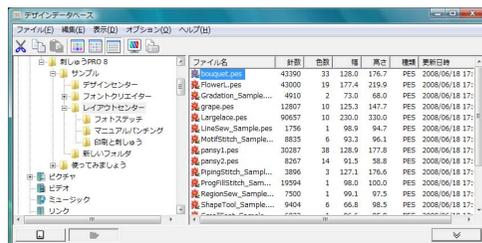
刺しゅうファイルを大きいサムネイルで表示したいときは、**サムネイル大**をクリックするか、ツールバーの  をクリックします。



刺しゅうファイルを小さいサムネイルで表示したいときは、**サムネイル小**をクリックするか、ツールバーの  をクリックします。



刺しゅうファイルの縫い方情報を表示したいときは、**詳細**をクリックするか、ツールバーの  をクリックします。



## 刺しゅうファイルを検索する

検索機能を使うと、1つまたは複数の検索条件を指定することで、フォルダ内の希望の刺しゅうファイル (.pes、.phc、.dst、.exp、.pcs、.hus、.vip、.shv、.jef、.sew、.csd、.xxx または .pen ファイル) を、すばやく検索できます。

1. フォルダビューで、フォルダを選択します。
2. メニューの**ファイル**→**検索**をクリックします。
3. 検索条件を指定します。指定する検索条件のチェックボックスをチェックします。



### ファイル名

特定のファイル名で検索できます。ボックスにファイル名を入力します。

### メモ:

ワイルドカード文字 (「?」で任意の1文字を、「\*」で任意の長さの任意の文字列を表す) での検索もできます。

### 対象フォーマット

特定のファイル形式で検索します。希望のファイル形式のチェックボックスをチェックします。

### 針数

針数を指定して検索します。ボックスに針数の上限と下限の数値を入力します。

### 色数

色数を指定して検索します。ボックスに糸色数の上限と下限の数値を入力します。

### 幅

刺しゅうの横の長さを指定して検索します。ボックスに横の大きさの上限と下限の数値を入力します。

### 高さ

刺しゅうの縦の長さを指定して検索します。ボックスに縦の大きさの上限と下限の数値を入力します。

### 更新日

特定の更新日を指定して検索します。ボックスに更新日の期間 (何日から何日まで) を入力します。

.pes ファイルの検索には、さらに次の条件を設定できます。

▶ P.143の「pes ファイルにコメントを書く」

### デザイン名

特定のデザイン名で検索します。ボックスにデザイン名を入力します。

### 分類

特定の分類で検索します。ボックスに刺しゅうのタイプや文字を入力します。

### 作者

特定の作者名で検索します。ボックスに検索したい文字を入力します。

### キーワード

特定のキーワードで検索します。ボックスに検索したい文字を入力します。

### コメント

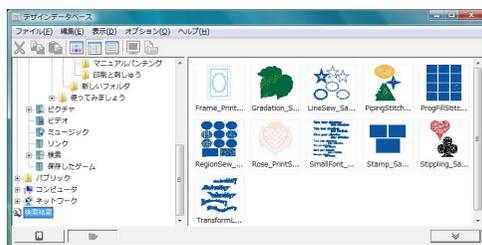
特定のコメントで検索します。ボックスに検索したい文字を入力します。

### メモ:

- サブフォルダ (選択したフォルダ内のフォルダ) も検索する場合は、**サブフォルダも検索** チェックボックスをチェックします。
- **ファイル名**の横にあるボックスに入力された文字は、1つの文字セットとして扱われます。ただし、**検索条件 (.pes ファイルのみ)** の場合は、スペースで区切られた単語を複数入力し、各単語とすべて一致するファイルを検索できます。

4. **検索**をクリックします。

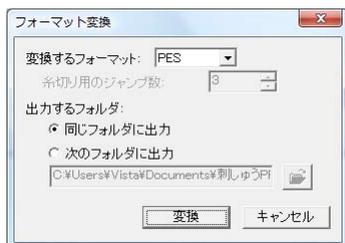
→ 指定した検索条件に一致するファイルの一覧が表示されます。



## 刺しゅうファイルを別の形式に変換する

刺しゅうファイルを、簡単に別のファイル形式（.pes、.dst、.exp、.pcs、.hus、.vip、.shv、.jef、.sew、.csd、.xxx）に変換できます。

1. フォルダビューで、変換する刺しゅうファイルがあるフォルダを選択します。
2. コンテンツビューで、刺しゅうファイルを選択します。
3. メニューの**ファイル→フォーマット変換**をクリックします。
4. **変換するフォーマットセレクト**からファイル形式（.pes、.dst、.exp、.pcs、.hus、.vip、.shv、.jef、.sew、.csd、.xxx）を選択します。



### メモ：

DST 形式では、工業用刺しゅうミシンの自動糸切りを指示するためにジャンプコードが使用されており、自動糸切りのためのジャンプ回数はご使用のミシンによって異なります。変換時にジャンプ回数を指定できます。**糸切り用のジャンプ数**に数値を入力するか、スピンボタンで値を変更します。（この設定は DST 形式が選ばれている場合のみ有効です。）

5. **出力するフォルダ**を選択します。元ファイルと同じフォルダに出力する場合は、**同じフォルダに出力**を選択します。別のフォルダに出力する場合は、**次のフォルダに出力**を選択し、フォルダを指定します。

### メモ：

- **同じフォルダに出力**が選択されているときに、異なる形式のファイルを複数選択して変換した場合は、指定ファイルと同じ形式のファイルは変換されません。ただし元のフォルダとは別のフォルダに出力する場合は、指定ファイルと同じ形式のファイルはすべてコピー出力されます。
- 変換ファイルの出力先フォルダを変更するときは、 をクリックします。

6. **変換**をクリックします。

→ ファイルが変換され、新規ファイルが指定フォルダに出力されます。

### メモ：

- ファイルを .pes ファイルに変換した場合は、ファイルがレイアウトセンターに取り込まれるときと同様に糸色が変わります。

### 注意：

- .phc および .pen 形式へのファイル変換はできません。
- .phc および .pen 形式からのファイル変換はできません。

# 刺しゅうファイルをオリジナルカードへ書き込む

刺しゅうファイルを選択してオリジナルカードへ書き込むことができます。オリジナルカードをマシンに挿入すると、刺しゅうデータをマシンで縫うことができます。

1. オリジナルカードをカードライターに挿入します。

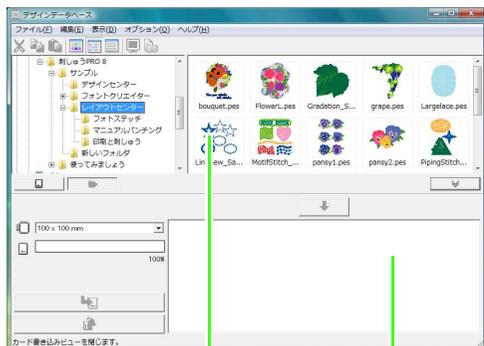
.phc ファイルは、オリジナルカードへ書き込みません。

 P.18の「オリジナルカードへ書き込む」

2.  をクリックします。



→ カード書き込みボックスが表示されます。



コンテンツビュー  
(使用できる刺しゅうファイル)  
書き込み候補リスト  
(選択された刺しゅうファイル)

## メモ:

カード書き込みボックスを非表示にするときは、 をクリックします。

3. 刺しゅう枠セレクトで、刺しゅう枠のサイズを選択します。



## 注意:

お使いのマシンの最大刺しゅう縫製範囲を越えるサイズを選択しないでください。使用できる刺しゅう枠サイズより大きいサイズで書き込まれたカードは、マシンで正しく動作しません。

4.  をクリックします。

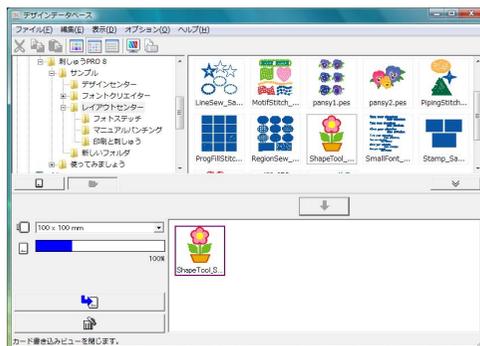
5. 書き込みたい刺しゅうファイルがあるフォルダを選択します。

→ 選択したフォルダ内のすべての刺しゅうファイルがコンテンツビューに表示されます。

6. コンテンツビューで、刺しゅうファイルを選択します。

7.  をクリックするか、刺しゅうファイルを右クリックして書き込み候補リストに追加をクリックします。

→ 選択したファイルが書き込み候補リストに追加されます。



## メモ:

コンテンツビューでファイルを選択し、書き込み候補リストにドラッグしても、書き込み候補リストにファイルを追加できます。

## 🔍 注意：

刺しゅうデータのサイズが **3.** で選択した刺しゅう枠より大きい場合や、刺しゅうデータの針数や色数が **3.** で選択した刺しゅう枠の制限値を越えている場合、その刺しゅうファイルは書き込み候補リストに追加できません。  
書き込み候補リストに表示された刺しゅうファイルのみ、オリジナルカードに書き込むことができます。

## 📖 メモ：

- 書き込み候補リストから刺しゅうファイルを削除するときは、削除するファイルを選択して  をクリックするか、右クリックして **書き込み候補リストから削除** をクリックします。
- カスタムサイズのデザインページで作られた分割模様の刺しゅうデータは、枠パーツごとに分けて書き込まれます。

- 8.** **5. ~ 7.** を繰り返し、オリジナルカードに書き込む刺しゅうファイルをすべて選択します。

## 📖 メモ：

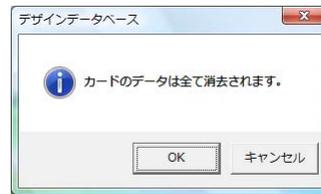
- 書き込むファイルを選択しながら、カード容量インジケータで刺しゅうファイルの容量とオリジナルカードの空き容量を確認できます。  
書き込み候補リスト内のデータによって使用されるスペースは青色で表示されます。



- オリジナルカードの刺しゅうファイルを再度カードに書き込むときは、 をクリックしてから刺しゅうファイルを選択し、書き込み候補リストにファイルを追加します。

- 9.** オリジナルカードに書き込む刺しゅうファイルを書き込み候補リストに追加できたら、 をクリックして、データの書き込みを始めます。

- 10.** OK をクリックします。



→ 書き込み候補リスト内の刺しゅうファイルがオリジナルカードに書き込まれます。

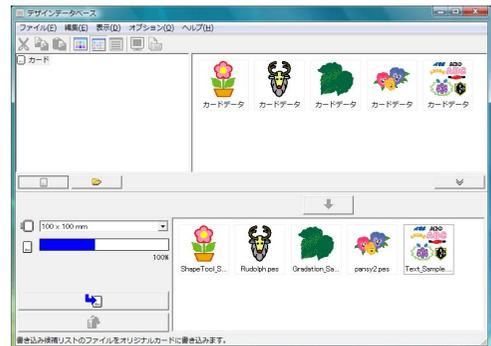
## 🔍 注意：

オリジナルカードにデータを書き込んでいる最中（LED表示が点滅中）は、オリジナルカードや USB コネクタを抜かないください。

- 11.** 書き込み終了メッセージが表示されたら、OK をクリックします。

- 12.** 刺しゅうファイルがオリジナルカードに書き込まれたかどうかを確認したいときは、 をクリックします。

→  **カード** がフォルダビューに表示され、オリジナルカードに書き込まれた刺しゅうファイルがコンテンツビューに表示されます。



## 📖 メモ：

- オリジナルカードに書き込まれた刺しゅうファイルは、コンテンツビューに「**カードデータ**」として表示されます。
- コンテンツビューをフォルダ表示に戻すときは、 をクリックします。  
 または  をクリックすると表示を切り替えることができます。

# 一覧 (刺しゅう見本) を出力する

## 印刷する

選択したフォルダの刺しゅうイメージを一覧 (刺しゅう見本) として印刷できます。

1. フォルダビューで、刺しゅうファイルのあるフォルダを選択します。
2. メニューの**ファイル**→**印刷の設定**をクリックします。
3. **用紙**と**印刷の向き**を選択します。
4. **印刷レイアウト**で、各ページに印刷したい刺しゅうの数 (1 個、4 個、12 個) を選択します。



5. **糸色の印刷方法**で、糸色を糸色名で表示するか、ブランド名と糸番号で表示するかを選択します。

### メモ:

ブランド名と糸番号が長い場合は、一部の文字が印刷されないことがあります。

6. **印刷**をクリックします。

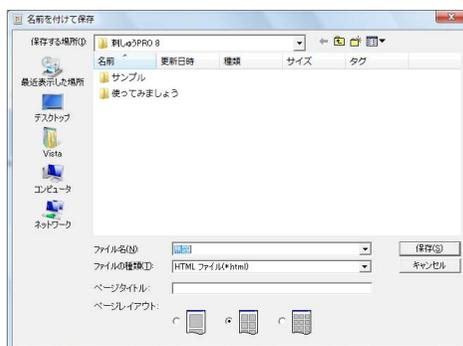
### メモ:

- コンテンツビューで刺しゅうファイルを1つ、または複数選択すると、選択した刺しゅうファイルだけを印刷できます。
- メニューの**ファイル**→**印刷**をクリックしても、一覧を印刷できます。前回、**印刷の設定**ダイアログボックスで選択された設定内容で印刷されます。

## HTML ファイルを出力する

一覧は、HTML ファイルとして出力することもできます。

1. フォルダビューで、刺しゅうファイルのあるフォルダを選択します。
2. メニューの**ファイル**→**HTML出力**をクリックします。
3. ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。



4. ページ上部とタイトルバーにタイトルを表示する場合は、**ページタイトル**にタイトルを入力します。
5. **ページレイアウト**で、ページ上の刺しゅうのレイアウトを選択します。
6. **保存**をクリックします。

## CSV ファイルを出力する

選択した刺しゅうファイルの縫い方情報（ファイル名、サイズ、針数、色数、ファイルのパス、ファイルプロパティ（.pes ファイルのみ）、糸色名、色番号）の CSV ファイルを出力できます。

1. フォルダビューで、刺しゅうファイルのあるフォルダを選択します。
2. メニューの**ファイル**→**CSV ファイル出力**をクリックします。
3. ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。

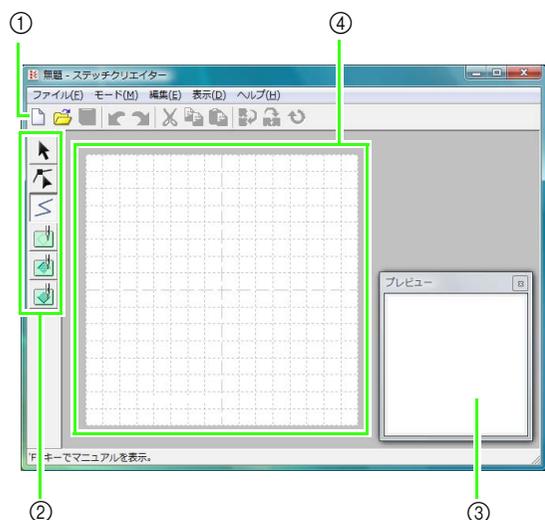


4. **保存**をクリックします。

# ステッチクリエイターの基本的な使い方

ステッチクリエイターで作成 / 編集したプログラムタタミ / スタンプパターンやモチーフパターンを、レイアウトセンターやデザインセンターで使うことができます。プログラムタタミ / スタンプパターンは、プログラムタタミ縫いやスタンプ用のパターンデータです。作成 / 編集したパターンデータを使うと、より装飾的な刺しゅうデータを作ることができます。

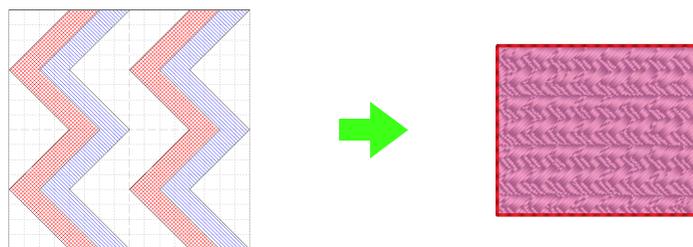
## ステッチクリエイターの画面



- ① ツールバー  
各メニュー機能へのショートカットです。
- ② ツールボックス  
パターンの作成、選択、編集に使います。  
(下の4つのボタンは、モチーフモードでは表示されません。)
- ③ プレビューウィンドウ  
パターンがいくつか並べられてプレビュー表示されます。どのような縫い目になるか確認できます。
- ④ デザインページ  
この領域内で、パターンを作ります。

## プログラムタタミ / スタンプパターンを作る

既存のプログラムタタミ / スタンプパターンを編集して、新しいパターンを作ってみましょう。

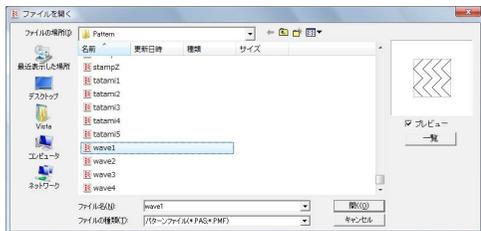


ステップ1	プログラムタタミ / スタンプパターンファイルを開く
ステップ2	線を描いてパターンを編集する
ステップ3	パターンに縫い沈め / 浮き上がり効果を設定する
ステップ4	編集したパターンを保存する
ステップ5	レイアウトセンターで編集したプログラムタタミ / スタンプパターンを使う

## ステップ1 プログラムタタミ/スタンプパターンファイルを開く

まず、編集するプログラムタタミ/スタンプパターンを開きます。ここでは、**wave1.pas** を使います。

- 1  をクリックし、**すべてのプログラム→刺しゅうPRO 8→ツール→ステッチクリエイター**を選択します。
- 2 メニューの**ファイル→開く**をクリックします。
- 3 刺しゅうPRO がインストールされたドライブ→**Program Files → Brother →刺しゅうPRO 8 → Pattern** フォルダを選択し、パターンファイル **wave1.pas** を選択します。**開く**をクリックするか、ファイルアイコンをダブルクリックします。



## ステップ2 線を描いてパターンを編集する

ツールボックスの直線描画ツールを使い、表示された模様の上に線を描いてみましょう。

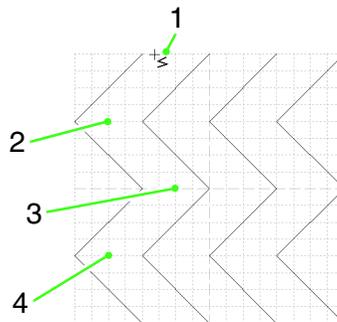
### メモ：

ここでは、グリッド設定は**普通**（パターンファイルの保存時の設定）で作業します。

 P.215 の「グリッドの設定を変更する」

- 1 ツールボックスの  をクリックします。

- 2 ポイント1から4の順でクリックします。

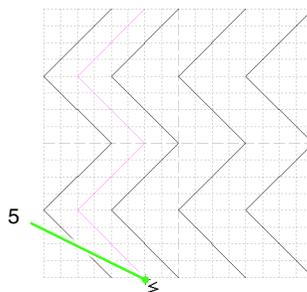


### メモ：

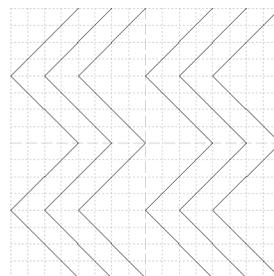
- グリッドが表示されている場合は、必ずグリッド線の交点にポイントが挿入されます。水平線や垂直線はグリッド線と重なって引かれます。また、斜線はグリッドの交点を結んだ直線になります。
- 右クリックするか、**(BackSpace)** を押すと、直前に入力したポイントを削除できます。

 P.208 の「プログラムタタミ/スタンプモードでパターンを作る」

- 3 ポイント5（終点）でダブルクリックします。



- 4 **2**、**3** と同様に、右側から1本目と2番目の波線の間に波線を追加します。

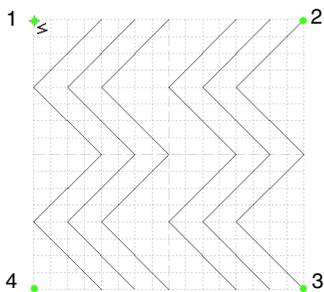


## ステップ3 パターンに縫い沈め / 浮き上がり効果を設定する

プログラムタタミ縫いやスタンプに使うプログラムタタミ / スタンプパターンに、凹凸の設定を加えることで、刺しゅうデータに縫い沈め / 浮き上がり効果を与えます。

線で囲まれた面にのみ、この設定ができます。ここでは、線によって囲まれた面がないため、線を閉じ面部を作ります。

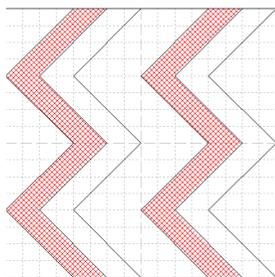
- 1 ツールボックスの  をクリックします。ポイント1をクリックし、ポイント2でダブルクリックします。続いて、ポイント3をクリックし、ポイント4でダブルクリックします。



→ デザインページの上端と下端に線が引かれます。

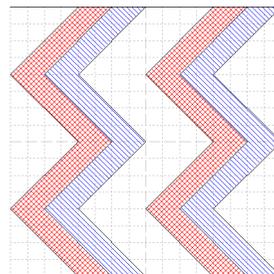
- 2 ツールボックスの  (面設定 (凹)) をクリックし、左から1つ目と4つ目の波線の面をクリックします。

→ 面に縫い沈み効果が設定され、赤色で表示されます。この面は、短いステッチで縫われます。



- 3 ツールボックスの  (面設定 (凸)) をクリックし、左から2つ目と5つ目の波線の面をクリックします。

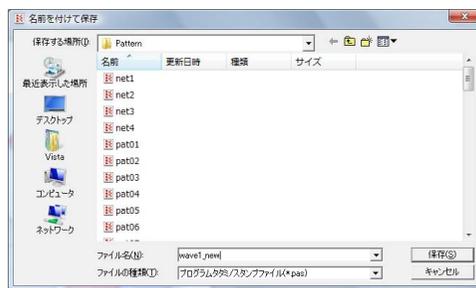
→ 浮き上がり効果が設定され、青色で表示されます。この面は、サテン縫い (針落ちしない面縫い) で縫われます。



## ステップ4 編集したパターンを保存する

編集したパターンを保存します。プログラムタタミ / スタンプパターンは、.pas 形式で保存されます。

- 1 メニューの **ファイル** → **名前を付けて保存** をクリックします。
- 2 ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。**保存** をクリックします。

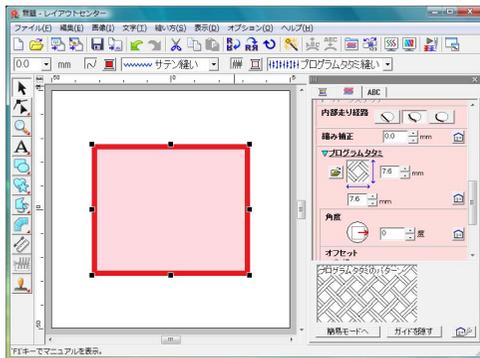


- 3 メニューの **ファイル** → **終了** をクリックします。

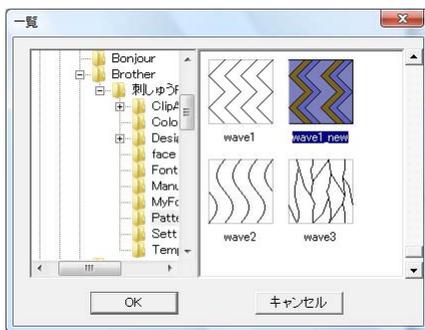
# ステッチクリエイターの基本的な使い方

## ステップ5 レイアウトセンターで編集したプログラムタタミ/スタンプパターンを使う

- 1 レイアウトセンターを起動します。
- 2 刺しゅうデータを選択します。
- 3 面の縫い方設定セレクトで、プログラムタタミ縫いを選択します。
- 4 メニューの縫い方→縫い方の設定をクリックします。  
👉 P.48の「レイアウトセンターの画面」
- 5 プログラムタタミの  をクリックします。

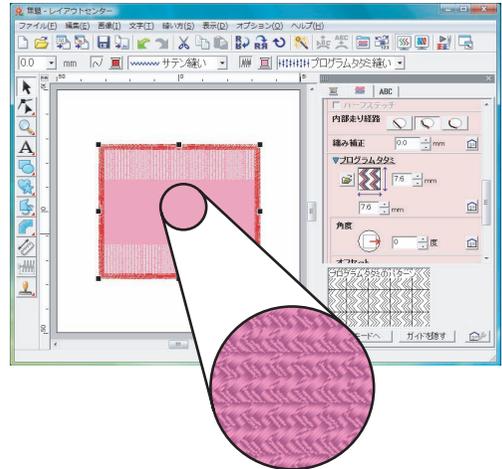


- 6 ステップ 4 でファイルを保存したドライブとフォルダを選択します。



- 7 編集したプログラムタタミ / スタンプパターンをクリックし、OKをクリックします。

→ パターンが、刺しゅうデータの面に設定されます。



- 8 必要に応じて、その他の縫い方の設定を変更します。

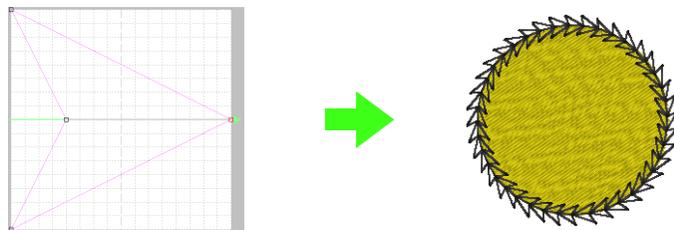
### 📖 メモ:

- ツールボックスの  で設定するスタンプのパターンとしてもこのプログラムタタミ/スタンプパターンを使えます。

- 👉 P.117の「スタンプを設定/編集する」
- P.112の「プログラムタタミ縫いとスタンプに関する注意」を参照して、パターンを効果的に設定してください。

## モチーフパターンを作る

新しくモチーフパターンを作ってみましょう。モチーフパターンは、モチーフモードで作ります。



ステップ1	モチーフモードにする
ステップ2	線を編集してモチーフパターンを作る
ステップ3	編集したモチーフパターンを保存する
ステップ4	レイアウトセンターで編集したモチーフパターンを使う

### ステップ1 モチーフモードにする

- 1 ステッチクリエイターを起動します。
- 2 メニューの**モード**→**モチーフ**をクリックします。  
→モチーフモードに切り替わります。

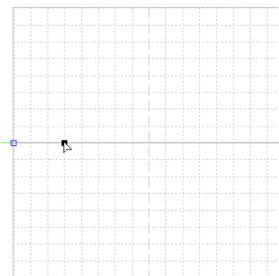


### ステップ2 線を編集してモチーフパターンを作る

モチーフモードでは、1本の線の形を変えて、オリジナルのパターンを作ります。作ったパターンは、レイアウトセンターでは線と面の縫い方に、デザインセンターでは面の縫い方に設定できます。

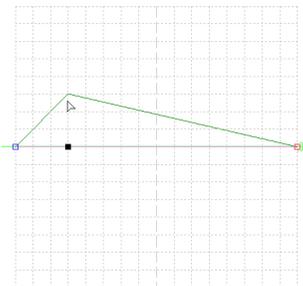
- 1 ツールボックスの  をクリックし、始点（青い四角）と終点（赤い四角）の間のベース線をクリックします。

→ポイントが黒い四角で表示されます。



- 2 ポイントをドラッグします。

ポイントを移動すると、一緒に緑色の線が移動します。



## 📖 メモ:

- **[Shift]** キーを押しながらドラッグすると、ポイントは水平方向または垂直方向に移動します。
- 矢印キーを押すと、選択したポイントを矢印キーの方向に1グリッドずつ移動できます。グリッドが表示されていない場合、パターンはグリッドの最小間隔より小さい間隔で矢印キーの方向に移動します。
- **[Delete]** キーを押すと、選択中のポイントが削除されます。

## ステップ3 編集したモチーフパターンを保存する

作ったモチーフパターンを保存します。モチーフパターンは、.pmf形式で保存されます。

保存のしかたは、プログラムタタミ / スタンプパターンの保存と同じです。

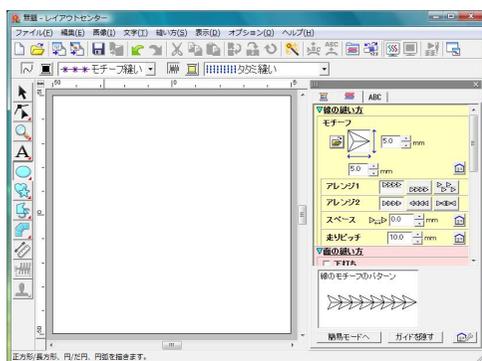
📖 P.201の「編集したパターンを保存する」

## ステップ4 レイアウトセンターで編集したモチーフパターンを使う

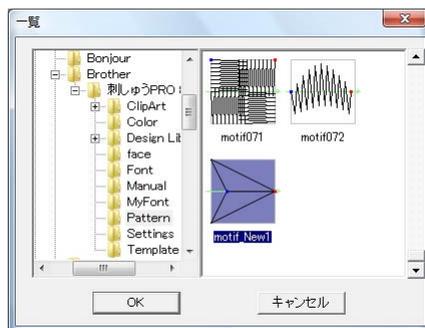
- 1 レイアウトセンターを起動します。
- 2 刺しゅうデータを選択します。
- 3 線の縫い方設定セレクトで、モチーフ縫いを選択します。
- 4 メニューの縫い方→縫い方の設定をクリックします。

📖 P.48の「レイアウトセンターの画面」

- 5 パターンの  をクリックします。

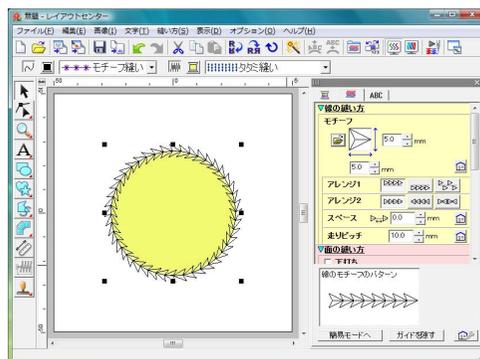


- 6 ステップ3でファイルを保存したドライブとフォルダを選択します。



- 7 編集したモチーフパターンをクリックし、OKをクリックします。

→ パターンが、刺しゅうデータの線に設定されます。



- 8 必要に応じて、その他の縫い方の設定を変更します。

## 📖 メモ:

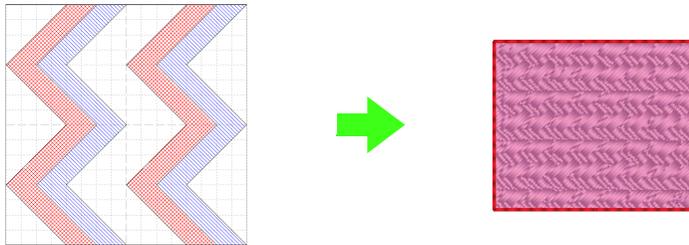
モチーフパターンは、面の縫い方のモチーフ縫い、パイピング縫い、ステッピングのパターンとしても使えます。

# オリジナルパターンを作る (ステッチクリエイター)

ここでは、ステッチクリエイターの使い方や設定、注意点について、各機能別に詳しく説明します。また、便利な機能についても紹介していますので参考にしてください。

ステッチクリエイターは、プログラムタタミ縫いやモチーフ縫いを構成するパターンの作成、編集、保存をするアプリケーションソフトです。パターンには次の2つの種類があり、それぞれのモードで作業を行います。

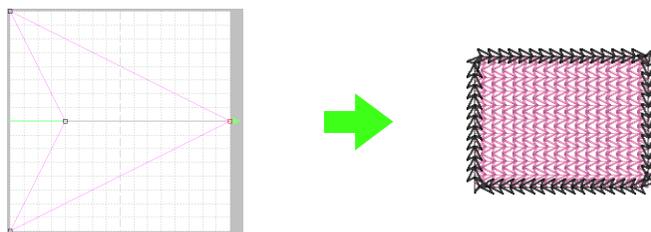
## プログラムタタミ/スタンプパターン



- 面の縫い方に設定するパターンです。レイアウトセンターやデザインセンターのプログラムタタミ縫いやスタンプのパターンとして使います。
- 1本または複数の線で構成されるデザインのパターンで、さらに面に縫い沈め/浮き上がり効果を設定できます。
- 作業は、プログラムタタミ/スタンプモードで行います。



## モチーフパターン



- 線と面の縫い方に設定するパターンです。レイアウトセンターやデザインセンターの線のモチーフ縫い、面のモチーフ縫い、パイピング縫い、スティッピングのパターンとして使います。
- 一筆書きのような1本の線で構成されるデザインのパターンで、ミシンの飾り縫いのような模様です。
- 作業は、モチーフモードで行います。

## ファイルを開く

以前に保存したパターンファイルを開いて編集できます。

ツールバーボタン: 

1. ツールバーの  をクリックするか、メニューの**ファイル**→**開く**をクリックします。
2. ドライブとフォルダを選択します。

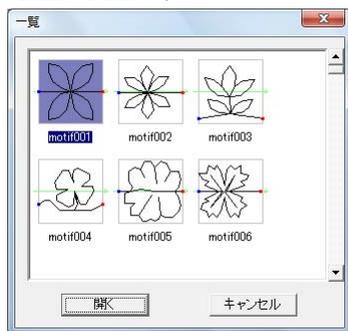


### 注意:

プログラムタタミ/スタンプパターンを開くときは、.pas ファイルを含むフォルダを選択してください。モチーフパターンを開くときは、.pmf ファイルを含むフォルダを選択してください。

### メモ:

- **一覧**をクリックすると、**一覧**ダイアログボックスで表示中のフォルダ内のデータをアイコンで確認できます。



- パターンの真ん中の緑の矢印は、そのパターンがモチーフパターン (.pmf ファイル) であることを示します。矢印がないパターンは、プログラムタタミ/スタンプパターン (.pas ファイル) です。
- プログラムタタミ/スタンプパターンは、面の設定がされている場合、赤 (縫い沈め効果) と青 (浮き上がり効果) で塗りつぶされます。

3. ファイルを選択して**開く**をクリックするか、アイコンをダブルクリックしてファイルを開きます。

→ 選択されたファイルがデザインページに表示されます。

### メモ:

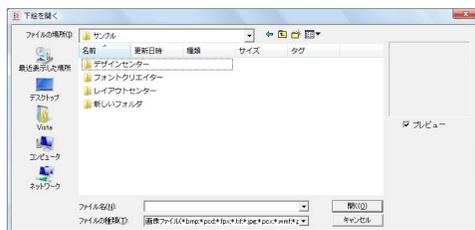
モードはファイルを開くと自動的にファイルの種類に合わせて切り替わります。.pas ファイルの場合は**プログラムタタミ/スタンプモード**に、.pmf ファイルの場合は**モチーフモード**になります。

## 下絵を開く

データ作成用の下絵として、画像をデザインページ上に開きます。いろいろなファイル形式の画像を開くことができます。

 P.20の「画像ファイルの形式について」

1. メニューの**ファイル**→**下絵を開く**をクリックします。
2. ドライブ、フォルダ、ファイル名を選択します。



3. **開く**をクリックしてファイルを開きます。

→ デザインページに、画像が表示されます。

### 注意:

デザインページに開くことができる下絵は1つです。別の下絵を開くと、それまで表示されていた下絵とおきかえられます。

## 新規パターンを作る

空白のデザインページを開いて、新しいパターンをデザインできます。

ツールバーボタン：



1. ツールバーの  をクリックするか、メニューの**ファイル**→**新規作成**をクリックします。

→ 新規デザインページが表示されます。

### 作るパターンを選択する

作るパターンの種類によって、それぞれのモードを選択します。

1. プログラムタタミ/スタンプモードにするときは、メニューの**モード**→**プログラムタタミ/スタンプ**を選択します。  
モチーフモードにするときは、メニューの**モード**→**モチーフ**を選択します。

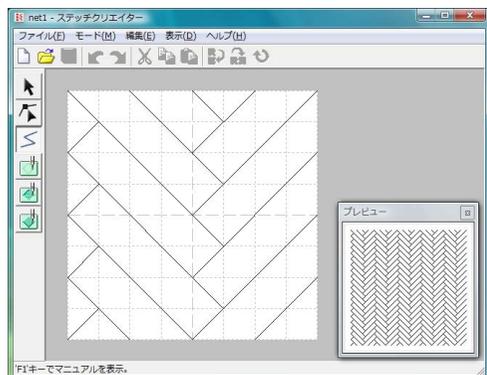
→ 空白の新規デザインページが表示されます。

### ■ プログラムタタミ/スタンプモード

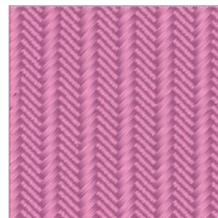
プログラムタタミ/スタンプモードでは、パターンを1本または複数の線で描き、その後、線で囲まれた部分に面の設定を加えることで、縫い沈め/浮き上がり効果を出すことができます。

ツールボックスの直線描画ツールで、プログラムタタミ/スタンプパターンの線を描き、線で囲まれた面に、面設定ツール(凹、凸、クリア)で縫い沈め/浮き上がり効果を設定し、プログラムタタミ/スタンプパターンを編集します。

プログラムタタミ縫いの縫い方は通常のタタミ縫いとは異なり、パターン線上に針が落ちるような縫い目が見つられます。



パターンをプログラムタタミ縫いに適用した例



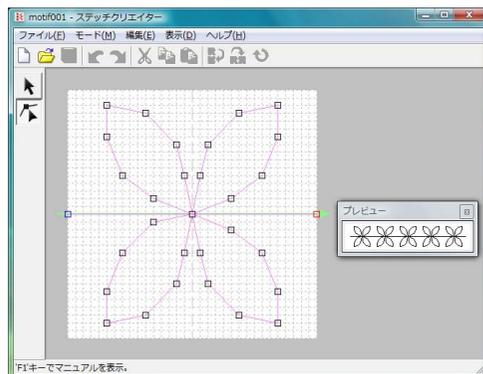
### ■ モチーフモード

モチーフモードでは1本の線の形を変えて、オリジナルのモチーフパターンを作ります。

デザインページの右中央に緑の矢印(→)が表示され、刺しゅうが縫製される方向が示されています。

緑の矢印に沿ってピンクの線が一本表示されます。この線はモチーフ縫いのベースを示し、ポイント編集ツールでポイントを挿入したり、移動したりして編集し、パターンを作ります。

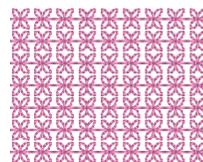
デザインページの左端の青い四角はその線の始点を、右端の赤い四角は終点を示しています。始点と終点は削除できません。両方とも同一の上下位置にしなければならないので、どちらか一方を移動すると、もう片方の点も同じ上下位置に動きます。



モチーフパターンの例  
線縫い



面縫い

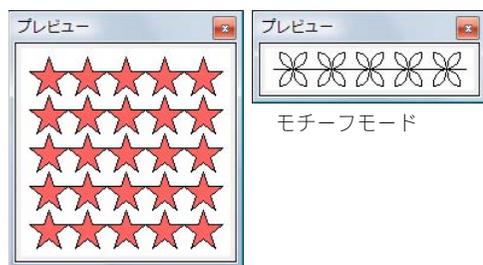


## パターンの模様イメージを確認する

プレビューウィンドウで、どんな模様になるか、パターンをいくつか並べた模様イメージを確認できます。

1. プレビューウィンドウが表示されていない場合は、メニューの**表示→プレビュー**をクリックします。

選択されている**モード**設定のプレビューウィンドウが表示されます。



プログラムタタミ /  
スタンプモード

プレビューウィンドウの画像は、デザインページの変更に合わせて更新されます。

2. プレビューウィンドウを閉じるときは、**✕**ボタンを押すか、メニューの**表示→プレビュー**をクリックしてチェックを解除します。

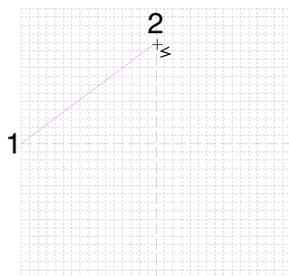
## プログラムタタミ / スタンプモードでパターンを作る

プログラムタタミ / スタンプパターンは、直線描画ツールで直線または折線を描いて作ります。

グリッドが表示されている場合は、どこをクリックしても、必ず最も近くのグリッド線の交点（グリッドの垂直線と水平線の交差する点）にポイントが挿入されます。水平線や垂直線はグリッド線と重なって引かれます。ポイントはどこに移動しても、最も近い交点に移動します。

描きたいパターンによって、グリッド間隔を選択します。また、**表示しない**を選択すると、交点にポイントが挿入されなくなります。グリッドの詳細については、P.215の「グリッドの設定を変更する」を参照してください。

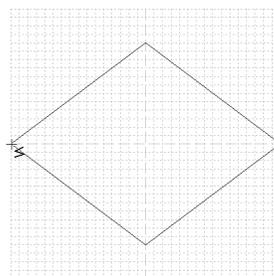
1. ツールボックスの  をクリックします。
2. 始点1をクリックし、次のポイント2をクリックします。



### メモ:

右クリックするか、**(BackSpace)**を押すと、直前に入力したポイントを削除できます。

3. カーソルを移動して各ポイントをクリックし、終点でダブルクリックするか、終点をクリックして **(Enter)** キーを押します。

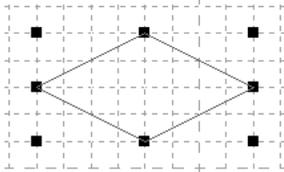


4. 同じ手順を繰り返し、プログラムタタミ / スタンプパターンを完成させます。

# プログラムタタミ / スタンプモードで パターンを編集する

## パターンを選択する

1. ツールボックスの  をクリックします。
2. パターンをクリックします。  
→ パターンの周りにハンドルが表示されます。



3. 複数のパターンを選択するときは、**(Ctrl)** キーを押しながらパターンをクリックするか、パターンを囲むようにドラッグします。

### 📖 メモ:

選択したくないパターンまで選択してしまったときは、パターンの無い部分をクリックしてすべての選択を解除し、選択し直します。

## パターンを移動する

1. パターンを選択し、その上にカーソルを置きます。
2. ドラッグして、移動します。

### 📖 メモ:

- **(Shift)** キーを押しながらドラッグすると、水平方向または垂直方向に移動できます。
- 矢印キーを押すと、矢印キーの方向に 1 グリッドずつ移動できます。

## パターンを拡大 / 縮小する

1. パターンを選択します。
2. ハンドルをドラッグして、パターンのサイズを調整します。

### 📖 メモ:

- **(Shift)** キーを押しながらハンドルをドラッグすると、パターンの中心から拡大 / 縮小されます。
- パターンを上下に反転するときは、ツールバーの  をクリックするか、メニューの **編集** → **反転** → **上下** をクリックします。  
左右に反転するときは、ツールバーの  をクリックするか、メニューの **編集** → **反転** → **左右** をクリックします。
- パターンを回転するときは、ツールバーの  をクリックするか、メニューの **編集** → **回転** をクリックして、回転ハンドルをドラッグします。
- 上記のほか、ツールバーのボタンやメニューで、複製や削除など選択中のパターンの編集ができます。

 P.254 の「ステッチクリエイター」の「編集メニュー」

## プログラムタタミ / スタンプ モードでパターンを編集する

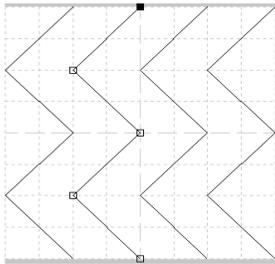
グリッドが表示されている場合、ポイントを挿入したり動かしたりすると、グリッドの交点に置かれます。

描きたいパターンによって、グリッド間隔を選択します。グリッドの詳細については、P.215の「グリッドの設定を変更する」を参照してください。

1. ツールボックスの  をクリックします。

2. パターンをクリックします。

→ 既存ポイントが、小さな白い四角で表示されます。



### メモ:

一度に1本のパターンだけを選択できます。

3. ポイントをクリックして選択し、編集します。

→ 選択されたポイントは、黒い四角で表示されます。

• ポイントを移動するときは、目的の位置までドラッグします。

→ 選択されたすべてのポイントが同じ方向に移動します。

• ポイントを挿入するときは、挿入したい線上でクリックします。

→ 新しいポイント (小さい黒い四角) が追加されます。

• ポイントを削除するときは、**Delete** キーを押すか、メニューの **編集** → **削除** をクリックします。

### メモ:

2つのポイントで作られた線は、片方のポイントを削除すると、線全体が削除されます。

### メモ:

• 複数のポイントを選択するときは、**Ctrl** キーを押しながらポイントをクリックするか、ポイントを囲むようにドラッグします。

• **Ctrl** キーを押しながら  /  キーを押すと、終点または始点の方向へ選択するポイントを変更できます。

• **Shift** キーを押しながらドラッグすると、水平方向または垂直方向へ移動できます。

• 矢印キーを押すと、矢印の方向へ移動できます。

# プログラムタタミ/スタンプパターンに縫い沈め/浮き上がり効果を設定する

プログラムタタミ/スタンプモードでは、線で囲まれた面部に縫い方を設定することにより、縫い沈め/浮き上がり効果を表現できます。

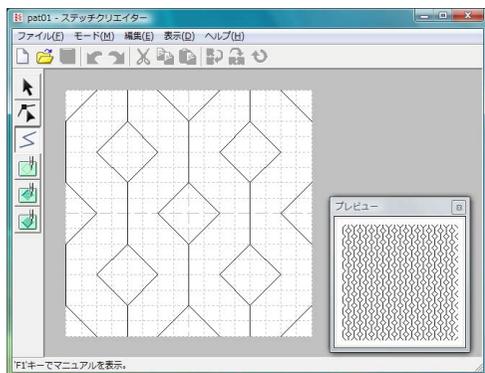
1. 既存のプログラムタタミ/スタンプパターンファイル (.pas ファイル) を開くか、タタミ/スタンプモードの直線描画ツールを使って新しいパターンを描きます。



## 注意：

面の縫い方の設定（縫い沈め / 浮き上がり）を行うには、閉じた線で囲まれた面が必要です。

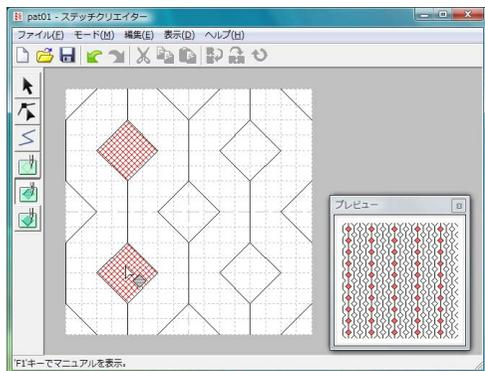
デザインページの端（外周）にも線を描くことができます。端に線を描いておくと、デザインページの端まで面として使えます。



2. 縫い沈み効果を設定するときは、ツールボックスの (面設定 (凹)) をクリックします。

3. 面をクリックします。

→ 面が赤色（このツールの設定色）で表示されます。



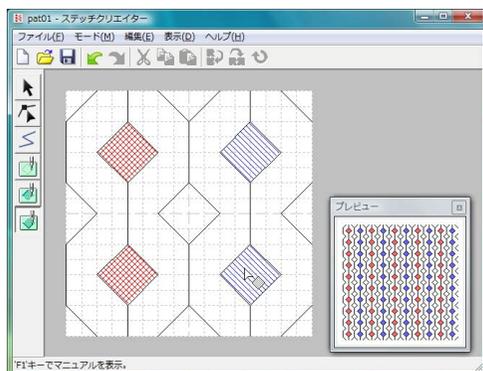
## メモ：

この面は、ピッチ 2.0 mm、偏差 30%、針落ち点が面の輪郭線の上に設定されたタタミ縫いで縫製されます。

4. 浮き上がり効果を設定するときは、ツールボックスの (面設定 (凸)) をクリックします。

5. 面をクリックします。

→ 面が青色（このツールの設定色）で表示されます。この面は針落ちしないサテン縫いで縫われます。



6. 面の設定（縫い沈め/浮き上がり効果）を解除するときは、ツールボックスの (面設定 (クリア)) をクリックします。

7. 面の設定を解除する面をクリックします。

→ 面が白色（このツールの設定色）で表示され、その部分は、ベースの縫い方で設定された縫い方向で縫われます。



## 注意：

- 面の設定後にステッチ線を編集した場合は、編集後も面が線で囲まれていることを確認してください。囲われていないと、縫い沈め/浮き上がり効果は解除されます。
- 面設定されたプログラムタタミ/スタンプパターンは、Ver.6 より前のバージョンのソフトウェアでは使えませんが、以前のバージョンで作られた.pasファイルに面の縫い方を設定することはできません。

## モチーフモードでモチーフパターンを作る

モチーフモードでは、ベース線にポイントを挿入し、そのポイントを移動するという操作を繰り返して、一筆書きのようなパターンを作ります。

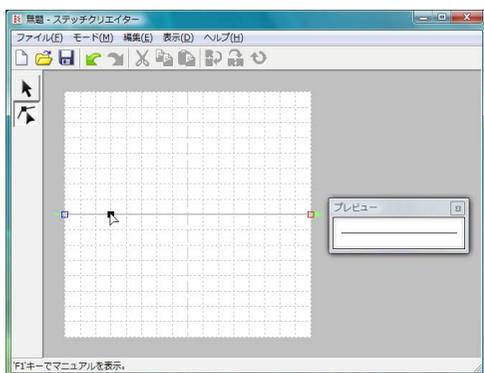
グリッドが表示されている場合は、ポイントを挿入したり動かしたりすると、グリッドの交点に置かれます。

描きたいパターンによって、グリッド間隔を選択します。グリッドの詳細については、P.215の「グリッドの設定を変更する」を参照してください。

1. ツールボックスの  をクリックします。

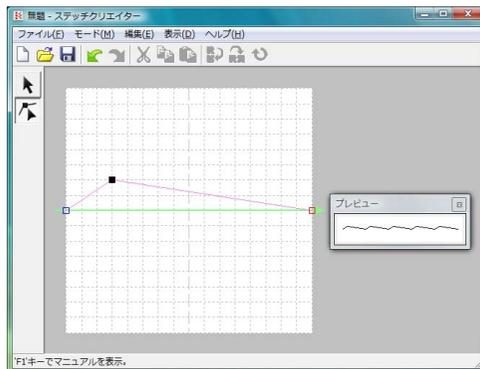
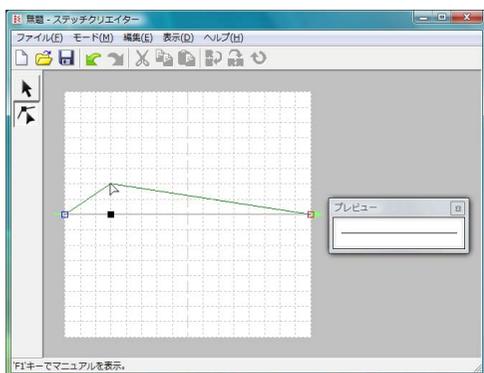
2. 始点 (青い四角) と終点 (赤い四角) の間のベース線をクリックします。

→ 新しいポイントが、選択された状態 (小さい黒い四角) で追加され、すぐに編集できます。



3. 新しいポイントをドラッグします。

→ 新しいポイントと一緒に線が移動します。



### メモ:

- **(Shift)** キーを押しながらドラッグすると、水平方向または垂直方向へポイントを移動できます。
- 矢印キーを押すと、矢印の方向へ1グリッドずつポイントを移動できます。
- ポイントを削除したいときは、**(Delete)** キーを押します。

4. 2. と 3. を繰り返して、モチーフパターンを完成させます。

### メモ:

- 始点 (青い四角) または終点 (赤い四角) のどちらか一方を移動すると、もう片方の点も同じ上下位置に動きます。
- 始点と終点は、一定の距離以下に近づけることはできません。

## モチーフモードでパターンを編集する

作ったパターンや既存のモチーフファイルを開いて、形や位置を変更できます。前記の手順と同じ方法で行いますが、同時に複数のポイントを選択して移動または削除できます。

### 複数のポイントを一度に移動・削除する

1. ツールボックスの  をクリックします。

2. ポイントをクリックします。

→ 選択されたポイントは、黒い四角で表示されます。始点は青い四角、終点は赤い四角で表示されます。

**Ctrl** キーを押しながらポイントをクリックするか、ポイントを囲むようにドラッグして、複数のポイントを選択します。

#### メモ：

- **Ctrl** キーを押しながら  /  キーを押すと、終点または始点の方向へ選択するポイントを変更できます。

3. ポイントを編集します。

- ポイントを移動するときは、目的の位置までドラッグします。

→ 選択されたすべてのポイントが同じ方向に移動します。

- ポイントを削除するときは、**Delete** キーを押すか、メニューの **編集** → **削除** をクリックします。

→ 選択されたすべてのポイントが削除されます。

#### 注意：

始点 (青い四角) と終点 (赤い四角) は削除できません。

### パターンを拡大/縮小する

1. ツールボックスの  をクリックします。

→ モチーフパターンが選択されます。

2. ハンドルをドラッグして、パターンのサイズを調整します。

#### メモ：

- **Shift** キーを押しながらハンドルをドラッグすると、パターンの中心から拡大/縮小されます。

- パターンを上下に反転するときは、ツールバーの  をクリックするか、メニューの **編集** → **反転** → **上下** をクリックします。

左右に反転するときは、ツールバーの  をクリックするか、メニューの **編集** → **反転** → **左右** をクリックします。

# パターンを保存する

## 上書き保存する

ツールバーボタン： 

1. ツールバーの  をクリックするか、メニューの**ファイル**→**上書き保存**をクリックします。

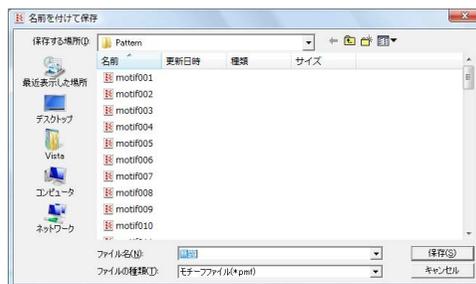
→ データがまだ名前を付けて保存されていない時や、元のファイルが見つからない時は、**名前を付けて保存**ダイアログボックスが表示されます。

## 新しい名前を付けて保存する

既存ファイルを編集し、別のファイル名で保存すると、元ファイルは上書きされず、作業中のデータは別ファイルとして保存されます。

プログラムタタミ/スタンプモードでは .pas ファイルで保存され、モチーフモードでは .pmf ファイルで保存されます。

1. **メニューのファイル**→**名前を付けて保存**をクリックします。
2. ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。



3. **保存**をクリックします。

## 各設定を変更する

### グリッドの設定を変更する

グリッドの表示 / 非表示を切り替えます。グリッド間隔を指定できます。

1. メニューの**表示**→**グリッド**をクリックします。
  - 現在のグリッド設定を示すサブメニューが表示されます。
2. 作成 / 編集したいパターンに合わせて、設定をクリックします。
  - **広い**をクリックすると、グリッド間隔をデザインページの 1/8 に変更します。
  - **普通**をクリックすると、グリッド間隔をデザインページの 1/16 に変更します。
  - **狭い**をクリックすると、グリッド間隔をデザインページの 1/32 に変更します。
  - グリッドを表示しない場合は、**表示しない**をクリックします。

グリッドが表示されている場合は、必ずグリッド線の交点にポイントが挿入されます。水平線や垂直線はグリッド線と重なって引かれます。また、斜線はグリッドの交点を結んだ直線になります。また、どこに移動しても、ポイントは最も近い交点に移動します。

描きたいパターンによって、グリッド設定を選択してください。細かなパターンを描くときは、より狭いグリッドを選択し、より単純なパターンを描くときはより広いグリッドを選択してください。

### 下絵の表示設定を変更する

デザインページの下絵の表示のしかたを選択できます。

1. メニューの**表示**→**下絵**をクリックし、設定を選択します。
  - 表示する場合は、**表示 (100%)** をクリックします。
  - 薄く表示する場合は、表示濃度 (**75%**、**50%** または **25%**) をクリックします。
  - 表示しない場合は、**表示しない** をクリックします。

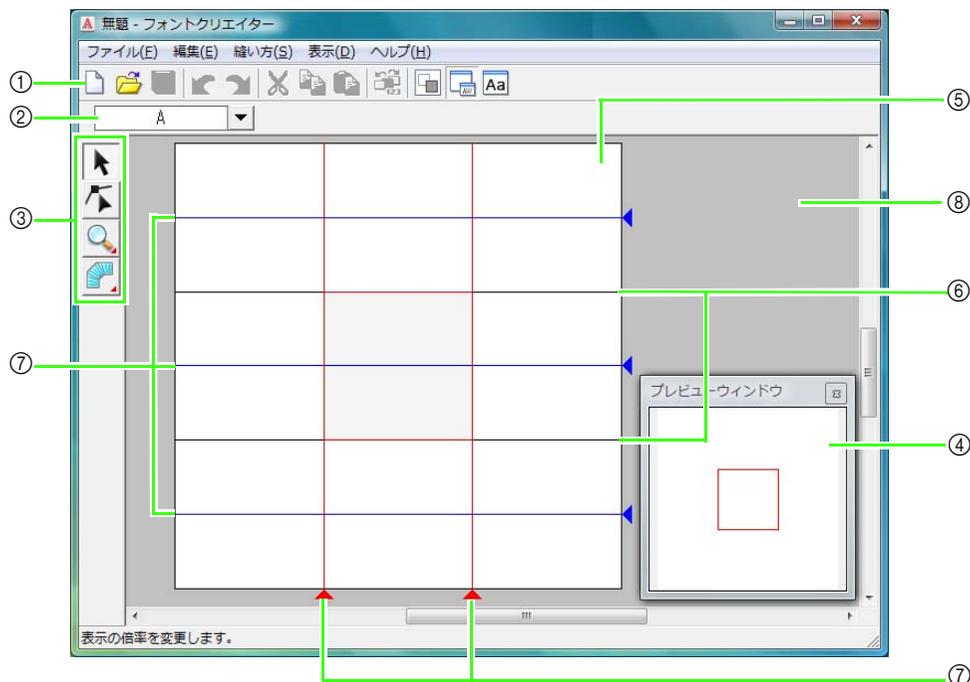
#### メモ：

- デザインページに取り込まれた下絵画像がない場合は、この機能は使えません。
- **F6** キーを押すと、**表示 (100%)**、**75%**、**50%**、**25%** および**表示しない**を切り替えることができます。

# フォントクリエイターの基本的な使い方

フォントクリエイターで作成 / 編集したオリジナルフォントを、レイアウトセンターで使うことができます。

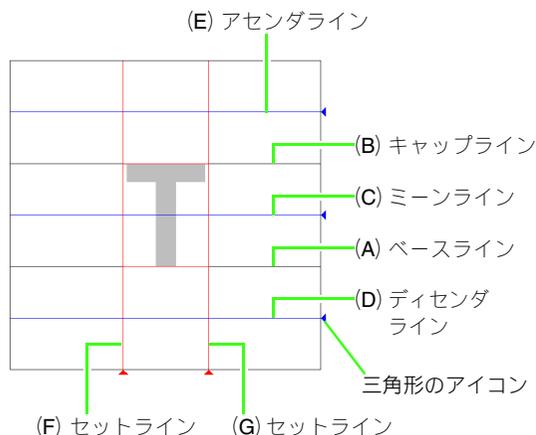
## フォントクリエイターの画面



- ① ツールバー  
各メニュー機能へのショートカットです。
- ② 文字の選択バー  
作成、編集する文字を選択します。
- ③ ツールボックス  
フォントデータの作成、選択、編集に使います。
- ④ プレビューウィンドウ  
フォントデータをプレビューできます。どのような縫い目になるか確認できます。
- ⑤ デザインページ  
この領域内で、フォントデータを作ります。
- ⑥ ガイドライン (固定)  
2本のガイドラインの間隔が、文字の高さの基準になります。
- ⑦ ガイドライン (移動可能)  
このガイドラインは、文字の形に応じて移動できます。2本の赤いガイドラインの間隔が、文字の幅になります。3本の青いガイドラインは、上から、アルファベット文字のアクセントの位置、小文字の上端、小文字の下端になります。
- ⑧ 作業領域

## デザインページのガイドライン

デザインページには、フォントを作るための基準となるガイドラインが表示されます。各ガイドラインの内容は、次のとおりです。



### (A) ベースライン

文字の位置の基準になる線です。文字の標準的な高さは、**キャップライン**からこの線までになります。この線は移動できません。

### (B) キャップライン

文字の標準的な高さは、この線から**ベースライン**までになります。この線は移動できません。

### (C) ミーンライン

小文字の場合、文字の標準的な高さは、この線から**ベースライン**までになります。線の右端にある三角形のアイコンをドラッグすると、移動できます。

### (D) ディセンダライン

この線は、「g」や「y」などのように、ベースラインより下の部分（ディセンダ）がある文字の基準になります。線の右端にある三角形のアイコンをドラッグすると、移動できます。

### (E) アセンダライン

この線は、アクセント記号などのように、キャップラインより上の部分（アセンダ）がある文字の基準になります。線の右端にある三角形のアイコンをドラッグすると、移動できます。

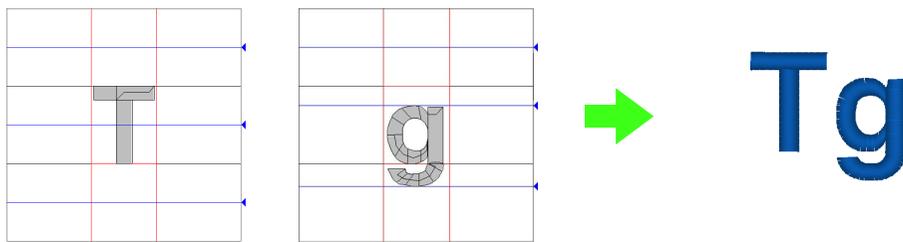
### (F/G) セットライン

この線の間隔が、文字の幅になります。線の下にある三角形のアイコンをドラッグすると、調整できます。

## メモ：

- **ベースライン、キャップライン、セットライン**は、文字を作るときの基準マスク（高さとお幅の基準）になります。
- フォントクリエイターで作った文字をレイアウトセンターに取り込むと、文字のお幅とお高さは次の範囲になります。
  - 文字の高さ：ベースライン (A) からキャップライン (B)
  - 文字のお幅：セットライン (F) からセットライン (G)
- 文字の高さをそろえるための目安として、**アセンダライン、ミーンライン、ディセンダライン**は、すべての文字に共通して表示されます。これら線の高さを変更すると、別の文字を編集するときも同様に変更されます。
- **セットライン**は、文字ごとに別個に設定できます。

# オリジナルフォントを手動で作る



ステップ1	下絵を開く
ステップ2	フォントデータを作る
ステップ3	小文字のフォントデータを作る
ステップ4	フォントデータを保存する
ステップ5	作ったフォントを使って 刺しゅうデータを作る

## ステップ1 下絵を開く

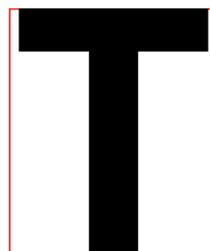
データ作成用の下絵として、画像を開いて背景に表示します。ここでは、アプリケーションに付属している下絵を使って、文字「T」のフォントデータを作ります。

- 1  をクリックし、**すべてのプログラム→刺しゅう PRO 8→ツール→フォントクリエイター** を選択します。
- 2 メニューの**ファイル→下絵を開く→画像ファイルから** をクリックします。
- 3 **ドキュメント (マイドキュメント) →刺しゅう PRO 8→サンプル→フォントクリエイター→テンプレートフォルダ** を選択し、**Capital\_T.bmp** を選択します。

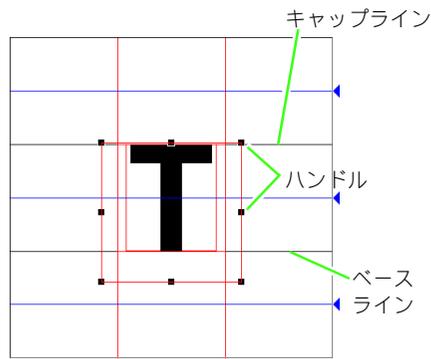


## メモ:

**ベースライン、キャップライン、およびセットライン**を、サンプルの画像上に赤い線で追加してあります。この線をガイドラインとして、下絵を配置してください。



- 3 文字の上端と**キャップライン**が揃うように文字を移動します。ハンドルをドラッグして、**キャップライン**と**ベースライン**の高さになるように、文字の高さを調整します。



## 📖 メモ:

ハンドルが見えなくなった場合は、選択ツールで画像を右クリックして表示されたメニューの**下絵のサイズと位置の変更**をクリックします

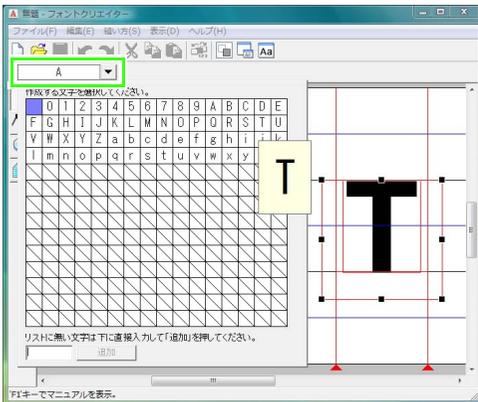
## ステップ2 フォントデータを作る

## 📖 メモ:

作ったフォントをレイアウトセンターで使うには、**選択できる文字一覧** (文字リスト) への登録が必要です。

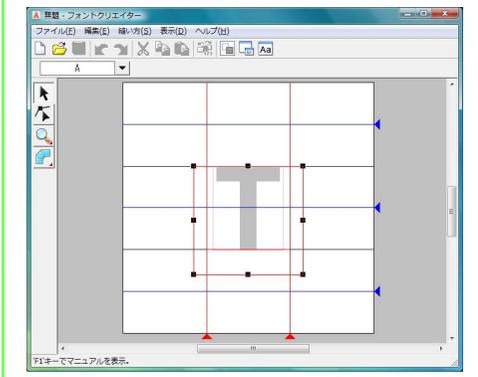
🔗 P.81の「文字/ミニサイズ文字を入力する」

- 1 **文字選択ボックス**をクリックし、作る文字(T)を選択します。



## 📖 メモ:

デザインページの下絵の表示のしかたを、表示 / 表示しない / 薄く表示から選択できます。メニューの**表示→下絵の表示設定**をクリックして、ここでは**25%**を選択します。



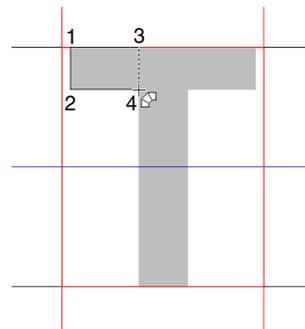
- 2 ツールボックスのをクリックし、をクリックします。

## 📖 メモ:

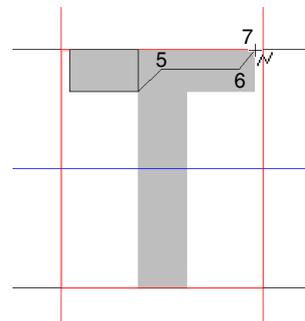
ツールボックスのをクリックすると、5つのツールボタンが表示されます。各ツールで、次のマニュアルパンチングデータを作ることができます。

-  : 直線ブロック型 (面縫い)
-  : 曲線ブロック型 (面縫い)
-  : セミオートを使った直線ブロック型
-  : 走り型 (線縫い)
-  : 送り型 (渡り糸)

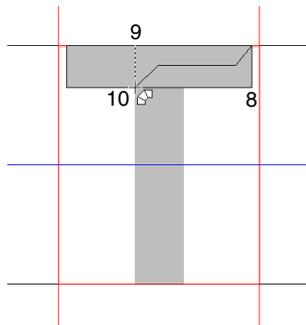
ポイント1(始点)から4をクリックします。



- 3 ツールボックスのをクリックし、をクリックします。ポイント5から7をクリックします。



- 4 ツールボックスのをクリックし、をクリックします。  
ポイント 8 から 10 をクリックします。

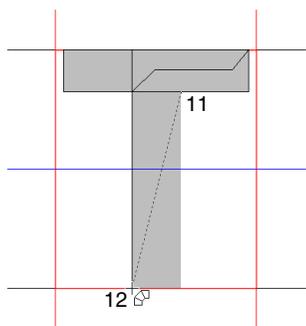


- 5 ツールボックスのをクリックし、をクリックします。

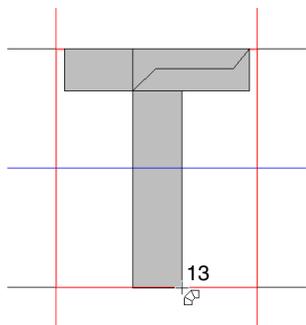
### メモ:

 をクリックすると、縫裂が重なることを防止できます。

- 6 ツールボックスのをクリックし、をクリックします。  
ポイント 11 から 12 をクリックします。



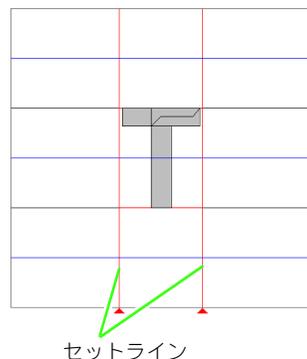
- 7 ポイント 13 (終点) でダブルクリックするか、クリックして **Enter** を押します。



### メモ:

右クリックするか、**BackSpace** キーを押すと、直前に入力したポイントを削除できます。

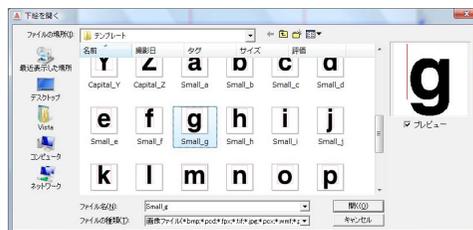
- 8 ツールボックスのをクリックし、三角形のアイコンをドラッグして**セットライン**を移動し、文字の幅を設定します。



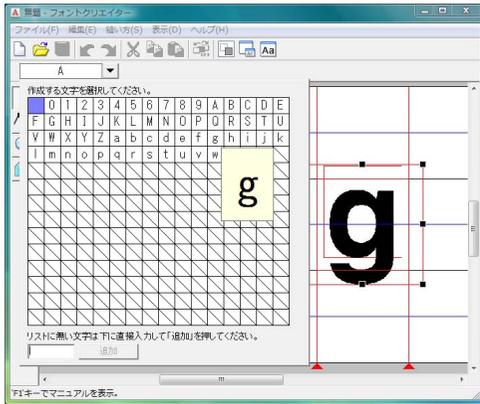
## ステップ3 小文字のフォントデータを作る

次は、小文字のデータを作ります。ここでは、文字「g」のデータを作ります。

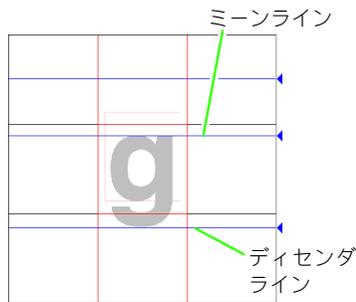
- 1 「T」と同様にして、**Small-g.bmp** を開きます。



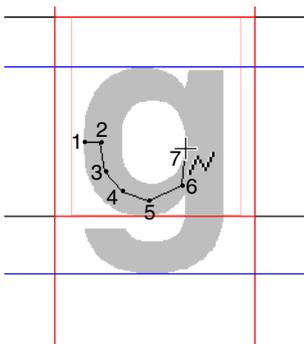
- 2 文字選択ボックスをクリックし、作る文字 (g) を選択します。



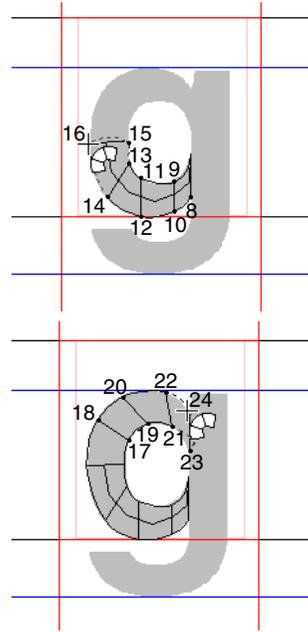
- 3 「T」と同様にして、文字のサイズと位置を調整します。  
三角形のアイコンをドラッグして、文字の上端と下端に合わせて青い目安線を移動します。



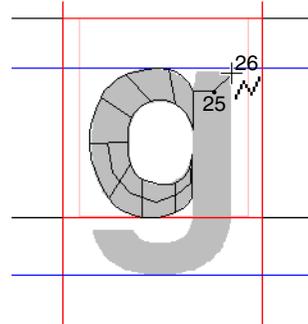
- 4 ツールボックスの [ ] をクリックし、 [ ] をクリックします。  
ポイント1から7をクリックします。



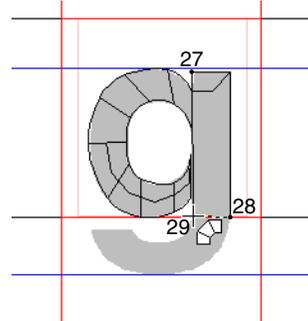
- 5 ツールボックスの [ ] をクリックし、 [ ] をクリックします。  
ポイント8から24をクリックします。



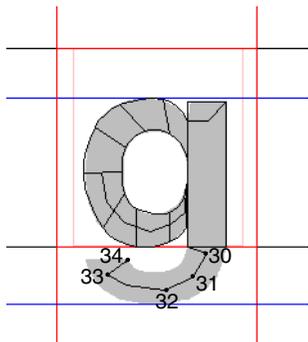
- 6 ツールボックスの [ ] をクリックし、 [ ] をクリックします。  
ポイント25から26をクリックします。



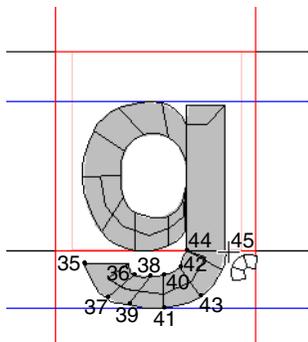
- 7 ツールボックスの [ ] をクリックし、 [ ] をクリックします。  
ポイント27から29をクリックします。



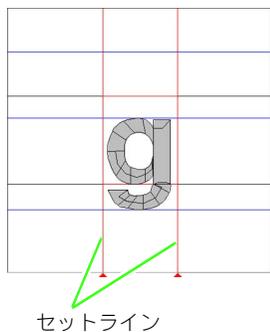
- 8 ツールボックスのをクリックし、をクリックします。  
ポイント 30 から 34 をクリックします。



- 9 ツールボックスのをクリックし、をクリックします。  
ポイント 35 から 44 をクリックします。ポイント 45 (終点) でダブルクリックするか、クリックして **Enter** を押します。



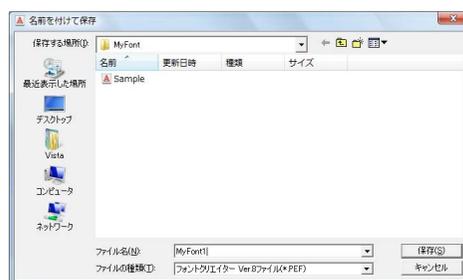
- 10 ツールボックスのをクリックし、三角形のアイコンをドラッグして**セットライン**を移動し、文字の幅を設定します。



## ステップ4 フォントデータを保存する

- 1 メニューの**ファイル**→**名前を付けて保存**をクリックします。
- 2 **MyFont** フォルダを選択し、ファイル名を入力し、**保存**をクリックします。

刺しゅう PRO がインストールされたドライブ → **Program Files** → **Brother** → **刺しゅう PRO 8** → **MyFont** を選択します。  
ファイル名は、ここでは「My font1」と入力します。



### 注意：

作ったフォントファイルは、次の **MyFont** フォルダに保存してください。

刺しゅう PRO がインストールされたドライブ ¥ **Program Files** ¥ **Brother** ¥ **刺しゅう PRO 8** ¥ **MyFont**

別のフォルダに保存すると、レイアウトセンターで認識されません。

## ステップ5 作ったフォントを使って 刺しゅうデータを作る

作ったフォントデータを読み出して、レイアウトセンターで使います。

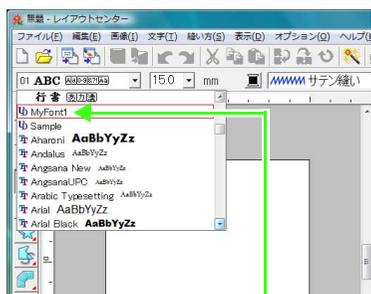
- 1 レイアウトセンターを起動します。

### メモ:

レイアウトセンターを起動していた場合は、再起動してください。新しいフォントは、起動時に認識されます。

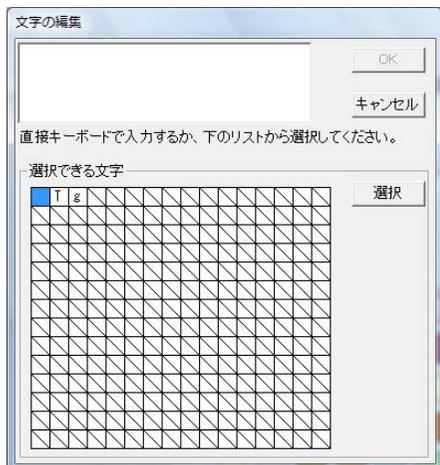
- 2 ツールボックスの **A** をクリックし、**A** をクリックします。

- 3 書体セレクタをクリックして、「My font1」を選択します。

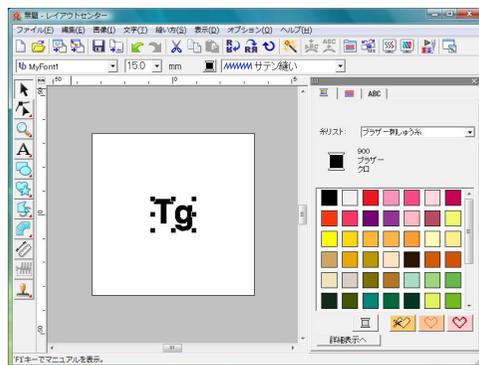


フォントクリエイターで作られたフォントは、**tf** アイコンが書体名の横に表示されています。

- 4 デザインページをクリックします。テキストを入力して、OK をクリックします。



→ デザインページに文字が表示されます。



P.81の「文字を入力する」

# オリジナルフォントを作る (フォントクリエイター)

ここでは、フォントクリエイターの使い方や設定、注意点について、各機能別に詳しく説明します。また、便利な機能についても紹介していますので参考にしてください。

## ファイルを開く

### 新しいフォントを作る

空白のデザインページを開いて、新しい書体をデザインできます。

ツールバーボタン: 

1. ツールバーの  をクリックするか、メニューの**ファイル**→**新規作成**をクリックします。  
→ 新規デザインページが表示されます。

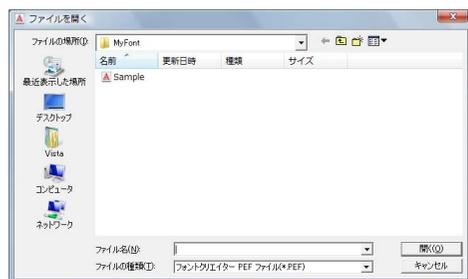
### フォントファイルを開く

以前に作ったフォントファイルを開いて編集できます。

ツールバーボタン: 

1. ツールバーの  をクリックするか、メニューの**ファイル**→**開く**をクリックします。
2. **MyFont** フォルダを選択します。

刺しゅう PRO がインストールされたドライブ  
→ **Program Files** → **Brother** → **刺しゅう PRO**  
8 → **MyFont** をクリックします。



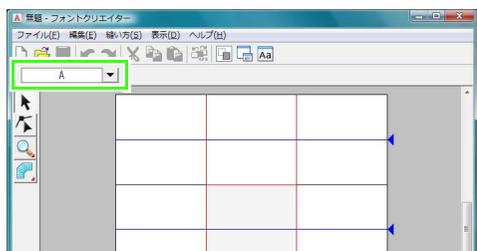
3. ファイルを選択して**開く**をクリックするか、アイコンをダブルクリックして、**ファイルを開きます**。  
→ 選択されたファイルがデザインページに表示されます。

## 文字を選択して下絵を準備する

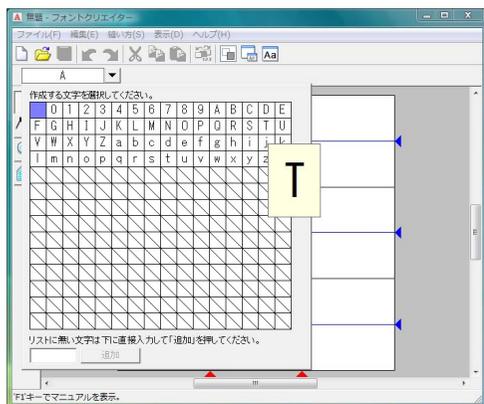
### 作る文字を選択する

作る文字を選択します。

1. 文字選択バーの文字選択ボックスをクリックします。



2. 文字選択画面で作る文字を選択します。



リスト上に目的の文字がない場合は、画面の下のボックスに文字を入力して、**追加**または **Enter** キーを押します。文字が登録され、選択できます。

#### メモ:

- 青いマスは、そのマスの文字のフォントデータが作られていることを示しています。
- 左上の空白のマスは「半角スペース」です。クリックすると、半角スペースを選択できます。

#### 注意:

編集中のフォントデータの一部がデザインページからはみ出ているときに別の文字を選択すると、メッセージが表示されます。フォントデータ全体をデザインページの枠内に入れてから、別の文字を選択してください。

### ■文字リストの登録文字を追加/削除する

初期設定では、**文字リスト**には、半角スペース、数字 (0~9)、アルファベット大文字 (A~Z)、小文字 (a~z) が登録されています。

「?」や「!」といった記号など、文字を追加したり、不要な文字を削除したりできます。登録は最大 1024 字までで、この登録文字はオリジナルフォントごとに設定できます。

1. メニューの**ファイル**→**文字リストの編集**をクリックします。
2. 追加登録する文字をキーボードで入力します。

→ 画面の下のボックスに入力した文字が表示されます。



3. **追加**をクリックします。

→ 文字リストに、入力した文字が表示されます。



すでに登録されている文字を入力した場合は、エラーメッセージが表示され、未登録の文字のみがリストに追加されます。

4. 登録された文字を削除したいときは、文字を選択して**削除**をクリックします。

選択された文字は、マスが赤く表示されます。文字をクリックするごとに**選択**/選択解除が切り替わります。

5. 設定できたら、**OK**を押します。

## メモ:

編集した文字リストの登録をやめる場合は、**キャンセル**をクリックします。

## 下絵を開く

下絵として、画像データまたは TrueType フォントをデザインページに開くことができます。選択した文字の下絵になる画像を開きます。

## メモ:

- デザインページに開くことができる下絵は 1 つです。別の下絵を開くと、それまで表示されていた下絵とおきかえられます。
- 下絵の表示濃度を変更できます。

👉 P.234 の「下絵の表示設定を変更する」

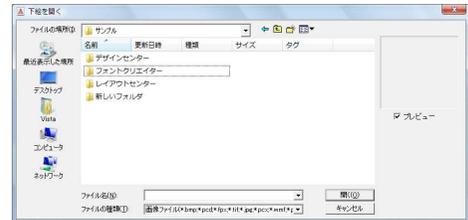
- 下絵を開いている状態でフォントデータを保存すると、下絵も保存されます。次にこのフォントデータを開くと、下絵も表示されます。

## ■ 画像ファイルを下絵にする

いろいろなファイル形式の画像を取り込むことができます。

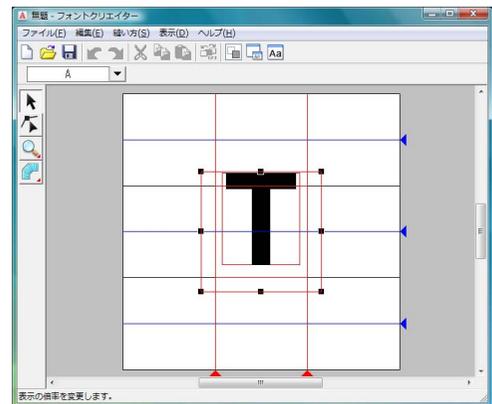
👉 P.20 の「画像ファイルの形式について」

1. メニューの**ファイル**→**下絵を開く**→**画像ファイルから**をクリックします。
2. ドライブ、フォルダ、ファイル名を選択します。



3. **開く**をクリックして、ファイルを開きます。

→ デザインページに画像が表示されます。



## メモ:

下絵を移動したり、ハンドルをドラッグしてサイズを変更できます。ハンドルが見えなくなった場合は、**選択ツール**で画像を右クリックして表示されたメニューの**下絵のサイズと位置の変更**をクリックします。

## ■ TrueType フォントを下絵にする

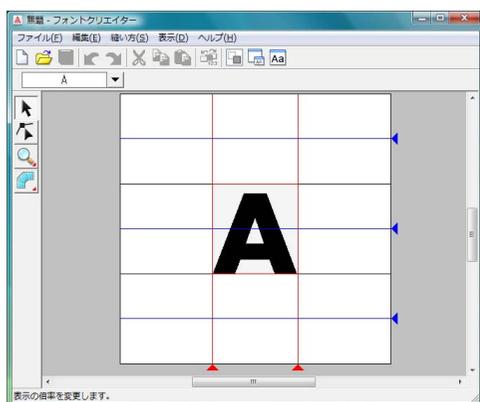
お使いのパソコンにインストールされている TrueType フォントを下絵として開きます。

1. メニューの**ファイル**→**下絵を開く**→**TrueTypeフォントの選択**をクリックします。
2. **フォント名**セレクトで書体を選択します。**スタイル**セレクトで字体を選択します。



3. **OK** をクリックします。

→ デザインページに、**文字選択**ボックスで選択されている文字が表示されます。



- 同一のフォントを作成中は、下絵にする画像を選び直すまで、選択した TrueType フォントが表示されます。また、**文字選択**ボックスで編集する文字を選択し直すと、その対応する文字が下絵として表示されます。
- **文字選択**ボックスの文字が TrueType フォントにない場合は、「?」が表示されます。

### 📖 メモ:

- TrueType フォントを下絵にしているときは、下絵を移動したり、サイズを変更したりできません。
- TrueType フォントを下絵にしているときは、自動的にフォントデータに変換できます。  
🔗 P.228 の「TrueType フォントを自動変換する」
- TrueType フォントを下絵にしているときは、セミアートの直線ブロック型マニュアルパンチングツールは使えません。

## フォントデータを作る

### マニュアルパンチングツールを使って作る

マニュアルパンチングツールを使い、オリジナルフォントのフォントデータを作ります。

下絵を表示できるので、簡単に作ることができます。

 P.226 の「下絵を開く」

ツールボックスの  を使って作ります。

クリックすると、5つのボタンが表示されます。

 : 直線ブロック型パンチングデータ (面縫い) を作る時に選択します。  
(ショートカットキー: **Z**)

 : 曲線ブロック型パンチングデータ (面縫い) を作る時に選択します。  
(ショートカットキー: **X**)

 : セミオートを使った直線ブロック型パンチングデータを作る時に選択します。セミオートとは半自動トレースのことで、下絵の線に密着してポイントが設定されます。  
(ショートカットキー: **C**)

 : 走り型パンチングデータ (線縫い) を作る時に選択します。  
(ショートカットキー: **V**)

 : 送り型パンチングデータ (渡り糸) を作る時に選択します。  
(ショートカットキー: **B**)

 P.218 の「オリジナルフォントを手動で作る」

#### メモ:

- マニュアルパンチングデータを作成中は、ツールの種類を自由に変更できます。ショートカットキーを使うと便利です
- セミオートを選択して描画する場合は、下絵となる画像が必要です。画像がない場合は、直線ブロック型パンチングデータと同じ動作になります。また、TrueType フォントを下絵にしている場合は使えません。
- データを作ってから、直線を曲線に、またはその逆に変換できます。

 P.230 の「ポイントを編集する」

### TrueType フォントを自動変換する

下絵に TrueType フォントを使うと、自動的に刺しゅうデータに変換できます。

1. TrueType フォントを下絵に開きます。

 P.227 の「TrueType フォントを下絵にする」

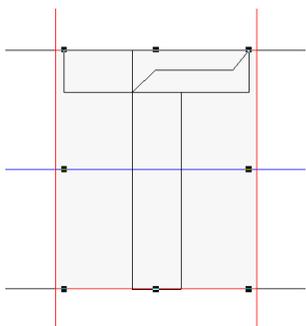
2. メニューの縫い方→TrueTypeフォントからデータを作成をクリックします。

→ 下絵のフォントデータが作られます。

# フォントデータを編集する

## フォントデータを選択する

1. ツールボックスの  をクリックします。
2. フォントデータをクリックします。  
→ フォントデータの周りにハンドルが表示されます。



3. 複数のフォントデータを選択するときは、**Ctrl** キーを押しながらフォントデータをクリックするか、フォントデータを囲むようにドラッグします。

### メモ:

選択したくないフォントデータまで選択してしまったときは、フォントデータの無い部分をクリックしてすべての選択を解除し、選択し直します。

## フォントデータを移動する

1. フォントデータを選択し、その上にカーソルを置きます。
2. ドラッグして、移動します。

### メモ:

- **Shift** キーを押しながらドラッグすると、水平方向または垂直方向に移動できます。
- 矢印キーを押すと、矢印キーの方向に移動します。**グリッドに固定**が設定されている場合は1グリッドずつ移動します。

 P.235 の「グリッドの設定を変更する」

- 矢印キーを押し続けると、矢印キーの方向に移動し続けます。

## フォントデータを拡大 / 縮小する

1. フォントデータを選択します。
2. ハンドルをドラッグし、フォントデータのサイズを調整します。

### メモ:

- **Shift** キーを押しながらハンドルをドラッグすると、フォントデータの中心から拡大 / 縮小されます。
- パターンを上下に反転するときは、メニューの**編集→反転→上下**をクリックします。左右に反転するときは、メニューの**編集→反転→左右**をクリックします。
- パターンを回転するときは、メニューの**編集→回転**をクリックして、回転ハンドルをドラッグします。
- 上記のほか、ツールバーのボタンやメニューで、複製や削除など選択中のパターンの編集ができます。

 P.257 の「フォントクリエイター」の「編集メニュー」

## フォントデータのポイントを編集する

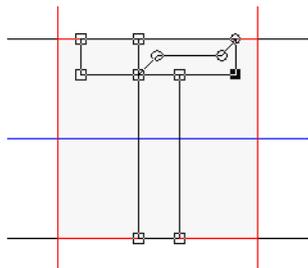
### ポイントを移動/挿入/削除する

**グリッドに固定** (P.235 の「グリッドの設定を変更する」) が設定されている場合は、ポイントを挿入したり動かしたりすると、グリッドの交点に置かれます。

1. ツールボックスの  をクリックします。

2. フォントデータをクリックします。

→ 既存ポイントが小さな白い四角で表示されます。



#### メモ:

ポイント編集時は、複数のフォントデータを選択することはできません。

3. ポイントをクリックして選択します。

→ 選択されたポイントは黒い四角で表示されます。

- ポイントを移動するときは、目的の位置までドラッグします。

→ 選択されたすべてのポイントが同じ方向に移動します。

- ポイントを挿入するときは、挿入したい線上でクリックします。

→ 新しいポイント (小さい黒い四角) が追加されます。

- ポイントを削除するときは、**Delete** キーを押すか、メニューの **編集** → **削除** をクリックします。

#### メモ:

- 複数のポイントを選択するときは、**Ctrl** キーを押しながらポイントををクリックするか、ポイントを囲むようにドラッグします。
- **Ctrl** キーを押しながら  /  キーを押すと、終点または始点の方向へ選択するポイントを変更できます。
- **Shift** キーを押しながらドラッグすると、水平方向または垂直方向へ移動できます。
- 矢印キーを押すと、矢印の方向へ移動できます。

### ポイントを編集する

ポイントに接している線は、直線または曲線のいずれかに変更できます。また、ポイント上の線をなめらかにしたり、まっすぐにしたりできます。

1. ポイントを選択します。

 P.230 の「ポイントを移動/挿入/削除する」

2. メニューの **編集** → **ポイント** をクリックします。

3. 設定を選択します。

- **直線化** をクリックすると、ポイントの角は直線になります。
- **曲線化** をクリックすると、ポイントの角は曲線になります。
- **スムーズ化** をクリックすると、2本の曲線ハンドルの長さを、個別に調整できるようになります。選択されたポイントの角は、曲線になります。
- **対称化** をクリックすると、2本の曲線ハンドルは、同じ長さになります。選択されたポイントの角は、曲線になります。
- **尖化** をクリックすると、2本の曲線ハンドルの長さや角度を、個別に調整できるようになります。ポイントを角にして尖らせることができます。

## 作ったフォントデータを確認する

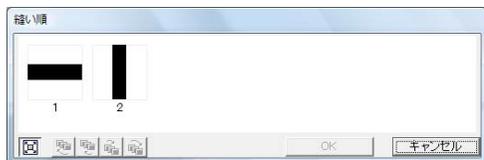
フォントデータの縫い順、プレビュー、文字一覧を確認できます。

### 縫い順を確認/変更する

フォントデータの縫い順を表示して変更できます。

ツールバーボタン：

1. ツールバーのをクリックするか、メニューの縫い方→縫い順をクリックします。



: クリックすると、それぞれの部分がコマいっぱいに表示されます。

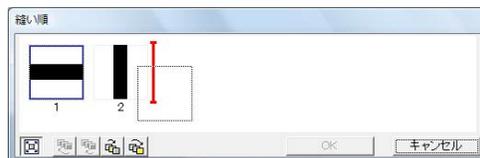
### ■ フォントデータの部分を選択する

1. 縫い順ダイアログボックスで、コマをクリックします。

→ コマを選択すると、コマの枠がピンク色になり、デザインページのその部分の輪郭線が赤い破線で表示されます。

### ■ 縫い順を変更する

縫い順を変更するときは、部分のコマを選択し、新しい縫い順の位置までドラッグします。ドラッグ中は赤い縦線が表示され、コマの移動先を示します。



ダイアログボックスの下のボタンをクリックしても部分を移動できます。

: 縫い順を先頭に移動します。

: 縫い順を1つ前に移動します。

: 縫い順を1つ後に移動します。

: 縫い順を最後に移動します。

OK をクリックして、縫い順を変更します。

### フォントデータをプレビューする

プレビューウィンドウで、仕上がりのイメージをプレビューできます。

ツールバーボタン：

1. ツールバーのをクリックするか、メニューの表示→プレビューウィンドウをクリックします。

→ プレビューウィンドウが表示されます。

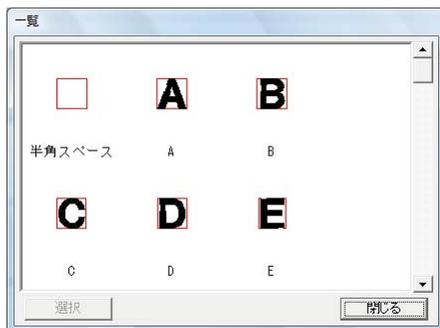


## 作った文字一覧を確認する

現在編集しているフォントファイルに含まれている文字を一覧で表示できます。

ツールバーボタン：

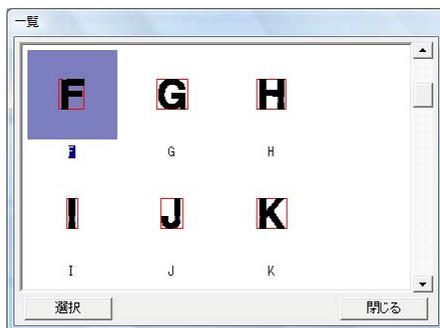
1. ツールバーの  をクリックするか、メニューの**表示**→**一覧**をクリックします。  
→ **一覧**ダイアログボックスが表示されます。



## ■文字を選択する

**一覧**ダイアログボックスで文字を選択すると、その文字のファイルを開くことができます。

1. ツールバーの  をクリックするか、メニューの**表示**→**一覧**をクリックします。
2. 文字をクリックし、**選択**をクリックします。



→ **一覧**ダイアログボックスが閉じられ、選択したフォントデータがデザインページに表示されます。

# フォントファイルを保存する

## 上書き保存する

ツールバーボタン：

1. ツールバーの  をクリックするか、メニューの**ファイル**→**上書き保存**をクリックします。

→ データがまだ名前を付けて保存されていない時や、元のファイルが見つからない時は、**名前を付けて保存**ダイアログボックスが表示されます

### 注意：

編集中のフォントデータの一部がデザインページからはみ出ているときに保存すると、メッセージが表示されます。すべてのフォントデータをデザインページの枠内に入れてから、もう一度保存してください。

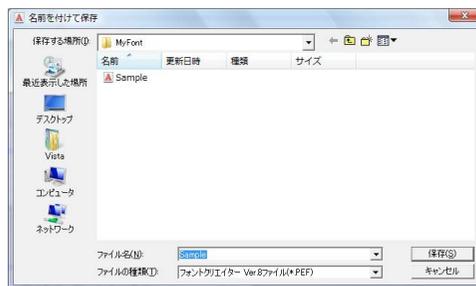
## 新しい名前を付けて保存する

既存ファイルを編集し、別のファイル名で保存すると、元ファイルは上書きされず、作業中のデータは別ファイルとして保存されます。

ファイルは、.pef ファイルで保存されます。

1. メニューの**ファイル**→**名前を付けて保存**をクリックします。
2. **MyFont** フォルダを選択し、ファイル名を入力します。

刺しゅう PRO がインストールされたドライブ → **Program Files** → **Brother** → **刺しゅう PRO 8** → **MyFont** を選択します。



### 注意：

- 作ったフォントファイルは、次のフォルダに保存してください。別のフォルダに保存すると、レイアウトセンターで使えません。  
刺しゅう PRO がインストールされたドライブ ¥ **Program Files** ¥ **Brother** ¥ **刺しゅう PRO 8** ¥ **MyFont**
- レイアウトセンターを起動中に、フォントクリエイターで新しいフォントファイルを保存すると、そのフォントファイルはレイアウトセンターの書体セレクトに表示されません。このような場合には、いったんレイアウトセンターを終了して、再起動してください。

### メモ：

拡張子は自動的に付けられます。

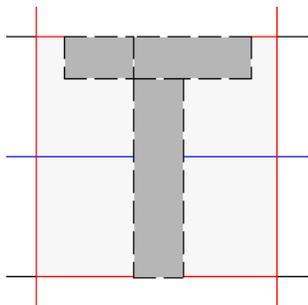
3. **保存**をクリックします。

## 各設定を変更する

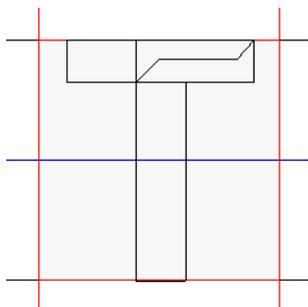
### 描画モードを変更する

フォントクリエイターには、2つの描画モードがあります。

- 塗りつぶし表示モード  
縫いの部分が塗りつぶされて表示されます。このモードでは、フォントデータの重なり方が、分かりやすく表示されます。



- 線表示モード (塗りつぶし表示モードオフ)  
縫いの部分が塗りつぶされません。このモードでは、より簡単にポイントを編集できます。



表示モードは、次の手順で切り替えます。

ツールバーボタン:

1. ツールバーの をクリックするか、メニューの表示→塗りつぶし表示モードをクリックします。

→ 塗りつぶし表示モードと線表示モードが切り替わります。

### 下絵の表示設定を変更する

#### ■ 下絵の濃さを変更する

デザインページの下絵の表示のしかたを選択できます。

1. メニューの表示→下絵の表示設定をクリックし、設定を選択します。

- 表示する場合は、**表示 (100%)** をクリックします。
- 薄く表示する場合は、表示濃度 (**75%**、**50%** または **25%**) をクリックします。
- 表示しない場合は、**表示しない** をクリックします。

#### 📖 メモ:

- 下絵画像が開かれていない場合は、この機能は使えません。
- **F6** キーを押すと、**表示 (100%)**、**75%**、**50%**、**25%** および**表示しない**を切り替えることができます。

#### ■ 下絵を拡大/縮小、移動する

1. メニューの表示→下絵のサイズと位置の変更をクリックします。

→ 下絵の周囲に赤い線とハンドルが表示されます。

フォントデータの編集と同様の手順で、下絵を拡大/縮小、移動できます。

P.229の「フォントデータを移動する」、「フォントデータを拡大/縮小する」

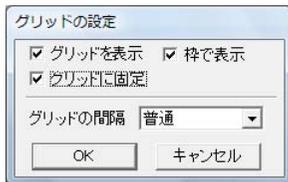
#### 📖 メモ:

TrueType フォントを下絵にしている場合は、拡大/縮小、移動はできません。

## グリッドの設定を変更する

グリッドの表示 / 非表示の切り替えや、グリッドの表示のしかた、間隔を指定できます。

1. メニューの**表示→グリッド**をクリックします。
2. グリッドを表示するときは、**グリッドを表示**チェックボックスをチェックします。グリッドを非表示にするときは、**グリッドを表示**チェックボックスのチェックを外します。



3. ポイントやハンドルをグリッド間隔で挿入 / 移動をしたいときは、**グリッドに固定**チェックボックスをチェックします。



### メモ：

固定機能はグリッドの表示 / 非表示に関わらず有効です。

4. **グリッドの間隔**セレクトアで、グリッドの間隔を選択します。
5. **枠で表示**チェックボックスをチェックすると、グリッドが縦横の直線で表示されます。
6. **OK** をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

# ヒントとテクニック

## ステッチデータの拡大 / 縮小について

取り込んだステッチデータをレイアウトセンターで拡大 / 縮小する方法は、次の3通りがあります。

- ① ステッチデータをそのまま拡大 / 縮小する
- ② ステッチデータを **Ctrl** キーを押しながら拡大 / 縮小する
- ③ STB 機能 (Stitch to block 機能  P.63) を使って、ステッチデータをマニュアルパンチングデータに変換してから拡大 / 縮小する

サイズを少しだけ変更する場合は、①の方法をお勧めします。

大きくサイズを変更する場合は、②または③の方法をお勧めします。

①の方法で拡大 / 縮小すると、縫製される針数は変わりません。拡大すると縫い目が粗く、また、縮小すると縫い目が細くなります。目安として、90%から110%程度のサイズ変更の場合はこの方法をお勧めします。

②の方法は、糸密度と針落ち点のパターンを保ちながらサイズを変更します。プログラムタタミ縫いやスタンブではこの方法をお勧めします。ステッチデータのももとの針密度や針落ちパターンが一定でない場合は、この方法でも糸密度と針落ち点のパターンが維持されないことがあります。この方法で拡大 / 縮小するときは、プレビュー画面で糸密度や針落ち点のパターンを確認しながら行ってください。

③の方法で拡大 / 縮小すると、サイズを変更しても糸密度は保持されます。ただし、針落ち点のパターンは必ずしも維持されません。縫い方 (サテン縫いやタタミ縫いなど) や形状を変更する場合は、この方法で拡大 / 縮小してください。

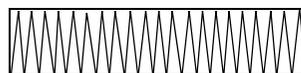
刺しゅう PRO では、オリジナルの刺しゅうデータを作ることができるように、様々な縫い方 (糸密度、縫いピッチ等) が設定できます。しかし、最終的な仕上がりは、お使いのミシンの性能や実際の縫製条件 (布、糸など) によって異なる場合がありますので、実際にお使いになるミシン、縫う条件で、必ず試し縫いを行ってください。試し縫いには、最終的にお使いになるものと同じ布、針、ミシン刺しゅう糸をお使いください。

## 縫い方向

縫い縮みを抑えるためには、縫う方向を、長い辺に直角になるように設定します。



縫い縮みが生じやすい



縫い縮みが生じにくい

## 縫い順

レイアウトセンターやデザインセンターで複数の刺しゅうデータを組み合わせた刺しゅうデータを作った場合は、縫い順を確認し、必要に応じてデータを修正してください。

レイアウトセンターでは、データを作成した順序が標準の縫い順となります。

デザインセンターでは、縫い方を設定した順序が標準の縫い順となります。

## 広い範囲を縫うときは

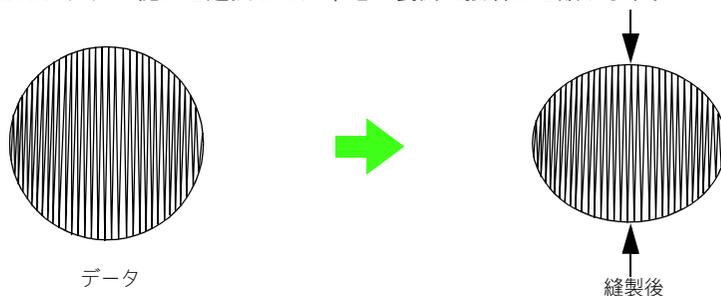
- 広い範囲を縫うときは、**下打ちをオン**に設定します。

 P.101、P.104 の「下打ち」

- **縫い方向**の設定を変更すると、縫い縮みを防ぐことができます。

 P.105 の「縫い角度」

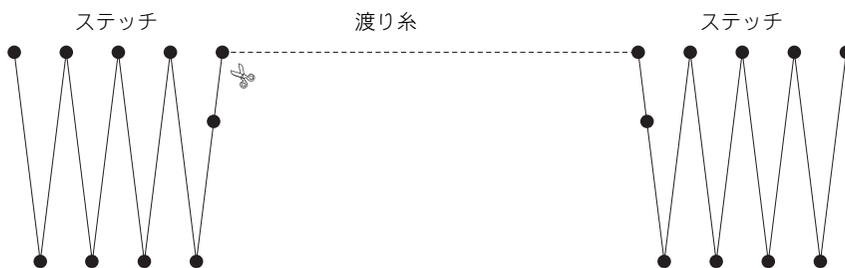
- 刺しゅうするときは、必ず布地の裏に刺しゅう用接着芯を貼り付けてください。特に薄地や伸びる布地の場合、接着芯を貼り付けずに刺しゅうをすると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。また、縫い縮みや模様のずれの原因にもなります。
- 広い範囲にサテン縫いをするときは、布や糸の種類によっては、縫い縮みが生じることがあります。このようなときは、タタミ縫いを選択して、布地の裏側に接着芯を貼ります。



## ミシンの糸切りの設定について

糸切りの設定を持つミシンでは、この設定を ON にすると、渡り糸の部分で糸を切って縫製します。渡り糸の長さが一定以上ない場合、ミシンの機種によっては、糸切り機能が働かないことがあります。

ミシンの糸切りの設定については、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。



# 刺しゅうに適した書体

### ■ ミニサイズ文字を縫う場合

ミニサイズ文字の縫いあがりをきれいにするために、次の設定を推奨します。

1. 糸調子を、通常の刺しゅうデータの場合より弱く設定します。
2. 通常の刺しゅうデータの場合より、遅い速度で縫製します。  
(糸調子と縫い速度の調整については、ミシンの取扱説明書を参照してください。)
3. 文字の間の渡り糸を切らないように設定してください。  
(ミシンの糸切りの設定については、ミシンの取扱説明書を参照してください。)

### ■ TrueType フォントを刺しゅうデータに変換する場合

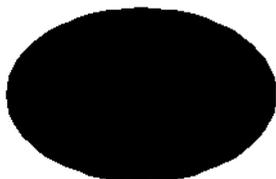
TrueType フォントを刺しゅうデータに変換するときは、ゴシック体のようにすべての線ができるだけ太いものを選択してください。

## 抜き文字を作る (図形データに変換した文字を使う)

刺しゅうデータの面上に抜き文字を入れたい場合は、TrueType フォントの文字データを**図形データに変換**で図形データに変換します。

1. ツールボックスの**描画ツール**を使い、図形を描きます。

 P.70 の「図形を描く」



2. TrueType フォントの文字を選択します。



3. 文字を右クリックし、表示されたメニューの**図形データに変換**をクリックします。

 P.92 の「文字データを図形データに変換する」



4. 図形の内に文字を配置します。



5. 文字の外側の輪郭線を選択し、**Ctrl** キーを押しながら背景の図形データを選択して、メニューの**縫い方→ドーナツ縫いの設定**を選択します。

 P.74 の「面縫いの二重縫いを防止する (ドーナツ縫い)」



6. 文字の内側にある輪郭線を選択して、**面の設定**ボタン  をクリックし、背景の図形データと同じ糸色を設定します。(この例の背景色は黒ですので、**面の色**ボタン  で黒を選択します。)

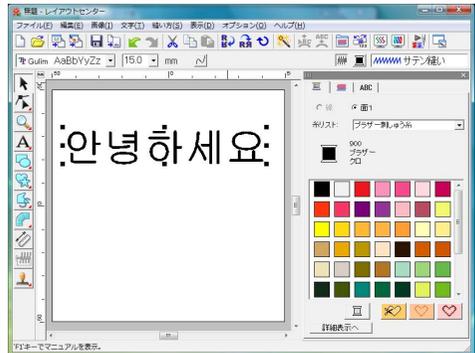


→ 抜き文字が完成しました。

## 日本語以外の文字（中国語、韓国語など）を刺しゅうデータに変換する

TrueType フォントを使うと、中国語、韓国語などの文字から刺しゅうデータを作ることができます。この例では、韓国語の TrueType フォントで説明します。

1. 文字入力ツールを選択し、韓国語の TrueType フォント（この例では「Gulim」）を選択します。
2. デザインページで、文字データを入力したい位置をクリックします。**文字の編集**ダイアログボックスが表示されます。
3. パソコンの文字コード表を表示します。  
 → **すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** → **文字コード表**
4. **文字コード表**のフォントで **Gulim** を選択し、**詳細表示**チェックボックスを選択します。次に、**文字セットリスト**で **Windows: 韓国語**を選択して、作りたい文字（この例では、「안녕하세요」）を選択し、**選択**をクリックします。
5. 文字をすべて選択できたら、**コピー**をクリックして、文字をコピーします。
6. レイアウトセンターの**文字の編集**ダイアログボックスに文字を貼り付けて、**OK**をクリックします。



## レイアウトセンター

### ツールボックスボタン一覧

ツールボックス	用途	参照ページ	ツールボックス	用途	参照ページ
	選択ツール	P.53		線描画ツール	P.73
	ポイント編集ツール	P.57 P.60 P.62		マニュアルパンチングツール	P.78
	ズームツール	P.52		ものさしツール	P.52
	文字入力ツール	P.81 P.93		ステッチデータ分割ツール	P.64
	正方形 / 長方形、円 / だ円、円弧ツール	P.70		スタンプツール	P.117
	図形描画ツール	P.72			

### メニュー一覧

#### ■ ファイルメニュー

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
新規作成		新規デザインページを開きます。	Ctrl + N	P.49
開く		以前に保存した刺しゅうデータ (.pes ファイル) を開きます。	Ctrl + O	P.49
データ取り込み		デザインライブラリー、フォルダ、刺しゅうカードから刺しゅうデータを取り込みます。	F8	P.50
デザインセンターからデータ取り込み		デザインセンターからステッチデータを取り込みます。	F7	P.51
上書き保存		作業中のデザインページをハードディスクなどに上書き保存し、ファイルを更新します。	Ctrl + S	P.141
名前を付けて保存	—	作業中のデザインページをハードディスクなどに新しいファイル名で保存します。	—	P.141
データ書き出し	—	デザインページに表示されているデータを、別のファイル形式 (.dst、.exp、.pcs、.hus、.vip、.shv、.jef、.sew、.csd、.xxx) に変換して出力します。	—	P.141

## メニュー / ツール

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
カード書き込み		作業中のデザインページをオリジナルカードに書き込みます。	F4	P.18 P.142
ファイルプロパティ	—	編集中の .pes ファイルにコメントを入力します。	—	P.143
印刷の設定	—	印刷設定を変更します。	—	P.45 P.144
印刷プレビュー	—	印刷前に、印刷のイメージを確認できます。	—	P.145
印刷	—	作業中のデザインページと情報を印刷します。	Ctrl + P	P.145
終了	—	アプリケーションを終了します。	Alt + F4	

### ■ 編集メニュー

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ	
元に戻す		直前の操作を元の状態に戻します。	Ctrl + Z		
やり直し		最後に行った「元に戻す」の操作を解除します。	Ctrl + Shift+ Z		
グループ化	—	選択された複数の刺しゅうデータをグループ化して1つの刺しゅうデータにします。	Ctrl + G	P.56	
グループ化解除	—	刺しゅうデータのグループ化を解除します。	Shift+ G		
切り取り		選択された刺しゅうデータを画面から削除し、クリップボードにコピーします。	Ctrl + X		
コピー		選択された刺しゅうデータを画面から削除しないで、クリップボードにコピーします。	Ctrl + C		
複製	—	選択された刺しゅうデータを複製します。	Ctrl + D		
貼り付け		クリップボードにコピーされている内容をデザインページに貼り付けます。	Ctrl + V		
削除	—	選択された刺しゅうデータまたはポイントをデザインページから削除します。	Delete	P.125	
ポイント	直線化	—	ポイントの両サイドの曲線を直線にします。	—	P.59
	曲線化	—	ポイントの両サイドの直線を曲線にします。	—	P.59
	スムーズ化	—	選択されたポイントの2本の曲線ハンドルをスムーズな位置にします。	—	P.59
	対称化	—	選択されたポイントの2本の曲線ハンドルを対称な位置にします。	—	P.60
	尖化	—	選択されたポイントの2本の曲線ハンドルをそれぞれ個別に操作できるようにします。	—	P.60
	削除	—	選択されたポイントを削除します。	—	P.59

メニュー		ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
反転	上下		選択された刺しゅうデータを上下に反転します。	Ctrl + H	P.55
	左右		選択された刺しゅうデータを左右に反転します。	Ctrl + J	
回転			選択された刺しゅうデータを任意の角度で回転します。	Ctrl + Y	P.55
数値設定	サイズ	—	選択された刺しゅうデータを任意のサイズにします。	—	P.54
	回転	—	選択された刺しゅうデータを任意の角度で回転します。	—	P.56
中央へ移動		—	選択された刺しゅうデータをデザインページの中央へ移動します。	Ctrl + M	P.53
整列	左揃え	—	選択された複数の刺しゅうデータを左寄せで揃えます。	—	P.54
	左右中央揃え	—	選択された複数の刺しゅうデータを左右中央位置で揃えます。	—	
	右揃え	—	選択された複数の刺しゅうデータを右寄せで揃えます。	—	
	上揃え	—	選択された複数の刺しゅうデータを上端で揃えます。	—	
	上下中央揃え	—	選択された複数の刺しゅうデータを上下中央位置で揃えます。	—	
	下揃え	—	選択された複数の刺しゅうデータを下端で揃えます。	—	
すべて選択		—	すべての刺しゅうデータを選択します。	Ctrl + A	P.53

## ■ 画像メニュー

メニュー		ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
入力	ファイルから	—	画像ファイルを取り込み、それを作業中のデザインページに加えます。	—	P.122
	TWAIN 機器から	—	TWAIN 規格対応のスキャナ等を使い、画像を取り込みます。	—	P.122
	モニター ジュから	—	髪型、目、鼻、口などのパーツを組み合わせて似顔絵を作り、その画像を取り込みます。	—	P.123
	クリップ ボードから	—	クリップボードにコピーされている画像データを取り込みます。	—	P.124
出力	ファイルへ	—	デザインページの画像データを、Windows ビットマップ (.bmp) または JPEG (.jpg) ファイルで保存します。	—	P.126
	クリップ ボードへ	—	デザインページの画像データを、クリップボードにコピーします。	—	P.126
TWAIN 機器の選択		—	パソコンにインストールされている TWAIN 機器から画像を取り込む機器を選択します。	—	P.122
サイズと位置の変更		—	取り込んだ画像データのサイズや位置を調整します。	—	P.125
回転	右に 90 度 回転	—	取り込んだ画像データを右へ 90 度回転します。	—	P.125
	左に 90 度 回転	—	取り込んだ画像データを左へ 90 度回転します。	—	P.125

# メニュー / ツール

メニュー		ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
ステッチウィザードの起動			ステッチウィザードに沿って、原画（画像データ）から刺しゅうデータを作ります。	—	P.127
表示設定	表示 (100%)	—	下絵となる画像データを表示します。(濃さ: 100%)	F6	P.125
	75%	—	下絵となる画像データを薄く表示します。(濃さ: 75%)	F6	
	50%	—	下絵となる画像データを薄く表示します。(濃さ: 50%)	F6	
	25%	—	下絵となる画像データを薄く表示します。(濃さ: 25%)	F6	
	表示しない	—	下絵となる画像データを非表示にします。	F6	

## ■ 文字メニュー

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
文字の編集	—	入力済みの文字データを編集します。	Ctrl + L	P.85 P.95
書式設定	—	文字の書式を設定します。	Ctrl + K	P.86
文字の配列		図形データ（曲線、直線データなど）に沿って文字データを配列します。	Ctrl + T	P.90
文字配列の解除		図形データから文字データを切り離します。	Ctrl + Q	P.91
TrueType フォントの設定	—	刺しゅうデータに変換される TrueType フォントの属性（スタイル等）を設定します。	—	P.92
図形データに変換	—	TrueType フォントから変換された文字データを図形データに変換します。	—	P.92

## ■ 縫い方メニュー

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
縫い方の設定		刺しゅうデータの線と面の縫い方を設定します。	Ctrl + W	P.100
縫い順 / ロック		刺しゅうデータの縫い順と糸色を確認、変更します。また、刺しゅうデータをロックします。	F10	P.120
ドーナツ縫いの設定	—	1 つの刺しゅうデータが他の刺しゅうデータを完全に包含しているとき、同じ場所を二重に縫わないように、一対の刺しゅうデータにドーナツ縫いの設定を行います。	—	P.74
ドーナツ縫いの解除	—	ドーナツ縫いの設定を解除します。	—	P.75
重なり削除	—	複数の図形データが重なっているとき、下になる図形データの重なった部分を削除します。	—	P.75
結合	—	重なっている複数の図形データを、一つの図形データに結合します。	—	P.76
ステッチデータを色毎に分解	—	ステッチデータを色ごとに分解します。	—	P.64
STB 機能	—	ステッチデータをブロック（マニュアルパンチングデータ）に変換して、縫い方の設定や、拡大 / 縮小したときの縫製品質の維持ができるようにします。	—	P.63

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
ステッチデータに変換	—	図形データ、文字データ、パンチングデータをステッチデータに変換します。	—	P.62
アプリケーションウィザード	—	アプリケーションの縫い順に沿って各設定をしながら、アプリケーションデータを作ります。	—	P.139
縫製範囲の設定	—	縫製範囲を設定します。	—	P.143
枠の最適化	—	デザインページに大型枠 (100 × 172mm、130 × 300mm) が選択されている場合、そのデータの縫い順を最適化するかどうかを設定します。	—	P.184
縫い始終点の最適化	—	刺しゅうデータの縫い始終点の位置を最適化します。	—	P.61

## ■ 表示メニュー

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
グリッド	—	グリッドの表示方法を設定します。	—	P.69
プレビュー		画面表示の通常表示 / 縫製イメージを切り替えます。	F9	P.65
リアルプレビュー		刺しゅうデータの縫製後の仕上がりイメージをリアルに表示します。	Shift + F9	P.65
リアルプレビューの設定	—	リアルプレビュー機能の設定を行います。	—	P.65
画面の再描画	—	画面を更新します。	Ctrl + R	
ステッチシミュレーター		ミシンでどのように縫われていくか、縫製の様子を画面上で確認できます。	—	P.66
リファレンスウィンドウ		リファレンスウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。	F11	P.67
ルーラー	—	ルーラーの表示 / 非表示を切り替えます。	—	P.69
ツールバー	—	ツールバーの表示 / 非表示を切り替えます。	—	P.48
ステータスバー	—	ステータスバーの表示 / 非表示を切り替えます。	—	

## ■ オプションメニュー

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
デザインセンターの起動	—	デザインセンターを起動します。	F5	P.146 P.154
ステッチクリエイターの起動	—	ステッチクリエイターを起動します。	—	P.199 P.205
デザインデータベースの起動	—	デザインデータベースを起動します。	F12	P.188
フォントクリエイターの起動	—	フォントクリエイターを起動します。	—	P.216 P.224
デザインのプロパティ	—	刺しゅうデータの情報を表示します。	—	P.140
デザインページの設定	—	デザインページのサイズ、色、背景色を変更します。	—	P.68
ユーザー系リストの編集	—	ユーザー系リストを作成 / 編集します。	—	P.113
単位の 設定	mm	—	長さの単位をミリメートルに変更します。	P.69
	インチ	—	長さの単位をインチに変更します。	

## ■ ヘルプメニュー

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
マニュアル	—	このソフトウェアのマニュアル (PDF 形式) を表示します。	F1	P.13
ソフトウェアの更新を確認	—	Web 上に更新されたバージョンがあるかどうかを確認します。	—	P.15
刺しゅうPRO WEB ページ	—	刺しゅうPRO のサポート情報のページを開きます。	—	P.14
オンライン登録	—	当社ホームページの「オンライン登録」のページを開きます。	—	P.14
バージョン情報	—	バージョン、著作権などに関する情報を表示します。	—	

# デザインセンター

## ツールボックスボタン一覧

### ■ 輪郭線画ステージ

ツールボックス	用途	参照ページ	ツールボックス	用途	参照ページ
	ペンツール 太さの違うペンとして使います。 (マウスの右ボタンを押しているときは、消しゴムとして使えます。)	P.148		消しゴムツール	P.148
				ズームインツール	
				デザインページズーム デザインページを画面に合わせて最大化します。	
				ズームアウトツール	

### ■ 輪郭データステージ

ツールボックス	用途	参照ページ	ツールボックス	用途	参照ページ
	選択ツール	P.149 P.161		ズームインツール	
	ポイント編集ツール	P.150		デザインページズーム	
	線描画ツール	P.149		ズームアウトツール	
				選択データズーム 選択した輪郭データを画面領域いっぱい拡大します。	

### ■ 縫い方設定ステージ

ツールボックス	用途	参照ページ	ツールボックス	用途	参照ページ
	面の設定ツール	P.152 P.164		ズームインツール	
	線の設定ツール (全て)	P.152 P.165		デザインページズーム	
	線の設定ツール (部分)			ズームアウトツール	
	ドーナツ縫いツール	P.169		スタンプ設定ツール	P.117 P.169
				スタンプ編集ツール	

## メニュー一覧

### ■ ファイルメニュー

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
新規作成 (輪郭線画)		新規デザインページを開き、輪郭線画ステージに移動します。	Ctrl + N	P.158
新規作成 (輪郭データ)	—	新規デザインページを開き、輪郭データステージに移動します。	—	P.161
ウィザード	—	作りたいデータの種類に応じてどのようにデータを作っていくか、順を追って説明します。	F3	P.155
開く		以前に保存したファイル (.pem、.pel) や画像ファイルを開きます。	Ctrl + O	P.156
TWAIN 機器の選択	—	パソコンにインストールされているTWAIN機器から画像を取り込む機器を選択します。	—	
TWAIN 機器から入力	—	TWAIN 規格対応のスキャナ等を使い、画像を取り込みます。	—	
クリップボードから入力	—	原画ステージの新規デザインページを開き、クリップボードにコピーされている画像データを貼り付けます。	—	
クリップボードに出力	—	原画ステージの原画を、クリップボードにコピーします。	—	
輪郭データ取り込み		作業中のデザインページに .pem ファイルを追加します。(輪郭データステージでのみ使用可能)	F8	
上書き保存		作業中のデザインページをハードディスクなどに上書き保存し、ファイルを更新します。	Ctrl + S	P.170
名前を付けて保存	—	作業中のパターンファイルをハードディスクなどに新しいファイル名で保存します。	—	P.170
終了	—	原画ステージの原画を、クリップボードにコピーします。	Alt + F4	

### ■ 編集メニュー

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
元に戻す		直前の操作を元の状態に戻します。	Ctrl + Z	
やり直し		最後に行った「元に戻す」の操作を解除します。	Ctrl + Shift + Z	
切り取り		選択された輪郭データを画面から削除し、クリップボードにコピーします。	Ctrl + X	
コピー		選択された輪郭データを画面から削除しないで、クリップボードにコピーします。	Ctrl + C	
複製	—	選択された輪郭データを複製します。	Ctrl + D	
貼り付け		クリップボードにコピーされている内容をデザインページに貼り付けます。	Ctrl + V	
削除	—	選択された輪郭データまたはポイントをデザインページから削除します。	Delete	

メニュー		ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
切断		—	選択された輪郭データを選択されたポイントで切断します。	—	P.150
反転	上下		選択された輪郭データを上下に反転します。	Ctrl + H	P.161
	左右		選択された輪郭データを左右に反転します。	Ctrl + J	
回転			選択された輪郭データを任意の角度で回転します。	Ctrl + Y	P.161
数値設定	サイズ	—	選択された輪郭データを任意のサイズにします。	—	P.161
	回転	—	選択された輪郭データを任意の角度で回転します。	—	P.162
すべて選択		—	すべての輪郭データを選択します。	Ctrl + A	

## 縫い方メニュー

メニュー		ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
縫い方の設定			輪郭線と面の縫い方を設定します。	Ctrl + W	P.166
縫い順			刺しゅうデータの各糸色の縫い順の確認や変更をしたり、各糸色を構成する各部分の縫い順の確認や変更をします。	F10	P.169

## 表示メニュー

メニュー		ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
グリッド		—	グリッドの表示 / 非表示を切り替えたり、グリッド線の表示のしかたを設定します。	—	P.162
下絵の位置とサイズの変更		—	下絵となる画像のサイズや位置を調整します。	—	P.160
下絵の表示	表示	—	下絵となる画像を表示します。	F6	P.160
	薄く表示	—	下絵となる画像を薄く表示します。	F6	
	表示しない	—	下絵となる画像を非表示にします。	F6	
プレビュー			画面表示の通常表示 / 縫製イメージを切り替えます。	F9	
リアルプレビュー			刺しゅうデータの縫製後の仕上がりがイメージをリアルに表示します。	Shift + F9	
リアルプレビューの設定		—	リアルプレビュー機能の設定を行います。	—	
画面の再描画		—	画面を更新します。	Ctrl + R	
ステッチシミュレーター			ミシンでどのように縫われていくか、縫製の様子を画面上で確認できます。	—	P.170
リファレンスウィンドウ			リファレンスウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。	F11	P.163

# メニュー / ツール

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
ツールバー	—	ツールバーの表示 / 非表示を切り替えます。	—	P.154
ステータスバー	—	ステータスバーの表示 / 非表示を切り替えます。	—	

## ■ オプションメニュー

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
レイアウトセンターの起動	—	レイアウトセンターを起動します。	F5	P.48
ステッチクリエイターの起動	—	ステッチクリエイターを起動します。	—	P.199 P.205
デザインページの設定	—	デザインページのサイズ、色、背景色を変更します。	—	P.160
単位の設定	mm	—	—	P.162
	インチ	—	—	

## ■ ステージメニュー

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
原画ステージ		原画ステージへ移動します。	—	P.147
輪郭線画ステージ		輪郭線画ステージへ移動します。	—	P.157
輪郭データステージ		輪郭データステージへ移動します。	—	P.159
縫い方設定ステージ		縫い方設定ステージへ移動します。	—	P.164
レイアウトセンターへ送る		刺しゅうデータをレイアウトセンターに送ります。	—	P.153

## ■ ヘルプメニュー

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
マニュアル	—	このソフトウェアのマニュアル (PDF 形式) を表示します。	F1	P.13
刺しゅうPRO WEB ページ	—	刺しゅうPRO のサポート情報のページを開きます。	—	P.14
バージョン情報	—	バージョン、著作権などに関する情報を表示します。	—	

# デザインデータベース

## メニュー一覧

### ■ ファイルメニュー

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
レイアウトセンターで開く	—	レイアウトセンターで刺しゅうファイルを開きます。	—	P.190
レイアウトセンターで取り込む	—	レイアウトセンターに刺しゅうファイルを取り込みます。	—	P.190
フォルダ作成	—	選択されたフォルダに新規フォルダを作ります。	—	P.191
フォーマット変換	—	刺しゅうファイルを、別のファイル形式に変換して出力します。	—	P.194
削除	—	選択された刺しゅうファイルを削除します。	Delete	P.192
検索	—	刺しゅうファイルを検索します。	Ctrl + F	P.193
印刷の設定	—	刺しゅうファイルの一覧の印刷設定を変更します。	—	P.197
印刷プレビュー	—	刺しゅうファイルの一覧の印刷前に、印刷イメージを確認できます。	—	
印刷	—	刺しゅうファイルの一覧を印刷します。	Ctrl + P	P.197
HTML 出力	—	刺しゅうファイルの一覧を HTML ファイルとして出力します。	—	P.197
CSV 出力	—	刺しゅうファイルの縫い方情報の一覧を CSV ファイルとして出力します。	—	P.198
終了	—	アプリケーションを終了します。	Alt + F4	

### ■ 編集メニュー

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
切り取り		選択された刺しゅうファイルをフォルダから削除し、クリップボードにコピーします。	Ctrl + X	P.191
コピー		選択された刺しゅうファイルをフォルダから削除しないで、クリップボードにコピーします。	Ctrl + C	
貼り付け		クリップボードにコピーされている刺しゅうファイルを、選択されたフォルダに貼り付けます。	Ctrl + V	
すべて選択	—	選択されたフォルダ内のファイルをすべて選択します。	Ctrl + A	

## ■ 表示メニュー

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
サムネイル大		コンテンツビューの刺しゅうファイルを、大きいサムネイルで一覧表示します。	—	P.192
サムネイル小		コンテンツビューの刺しゅうファイルを、小さいサムネイルで一覧表示します。	—	
詳細		コンテンツビューの刺しゅうファイルを、縫い方情報と一緒に一覧表示します。	—	
プレビュー		選択された刺しゅうファイルの縫製イメージを表示します。	—	P.189
ファイルプロパティ		選択された刺しゅうファイルの縫い方情報を表示します。	—	P.189
最新の情報に更新	—	コンテンツビューの刺しゅうファイルの表示を更新します。	Ctrl + R	
ツールバー	—	ツールバーの表示 / 非表示を切り替えます。	—	P.188
ステータスバー	—	ステータスバーの表示 / 非表示を切り替えます。	—	

## ■ オプションメニュー

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
単位の 設定	mm	—	長さの単位をミリメートルに変更します。	P.69
	インチ	—	長さの単位をインチに変更します。	

## ■ ヘルプメニュー

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
マニュアル	—	このソフトウェアのマニュアル (PDF 形式) を表示します。	F1	P.13
刺しゅうPRO WEB ページ	—	刺しゅうPRO のサポート情報のページを開きます。	—	P.14
バージョン情報	—	バージョン、著作権などに関する情報を表示します。	—	

# ステッチクリエイター

## ツールボックスボタン一覧

ツールボックス	用途	参照ページ	ツールボックス	用途	参照ページ
	選択ツール	P.209 P.213		面設定 (クリア) ツール	P.211
	ポイント編集ツール	P.203 P.210 P.212		面設定 (凹) ツール	P.201 P.211
	線描画ツール	P.200 P.208		面設定 (凸) ツール	

## メニュー一覧

### ■ ファイルメニュー

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
新規作成		新規のパターンファイルを作ります。	Ctrl + N	P.207
開く		以前に保存したパターンファイルを開きます。	Ctrl + O	P.206
下絵を開く	—	データ作成用の下絵として使用できる画像データを、デザインページ上に開きます。	—	P.206
上書き保存		作業中のパターンファイルをハードディスクなどに上書き保存し、ファイルを更新します。	Ctrl + S	P.214
名前を付けて保存	—	作業中のパターンファイルをハードディスクなどに新しいファイル名で保存します。	—	P.214
終了	—	アプリケーションを終了します。	Alt + F4	

### ■ モードメニュー

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
プログラムタタミ / スタンプ	—	プログラムタタミ、スタンプ用のパターン作成モードにします。	—	P.207
モチーフ	—	モチーフ用のパターン作成モードにします。	—	

## ■ 編集メニュー

メニュー		ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
元に戻す			直前の操作を元の状態に戻します。	Ctrl + Z	
やり直し			最後に行った「元に戻す」の操作を解除します。	Ctrl + Shift + Z	
切り取り			選択されたパターンを画面から削除し、クリップボードにコピーします。	Ctrl + X	
コピー			選択されたパターンを画面から削除しないで、クリップボードにコピーします。	Ctrl + C	
複製		—	選択されたパターンを複製します。	Ctrl + D	
貼り付け			クリップボードにコピーされているパターンをデザインページに貼り付けます。	Ctrl + V	
削除		—	選択されたパターンまたはポイントをデザインページから削除します。	Delete	
反転	上下		選択されたパターンを上下に反転します。	Ctrl + H	P.209
	左右		選択されたパターンを左右に反転します。	Ctrl + J	
回転			選択されたパターンを任意の角度で回転します。	Ctrl + Y	
すべて選択		—	すべてのパターンを選択します。	Ctrl + A	

## ■ 表示メニュー

メニュー		ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
グリッド	広い	—	グリッド間隔をデザインページの 1/8 に変更します。	—	P.215
	普通	—	グリッド間隔をデザインページの 1/16 に変更します。	—	
	狭い	—	グリッド間隔をデザインページの 1/32 に変更します。	—	
	表示しない	—	グリッドを非表示にします。	—	
下絵	表示 (100%)	—	下絵となる画像データを表示します。(濃さ:100%)	F6	P.215
	75%	—	下絵となる画像データを薄く表示します。(濃さ:75%)	F6	
	50%	—	下絵となる画像データを薄く表示します。(濃さ:50%)	F6	
	25%	—	下絵となる画像データを薄く表示します。(濃さ:25%)	F6	
	表示しない	—	下絵となる画像データを非表示にします。	F6	
プレビュー	—	プレビューウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。	—	P.208	
ツールバー	—	ツールバーの表示 / 非表示を切り替えます。	—	P.199	
ステータスバー	—	ステータスバーの表示 / 非表示を切り替えます。	—		

## ■ ヘルプメニュー

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
マニュアル	—	このソフトウェアのマニュアル (PDF 形式) を表示します。	F1	P.13
刺しゅうPRO WEB ページ	—	刺しゅうPRO のサポート情報のページを開きます。	—	P.14
バージョン情報	—	バージョン、著作権などに関する情報を表示します。	—	

# フォントクリエイター

## ツールボックスボタン一覧

ツールボックス	用途	参照ページ	ツールボックス	用途	参照ページ
	選択ツール	P.229		ズームツール	
	ポイント編集ツール	P.230		マニュアルパンチングツール	P.228

## メニュー一覧

### ■ ファイルメニュー

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
新規作成		新規のフォントファイルを作ります。	Ctrl + N	P.224
開く		以前に保存したフォントファイルを開きます。	Ctrl + O	P.224
下絵を開く	画像ファイルから	—	データ作成用の下絵として使用できる画像データを、デザインページ上に開きます。	P.226
	TrueTypeフォントの選択	—	下絵または変換用に TrueType フォントを開きます。	P.227
上書き保存		作業中のフォントデータをハードディスクなどに上書き保存し、ファイルを更新します。	Ctrl + S	P.233
名前を付けて保存	—	作業中のフォントデータをハードディスクなどに新しいファイル名で保存します。	—	P.233
文字リストの編集	—	文字リストの登録文字の追加 / 削除をします。		P.225
終了	—	アプリケーションを終了します。	Alt + F4	

## 編集メニュー

メニュー		ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
元に戻す			直前の操作を元の状態に戻します。	Ctrl + Z	
やり直し			最後に行った「元に戻す」の操作を解除します。	Ctrl + Shift + Z	
切り取り			選択されたフォントデータを画面から削除し、クリップボードにコピーします。	Ctrl + X	
コピー			選択されたフォントデータを画面から削除しないで、クリップボードにコピーします。	Ctrl + C	
複製		—	選択されたフォントデータを複製します。	Ctrl + D	
貼り付け			クリップボードにコピーされている内容をデザインページに貼り付けます。	Ctrl + V	
削除		—	選択されたフォントデータまたはポイントをデザインページから削除します。	Delete	
ポイント	直線化	—	ポイントの両サイドにある曲線を直線にします。	—	P.230
	曲線化	—	ポイントの両サイドにある直線を曲線にします。	—	
	スムーズ化	—	選択されたポイントの 2 本の曲線ハンドルをスムーズな位置にします。	—	
	対称化	—	選択されたポイントの 2 本の曲線ハンドルを対称な位置にします。	—	
	尖化	—	選択されたポイントの 2 本の曲線ハンドルをそれぞれ個別に操作できるようにします。	—	
	削除	—	選択されたポイントを削除します。	—	
反転	上下	—	選択されたフォントデータを上下に反転します。	Ctrl + H	P.229
	左右	—	選択されたフォントデータを左右に反転します。	Ctrl + J	
回転		—	選択されたフォントデータを任意の角度で回転します。	Ctrl + Y	P.229
整列	左揃え	—	選択された複数のフォントデータを左寄せで揃えます。	—	
	左右中央揃え	—	選択された複数のフォントデータを左右中央位置で揃えます。	—	
	右揃え	—	選択された複数のフォントデータを右寄せで揃えます。	—	
	上揃え	—	選択された複数のフォントデータを上端で揃えます。	—	
	上下中央揃え	—	選択された複数のフォントデータを上下中央位置で揃えます。	—	
	下揃え	—	選択された複数のフォントデータを下端で揃えます。	—	
すべて選択		—	すべてのフォントデータを選択します。	Ctrl + A	

## ■ 縫い方メニュー

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
縫い順		フォントデータの縫い順を確認、変更します。	F10	P.231
TrueType フォントからデータを作成	—	TrueType フォントをフォントデータに変換します。	—	P.228

## ■ 表示メニュー

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ	
グリッド	—	グリッドの表示 / 非表示を切り替えたり、グリッド線の表示のしかたを設定します。	—	P.235	
塗りつぶし表示モード		塗りつぶし表示モードと線表示モードとを切り替えます。	F9	P.234	
プレビューウィンドウ		プレビューウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。	F11	P.231	
一覧		作業中のフォントファイルに含まれている文字を一覧で確認できます。	—	P.232	
下絵のサイズと位置の変更	—	取り込んだ下絵のサイズや位置を調整します。	—	P.234	
下絵の表示設定	表示 (100%)	—	下絵となる画像データを表示します。(濃さ: 100%)	F6	P.234
	75%	—	下絵となる画像データを薄く表示します。(濃さ: 75%)	F6	
	50%	—	下絵となる画像データを薄く表示します。(濃さ: 50%)	F6	
	25%	—	下絵となる画像データを薄く表示します。(濃さ: 25%)	F6	
	表示しない	—	下絵となる画像データを非表示にします。	F6	
ツールバー	—	ツールバーの表示 / 非表示を切り替えます。	—	P.216	
ステータスバー	—	ステータスバーの表示 / 非表示を切り替えます。	—		

## ■ ヘルプメニュー

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
マニュアル	—	このソフトウェアのマニュアル (PDF 形式) を表示します。	F1	P.13
刺しゅうPRO WEB ページ	—	刺しゅうPRO のサポート情報のページを開きます。	—	P.14
バージョン情報	—	バージョン、著作権などに関する情報を表示します。	—	

# 困ったときは

問題が発生したときは、お問い合わせの前に、ブラザーソリューションセンターのFAQ（よくある質問）ページをご覧ください。

ブラザーソリューションセンター：刺しゅうPRO 8 サポートページ

[http://solutions.brother.co.jp/public/model\\_top/digitizing\\_software/hf\\_pro8jp.html](http://solutions.brother.co.jp/public/model_top/digitizing_software/hf_pro8jp.html)

トラブルが発生したときは、下記の項目をチェックしてください。対処に従っても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」（P.14）までお問い合わせ下さい。本製品のサポート情報については、下記のアドレスの弊社 Web サイトをご覧ください。

ブラザーソリューションセンター（<http://solutions.brother.co.jp>）

こんなときは	原因	対処方法	参照ページ
ソフトウェアが正しくインストールできない。	正しいインストール手順で、インストールされませんでした。（キャンセルをクリックした、インストールが完了する前に、CD-ROM を取り出したなど。）	インストール手順に従って、正しくインストールしてください。	インストールガイド
	インストーラが自動的に起動しませんでした。	インストールガイドの「プログラムのインストールが自動的に始まらない場合：」を参照してください。	インストールガイド
「カードライターが接続されていません。カードライターを正しく接続してください。」と表示された。	カードライターのドライバが正しくインストールされませんでした。	カードライターの USB コネクタをパソコンの USB ポートへ、正しく接続してください。カードライターのドライバのインストーラが起動します。	解決しないときは、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン119番）」（P.14）までお問い合わせください。
旧バージョンからのアップグレード時に、「インターネットに接続することができません。」または、「サーバーに接続できません。しばらくしてから再度接続を試みて下さい。」と表示され、カードライター本体のアップグレードができない。	カードライターを接続しているパソコンが、インターネットに接続されていません。	カードライター本体をアップグレードするには、インターネットに接続する必要があります。ファイアウォール機能を有効にしている場合は、アップグレード中は一時的に無効にしてください。インターネットに接続できない場合は、お近くの販売店にお問い合わせください。	—
カードライターが正しく動作しない。	電源が充分供給されていません。	電源を充分供給できるパソコンの USB コネクタ、もしくは自己電源タイプ（セルフパワータイプ）の USB ハブに接続してください。	—

# 索引

## 数字

3重縫い .....6, 101

## C

CSV 出力 .....198

## E

E/V ステッチ .....6, 103

## H

HTML 出力 .....197

## P

PDF マニュアル .....13

## S

STB 機能 .....63

## T

TrueType フォント .....85, 92

TWAIN 機器 .....122, 155

## あ

明るさ/コントラスト .....133, 136

アプリケ .....99, 139, 175

## い

一覧

CSV ファイル .....198

HTML ファイル .....197

印刷する .....197

糸色

アプリケ .....99

アプリケの位置 .....99

アプリケピース .....99

糸色ごとに分解する .....64

色単位で糸色を変える .....121

空白 (未定義) .....99

縫い順/糸色 .....120

ユーザー糸リスト .....113

新しい糸色を登録する .....115

糸色をリストから削除する .....115

糸色をリストに追加する .....114

順序 .....116

編集する .....115

リストを削除する .....114

リストを作る .....113

リストを編集する .....114

糸色設定 .....133, 136

糸色ボタン .....98, 166

移動する

画像 .....22, 125

刺しゅうデータを中央へ移動する .....53

始点/終点 .....60

中心点 .....61

針落ち点 .....63

糸セット .....136

糸密度 .....133

糸リスト .....133, 136, 137

色の変更 .....133, 136

印刷する

一覧 .....197

印刷の設定 .....144

大型枠用の刺しゅうデータ .....187

刺しゅうデータ .....145

プレビュー .....145

インストールガイド .....13

## う

ウィザード .....155

浮き上がり効果 .....205, 211

渦巻き縫い .....7, 110

## え

円 .....71

円弧 .....71

円弧と弦 .....71

鉛筆 .....74

## お

扇形 .....71

大型枠 .....183

刺しゅうデータ .....184

印刷する .....187

デザインページサイズ .....183

データ情報 .....185

枠の最適化 .....185

オートパンチ .....20, 21, 128

オリジナルカード .....18

オリジナルフォント .....85

## か

カードライター .....18

解除

ドーナツ縫い .....75

文字配列 .....91

回転 .....55, 161

文字 .....86

ガイド表示 .....100, 167

書き込み

オリジナルカード .....18, 142

描く

図形 .....30, 70

直線 .....162

似顔絵 .....123

パターン .....208

拡大・縮小

画像 .....22, 125

画面表示 .....52

刺しゅうデータ .....54

パターン .....209, 213

フォントデータ .....229

確認する	
ステッチ	66
縫い順	120
重なり削除	75
画像	
移動する	125
拡大・縮小	125
サイズと位置の変更	22, 125, 160
刺しゅうデータに変換	20, 127
出力	
クリップボードへ	126
ファイルへ	126
表示設定	125, 160
ファイル形式	20
保存する	126
画面の再描画	245, 249
簡易モード	100, 167

## き

基準線からのオフセット	86
行間	86
曲線化	59

## く

空白 (未定義)	99
組み合わせる	
同じ色の刺しゅうデータ	120
グラデーション	119, 168
グリッド	69, 162, 215
グループ化	56
クロスステッチ	7, 20, 28, 110, 136
クロスステッチのサイズ	137

## け

消しゴム	148
結合	76
弦	71
原画の種類	133
原画の調整	130
検索	193

## こ

候補から選択	133
コピー	257
コピーする	
画像	126

## さ

最新の情報に更新	252
最大糸色数	133, 137
最適化	
始点/終点	61
枠	185
削除する	
糸色	115
糸リスト	114
重なり削除	75
針落ち点	63
作成	
新しい糸リスト	113
新規フォルダ	191
サテン縫い	6, 101, 104

サポート・サービス	14
サムネイル小	192
サムネイル大	192

## し

刺しゅう PRO WEB ページ	14
刺しゅう位置の印を付ける	179
刺しゅう属性	96
刺しゅうデータ	
一覧を出力する	197
印刷する	145, 187
大型枠	184, 185
画像から	20, 127
グループ化	56
形式を変換する	194
検索	193
コメントを書く	143
出力する	141
情報	140, 189
整理する	191
選択する	53, 120
中央へ移動する	53
取り込む	50, 190
配列	54
表示する	192
開く	49, 190
プレビューする	65, 189
保存する	141, 170
下打ち	101, 104
下絵	20, 122, 206, 225
ファイル形式	20
下絵を開く	206
始点/終点	
移動する	60
最適化	61
自動選択	133
出力	
一覧	197
画像	126
刺しゅうデータ	141
手動選択	133
詳細表示	192
詳細モード	100, 167
使用する色	136
書体セレクト	83

## す

数値設定	
回転	56, 162
サイズ	54, 161
図形	
円弧・円弧と弦・扇形	70
円・だ円	71
長方形	70, 71
閉じた線	72, 74
開いた線	72, 74
文字データから変換	92
図形属性	96
スタンプ	117, 169, 211
スティップリング	7, 111
ステージ	
原画ステージ	250
縫い方設定ステージ	250
輪郭線画ステージ	157
輪郭データステージ	159
ステッチウィザード	20, 127

ステッチクリエーター	199, 205, 253
ステッチシミュレーター	66
ステッチデータ	
分解	64
分割	64
ブロックデータに変換	63
ステッチデータに変換	62
すべて選択	53, 249, 254, 257

## せ

整列	
上揃え	54, 257
左右中央揃え	54, 257
下揃え	54, 257
上下中央揃え	54, 257
左揃え	54, 257
右揃え	54, 257
接着芯	179
選択する	
糸色	133, 136
刺しゅうデータ	53, 120
すべての刺しゅうデータ	53
縫製範囲	143
線縫い	97, 165
線の縫い方設定	101

## そ

挿入	
針落ち点	63
ソフトウェアの更新	15
揃え方	87

## た

だ円	71
タタミ縫い	6, 106
縦位置	91
単位	69, 162

## ち

縮み補正	105
中央へ移動	53
中心点	61
長方形	70

## て

デザインセンター	146, 247
デザインデータベース	188, 251
デザインのプロパティ	140, 185
デザインページサイズ	68, 160
大型枠	183
デザインページの色も縫う	133
デザインページの設定	68, 160, 183
デザインライブラリー	50
データ情報	140, 189
大型枠	185
コメントを書く	143
テンプレート	179

## と

同心円縫い	7, 110
中心点	61

ドーナツ縫い	32, 74, 169
ドーナツ縫いの解除	75
特別な色	99
取り込む	
.pem ファイル	155
TWAIN 画像	123
画像	122
クリップボードの画像	124, 155
原画	155
刺しゅうカードから	51, 196
刺しゅうデータ	50, 190
下絵	206
デザインセンターから	51
モニタージュから	123

## な

長さを測る	52, 69
-------	--------

## に

似顔絵	123
入力	
TWAIN 機器から	123
クリップボードから	124
ファイルから	122
モニタージュから	123

## ぬ

縫い角度	
プログラムタタミ縫いとスタンプ	112
縫い方設定	133, 136
縫い方設定ステージ	
ツールボックスボタン	247
縫い方セレクタ	99, 166
縫い方の設定	100, 166
簡易モード	100, 167
詳細モード	100, 167
線縫い	165
面縫い	164
縫い方バー	165
縫い間隔	136
縫い始終点の最適化	60, 61
縫い沈め効果	205, 211
縫い順	120, 169
縫いピッチ	106, 107
縫い密度	136

## は

バージョン情報	246, 250, 252, 255
パイピング縫い	7, 108
配列	
刺しゅうデータ	54
走り縫い	6, 101
走りピッチ	133
パターン	
作成	208, 212
プレビューする	208
編集する	209, 213
保存する	214
バックステッチ	137
針落ち点	
移動する	63
削除する	63
挿入	63
バレット表示	98

反対側 .....	91
反転	
左右 .....	55, 161, 254, 257
上下 .....	55, 161, 254, 257

## ひ

表示する	
画像 .....	125
刺しゅうデータ .....	192
下絵 .....	160, 215
開く	
.pem ファイル .....	155
.pes ファイル .....	49
TWIN 画像 .....	123
新しいデザインページ .....	49
画像 .....	122
クリップボードの画像 .....	124, 155
原画 .....	155
刺しゅうデータ .....	49, 190
下絵 .....	206
新規作成 (輪郭線画) .....	155, 158
新規作成 (輪郭データ) .....	155, 161
パターン .....	206, 207
レイアウトセンターファイル .....	49

## ふ

ファイル	
形式変換 .....	194
検索 .....	193
新規作成 .....	49, 207
新規作成 (輪郭線画) .....	158
新規作成 (輪郭データ) .....	161
データ書き出し .....	141
開く .....	49, 156, 206
ファイルプロパティ .....	143, 189
レイアウトセンターで取り込む .....	190
レイアウトセンターで開く .....	190
フォーステッチ .....	20, 25
フォーステッチ 1 (カラー) .....	25, 129
フォーステッチ 1 (セピア) .....	131
フォーステッチ 1 (モノクロ) .....	132
フォーステッチ 2 (カラー) .....	134
フォーステッチ 2 (モノクロ) .....	135
フォルダ .....	191
フォントクリエイター .....	216, 256
プレビューウィンドウ .....	208, 231
プレビューする .....	65, 189, 231
パターン .....	208
プレビューの更新 .....	133, 136
ブレンディング .....	119
プログラムタタミ / スタンプモード .....	207
プログラムタタミ縫い .....	6, 106
分割模様 .....	177
縫製する .....	181

## へ

変換	
刺しゅうデータの形式 .....	194
変形	
文字データ .....	87
変更する	
糸色の順序 .....	116
編集	
グループ化 .....	56
グループ化解除 .....	56

縫い順 .....	120
糸色 .....	115
糸リスト .....	114
パターン .....	209, 213
ポイント .....	57, 150, 210, 213, 230

## ほ

ポイント	
編集する .....	57, 150, 210, 213, 230
放射縫い .....	7, 110
中心点 .....	61
縫製範囲の設定 .....	143
保存する	
オリジナルカードに .....	142
画像 .....	126
刺しゅうデータ .....	141, 170
パターン .....	214
別の形式 .....	141

## ま

マニュアル .....	13
マニュアルパンチング .....	77, 111

## み

ミニサイズ文字 .....	81, 84
---------------	--------

## む

向き .....	91
----------	----

## め

面縫い .....	97, 164, 165
面の縫い方の設定 .....	104

## も

文字	
TrueType フォントの設定 .....	92
書式設定 .....	86
図形データに変換 .....	92
配列設定 .....	90
文字の変形 .....	87
文字の編集 .....	86
文字配列の解除 .....	91
文字間 (個別) .....	86, 89
文字間 (全体) .....	86
文字サイズセレクト .....	85
文字属性 .....	83, 86, 96
モチーフ縫い .....	6, 102, 109
モチーフモード .....	207
元に戻す .....	242, 248, 254, 257
モノグラム .....	93
モニタージュ .....	123

## や

やり直し .....	242, 248, 254, 257
------------	--------------------

## ゆ

ユーザー糸リスト .....	113
優先項目 .....	133

## よ

横位置 .....	91
横書き / 縦書き .....	87

## り

リアルプレビュー .....	23, 65
設定 .....	65
リファレンスウィンドウ .....	67, 163
輪郭線画ステージ	
ツールボックスボタン .....	247
輪郭データステージ	
ツールボックスボタン .....	247

## る

ルーラー .....	69
------------	----

## れ

レイアウトセンター .....	17, 48, 241
-----------------	-------------

## ろ

ロック .....	121
-----------	-----

## わ

枠に布地を張る .....	180
枠の最適化 .....	184
渡り糸 .....	63, 237

## アフターサービス

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
- 無料修理保証期間は、お買い上げ日より1年間です。(詳しくは保証書をご覧ください。)それ以後の修理については、お買い上げの販売店または下記の「お客様相談室(ミシン119番)」にご相談ください。
- 当社はこの製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または下記の「お客様相談室(ミシン119番)」へお問い合わせください。

## お客様相談室(ミシン119番)0120-340-233

本製品についての、使い方やアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または「お客様相談室(ミシン119番)」までお問い合わせください。

〒467-8577 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1

お客様相談室(ミシン119番)

TEL:0120-340-233

FAX:052-824-3031

営業時間:

月曜日～金曜日 9:00～17:30

(祝祭日、ブラザー販売株式会社の休日を除く)

- お客様相談室は、ブラザー販売株式会社が運営しています。
- ブラザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店または上記「お客様相談室(ミシン119番)」へご連絡ください。
- 上記の電話番号および住所は、都合により変更する場合がございますのでご了承ください。

## ホームページ

ブラザー工業のホームページでは、製品に関する様々な情報を掲載しております。

<http://www.brother.co.jp/>

ブラザーソリューションセンターでは、製品に関するサポート情報を掲載しております。

<http://solutions.brother.co.jp/>

**ブラザー工業株式会社**

名古屋市瑞穂区苗代町15-1 〒467-8561

取扱店

